



日常再編集宣言

スケジュール

住み開き

コミュニティ難民

プロジェクト

ブログ

お問い合わせ

トーク・ライブ・メディア掲載

アサダワタルの最近の仕事、イベントなどのご案内です。

※読み込みに時間がかかる場合がありますが、その際は10秒ほどお待ちくださいませ。



12月17日 (土)
東京・東京藝術大学千住キャンパス
(新着)



「アーティスト」アサダワタル × [東京大学教授] 渡辺裕 音とメディアとまちの話 一暮らしのなかのさまざまな「音」と「聴く」ことを考える一

「音」から、あなたは何を思い浮かべますか？ 暮らしはさまざまな音で溢れているけれど、多くの人は「音楽」と答えるでしょう。「音の風景」を意味するサウンドスケープという概念をカナダの作曲家マリー・シェファーが提唱してから、より公共的な自然／都市空間の音が注目されるようになったけれど、人びとの「語り」や「声」、雨や風など自然の音、工事現場や踏切といった都市の音は、広く「音」として意識されていないように感じます。

11月26日 (土)
ライブ (ソロ)
大阪・南森町音風
(新着)



「ナガオクミとアサダワタルのふたり会@音風」 ナガオクミさんとアサダワタルさんとのふたり会ライブ。アサダさんは大和川レコードの活動などずっと気になっていました。とても楽しみな企画です。皆様のお越しお待ちしております。(企画概要より抜粋)

▶詳細はこちらへ

11月22日 (火)
ライブ (プロジェクト ドラム参加) 東京・代官山 晴れたら空に豆まいて (新着)



『プリミ恥部な世界LIVE

「小金井と私 秘かな表現」新シーズンのワークショップ参加者募集！ 12/4から来年3月までに全5回開催。テーマは「想起のツアーコース」の創作



アーティストのアサダワタルさんと、小金井のまちや生活を活かした表現を考えるプロジェクト、小金井市芸術文化振興計画推進事業「小金井と私 秘かな表現」を昨年度から3年計画で実施しています。昨年度は、能楽師の津村禮次郎先生を講師に迎え、参加者が多様な芸術文化と出会い、その体験をもとに、参加者が「表現の当事者」となり、生活に密着した自分ならではの表現を生み出すきっかけを作ることをめざすワークショップを開催しました。そして、今年度8月には、昨年度のワークショップの参加者が「市民メディアエター」となり、小金井に住むたくさんの方



【ラジオ】FM OSAKAでの家入一真氏の新馬組『LUST FM』に12月4日 (日) & 12月11日 (日) ゲスト出演 (新着)

家入さんと幼少期の話、音楽の話、住み開きの話、借りパクや千住タウンレーベルなどの音楽と記憶にまつわる活動の可能性についてとか、いろいろ談義。間に大学時代の思い出話の流れでLabcryの名盤『COSMOS DEAD』から「砂丘」、そして昨年、路地と暮らし社からリリースしたアサダのソロ作『歌景、記譜、大和川レコード』から「寂れた線路を独りで歩く」が流れます。オンエアは12月3日 (土) の深夜4時 (日曜の早朝) からと翌週10日 (土) の同時間。

▶詳細はこちらへ



書き下ろしエッセイ作
『表現のたね』
2015年12月4日発売！



10年ぶりのソロアルバム
『歌景、記譜、大和川レコード』
2015年12月20日発売！
※版元販売は12月4日より



『コミュニティ難民のススメ』
ウェブだけで読める
対談・特設サイト
順次更新中！



『住み開き 家から始めるコミュニティ』
2012年1月12日
全国の書店にて発売!!



編著『アート・ブリュット
アート 日本』
平凡社より全国書店で発売中！

また、これらを扱う媒体について考えた時、今では「音楽」を収めたCDばかりを連想してしまうけれど、それ以前にバスガイドの解説やスポーツ中継のアナウンスを収めたレコードが販売されていたことを踏まえると、「音」を伝えるメディア自体の役割が時代とともに変化したのではないのでしょうか。私たちは、「聴く」行為を通じてあらゆる情報を手に入れたり、新しい会話を生んだりしているなかで、普段気付かないながらも少しずつではありますが、新しい「聴き方」を自然と身につけているのかもしれない。今回は、文筆家、音楽家、企画者などさまざまな顔を持つアーティスト・アサダワタルと、著書『聴衆の誕生ーポスト・モダン時代の音楽文化』等で知られる渡辺裕氏（聴覚文化論・音楽社会史・東京大学教授）を迎え、音・音メディアとその聴き方、そして暮らしの舞台である、まちとの関係性を探ります。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

12月2日（金）
大阪・スタンダードブックストア心斎橋（新着）



「アサダワタル極つき十三夜 第九夜 研究発表会×ライブ演奏～“音楽×想起”でできること～」第九夜は アサダさん、博士論文書きましたスペシャル。」アサダさんがこの11月に滋賀県立大学大学院にて博士（学術）を取得されたことをきっかけに、ふつうは大学や学会などで行う研究発表会を、ここスタンダードブックストアで、楽しく伸びやかにやってみようという企画。ちなみに論文タイトルは「音楽による想起がもたらすコミュニケーションデ

VERSION』プリミティヴエディション
音楽家で宇宙マッサージ師のプリミ恥部（白井剛史）さんと映画監督のかすみんこと平岡香純さんのふたりが繰り広げる映画×音楽ショー「プリミ恥部な世界」。不定期のシリーズライブとして展開されているなかで、なんだかんだと初期からドラムを担当させてもらうことが多く、今回も参加します。とても楽しみにです。出演 プリミ恥部 平岡香純 アサダワタル 加藤啓一郎 / 時間 OPEN19:00/ START20:00/ 上映開始 20:30 / 会場 代官山「晴れたら空に豆まいて」 / 0:00、1:11、2:22、3:33、4:44、5:55の時間に朝まで舞います。合間での宇宙マッサージもありです / 料金 宇宙料金（この日感じた愛をお金にしてお帰りの際に受付にお渡しください）（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

11月19日（土）
ライブ（SjQ）
京都・元立誠小学校（新着）



night cruising 10th anniversary November「Special Showcase in Kyoto」night cruising 10周年を記念した、秋のスペシャルライブショーケースを京都で開催。会場は元・立誠小学校 講堂。所縁のアーティスト達が集います。[出演]宮内優里、haruka nakamura LABO (haruka nakamura, 青木隼人, 内田輝, moskitoo, Polar M)、SjQ [DJ]RAIJIN [PA]sonihouse [出店]食堂 souffle（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

ちの記憶によりそいながら、表現に少しずつ変換していく「小金井と私 市民生活展 想起のボタン」を開催しました。12月からは、「小金井のまちと出会いなおす」をテーマに、新たに連続ワークショップを開催します。まちとそこから生まれる表現について、一緒に考えてみませんか？（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

東京都足立区にて“街型音楽レーベル”立ち上げ。11月23日（祝）に説明会イベント開催@東京藝術大学



タウンレーベルってには僕の造語ですけど、まず、どこの街にもわりあいみかけるタウン誌の編集室をイメージしてみてください。タウン誌って、その街に住んでいる普通の人のインタビューが載っていたり、そこに住んでないと行かないだろう地元の名店が紹介されていたり、あと「これ譲ります／これ探してます」的なローカル感たっぷりの企画が満載ですよ。あとなによりもその街ならではの些細な「記憶」の数々が掲載されていたり。ああいうのを文字だけでなく「音楽（音）」として発行・リリースしてみたらどんなことが起こるのだろう？っていうのが、この取り組みをやるシンプルな動機なんです。

といいつつ、なんでもそもそもそんな発想を持つに至ったのかって話は、丁寧に語ると長くなるんだけど、ここでは音楽ってライブやフェスみたいにわーっと盛り上がる非日常を生み出す存在であると同時に、私たちの取り留めもない日常をフワフワ優しく包みこめる、もっと「普段使い」な存在なんじゃないかなって思っていること。そして、その使い方のひ



【連載】マガジン航での連載「本屋はブギーバック」第八回更新。（新着）

一年間連載をお休みしてましたが、復帰はじめに近況報告：「音楽×記憶」にまつわる研究や実践や」を執筆しました。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送！2016年11月のゲスト 滋賀県立近代美術館学芸員 渡辺亜由美さん（新着）

今日は、滋賀県立近代美術館学芸員の渡辺亜由美さんをゲストにお迎えします。渡辺さんは、東北大学と大阪大学大学院にて西洋美術史の研究をされたのち、現職につかれています。現在、滋賀県立近代美術館では、近・現代美術とアール・ブリュットの担当をされているんですね。その背景には、この美術館が2019年までに、これまでの近代・現代美術に加えて、滋賀の誇る仏教美術やアール・ブリュットも新たな収集・展示の柱に加え、滋賀ならではの多様な美を発信してゆくという「新生美術館」のコンセプトがあります。これまで、滋賀のみならず全国各地で、アール・ブリュットをはじめ障害福祉の現場から生まれる表現活動をテーマにお届けしてきたこの番組ですが、今日は改めてそもそもアール・ブリュットという言葉のもつ原点にも立ち返りながら、公立美術館という場なら



ザインについての研究」とな。なんだかムズカシそうな内容ですよね。でも、皆さん誰にでもかつて親しんで来た楽曲を聞いて突如、過去の出来事や人間関係を思い出すことってあるのでは？かつてからミュージシャンとしても活動してきたアサダさんは、その「音楽」による「想起」という行為に着目し、その行為をもとに独自の音楽プロジェクトを立ち上げてきました。（……企画概要より抜粋。続きは↓）

[▶詳細はこちらへ](#)

12月1日（木）
愛知・名古屋芸術大学（新着・非公開）



名古屋芸術大学デザイン学部にて「ライフデザイン」を学ぶ学生さんたちに、「デザインと生活」というテーマでゲスト講義を担当します。

11月7日（金）
大阪・大阪音楽大学（新着・非公開）



大阪音楽大学に最近出来たばかりのミュージックコミュニケーション学科とミュージッククリエイション学科の学生さん対象に「音楽を日常のなかで使いこなす」ことをテーマにしたアサダのもろもろの音楽業についてゲスト講義します。

11月3日（木・祝）
鹿児島・かごしま文化情報センター（新着）

10月31日（月）・11月21日（月）ワークショップ 静岡・静岡大学（新着）



「静岡大学 アートマネジメント人材のためのワークショップ100」で音楽の講師担当 静岡大学は、文化庁助成「大学を活用した文化芸術推進事業」として、3年間でアートマネジメント人材育成のための実践的なワークショップを100つくろうとしています。そこでは、地域の資源（人やモノ、文化、伝統など）を見つけ、むすび、新たな価値をはぐくみます。（企画概要より抜粋）

[▶詳細はこちらへ](#)

10月9日（日）
静岡・浜松鴨江アートセンター（新着）



「～雑多な音楽の祭典～スタ☆タン！！公開オーディション」
[スタ☆タン!!とは]
認定NPO法人クリエイティブサポートレッツは、障害のある人を軸に2000年より活動を行ってきました。障害のある人と向き合うなか、彼らが持つこだわりや思いの強さに、自分と他者の間にある垣根そのものが変化していくのを感じてきました。誰かを困らせちゃうようなことも、その人の魅力だと思えるんです。それは障害のある人に限定したことなく、多くの人から感じます。そんな人々を全肯定できるオーディションが「スタ☆タン!!」です。地元でしか聴けないご当地演歌歌手や、福祉施設内でスタッフと利用者が過ごしの一つとして行っている音楽、一人部屋で宅録をし自主制作CDを

とつとして、音楽は個々人の暮らしにまつわる様々な「記憶」を呼び起こしてくれる非常に重要な存在であること、の2点を掲げておきます！

だから、「音楽×記憶×街」というキーワードで、一緒に楽しいワルダクミをしてくれる人（タウンレコーダー）を募集します。千住の街の日常を、音楽でほんのりヘンテコに編集して、惜しげもなく言いますけどもっと「幸せ」になりましょう。

【タウンレコーダー募集説明会】
日時：平成28年11月23日（水・祝）
14:00～
17:00（13:30開場）
／ 会場：東京藝術大学 千住キャンパス（東京都足立区千住1-25-1）
／ 料金：無料
／ 定員：30名程度（事前申込優先）
／ 内容：アサダワタルによるプレゼンテーションとミニライブ、住民のまちの記憶や音楽をテーマにしたワークショップ。参加者のみなさんと、頭と身体を使って「千住タウンレベル」のコンセプトを共有します。

[▶詳細はこちらへ](#)

博士（学術）を取得します



10月13日に滋賀県立大学大学院環境科学研究科より、博士論文の合格通知をいただき、11月の学位授与式にて正式に博士（学術）の学位を取得します。論文タイトルは「音楽による想起がもたらすコミュニケーションデザインについての研究」です。未だに実感がわかないけど、素直に喜びを噛み締めつつ、書籍化ふくめ次のアクションにつなげたいと思います。多くの先生方、家族友人に支えていただきました。これから個別にお礼を申し上げますが、ここではとりわけ、「“研究”というやり方もあるよ」と大学院進学の契機を与えてくだ

ではのアー・プリュット展示の可能性について、渡辺亜由美さんとともに語っていきたいと思います。放送日は11月11日（金）と18日（金）（ポッドキャストは翌週火曜日に配信）です。

[▶詳細はこちらへ](#)



【連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! 一記憶が編みなおされる時一』開始。（新着）

『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。どうぞ読んでみてください。

[▶詳細はこちらへ](#)



【査読論文公開】京都精華大学紀要第49号『音楽による想起がもたらすコミュニケーションデザインの可能性 ―歌声スナック「銀杏」における同窓会現場を題材に一』（新着）

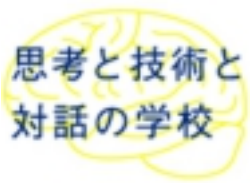
京都精華大学紀要に査読付き論文『音楽による想起がもたらすコミュニケーションデザインの可能性 ―歌声スナック「銀杏」における同窓会現場を題材に一』が掲載されました。以下、サマリーを記しておきます。関心がある方はぜひPDFでも公開されているので読みいただければ幸いです。本論では、音楽による想起がもたらすコミュニケーションが人間関係を更新し、音楽の聴取のあり方までをも更新させてゆく一連の動態をいかにしてデザインするか、この主題を解



「いつの間にか音頭」アフタートーク 手塚夏子（ダンサー／振付家）×アサダワタル（日常編集家）
そこに居合わせた人が誰でも参加できる「いつの間にか音頭」。ダンサー・振付家の手塚夏子さんと鹿児島に住む人々が、共にワークショップを重ねて考えました。「いつの間にか音頭」はお子さん、お母さん、おじいさん、踊りが初めてでも、大丈夫。ここに住む人も旅人も、誰が自由に参加できる音頭です。色々なことが起きつつある今の時代に、人と人の間からどんな歌や踊りが「いつの間にか」わきあがるのか？ 最後まで耳をすませながら見つける旅の途上でお会いしましょう～。つられて歌ったり、踊ったり、アレンジして遊んだりしてください。「いつの間にか音頭」の制作過程や手法などについて、ゲストに日常編集家のアサダワタルさんをお迎えして、お話します。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

10月29日（土）
東京・3331アー
ツ千代田（新着・非公開）



TARL基礎プログラム・思考を深める／想像を広げる 4「公共空間をつくる／つかうー公と私のあいだの場所 アサダワタル（日常編集家）×小野田泰明（東北大学大学院 都市・建築学専攻 教授／同 災害科学国際研究所 教授）」（コーディネーター：佐藤慎也（日本大学教授／建築家））

配るお兄さん、バイクのマフラーからゴッドファーザーを奏でる走り屋など、自身の生活に根差した音楽を奏でる人々による音楽の祭典を行いたいと考えました。それは、生活と共に在る音楽と言えるのかもしれませんが。今一度スポットライトを当て「こういう音楽もあるぜ!」と発信したいのです。[多様な審査員があなたを待っています!!]アサダワタル（日常編集家）、石川浩司（ex. たま）、片岡祐介（音楽家）、輪島裕介（大衆音楽研究）（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

9月25日（日）
ライブ（SjQ）
京都・外（新着）



『SjQ / 空間現代』2016年9月にレーベルメイトでもあるバンド・空間現代が京都・錦林車庫前に「外」をオープンします。その記念も含め連日開催されるライブイベントにSjQもお招きいただきました。以下、空間現代のドラマー山田さんのコメントとともに。どうぞ観に来て下さい。2016年9月25日（日）／出演：SjQ、空間現代／開場: 19:30 開演 20:00／料金：2000円 ＊当日券は+500円
「SjQは様々なルールや装置を使って即興演奏するため、毎回どんなライブになるのか予想できない。ただ1つ分かるのは、それを見ている自分に独自のリズムがあるということ。SjQの演奏中、気づけばその音楽とは異なるリズムで自分が体を揺らしているからだ。観客がそれぞれのリズムで踊ったり踊らなかったりすればいいと思う。(山)」

▶詳細はこちらへ

9月18日（日）
ライブ&トーク
（ヤマモトタカヒ

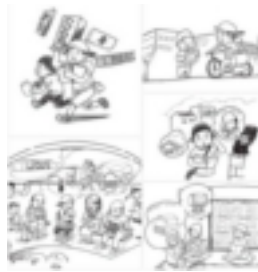
さった山口洋典先生、修士課程を出ずに独自の実践と執筆を続けていた僕の実績を高く評価し博士課程からの進学を受け入れ、初期の研究を支えてくださった近藤隆二郎先生、そして最も研究が煮つまっていたD3以降、様々なカタチで並走してくださった細馬宏通先生のお三方に深く御礼申し上げます。これから、「実践」か「研究」かとか、「表現」か「運動」か「批評」かとか、そんなボーダーがぐちゃぐちゃにひん曲がるくらい、日常編集家 アサダワタルとしてやるべきことをやります。皆さん、応援よろしくお願い致します。

※博論は全6章で構成されてますが、そのうちの3章と4章にあたる査読付き論文二篇が以下で公開されてますので、よければぜひお読みください。

・『音楽を「使いこなす」：ポピュラー音楽を用いた、コミュニティプロジェクトについての研究』（アートミーツケア Vol.6/2015）
<http://popo.or.jp/artmeetscare/vol6/Asada.pdf>

・『音楽による想起がもたらすコミュニケーションデザインについての研究 歌声スナック「銀杏」における同窓会現場を題材に』（京都精華大学紀要 49/2016）
http://www.kyoto-seika.ac.jp/researchlab/wp-content/uploads/sa_asada_v49.pdf

東京都 足立区千住エリアで新しい“音楽レーベル「千住タウンレーベル」”始めます



自分なりに広義の“音楽”×“コミュニティ”を考えてきた、ひとつの答えを3カ年かけて、北千住というエリアで立ち上げる機会をいただきました。ここ数年、「音まち」というプロジェクトに関わらせていただいていたが、いよいよさらに本腰入れて。僕

き明かすことを目的とする。その目的に沿ったフィールドとして、本論では、福岡県北九州市小倉北区にある歌声スナック「銀杏」における同窓会ならびに校歌斉唱の現場を考察対象とした。「銀杏」では、同窓会という集団凝集性が比較的高いコミュニティの中に、経営者（ママ）である入江公子による「校歌のオリジナルカラオケ映像の制作」というユニークな実践が差し挟まれることによって、これまでの同窓会における校歌斉唱では生まれ得なかった特異なコミュニケーションがデザインされている。その構造をつぶさに分析することで見えてきたのは、音楽の内容のみではなくそれが聴取される「場」全体が促す想起という視点や、「懐かしさ」や「過去の再生」といったイメージのみに回収されない想起の動的な性質である。本論を通じて、これまでの音楽と想起にまつわる先行議論の更新に寄与し、ひいては音楽という存在が、日常生活を豊かにするだけでなく、豊かで創造的なコミュニケーションをもたらす新たな可能性を提案したい。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ
「Glow～生きることが光になる～」 真毎週金曜 21時30分～21時55分放送！
2016年10月のゲスト 株式会社きびもく・NPO法人チュラキューブ代表 中川悠さん（新着）

今日は、株式会社きびもく、NPO法人チュラキューブ代表の中川悠さんをゲストにお迎えします。中川さんの仕事は、地域コミュニティや産業の問題、そして障害者の社会的就労など、その他さまざまな社会的課題の持つ

「思考と技術と対話の学校」(TARL)は、アートプロジェクトを動かすための基礎力を身につける3つのコース「思考編」「技術編」「対話編」で受講生を募集します。「思考」は、社会動向を見据え、どのようなプロジェクトが必要か、また、そのために必要なオペレーティングシステム(OS)を考える能力のこと。思考編では、授業や課題をとおして、「なぜアートプロジェクトを行うのか?」「社会的な課題に対してどのようにアプローチするか?」「自分はどのように関わりたいか?」など問いを立てながら、アートプロジェクトが扱う領域のイメージを広げる考え方を学びます。これからアートプロジェクトに関わろうとしている人、すでに現場経験はあるけれどあらためて思考力を養いたい人向けです。多彩な講師陣と、学びに伴走するスクールマネージャーとともに、意識的に時間をかけて学び合う基礎プログラム。経験、年齢、所属は問いません。(企画概要より抜粋)

▶詳細はこちらへ

10月14日(金) 東京・小金井シャトー2F(新着・非公開)



「ステージラボ／公立ホール劇場マネージャーコース」財団法人地域創造が公立文化施設等の職員を対象に、事業の企画制作、施設運営、地域との関わりなど、ホール、劇場等のソフト運営に欠くことのできない要素を体得するための研修に、NPO法人アートフルアクションの宮下美穂さんと一緒に講師として登壇。アートフルアクションとは先日『想起のボタンー「記憶」が編みなおされる、市民ひとりひと

「音楽」と「言葉」の京都・UrBANGUILD(新着)



『サラウンド organized by Surround Circuit』Live: 米子匡司 / slonnon / Juri aka Midnight JJ / 行楽猿(みやけをしんいち[S.Sax] / チェブ・J・ノーマン[ba] / パチカ[ba] / ショーキー[Guest / Vn]) Talk & Live Session: 「即興演奏とことばの仕事」アサダワタル(音楽家 / 文筆家) × ヤマモトタカヒロ(実験ターンテーブルリスト/@SHARP_JPの中の人)《「サラウンド」について》2015年に活動を終了した大阪のスペース「FLOAT」の名物企画Surround Circuitが、京都で番外編「サラウンド」として開催! 音楽を中心としながらジャンルも志向もバラバラな企画メンバーにより、過去二回にわたって音楽ライブや展示、ワークショップやトークなど振れ幅の広い内容をお届けして参りましたが、今回のアバンギルドでもユニークな面々が集結し、濃厚なイベントを展開致します。音楽ライブでは、Surround Circuitから米子匡司、slonnon、みやけをしんいちがそれぞれパフォーマンスを行うほか、スペシャル企画として、アサダワタルとヤマモトタカヒロによる異色のライブ&トークセッションを開催。ともに即興演奏を行う音楽家であり、ことばの仕事のプロフェッショナルである両者が、「音を生み出すこと」と「ことばを紡ぐこと」について語り、そして演奏を行います。以上、このイベントでしかありえないユニークな内容となること必至。ぜひご来場ください!《Talk & Live Session》「即興演奏とことばの仕事」

は「音楽」と「言葉」の表現者として、またなんだかんだと「コミュニティ」と呼ばれるものをグラグラと傾けたり、再び新たな意味を携えて編み上げていく専門家として、この機会をちゃんとカタチにしたい。レーベルメンバー募集を10月末にやりまっせ!ひとまずは主催者サイトにアップされたミニマムな情報だけをご覧ください。お楽しみに。http://aaa-senju.com/p/8620(アート&アクセス 音まち千住の縁:アサダワタル「千住タウンレーベル」)

▶詳細はこちらへ

大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員に着任します



10月付けで「大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員」に任用されることとなりました。まさか母校にこんな立場に関わることになるとは学部卒業した十数年前では100%考えることなかった。。。びっくりダメ学生だったしね。。。研究テーマは「“支援”像をずらす表現的実践の可能性にまつわる研究」。これまで僕が関わってきた広い意味での「障害」や「福祉」にまつわる現場において、表現的感性が必要なのは実は「支援者」の立場の方なのではないか、そのとき「当事者」と言われている人たちの一部が生み出す言葉にしきれない表現を媒介にした、当事者と支援者の間に生まれる価値交換関係にはどのようなコミュニケーションが成り立っていたり、いなかったりするのか。しっかり書いてそう遠くない将来の書籍化に弾みをつけるための一歩です。

8月15日(月)ー8月28日(日)まで滞在制作および展示 東京都 小金井と私秘かな表現 生民

ひとつひとつの要素を、他ジャンルとの協働や独自のアイデアを繋げ合わせることで、ユニークな課題解決をもたらすこと。そんな中川さんは自らを、イシュー＝課題を編集＝キュレーションの力で解決にむけるイシューキュレーターを名乗られています。これまで数々のプロジェクトを立ち上げて来られた中川さんが、2014年秋に大阪の都心部に立ち上げたのが、カフェ併設の障がい者福祉施設「GIVE&GIFT」。今日は、そんな中川さんと障害のある方の社会的就労を切り口に、障害のある方の造形活動の今後の可能性についても語っていただきます。放送日は10月14日(金)と21日(金)(ポッドキャストは翌週火曜日に配信)です。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! 一記憶が編みなおされる時ー』開始。(新着)

『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。どうぞ読んでみてください。

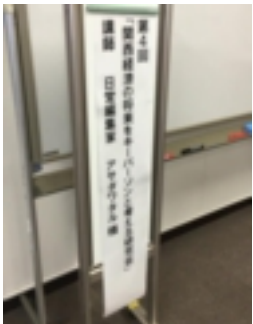
▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時む30分～21時55分放送! 2016年9月のゲスト NPO法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所 井尻貴

りの生活展ー』というプロジェクトを協働。僕はディレクションを担当したアーティストという立場で、この事例についても語り、これまで様々な文化事業に携わって来たけど基本的に「ホール」から脱して来た立場として語ります。

10月11日（火） 大阪・大阪府合同 庁舎近畿経済産業局（新着・非公 開）



「関西経済の将来をキーパーソンと一緒に考える研究会」
経済産業省近畿経済産業局の「関西経済の将来をキーパーソンと考える研究会」の第4回に登壇することになりました。テーマは「表現だからこそできるコミュニティ活動」について。コーディネーターはりそな銀行・REENALプロジェクトの藤原明さんです。

10月7日（金） 大阪・滝畑てれれ チセ（新着）



「滝畑てれれチセ一周年のお祝い」
めんどくさいことをすることで五感を取り戻し原始的な人間の力をつける。／地域の先輩からこの地で伝えられてきたものの作りや生活を学ぶ。／お金が無くても身寄りがあっても無くても、安心して堂々と死んでいける場を作る。
そんな思いで呼びかけました。この一年で延べ 500 人ぐらいここが足を運んでくれました。闘病生活で大変な人も子育て中の人も高齢の人もみなさんこれがしたいあれがしたいと希

アサダワタル×ヤマモトタカヒロ
サウンドユニットSjQのドラマーとして先鋭的な即興演奏の試みを実践する傍ら、芸術や福祉、コミュニティといった様々な領域を横断する旺盛な文筆活動を行うアサダワタルと、2台のターンテーブルで優美かつ暴力的なサウンドコラージュを作り出す即興演奏家にして、30万超のフォロワーを抱える大手企業twitterの中の人として、日々刺激的なことばを生み出し続けるヤマモトタカヒロが、「音」と「言葉」のコミュニケーションについて思考し、演奏を行います。（すべて企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

9月11日（日） ライブ（ソロ） 大阪・此花区四貫島、梅香、朝日、 春日出エリアの各地（新着）



『パレード、夜に歩く／ふたつの心臓の大きな川』
9月10日、11日の2日間、会場エリアの屋内外で行われる3部構成のライブイベント。ライブは1組ずつ別々の時間・場所で行われますので、受付(モトタバコヤ・PORT)で配布される地図を頼りにお越しく下さい。（企画概要より転載）アサダの出演日時は9月11日(日) 12:00 - 17:00。出演はアサダワタル (日常編集家)、ジョンソンtsu (唄とギター)、中川裕貴 (チェロ)、吉原啓太 (美術家)

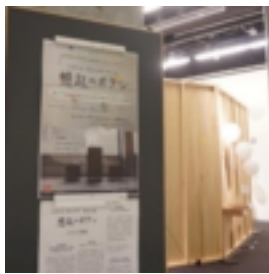
▶詳細はこちらへ

8月31日（水） ワークショップ 大阪・浅香山カフェここいま（新着）



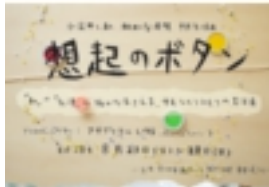
「kokoima 暮らし

生活展『想起のボタン』、



東京都小金井市で現在～8月28日まで武蔵小金井駅前宮地楽器ホール地下ギャラリーにて開催されている市民生活展『想起のボタン』。内容は、小金井市民ひとりひとりの「記憶」を素材にしながら、有志の市民（6組）自らが「メディエーター」（記憶の編集者）となって、そこから「表現（展示作品）」を生み出してゆくというもの。僕はゲストディレクターとして、コンセプトメイキングや制作プロセスのディレクションなどに関わりながら、8月はこの小金井市にレジデンスしております。
「日常編集家」という肩書きを名乗ってきた立場として、また「記憶」というテーマを研究・実践の双方で探ってきた立場として、また、昨今批判も含めて注目されている「地域アート」や、一方で「これからの美術館（あるいはホール）のあり方×街という生きた文脈」といったテーマに興味がある人に対しても、自分なりのひとつの答えを提案する企てとなっています。会場でお会いできれば幸いです。
▶詳細はこちらへ（※展覧会全体情報）
▶詳細はこちらへ（※関連イベントの情報はFBページへ）
▶詳細はこちらへ（※アサダのインタビューが乗った展覧会ニューズペーパーPDF）

東京都 小金井と私 秘かな表現 生民生活展『想起のボタン』ゲスト ディレクターを務めます



以下企画概要より。
市民より公募で「小

子さん、三宅博子さん（新着）

今日は、NPO法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所（通称：ダイバージョン）の井尻貴子さんと三宅博子さんをゲストにお迎えします。いま、「多様性」（diversity）という言葉は、社会のなかで大きな意味を持っています。国や地方自治体による福祉政策も充実し、企業が障害者雇用を率先して実施することや、社会貢献事業などを行なうことも当たり前になってきました。そうした社会環境の整備に伴い、日常生活において、多様性を意識することは増えてきているように思われます。しかし実際の社会には、いまなお多くの「線引き」があり、人々は同化と排除のはざまで苦しんでいると言えます。本来、人々のあいだにある「境界線」（division）や、ひとつの言葉が持つ概念的枠組みは、流動的なものであるはずで

す。時期、場所、社会環境などに応じて、つねに多数派と少数派、常識と非常識は入れ替わり、重層のかつ複層的な境界線を、自他ともに引き続けながら生活しています。とすれば、私たちは、生きるなかで、言いようのないもどかしさややりきれなさ、つらさやしんどさなどを感じたとしても、抜け道をみつけたり、寄り道をしたりして、歩きぬくことが可能なのではないのでしょうか。ひとりひとりがその「生きぬくための技法」を獲得することは、現代社会に暮らす私たちにとって重要なのではないのでしょうか？ 今日、ゲストにお迎えするNPO法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所の井尻さんと三宅さんたちは、これまで研究者や実践者としての立場から、多様な背景をもつ人々の表現活動に関わってこられました。障害のある人やセクシュアル・マイノリティなどの表現活動に携わった経験をもとに、彼女たちがこれから目指してゆきたいのは、「多様性」と

望をどんどん膨らませてくれます。ピザ釜しかり、池しかり、アイヌチセをつくろう、道具小屋も、襖に絵を、パーもやりたい。想像がどんどん膨らんでいきます。なんだかワクワクさせてもらいます。まさにみんなでこの場を創っているという感じですよ。「参加者が食べ物を持ち寄る“ポットラック”や、自分の判断で支払う金額を決める“ドネーション”。または、自分が受けた好意を見知らぬ誰かに送る“ペイフォワード、これらはギフト経済のひとつ”そんなやり方を模索しながらやっています。確実に若い人が減って行くこの村、嘗てのそして今の生活を伝えていきたい。その中に豊かな生活があると信じています。昼は「住み開き」の提唱やアートや福祉など幅広い活動をされているアサダワタルさんの話を聞き、みなさんと共有しながら秋の夜長に酒を酌み交わし美味しいものを食べお祝いしましょう。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

9月9日（金）大阪・スタンダードブックストア心斎橋（新着）



「アサダワタル極つき十三夜 第八夜 アサダワタル×細馬宏通×田端一恵×中川和彦『介護するからだ』刊行記念回」
第八夜は 細野宏通さんの新著、『介護するからだ』刊行記念回！介護は、介護者と介護を受ける人との間に起こる声とからだの変化と見ることができます。この変化は、コンマ秒単位の目にも止まらぬすばやいやりとりです。では、わたしたちは、どんな風にこのすばやいやりとりに注意を向け、気づくことができるのでしょうか。今回のトークでは、『介護

と表現の私塾」第5回 映画『すべての些細な事柄 La Moindre des Choses』を観て、結局のところ「障害」ってなに？「幸福」ってなに？「社会に出てどういうこと？」って話をする。
2015年12月、大阪府堺市浅香山の商店街に、「カフェここいま」がオープンしました。ここは、浅香山病院精神科病棟に長期入院している患者さんが地域での暮らしへと移行するため、写真展やささまざまな文化活動と美味しい食べ物を通じて地域交流をおこなっているカフェ。NPO法人kokoimaが運営し、アサダもここで時に音楽ワークショップをしたり、理事として関わっています。この4月から定期的に、カフェここいまに集う患者さん（ここいまメンバーズと呼ばれています）を対象にいろんな表現に触れてみるワークショップを行います。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

7月21日（木）ワークショップ大阪・浅香山カフェここいま（新着）



「kokoima暮らしと表現の私塾」第4回 映画『遠足~Der Ausflug~』を観て、結局のところ「障害」ってなに？「幸福」ってなに？って話をする。
2015年12月、大阪府堺市浅香山の商店街に、「カフェここいま」がオープンしました。ここは、浅香山病院精神科病棟に長期入院している患者さんが地域での暮らしへと移行するため、写真展やささまざまな文化活動と美味しい食べ物を通じて地域交流をおこなっているカフェ。NPO法人kokoimaが運営し、アサダもここで時に音楽ワークショップをしたり、理事

小金井の記憶」も募集していますので、ぜひリンク先（詳細）もご覧ください↓↓
小金井のまちが《誰もが芸術文化を楽しめるまち》となり、より豊かに暮らしやすい場となることを目指し、小金井アートフル・アクション！（小金井市芸術文化振興計画推進事業）は様々な事業を行っています。その一環として、「小金井と私 秘かな表現」では、平成27年度からアーティストのアサダワタル氏をディレクターに迎え、参加した市民の皆さんが日常の暮らしの中の発見や気づきを表現に育むことを試んでいます。今年は、昨年度から行われてきたワークショップの成果を大切にしながら、小金井のまちで暮らす人々の思い出、記憶をお聞かせいただき、市民有志による“メディアエ이터”（記憶の編集者）が寄り添いながら、それらの記憶を様々な形で編集・再現する市民生活展「想起のボタン」を8月23日～28日まで開催することになりました。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

滋賀県 第13回滋賀県施設合同企画展のアドバイザーを務めます



毎年、ボーダレス・アートミュージアムNO-MAで開催される滋賀県施設合同展「ing…障害のある人の進行形」はもうなんと13年目で、かつ、昨年に引き続きおこがましくも、パラモデルの中野裕介さんとペアでアドバイザーとして関わらせていただいております。正直、とても全部見切れないほどの作品を各々の福祉施設のスタッフの方々に愛をもって紹介していただきながら、NO-MAの空間へと具体的に馴染ませていく、その営みを繰り返して展覧会へと編み上げていく。そん

「境界」に関する諸問題に対して、「対話」と「表現」を通じ、新たな「迂回路」（diversion）を作ること、だそうです。では、実際、彼女たちはどのような現場に赴き、そこからどのような具体的な対話の場づくりを行っているのか。とりわけ障害福祉現場での事例を交えながら、このダイバージョンという団体のミッションに迫ります。放送日は9月20日（金）と27日（金）（ポッドキャストは翌週火曜日に配信）です。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! ー記憶が編みなおされる時ー』開始。（新着）

『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。どうぞ読んでみてください。

▶詳細はこちらへ



【新刊共著】『ひとびとの精神史第9巻 震災前後ー2000年以降』（岩波書店）。7月26日発売（新着）

岩波書店が昨年夏から一年かけてリリースしてきた全9巻のシリーズ企画『ひとびとの精神史』の最終巻にて、執筆陣のひとりとして参加させていただきました。7月26日発売です。このシリーズは、第二次世界大戦の敗戦以降、現在に至るまでのそれぞれの時代に、この国に暮らすひとびとが、何を感じ考えたか、

するからだ』(医学書院)を下敷きに、いつもとは少し違うやり方に介護のからだを向け直す方法について、創造的なからだの使い方に関わってきた三人が語ります。介護に関心のある方だけでなく、声とからだの使い方に興味のある方ならどなたでもご参加ください。(企画概要より抜粋)

▶詳細はこちらへ

9月3日(金) 東京・3331アーツ千代田 (新着)



「現場から言葉をつむぐ」ゼミナール・発表会

2016年5月より「自らの活動を客観的に捉え、言語化し、他者に伝えていくこと」に取り組んできた連続講座「現場から言葉をつむぐ」ゼミナール。このたび、その集大成として、ケア、アート、教育、地域などの分野で多様な活動に携わる16名の受講生が、自らの「伝えたいこと」を発表する会を行います。現場からつむがれる言葉に出会いに、ぜひお越しください!※満員御礼につき、募集を締め切りました。

「現場から言葉をつむぐ」ゼミナール・発表会 ■日時：2016年9月2日(金)19:30-21:30(開場：19:15) ■会場：アーツカウシル東京 ROOM302 ■定員：20名 ■参加費：無料 ■ゲストコメンテーター：アサダワタル(日常編集家) ■講師：梶谷真司(東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属 共生のための国際哲学研究センター (UTCP) センター長) ■主催：東京都、アーツカウシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、特定非営利活動法人多様性と境界に関する対話と表現の研究所(企画概要より抜粋)

▶詳細はこちらへ

として関わっています。この4月から定期的に、カフェここいまに集う患者さん(ここいまメンバーズと呼ばれています)を対象にいろんな表現に触れてみるワークショップを行います。今回は「障害」をテーマに取り上げます。介するのは、ウィーンのグギング芸術家の家を舞台にした映画『遠足~Der Ausflug~』。カフェなのでももちろん関係者以外でも入れますし、ぜひこの様子を気軽に覗きに來てもらえたらと思うのです。コーヒーも軽食もおいしいですよ。(企画概要より抜粋)

▶詳細はこちらへ

7月3日(日) ライブ(ソロ) 京都・UrBANGUILD (新着)



『assolo festa!“onda”(単独たちの休日!波編)』UrBANGUILDでステキなソロ弾き語りフェスにお招きいただきました。タイトルは『assolo festa!“onda”(単独たちの休日!波編)』。ぜひ遊びにきてください。昼間っからやし子連れも行きやすいと思います。ぜひ。◇出演：ベートルズ、アサダワタル、ジョンソントsu、にしもとひろこ(たゆたう)、yatchi(ムーズムズ)、小西ゆうじろう(ムーズムズ)◇OPEN 15:00 / START 15:30 ◇adv. 1500yen + 1drink / door. 1800yen + 1drink

▶詳細はこちらへ

6月16日(木) ワークショップ 大阪・浅香山カフェここいま (新着)



「kokoima暮らしと表現の私塾」第

なステキな場に交ぜてもらって嬉しいです。

▶詳細はこちらへ

静岡県 雑多な音楽祭典「スタ☆タン!」にて審査員を務めます



以下企画概要より。クリエイティブサポートレッツによる独自の「スター誕生」企画。僭越ながら私は審査員で参加致します(審査員がすでに濃過ぎる・・・)バリバラ(Eテレ)でも、あらびき団(TBS)でも、もちろん本家「スター誕生!」(日テレ)でも観られない様相に今から期待。我こそはという方、下記の要項をダウンロードし、作戦を練ってみてください。↓↓認定NPO法人クリエイティブサポートレッツは、障害のある人を軸に2000年より活動を行ってきました。障害のある人と向き合うなか、彼らが持つこだわりや思いの強さに、自分と他者の間にある垣根そのものが変化していくのを感じてきました。誰かを困らせちゃうようなことも、その人の魅力だと思えるんです。それは障害のある人に限定したことなく、多くの人から感じます。そんな人々を全肯定できるオーディションが「スタ☆タン!!」です。地元でしか聴けないご当地演歌歌手や、福祉施設内でスタッフと利用者が過ごしの一つとして行っている音楽、一人部屋で宅録をし自主制作CDを配るお兄さん、バイクのマフラーからゴッドファーザーを奏でる走り屋など、自身の生活に根差した音楽を奏でる人々による音楽の祭典を行いたいと考えました。それは、生活と共に在る音楽と言えるのかもしれませんが。今一度スポットライトを当て「こういう音楽もあるぜ!」と発信したい

どのように暮らしているのかを、その時代に起こった出来事との関係で、精神的に探究しようとする企てとなっています。第8巻までは各々の時代で活躍した人々についての精神的背景を、現在を生きる研究者や批評家などが紹介してゆくという体裁をとっていましたが、第9巻のみはまさに「現代=震災前後2000年以降」を扱う内容のため、この揺れ動く時代のなかで様々な領域で社会活動を行う「当事者」が自らのことを書く、という体裁をとっています。そこで、アサダにお鉢が回って来たというのは、とても恐縮なのですが、ありがたく、実に情けない、なんのドラマチックさも「運動」くささもない、等身大の「揺らぎ」について日記調で書かせていただきました。タイトルは『「私」と「社会」の狭間で「表現」し続けること』です。編著者のひとり、栗原彬先生にはこういった機会を与えてくださったことに感謝しつつ、これからの時代も自分の言葉を生み出し、自分の表現でちょっとでも社会にヘンテコな風穴を穿って、生きていこうと思います。ぜひ、皆さん、手にとってみてくださいね。

▶詳細はこちらへ



【雑誌取材】『Meets Regional』インタビュー連載「人生を狂わせた店」に登場。(新着)

今月も色々和各メディアにてアサダの活動や言葉、ご掲載いただきました。まずご紹介するのは関西が誇る名雑誌『Meets Regional』のインタビュー連載「人生を狂わせた店」に登場しています。毎回ゲストが自分の人生に影響与えた店、拠点などを現

『Meets Regional』のインタビュー連載「人生を狂わせた店」に登場しています。毎回ゲストが自分の人生に影響与えた店、拠点などを現

7月30日（土）
大阪・ゲストハウスとカフェと庭
ココルーム 203
号室（新着）



釜ヶ崎芸術大学
院・美学学会
2016「不在と表現」
ゲスト：アサダワタル（日常編集）、猪瀬浩平（文化人類学）、大東翼（建築）、鈴木一郎太（アート）、西川勝（哲学）／参加費：無料（カンパ歓迎！！）／助 成：大阪市立大学都市研究プラザ・先端的都市研究拠点「共同利用事業・共同研究公募」（企画概要より抜粋）（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

7月28日（木）
大阪・スタンダードブックストア心斎橋（新着）



「アサダワタル極つき十三夜 第七夜
アサダワタル×上田假奈代×前田有佳里×中川和彦
釜ヶ崎 × 表現（アート） × ゲストハウス！」
第七夜は先日、フィルムアート社から『釜ヶ崎で表現の場をつくる喫茶店、ココルーム』を上梓した詩人でNPO法人ココルームの代表 上田假奈代さんが、その「喫茶店 ココルーム」を発展させ、「ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム（通称；ココヤドヤ）」をオープンしたことをきっかけに企画。このココルーム、実はアサダさんの10年前の職場でもあり、かつ現在は理事を務めているそうなんです。そしてアサダさんは本書の共著者でもあるという関係。そして、もう一人は“ひととまちの

3回 ―映画『パ
イナップルツアーズ』より「麗子おばさん」を観て、
沖縄に思いをはせる・・・―

2015年12月、大阪府堺市浅香山の商店街に、「カフェこいま」がオープンしました。ここは、浅香山病院精神科病棟に長期入院している患者さんが地域での暮らしへと移行するため、写真展やささまざまな文化活動と美味しい食べ物を通じて地域交流をおこなっているカフェ。NPO法人kokoimaが運営し、アサダもここで時に音楽ワークショップをしたり、理事として関わっています。この4月から定期的に、カフェこいまに集う患者さん（ここいまメンバーズと呼ばれています）を対象にいろんな表現に触れてみるワークショップを行います。第三回は、「沖縄」にまつわる短編映画『パイナップルツアーズ』を上映したいと思います。メンバー益田敏子さんの誕生日を迎えるにあたっての「沖縄にみんなで行こう！」を実現させるための、心の準備として……。お話は3話に分かれているのですが、そのうちに第1話「麗子おばさん」（真喜屋力 監督）を観ようと思います。かつて歌がうまくて島で有名だった麗子おばさんが、「声が出なくなる」という病になり、その原因を知るために地元のユタに相談して……という珍道中。ラストがとてもステキです。40分くらいの作品。観たあとは、感想を言い合ったり、沖縄に思いを馳せたり、まったりとした時間を過ごせたらと思います。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

5月31日（火）
ライブ（ソロ）
京都・UrBANGUILD（新着）



のです。[多様な審査員があなたを待っています!!] アサダワタル（日常編集家）、石川浩司（ex.たま）、片岡祐介（音楽家）、輪島裕介（大衆音楽研究）（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

滋賀県 ボーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展キュレーター公募2016にて審査員を務めます



以下企画概要より。詳細のサイトで公募要項をダウンロードの上、関心がある方はぜひチャレンジしてみてくださいね。「アール・ブリュット」という概念をひとつの契機にしながらも縛られすぎず、「障害×表現」の可能性をもっともっと揺らがしてゆけるようなキュレーションを、僕は観てみたいと思います。↓↓
本公募は、アール・ブリュットをはじめとする障害者の芸術文化活動に関する世の中の関心が高まる状況を背景に、この分野の更なる振興を担う新たな人材に出会うためにアール・ブリュット魅力発信事業実行委員会が実施するものです。滋賀県近江八幡市にあるボーダレス・アートミュージアムNO-MA（以下、NO-MA）では2004年の開館以来、障害の有無や表現ジャンルにとらわれず、「人の持つ普遍的な表現の力」を感じていただくことを目的に、様々なボーダー（境界）を超えていくことに主眼をおいた展覧会を企画・運営してきました。そして近年、アール・ブリュットをはじめとする障害者の芸術文化活動に関する世の中の関心は確実に高まってきています。このような状況を背景に、この分野の更なる振興を担う新たな人材に出会うために、NO-MA企画展（平成28年度冬）の

地にて語ってゆくコーナーですが、大阪市天王寺区にあるお寺「應典院」を。演劇関係者には「劇場」として知られているこの寺院は、もちろん劇場としての機能だけでなく様々なアート、福祉や教育、地域にまつわる活動を「お寺」としてのアイデンティティをしっかりと核にしながら展開しています。本誌では、20代後半に契約職員として勤め、この寺院および築港で行っていたアートプロジェクトのディレクターを務めた経験、あるいは「お寺」という存在に出会った変化などについて語っています。よければ書店でもコンビニでもぜひお手にとってみてください。ちなみにこの應典院、今年に入って体制がアップデート。新生 秋田光軌主幹が現場を切り盛りされています。ぜひ今後の應典院の場の開き方に、注目してくださいね。

▶詳細はこちらへ



【雑誌取材】『田舎暮らしの本』（宝島社）にて住み開き提唱者としてインタビュー掲載。（新着）

宝島社の『田舎暮らしの本』の9月号で、島根県雲南市の三瓶夫妻の実践の紹介とともに、提唱者としてのコメントインタビューを受けました。

▶詳細はこちらへ



【雑誌取材】雑誌『ソトコト』の特集にて住み開き提唱者としてインタビュー掲載。（新着）

『ソトコト』9月号の特集「ひとがつなが

想いを贈る”を合言葉に、noiie（ノイエ）という商号で執筆・取材・編集・撮影・企画をされている前田有佳利さん。前田さんは現在和歌山でゲストハウス紹介サイト「FootPrints」を運営しています。もちろん、そこでもココルームが紹介されています。そんな二名のゲストを交えて、「そもそも表現の場とゲストハウスってどういったつながり？」「釜ヶ崎って行ったことないけどどんなところ？」「その釜ヶ崎でゲストハウスをするって（しかもアート寄りな）、ゲストハウス業界的にはどういう意味があるの？」などなどを語り合いながら、社会活動として注目をあつめるココルームが考える表現（アート）と、ただの宿としてでなく多様な人達が交流しあうコミュニティの場として注目されるゲストハウスという存在が、どのような化学反応を起こせるのか、店主中川も加わりがつつり語りあいます。ぜひご参加ください！（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

7月26日（火） 大阪・大阪市生涯学習センター（新着 ※非公開）



いちょうカレッジ コミュニティデザインコース「ゆるやかにまちとつながる場をつくる」一昨年もお招きいただいたいちょうカレッジに再び登壇します。今回は住み開き511主宰の田中冬一郎さんとのトークです。

6月25日（土） 大阪・スタンダードブックストア心斎橋（新着）

アサダワタル ソロCD「歌景、記譜、大和川レコード」発売記念イベント『私たちが想像する棚』5末に京都で僕もレコ発兼ねてこんなイベントが企画されています。関西での音楽的出会いが凝縮されたイベントになりそうなのでぜひ来てほしいです。→出演：池永正二（あらかじめ決められた恋人たちへ）、巨人ゆえにデカイ、もぐらが一周するまで、アサダワタル(with 中尾眞佐子 from INDIAN NO ECHO SIGN BINE NO!!)／DJ：デリヘル美／フライヤーデザイン：内田ユッキ

▶詳細はこちらへ

5月26日（木） ワークショップ 大阪・浅香山カフェこいま（新着）



「kokoima暮らしと表現の私塾」第2回 一映画『赤い風船』で飛べるところまで一

2015年12月、大阪府堺市浅香山の商店街に、「カフェこいま」がオープンしました。ここは、浅香山病院精神科病棟に長期入院している患者さんが地域での暮らしへと移行するため、写真展やささまざまな文化活動と美味しい食べ物を通じて地域交流をおこなっているカフェ。NPO法人kokoimaが運営し、アサダもここで時に音楽ワークショップをしたり、理事として関わっています。この4月から定期的に、カフェこいまに集う患者さん（ここいまメンバーズと呼ばれています）を対象にいろんな表現に触れてみるワークショップを行います。第二回目はフランス・パリの街中を舞台に、少年と風船との“友情”を描いた短編ファンタジー作品の上映と語り。アルペール・ラモリス監督の作品で、第29回（1956年）アカデミー賞において脚本賞を、第9回

キュレーターを公募します。応募資格は国籍・年齢・性別、資格・経験の有無、個人・団体すべて不問です。アール・ブリュットに魅力を感じ、自らの言葉でその魅力を語れる人材に出会えることを楽しんでいます。

▶詳細はこちらへ

滋賀県 「美の滋賀」創造事業スーパーバイザーに就任



2013年度から関わっている滋賀県の「美の滋賀」プロジェクト。滋賀県ならではの美を暮らしとともに考え、再発見し、発信してゆく文化プロジェクトとして事業継続しています。昨年までの三年間はトータルコーディネーターとして、参加プログラム間のファシリテートなどをしてきましたが、今年2016年度から新たにスーパーバイザーに就任し、プログラム全体の方向性の監修や、運営スキームの構築などを担わせていただくことになりました。どうぞ引き続き、「美の滋賀」に関心に向けていただければ幸いです。

▶詳細はこちらへ

「音遊びの会」にて10周年記念公演に向けたワークショップを実施中



今年の1月～2月に合計4回「音遊びの会」の10周年記念公演のゲストとして隔週でワークショップを担当しています。本番は3/13に神戸シーベックホール。ぜひ楽しみにしてください。

▶詳細はこちらへ

滋賀県第12回滋賀県施設合同企画展のアドバイザーとして「ingスーパーリサイタル〜

る家とまち」にて、『「家」という場でつながるということ。アサダワタルさんの「住み開き」2016年論。』というインタビューが掲載されました。住み開きという概念・行為を提唱して7年ぐらいが経ちましたが、ほんとに自分の手元を離れて増殖しているなかで、いま考えていることを比較的素直に話し、しっかりとまとめていただいたと思います。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ 「Glow～生きることが光になる～」 真毎週金曜 21時30分～21時55分放送！ 2016年8月のゲスト 「男の宝塚」評論家 今井英雄さん（新着）

今日は、大手損害保険会社勤務のかたわら、「男の宝塚」評論家として、金融誌のコラム連載や地元の市民大学での講演などでご活躍の今井英雄さんをお招きします。今井さんはまたアール・ブリュットのファンとしてこれまで様々な展覧会やアール・ブリュットにまつわる企画に参加されてきました。今日はそんな今井さんになんとこれまでにないい切り口、「アール・ブリュットと宝塚歌劇の共通点」をテーマに語っていただきます。放送日は8月26日（ポッドキャストは翌週火曜日に配信）です。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! 一記憶が編みなおされる時一』開始。（新



「アサダワタル極
つき十三夜 第六夜
アサダワタル×竹
村匡己(『Meets
Regional』編集
長)」

第六夜はお昼の開
催！雑誌『Meets
Regional』編集長・
竹村匡己さんがゲストで登場です。初対
面となる今回のトー
クで、アサダさんに
聞きたいこととは？
「コミュニティって
何？ 町内会、女子
会、ミナミ的なノ
リ、オタク…全部コ
ミュニティだと思っ
ます。人見知りで、
無趣味な人間は、コ
ミュニティに入れな
いのか？ コミュニ
ケーションとコミュ
ニティ、って、なん
だよ、みたいなこ
と・・・等々。あ
と大和川についても
語りたいです。」ど
うやら聞きたいこと
がいっぱいようで
す。大阪生まれのア
サダさんと、大阪を
代表する雑誌編集長
の二人に、店主中
川が加わり、鼎談を
開催！ぜひご参加く
ださい！（企画概要
より抜粋）

[▶詳細はこちらへ](#)

6月24日（金） 三重・皇學館大学 学（新着）



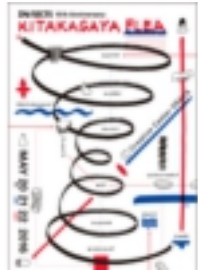
三重県は伊勢にある
皇學館大学の「図書
館サービス学」にお
いて「表現を介した
コミュニケーション
デザイン論」のゲスト
講義をさせていただきます。一応、誰でも
参加できるとのこと
です。文学部棟にて
16時半から。

6月17日（金） 福岡・久留米 出 会いの場ボレボレ 室（新着 ※非公 開）

（1956年）カンヌ国
際映画祭において短
編パルム・ドールを
受賞したらしい。先
日アサダが2歳の娘と
観て「面白かつ
た！」と言わしめた
とてもステキな映画
を観た後、まったり
と語らしましょう。
（企画概要より抜
粋）

[▶詳細はこちらへ](#)

5月22日（日） ライブ（ソロ） 大阪・クリエイテ ィブセンター大阪 （CCO）（新 着）



『KITAKAGAYA
FLEA
Performance』
いつもお世話になっ
ている大阪が誇るカ
ルチャー誌
『IN/SECTS』を発
行するLLCインセ
クツのイベントにライ
ブ出演します。二日
間開催のうちアサダ
の出演は二日目で
す。以下概要です
→2016年、LLCイン
セクツは会社創立10
年を迎えます。その
節目として大阪・北
加賀屋にて音楽、演
劇、美術、農業、建
築、デザインなどの
表現やものづくりに
携わる作家、生産者
とともに領域を越え
て交わり、参加者と
ともにその可能性を
探る試み

「KITAKAGAYA
FLEA」を開催いたし
ます。みなさん、ぜ
ひご参加ください。
出演：アサダワタル
おぐらと森とチャ
ーケン 金氏徹平
劇団 子供鉅人 佐伯
真有美（オニ from
あふりらんぼ）、し
まおまほ DJ威力
辺口芳典 ゆうき
（オオルタイチ+ウ
タモ）、ほか

[▶詳細はこちらへ](#)

5月21日（土） ライブ（ソロ） 滋賀・サケデリッ クスペース酒游館 （新着）



僕らの終わらない ステージ〜 舞台 監督担当



展覧会関連ラストイ
ベント「ingスーパ
ーサイタル！！～僕
らの終わらないステ
ージ。でも（内容
は）気分によって変
わります～」が、近
江八幡は酒游館にて2
月13日13時半から開
催。障害のある人
各々の日々の生活か
ら生まれた歌、太
鼓、長い紐振り、武
士コスプレに演歌カ
ラオケ、ダンスなど
など。展覧会では見
られない表現を集め
たプログラムで、出
演者（映像出演2名含
め）8組の「らしさ」
溢れる圧巻のステー
ジで会場が一体にな
る瞬間が多々ありま
した。

[▶詳細はこちらへ](#)

東京都小金井市の PJ『小金井と私 秘かな表現』の レポートブログ開 設



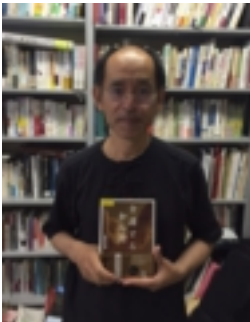
アーティストのアサ
ダワタルさんと、能
楽師の津村禮次郎さ
んを中心に、小金井
の地域資源を活かし
た表現活動を作り上
げるワークショップ
を、あらゆる世代の
方を対象に、今年度
から3年間の計画で
行います。伝統芸能
から現代アートまで
多様な芸術文化を体
験し、日々の暮らし
の中からの新しい発
見につなげていきま
す。今年度は、演じ
る、奏でる、描くな
どのさまざまな表現
に触れ、新たな視点
を築きます。（以
上、企画事務局サイ
トより転載）←その
様子をレポートする
特設ブログが開設し
ましたのでどうぞご
覧ください。

[▶詳細はこちらへ](#)

滋賀県 地域の元 気創造・暮らしア ート事業（美の滋 賀）の

【着】
『メモリックス!!
記憶が編みなおされ
る時』という、「記
憶×表現」という僕の
創作の下地になっ
ているようなテーマを
展開していきます。
どうぞ読んでみてく
ださい。

[▶詳細はこちらへ](#)



【ラジオ】KBS 京都ラジオ 「Glow～生きる ことが光にな る～」真毎週金曜 21時30分～21 時55分放送！ 2016年7月のゲ スト 滋賀県立大 学教授 細馬宏通 さん（新着）

細馬さんは現在、お
勤めの大学でコミュ
ニケーション論を担
当されながら、2006
年から介護現場での
観察研究を始め、利
用者やスタッフの会
話にあらわれる身体
動作を観察されてき
ました。そして、障
害のある人々と共同
で行う即興演奏に参
加されたり、またア
ール・ブリュットの
創作現場の造形活動
現場に足を運ばれる
など、この広い意味
での「福祉」現場で
発生しているコミュ
ニケーションに独自
のまなざしを向けて
おられます。今日
は、つい先月、医学
書院から出版された
『介護するからだ』
の紹介を中心に、細
馬さんならではの驚
きの視点を、現地レ
ポーターの田端一恵
さんも交えてお届け
します。放送日は7月
22日、29日、8月5
日（ポッドキャスト
は翌週火曜日に配
信）です。

[▶詳細はこちらへ](#)



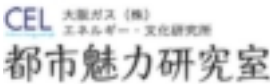
【連載】雑誌『ソ トコト』『メモリ ックス!! 一記憶 が編みなおされる



『福祉×アート×まちづくり』～ 日常におもしろい種がある！ ～

「福祉」「アート」「まちづくり」の掛け算をすると…思いつきますか？ 今、一つの分野にとどまらず、いろいろな分野と混ざり合い、日常そして社会を変えていこうとする活動が全国で生まれています。今回、ご講演いただくアサダワタルさんは、まさに「福祉×アート×まちづくり×…」の実践者です！「表現と暮らし」をテーマに、地域づくりや障害福祉、キャリアデザインや住宅政策などの様々な分野で活躍、講演をされています！さあ、どんな取り組みが聞けるのか楽しみです♪（企画概要より抜粋）

6月9日（木）大阪・CEL都市魅力研究室（新着 ※非公開）



「コミュニティ&リビング勉強会」ゲストコメンテーターとしてお招きいただき、濱恵介氏（UR都市デザインアドバイザー、元CEL顧問）とお話します。

6月4日（土）滋賀・長浜曳山博物館伝承スタジオ（新着）



第3回近世城下町ふるさとまつりまちづくり交流会
近世城下町を有する地域の方々が、「城下町」をテーマに現在取り組んでいる特色あるまちづくりの事例発表後、パネルディスカッションを開催。アサダは基調

滋賀で初めてまともにソロでライブします。縁があり酒遊館さんにお招きいただき、学生時代から交遊がある共演者とともに。ぜひお越し下さい。出演：アサダワタル／久保田健司、久保田愛子、小関千恵
18時開場 18時半開演。入場料（ドリンク付 地酒のみおかわり自由）予約2500円 当日3000円。問い合わせは0dx00r60785406s@ezweb.ne.jp

▶詳細はこちらへ

4月24日（日）ライブ（ソロ）＋トーク 京都・福知山 山山アートセンター（新着）



アサダワタル（日常編集家）×イシワタマリ（山山アートセンター）
何気ない暮らしに埋もれる「音楽」を掬いあげよう
日本全国各地を飛び回り、生き方や働き方そのものを「表現」として追求するミュージシャン／作家、自称「日常編集家」のアサダワタルを、このたび、このあたり（京都府福知山）にお迎えします。ギター弾き語りを中心とするアサダの音楽を、イシワタマリが色とかたちに変換してその場で描き留めたあと、ふたりがお互いの表現やその活動について、質問したりされたりします。
チューニング、リハーサル、メトロノームの音。雨の音、遠雷、風、子どもの声。それらの音と渾然一体となりながら「曲」が聴こえてくる新譜CD『歌景、記譜、大和川レコード』（路地と暮らし社／2015年12月）では、「曲」とは、「音楽」とは何か、という認識が揺るがされます。
今回のライブの主役は、「れっきとした音楽を静かに鑑賞できる有識者たち（？）」ではありません。主役はむしろ、自由に退屈して

FaceBookページで充実のフォトレポート公開中



2013年度からトータルコーディネーターとして関わっている滋賀県の「美の滋賀・地域づくり事業」の各地プログラムが連日開催されています。公式Facebookページでは、その様子を充実のフォトレポートでお伝え中。ぜひ、滋賀県のような「美」に触れていただければ嬉しいです。

▶詳細はこちらへ

東京都小金井市のPJ『小金井と私の秘かな表現』の企画監修を務めます



アーティストのアサダワタルさんと、能楽師の津村禮次郎さんを中心に、小金井の地域資源を活かした表現活動を作り上げるワークショップを、あらゆる世代の方を対象に、今年度から3年間の計画で行います。伝統芸能から現代アートまで多様な芸術文化を体験し、日々の暮らしの中からの新しい発見につなげていきます。今年度は、演じる、奏でる、描くなどのさまざまな表現に触れ、新たな視点を築きます。期間：10月～平成28年3月（全6回）／ところ：市内施設 ※開催内容によって会場が異なります。／対象：市内在住・在勤・在学の小学校4年生以上の方／定員：25人（多数抽選）／参加費：500円（保険料・資料代）／共催：東京都、（公財）東京都歴史文化財団（以上、企画事務局サイトより転載）

▶詳細はこちらへ

滋賀県第12回滋賀県施設合同企画展のアドバイザー

時一」開始。（新着）

『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。どうぞ読んでみてください。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ生出演】KBS京都ラジオ「ファミリーレストランのめっちゃうま」に出演。7月11日15時10分から。（新着）

いつも自分がパーソナリティやってる番組「Glow」でもお世話になっているKBSラジオさんから「吉本芸人のファミリーレストランさんの番組に出演されませんか？」というオファーをいただきまして、そこでアサダの創作古典芸能「DJ話芸」を披露することになりました。15分くらいの枠だからサワリだけですが、お笑い芸人さんからぜひこの芸を忌憚なく批評していただき 싶습니다。放送は11日（月）の15時10分くらいからです。関西の方ぜひ。

▶詳細はこちらへ



【インタビュー記事掲載】求人転職サイト「meeta MAGAZINE」にて働き方に関するインタビュー。（新着）

求人転職サイトとしてご存知の方も多いと思います『meeta（ミータ）』のウェブマガジンにて、働き方悩み相談に関するインタビューが掲載されました。僕自身30代になってキャリアデザイン関係の大学講師などをいくつかや

講演「まちとの関わり方を変えるアートプロジェクトの可能性 ―文化と歴史資源をきっかけに―」とディスカッションのファシリテーターを担当します。

▶詳細はこちらへ

6月3日（金）東京・明治学院大学（新着 ※非公開）



明治学院大学にて「ボランティア論」のゲスト講師としてお声かけいただきました。学生さんと色々と交流できればと思います。

5月19日（木）大阪・スタンダードブックストア心斎橋（新着）



「アサダワタル極つき十三夜 第五夜 アサダワタル×西野亮廣(キングコング)」スタンダードブックストアのお抱え芸人(!?)として、2016年一年間通じてアサダがレギュラー出演するイベントにて、吉本芸人であり様々なジャンルを越境するクリエイターでもある西野亮廣さんと対談およびミニライブ（多分）することになりました。「なんでこの組み合わせ？」って感じでしようけど、実は、2014年末に上梓した『コミュニティ難民のススメ』を彼が読んでとても共感してくださったのがきっかけなんですね。FB経由で突然、「はじめまして。西野亮廣と申します。」とメールいただいたのが最初の出会いでしたが、まだ直接お会いしたことはないのです。このテーマにおいて、どんなボーダレスな対話が繰り広げられるのか。きっと西野ファンが多数来られるかと思いま

ぐずり出したり窓の外をぼんやり眺めていたかと思えば突然音に乗って踊ったり笑ったりしてしまう、そんな、場の空気を敏感に感じ取らずにいられない子どもたちです。毎日をきちんと上手にやり過ごせる大人たち、実はやり過ごせていないけれど大人のふりをしている大人たちも、そこに居わせてほしいと思います。そして、誰しもかつては子どもであったことを思い出しながら、何気ない暮らしに埋もれる「音楽」を掬いあげるきっかけをつかむことができれば。（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

4月21日（木）ワークショップ大阪・浅香山カフェこいま（新着）



「kokoima暮らしと表現の私塾」第1回 一田中未知の『質問』に答えるー2015年12月、大阪府堺市浅香山の商店街に、「カフェこいま」がオープンしました。ここは、浅香山病院精神科病棟に長期入院している患者さんが地域での暮らしへと移行するため、写真展やさまざまな文化活動と美味しい食べ物を通じて地域交流をおこなっているカフェ。NPO法人kokoimaが運営し、アサダもここで時に音楽ワークショップをしたり、理事として関わっています。この4月から定期的に、カフェこいまに集う患者さん（ここいまメンバーズと呼ばれています）を対象にいろんな表現に触れてみるワークショップを行います。第一回は、田中未知さんの名著『質問』を読んで、みんなでその質問に答えてみたいと思います。基本メンバーさん対象ですが、ぜひカフェこいまには色んな人に来てもらいたいで、ご関心ある方は

を務めます



毎年、ボードレス・アートミュージアム NO-MAで開催される滋賀県施設合同展「ing…障害のある人の進行形」はもうなんと12年目で、かつ、おこがましくも今回、パラモデルの中野裕介さんとペアでアドバイザーとして関わらせていただいております。正直、とても全部見切れないほどの作品を各々の福祉施設のスタッフの方々に愛をもって紹介していただきながら、NO-MAの空間へと具体的に馴染ませていく、その営みを繰り返して展覧会へと編み上げていく。そんなステキな場に交えてもらって嬉しいです。今後の動きに乞うご期待。

▶詳細はこちらへ

滋賀県 地域の元気創造・暮らしアート事業（美の滋賀）トータルコーディネーターに就任



2013年度から関わっている滋賀県の「美の滋賀・地域づくり事業」が名称を変えてより事業の仕組みも充実して「地域の元気創造・暮らしアート事業」となりました。一昨年、昨年に引き続き事業の企画会議などのファシリテーションを行なうトータルコーディネーターに就任しましたので、どうぞ関心を寄せてください。

▶詳細はこちらへ

京都精華大学ポピュラーカルチャー学部非常勤講師に就任



ってきましたが、そんなのもちろんぶっちゃけ「後付け」ではあります。でも、明確な「夢」を持ちきらなかったのと、職業的な希望よりもしたいことと稼ぐことのハザマをデザインするみたいなことを目指してきたので、そのことに関しては言えることがあるかもしれないですね。まあこれから先も多分だいぶんフラフラと周囲を困らせ続けると思いますが、まずは若者（!?) よ！と偉そうに言えんが、ぜひ興味持ってみてください。

▶詳細はこちらへ



【新刊共著】『釜ヶ崎で表現の場をつくる喫茶店、ココルーム』（フィルムアート社）、6月21日発売（新着）

長年関わっているココルームにまつわる書籍が出ました。書籍企画の構想、1本の寄稿、1本のインタビュー編集を担当しました。ぜひ読んでくださいね。↓↓アートNPOこえとことばとこころの部屋＝通称「ココルーム」の15年の歩みと、釜ヶ崎芸術大学 2003年、大阪市との協働事業として「新世界」で生まれた「NPO法人こえとことばとこころの部屋」、通称ココルームによる活動記録と、その精神性、社会への提案を伝える1冊。谷川俊太郎/鷺田清一/森村泰昌×著者との対談3本、栗原彬の特別講演録を収録。西川勝、坂上香、岸井大輔、猪瀬浩平、倉田めば、松本裕文、アサダワタル、山田創平、剣樹人、岩橋由莉、鈴木一郎太、甲斐賢治、横山千秋、山田實、他、ココルームスタッフや関係者らによる寄稿。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

すが、どうぞそう
いた視点からも、い
ろいろと楽しんで
いただければと思
います。繋ぎ手は
もちろんスタン
ダードブック
ストア社長の中
川和彦さん。

▶詳細はこちらへ

4月10日（日）
東京・中目黒Tur
aus Holz（トゥ
アーアウスホル
ツ）（新着）



アサダワタル × 小
野博 「社会の風穴
から見える風景」
モ・クシュラから
の第一弾『世界は
小さな祝祭であ
ふれている』（
2012年）の著
者でアムステル
ダム在住の写真
家・小野博さん
と、2015年末
に新刊『表現の
たね』を刊行さ
れたアサダワタ
ルさんのトーク
イベントを開催
します。場所は
、内藤正雄さん
がプロデュース
する中目黒のガ
ラリー「Tur aus
Holz（トゥアー
アウスホルツ）」
にて。トークで
は、世界70ヶ
国、100都市以
上を歩き、戦地
や廃地を巡った
写真家の小野博
さんと、日本各
地を創造的に漂
泊する作家・ミ
ュージシャンの
アサダワタルさ
んが、日本とオ
ランダをめぐる
「社会の風穴か
ら見える風景」
について語りま
す。アサダワタ
ルの「歌景、記
譜、大和川レコ
ード」よりミニ
ライブ、小野博
さんの次回新刊
にて収録予定の
写真よりスライ
ドショーもあり
ます。ぜひ、お
気軽にお越し
ください。（イベ
ント概要より抜
粋）

▶詳細はこちらへ

4月8日（金）大
阪・スタンダード
ブックストア心
斎橋（新着）



遊びにきてくだ
さい。時間は15
時半～17時、場
所はカフェここ
いま（堺市堺区
香ヶ丘町1丁7
-8）、見学、参
加される際はド
リンクか食事
をご注文くだ
さい。（企画概
要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

3月28日（日）
ワークショップ
（SjQ）大阪・
enoco（新着）



親子でつくるワ
ークショップ・わ
が家の「・・・」
上級編／わが家
の…を作ろう！
講師：SjQ(音楽
ユニット
今年もやります
、親子で作るワ
ークショッププ
ログラム「オヤ
トコエノコ」！
今回は、日常生
活の中にあふれ
ている「音」と
「動き」をテー
マに、初級・中
級・上級の3つ
のプログラム
を実施します。
／部屋に並べら
れた様々な「モ
ノ」や簡単な
「動きのルール
」を組み合わせ
ながら自由に、
わたしたちな
りの「音楽」を
創作します。参
加する親子のみ
なさんが音楽家
！音を感じ、音
楽のやりとりを
通じて創造力を
育むワークショ
ップです。（企
画概要より抜
粋）

▶詳細はこちらへ

3月19日（土）
ライブ（ソロ）
神戸・ピックアップ
ブル（新着）



アサダワタル ナ
ガオクミ DUO
ナガオクミ（vo
cal）アサダワ
タル（guitar.vo
cal）初のDUO
！
open18:30/sta
rt19:30
予約¥2300/当
日¥2500

▶詳細はこちらへ

3月13日（日）
ライブ（音遊び
の

2015年度から「
ソーシャルデザ
イン演習」とい
うコマを週二コ
マ通年担当しま
す。

▶詳細はこちらへ

11月20日（木）
SjQ++「第50
回Inter BEE
2014（2014年
国際放送機器
展）」千葉・幕
張メッセ（新着）



「SjQ++」とし
て、11月19日
～21日に幕張
メッセで開催
される「第50
回Inter BEE
2014（2014
年国際放送機
器展）」（主
催：一般社団
法人子情報技
術産業協会）
の中で開催さ
れるアニバー
サリー・ライ
ブパーティー
（共同企画・
制作：ライゾ
マティクス）
に出演しま
す。ご関心あ
る方は詳細の
プレスリリー
スをご参考
に。

▶詳細はこちらへ

2014年度「美
の滋賀」づくり
プロジェクト
トータルコー
ディーター
として各企画
視察など開始。
（新着）



滋賀県が推進
する「美の滋
賀」地域づく
りモデル事業
。各参加事業
の情報共有や
発信にまつわ
るファシリテ
ーションを担
当するトータル
コーディネー
ターとして関
わらせてもら
っています。→
アートや暮らし
・生活文化の
中にある美の
資源を育てたり
、発信したり
することによ
り、「美の滋賀」
の土壌となる
、多様で持続
的なつながり
の形成や魅力
ある地域



【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生き
ることが光にな
る～」真毎週金
曜21時30分～
21時55分放送
！2016年6月の
ゲスト 見沼田
んぼ福祉農園
事務局 長、明
治学院大学 准
教授 猪瀬浩平
さん（新着）

猪瀬さんは明
治学院大学で
ボランティア
学の教鞭をと
りながら、埼
玉県さいたま
市の見沼田ん
ぼをフィールド
に、「福祉」と
「環境」活動
をかけあわせ
た取り組みで
ある見沼田ん
ぼ福祉農園を
継続的に展開
されています
。障害のある
人も、シニア
世代も、大学
生も、地元の
人も、よそ者
も、様々な立
場の人がこの
見沼田んぼ福
祉農園での農
業を通じて、
新しいコミュニ
ティを生み出
している、そ
んなプロジェクト
のお話をぎっ
かけに、福祉
現場における
表現活動の可
能性など、幅
広くお話いた
だきます。放
送日は6月17
日、6月24日
（ポッドキャ
ストは翌週火
曜日から配信
）です。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌『
ソトコト』「メ
モリミックス
!! 一記憶が編
みなおされる
時」開始。（新
着）

『メモリミッ
クス!! 記憶が
編みなおされ
る時』という
、「記憶×表現
」という僕の
創作の下地に
なっているよ
うなテーマを
展開していき
ます。どうぞ
読んでみてく
ださい。

▶詳細はこちらへ

「アサダワタル極つき十三夜 第四夜～本の“流れ”を追う。これからの本の在り方」

日常の事柄を編集し、表現(文章、映像、音楽、写真、ウェブ、イベント企画、プロジェクトetc)する「事編kotoami」主宰の日常編集家・アサダワタル。文章を書くことはもちろん、音楽家としての活動や、ラジオパーソナリティ等、様々な顔を持つこのスーパーボーダレスな人物を、2016年の1年間をかけて毎月解剖し、白日の下に晒してしまおうという趣旨のイベント。

第四夜のテーマはズバリ「本」。今回、新著と新譜（CD）という異なるメディアで作品を発表したアサダさんが着目したのは、「同じコンセプトで作った二作品でも、メディアが違えばまったく流通の仕方が違う！」「既存の流通ルートでは、なかなか二つを同時に展開するのがムズカシイ！」という事実だったとか。そこで、メディアの特性を活かしつつも、でももっと自由に作品を世に広めるための方法について、まずは「本」を皮切りにしながら語り合う座談会を行います。多様な表現活動をもくろむアーティストや編集者、文化系の企画者にはとりわけぜひお立ち会いたいいただきたい！

ゲストには、これまで書店員としての長年の経験から「本」の在り方についての鋭い批評を行ってきたジュンク堂書店難波店店長の福嶋聡さん、アサダさんの新著と新譜を手掛けたモ・クシュラの太谷薫子さん（from 横浜）、路地と暮らし社の横山千秋さん（from 岡山）、そして当店代表・中川も交え、「本」のこれからの面白い「流れ方」を追求します。（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

4月3日（日）大阪・釜ヶ崎 cocoroom（新着）

会 ゲスト参加）神戸・ジーベックホール（新着）



音遊びの会10周年記念公演『ほんものの誕生』

2005年9月、当時の神戸大学大学院生が集まり、新しい音楽を見つけようと始まった音遊びの会。即興音楽家やアーティスト、一般公募の知的な障害のある人とその保護者と共に活動を続け、1年で終了の予定をはるかに超えて10年を迎えました。瞬間瞬間を紡ぐ即興音楽がじわじわと熟成されていく過程は、親密な関係が作られていくと共に異質な価値観をどんどん飲み込むもので、出来事は常に驚きの連続でした。本公演は、多くの方に愛され続けてこられたことを感謝すると共に、まだ見ぬ音を探し続ける旅の新たな第一歩となるものです。ぜひお楽しみください。企画：沼田里衣／主催：音遊びの会／協賛：TOA株式会社／制作協力：株式会社ジーベック ゲスト アサダワタル、梅田哲也、テニスコーツ（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

3月12日（土）ライブ（ソロ）京都・HAPSスタジオ（旧・新道小学校）（新着）



音楽ライブ・トーク『表現のたね・歌の景色～アサダワタル新著&新譜リリース記念ライブ&トーク～』

“日常編集家”アサダワタルの新著『表現のたね』（モ・クシュラ）と新譜『歌の景色、記譜、大和川レコード』（路地と暮らし社）のリリースを記念して、小さな音楽会（と談話）を開催。前回は大阪のお寺 大蓮寺。今回は

づくりを進めるモデル事業を、滋賀県内の活動団体に委託して実施しています。公式facebookページ（外部サイトヘリンク）で各団体の情報などを提供しています。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

10月12日（日）東京藝術大学「アートプロジェクトにおける“音”の記録研究チーム」にて野村誠 千住だじゃれ音楽祭「千住の1010人」でラジオプログラム実施・足立市場（新着）



アートプロジェクトにおける「音」の記録研究

2013年度から東京藝大×東京都による研究プロジェクトで研究協力者として参加しています。昨年のレポートは「詳細はこちら」をご覧くださいね。東京芸術大学熊倉研究室では、一昨年度からの「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」の開催をうけ、アートプロジェクトにおける「音」の記録研究に取り組むこととなりました。本研究は「東京アートポイント計画」のリサーチプログラム「Tokyo Art Research Lab」の一環として実施されます。多様化するアートプロジェクトにおいて、一般的なコンサートなどの「音楽」の記録(録音・録画)ではなく、アートプロジェクトの現場で鳴らされた「音」の記録についての考え方や手法を研究していきます。本日は、研究協力者であるアサダワタル氏、須之内元洋氏、さらに音まち千住の縁ディレクターである清宮陵一が、普段「音」にまつわるどのような活動をしているのかを紹介します。そして、「音の記録」をなぜ研究すべきか、というベースとなる問題意識について話しながら、そこにどんな可能性があるかについて考



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送！2016年5月のゲスト 新潮社『芸術新潮』編集者、伊熊泰子さん（新着）

伊熊さんは小中高と滋賀県大津市で過ごされて、大学進学を機に上京。そのあと、新潮社にて写真週刊誌「FOCUS」、月刊誌「芸術新潮」、隔月刊誌「旅」などの編集者としてご活躍されてきました。滋賀県とも縁が深い彼女は数年前から滋賀県固有の文化、美の力、そしてアール・ブリュットにも関心を寄せています。そんな伊熊さんと今日は、滋賀ならではの'美'ってなに？というテーマを、アール・ブリュットも踏まえた様々なアートシーンから語っていただきたいと思います。放送日は5月20日、5月27日（ポッドキャストは翌週火曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【新連載】ウェブメディア『フレーズクレーズ』にて「kokoima実践レポート ―精神看護と居場所づくりのハザマで一」開始 第2回アップ（新着）

アサダが一年前から関わっている大阪は堺市の浅香山病院精神科病棟から始まったプロジェクト「kokoima」の現状を3～4回に分けて執筆していきます。精神看護と居場所づくりのハザマ、表現、アートを介した関係性の編み直しなどに関心がある方は

ぜひ読んで下さい。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

東京事務所開設。
新橋（銀座）の中
銀カプセルタワー
ビルにて（新着）



文筆業がメインになりつつある昨今、おかげさまで、東京での仕事の割合が増えてきていることもあり、拠点を設けることにしました。新橋駅と銀座駅の間くらいのところにある、中銀カプセルタワービルの一室を、以前から色んな実践と思索を共有してきた友人の一級建築士いしまるあきこ氏とシェアすることになった次第です。中銀は1972年に黒川紀章さんが設計された建築としてとても有名ですが、いざここで仕事・生活を始めるとなかなか面白いものだなと実感しております。現在は大体、月のうち1／4ほどは都内に滞在しておりますので、どうぞお気軽にご連絡、仕事のご依頼などお待ちしております。そしてタイミングあう際はぜひオフィスに遊びにいらしてください。〒104-0061 東京都中央区銀座8-16-10中銀カプセルタワービルB908（※郵便物はこちらから指定しない限りは原則、滋賀のオフィスにお願いします）

7月15日（火）
ー7月19日
（土）山口・山口
情報芸術センター
YCAM（終了）



2014年度の滞在制作は、ドラムを担当するSjQにて、YCAM InterLab+安藤洋子共同研究開発プロジェクト「Reactor for Awareness in Motion (RAM)」に参加予定。2015年1月まで何度か山口に滞在しそうです。詳



【寄稿】学芸総合誌『環』の『ジェイン・ジェイコブズの世界』にて寄稿。5月25日発売（新着）

ジャーナリスト、市民活動家として、名著『アメリカ大都市の死と生』を始めとする著作と実践で、都市計画・建築・経済学の分野でたびたび登場するジェイコブズ。彼女の生誕100年を期にだされた本誌にて、寄稿しました。僕自身はそれほど強い影響を受けたわけではないですが、いろいろ思うところはあり、大阪で携わり途中で離脱したとあるプロジェクトについて個人的に感じた葛藤をもとに比較的ライトなテキストを綴っています。素晴らしい執筆陣が揃っており、出版がとても楽しみにです。執筆陣（50音順）：アサダワタル 荒木隆人 五十嵐太郎 石川初 宇沢弘文 内田奈芳美 大西隆 岡部明子 岡本信広 片山善博 窪田亜矢 佐々木雅幸 佐藤滋 塩沢由典 管啓次郎 鈴木俊治 玉川英則 中野恒明 中村達也 中村仁 平尾昌宏 細谷祐二 槇文彦 牧野光朗 松島克守 松本康 間宮陽介 宮崎洋司 矢作弘 山形浩生 山崎亮 山本俊哉 吉川智教 吉永明弘 渡邊泰彦。詳細は藤原書店サイトへ。

▶詳細はこちらへ



【テレビ出演】SjQ++が日テレ「SENSORS」に出演。ネットでも番組&インタビュー記事配信。

京都の元 新道小学校の音楽室で開催します。お相手は、京都から行動力と批評性を兼ね備えた京都市民を目指し表現活動をし、かつアサダの学生時代のアイドルだった吉野正哲（マイアミ）。チェロ演奏から、バンド「中川裕貴、バンド」「swimm」への参加、舞台音楽なども手掛ける中川裕貴。そして大阪からは、トロンボーン演奏から、プログラミング、プロジェクト「SjQ」および「SjQ++」への参加、数々の音道具や自動販売機やオープンスペースの運営などに勤しむ米子匡司です。定員：40名 参加費：1,500円 出演：アサダワタル（作家・ミュージシャン）、中川裕貴（演奏家・音楽家）、吉野正哲／マイアミ（文化人見習い）、米子匡司（音楽家）（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

2月19日（金）
ライブ
（SjQ++）東京・
TheGardenRoom
（新着）



恵比寿映像祭2016 動いている庭ーライブ編 新しい即興音楽をうみだすオーディオ・ビジュアル・プロジェクトSjQ++、映画音楽家としても多数作品を手掛けるポストヒップホップ世代の要注目シンガーソングライター入江陽とアーティスト銅金裕司による奇跡のコラボレーション、プログラミング表現の可能性を拡張していく古館健、サイン波による参加型パフォーマンスThe SINE WAVE ORCHESTRA。テーマ「動いている庭」に関連したサイト・スペシフィックなライブが実現します。出演：SjQ++ / 入江陽+銅金裕司 / 古館健 / The SINE WAVE ORCHESTRA（企画概要より抜粋）



アトラシイココルーム ゲストハウスとカフェと庭 オープニングセレモニー 現場スタッフや理事として、長年関わって来た大阪市西成区釜ヶ崎のアートNPO・ココルームがゲストハウスの機能も交えて新たに移転、生まれ変わります。そのオープンが4月3日。そしてオープニングセレモニーイベントがありますのでぜひこそってお越し下さい。

▶詳細はこちらへ

3月26日（土）
大阪・四天王寺本坊（新着）



上町台地マイルドHOPEゾーン協議会の10年とオープン台地 大阪の上町台地の名物イベントとなった「オープン台地」。その主催団体である上町台地マイルドHOPEゾーン協議会が今年度で解散するにあたって、これからの上町台地や「オープン台地」の未来について語りあるトークイベント。2010年にオープン台地の立ち上げ、第一回の総合プロデューサーを務めた立場として、釜中悠至さんとトークイベントに登壇させていただきます。16時10分～17時10分まで。無料。詳細は改めて。

3月23日（水）
滋賀・コラボ滋賀
3階大会議室（新着）



「美の滋賀」推進

フォーラム

滋賀県では県内の13団体に委託・補助して、美の資源を育てたり、発信したりすることにより、「美の滋賀」の土壌となる、多様で持続的な人のつながりの形成や魅力ある地域づくりを進める取組を推進しています。このたび、13団体が今年度の事業成果を発表します。この内容を踏まえて、美術や暮らし・生活文化の中にある美を通じた地域づくりを考えるフォーラムを開催します。シンポジウムパネリスト（五十音順）：伊熊泰子（株式会社新潮社「芸術新潮」編集者）、上田 洋平（滋賀県立大学助教）、服部 滋樹（graf 代表、滋賀県ブランディングディレクター） 進行：アサダワタル（「美の滋賀」創造事業コーディネーター／文筆家・クリエイター／事編kotoami 主宰）（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

3月22日（火）大阪・スタンダードブックストア心斎橋（新着）



「アサダワタルの極つき十三夜 第三夜 訳書絵本『ながいながいみち』出版記念！ 建築翻訳家・牧尾晴喜さんと語る大阪の「まち」と「遊び」」 日常の事柄を編集し、表現(文章、映像、音楽、写真、ウェブ、イベント企画、プロジェクト etc)する「事編kotoami」主宰の日常編集家・アサダワタル。文章を書くことはもちろん、音楽家としての活動や、ラジオパーソナリティ等、様々な顔を持つこのスーパーボーダレスな人物を、2016年の1年間をかけて毎月解剖し、白日の下に晒してしまおうという趣旨のイベント。第三夜は、一級建築士の資格も持ちながら、建築に

▶詳細はこちらへ

1月9日（土）ライブ（ソロ）&トーク 大阪・大蓮寺本堂（新着）



音楽ライブ・トーク『表現のたね・歌の景色～アサダワタル新著&新譜リリース記念ライブ&トーク～』 “日常編集家” アサダワタルの新著『表現のたね』（モ×クシユラ）と新譜『歌の景色、記譜、大和川レコード』（路地と暮らし社）のリリースを記念して、音楽ライブとトークを開催。ゲスト出演は、人間行動学者でミュージシャンの細馬宏通氏（かえるさん）です。日時：1/9（土）15：30～18：00 会場：大蓮寺本堂 参加費：1,500円 出演：アサダワタル（作家・ミュージシャン）、細馬宏通（人間行動学者・ミュージシャン） スペシャルゲスト：中尾真佐子（INDIAN NO ECHO SIGN BINE NO!!） 定員：30名（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

【ソロ新譜】『歌の景色、記譜、大和川レコード』（路地と暮らし社）12月20日発売！（版元サイトでは12月4日より発売中）（新着）



何気ない暮らしに埋もれる「音楽」を掬いあげよう。日常編集家・アサダワタルが織りなす、歌とサウンドスケイプが渾然一体となったコンセプトアルバム。ポストロックバンド「越後屋」や電子音楽ユニット「SjQ」のドラマーとして、またソロ名義「大和川レコード」として、関西を中心に実験的な音楽・アートシー

細は追ってお伝えします。

▶詳細はこちらへ

10月1日（火）ー10月4日（金）北海道・札幌（終了）

昨年度、トヨタ・子どもとアーティストの出会い事業にて、今度は、北海道は札幌市内の小学校を中心に繰り広げられるワークショッププログラム「アーティスト・イン・スクール～転校生はアーティスト！」に招待されることになりました。札幌市立資生館小学校で繰り広げるプロジェクト名は「歌と記憶のファクトリー」。詳しい経過は以下のブログをご覧ください。

▶詳細はこちらへ

9月16日（月）ー9月27日（金）北海道・札幌（終了）

昨年度、トヨタ・子どもとアーティストの出会い事業にて、今度は、北海道は札幌市内の小学校を中心に繰り広げられるワークショッププログラム「アーティスト・イン・スクール～転校生はアーティスト！」に招待されることになりました。札幌市立資生館小学校で繰り広げるプロジェクト名は「歌と記憶のファクトリー」。詳しい経過は以下のブログをご覧ください。

▶詳細はこちらへ

8月19日（月）ー8月23日（金）北海道・札幌（終了）

昨年度、トヨタ・子どもとアーティストの出会い事業にて、今度は、北海道は札幌市内の小学校を中心に繰り広げられるワークショッププログラム「アーティスト・イン・スクール～転校生はアーティスト！」に招待されることになりました。実は人生発の北海道です。まずは視察にいきます。

▶詳細はこちらへ

7月19日（金）ー7月21日（日）四国・高知の町

（新着）

5月15日、最先端のクリエイティブなムーブメントを紹介する番組「Sensors」にて、ドラムを担当しているユニット「SjQ++」のパフォーマンス（恵比寿映像祭）の模様や、メンバー 魚住勇太と神田竜のインタビューなどが5/15に地上波でオンエアされました。オンエア後にネット配信開始。5/22までですどうぞご覧ください。またインタビュー記事もアップされました。より深い仕組みについては記事もあわせて読んでください。ね。／ 音楽×テクノロジー「近未来型ライブ体験」UnderworldのライブをVRで同時体験、人工生命で音楽と映像を創り出すSjQ++/三村マサカズが本気でやりたい番組。MC：笹崎里菜（日本テレビアナウンサー）、ゲスト：三村マサカズ(さまあ〜ず)、SjQ++(オーディオビジュアルグリッチジャズユニット)。※上の詳細はネット配信分、下の詳細はインタビュー記事

▶詳細はこちらへ

▶詳細はこちらへ



【テレビ出演】ytv「かんさい情報ネットten.」にて住み開き特集、出演。（新着）

5月11日、ytv「かんさい情報ネットten.」の、「住み開き」の特集コーナーにて提唱者として出演。17時台の「GOGO若一調査隊」というコーナーで。堺の雑魚寝館さんや泉北のグループスコーレさんなどが登場です。

▶詳細はこちらへ



関する書籍の翻訳、まちやデザインをテーマにしたウェブマガジンの編集などを手がける「建築翻訳家」の牧尾晴喜さんがゲスト。アサダさんと牧尾さんが訳を担当した絵本『ながいながいみち』（フランク・ビバ著／バナナブックス）の出版を記念して、当店代表・中川も交え、大阪で生まれ育った3人の大の大人が「まち」にまつわる様々な遊びについて語り合います。（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

3月20日（日）滋賀・近江八幡酒遊館（新着）



講演会「そこに住む人たちとつくる展覧会——アール・ブリュットが息づく近江八幡——」
地域の人たちと美術館が力を合わせて開催する展覧会と、そこから生まれる豊かなコミュニケーションについて、文化の根付く“近江八幡”を切り口にお話しいたします。講師：井口貢（同志社大学政策学部政策学科教授）、聞き手：アサダワタル（日常編集家）（イベント概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

3月10日（木）北海道・北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」第一会議室（新着）



公開研究会「表現とかかわりー人間発達とアートの関連を考えるー」
大阪市釜ヶ崎でココルーム、釜ヶ崎芸術大学などを展開している上田假奈代氏とアサダワタル氏、札幌市を中心にアーテ

ンで活動してきたアサダワタルによる10年ぶりのソロアルバム。美しくもどこかクセがある歌と、その歌を取り囲む日常生活のサウンドスケイプが渾然一体となったコンセプトワークは、新たなアシッドフォークのスタイルとして音楽の可能性を押し広げる。また、リズムに独特な揺らぎがあるドラマーならではのソングライティング、文筆家としても活動するゆえの言葉の選び取り方にも注目してほしい。また本作は、暮らしの中に潜む何気ない現象や人の振る舞いを「表現」という視点から丁寧に綴ったエッセイ集『表現のたね』（モ*クシュラ）と同時発売となる。詳しくは下記レーベルサイトへ！

▶詳細はこちらへ

12月12日（土）ライブ（ソロ）&トーク 大阪・四貫島PORT（新着）



「暮らしと表現 Vol.4 ～日常再編集～」
ミュージシャンであり、『住み開き一家から始めるコミュニティ』『コミュニティ難民のススメ』などの著書で、表現と暮らしについての新しい視点を表明し続けるアサダワタルさんをゲストに迎え、12月に発売される新刊『表現のたね』および10年ぶりとなるソロCDアルバム『歌景、記譜、大和川レコード』を踏まえたトークとライブ、企画者とのディスカッションを行います。また、それら11月30日発売の新刊とCDも、この日に併せて購入可能です。（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

11月14日（土）ライブ（ソロ）京都・南山城村旧高尾小学校（新着）

昨年度、トヨタ・子どもとアーティストの出会い事業にて、高知県四万十市にお邪魔させていただいたことが縁で、また四国でプロジェクトにかかることになりそうです。そのプロジェクト名も「ゼニガタとるばん」。詳細は後日お伝えするとして、まずは視察に行って来ます。

6月26日（水）—6月28日（金）北海道・札幌

昨年度、トヨタ・子どもとアーティストの出会い事業にて、今度は、北海道は札幌市内の小学校を中心に繰り広げられるワークショッププログラム「アーティスト・イン・スクール～転校生はアーティスト！」に招待されることになりました。実は人生発の北海道です。まずは視察にいきます。

6月21日（金）—6月22日（土）四国・観音寺市～いの町～松山～八幡浜

昨年度、トヨタ・子どもとアーティストの出会い事業にて、高知県四万十市にお邪魔させていただいたことが縁で、また四国でプロジェクトにかかることになりそうです。そのプロジェクト名も「ゼニガタとるばん」。詳細は後日お伝えするとして、まずは視察に行って来ます。

滋賀県立大学大学院環境科学研究科博士後期課程に進学

2013年より滋賀県立大学大学院環境科学研究科博士後期課程に在籍し、芸術的観点から生活文化としての音楽のあり方とその担い手の生き方について研究中。

プール学院大学国際文化学部の2013年度前期の外部招聘講師に就任

5月～6月にキャリアデザインのプログラムにて大阪堺市の文化財公開企画と絡めた企画演習講義を4回行います。

【連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! ー記憶が編みなおされる時ー』開始。（新着）

『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。どうぞ読んでみてください。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送！2016年5月のゲスト 美術家・成安造形大学助教 石川亮さん（新着）

今日は、美術家で成安造形大学附属近江学研究所研究員の石川亮さんをゲストにお招きします。石川さんはこれまで現代美術作家として、国内の神仏にゆかりのある地域に出向き、その場所の持つ性質やルーツを探ることで作品制作をしてきました。とりわけ滋賀県での制作に力を入れており、また成安造形大学の附属機関である近江学研究所においても、滋賀県ならではの暮らしの美とアートをつなぐ研究をされています。今日はそんな石川さんと「滋賀ならではの“美”ってなに？」というテーマを、石川さんのこれまでの活動をきっかけにしながら二回にわたってお届けしたいと思います。放送日は4月29日、5月6日、5月13日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ

イスト・イン・スク
ール事業等を展開し
ている漆崇博氏をお
招きし、「表現する
こと」が持つ意味
を、人間発達や地域
づくり等の多面的視
点から探求します。

主催：北海道大学
大学院教育学研究院
附属子ども発達臨床
研究センター（イベ
ント概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

3月6日（日）東京・小金井市民交流センター（新着）



小金井アートフル
アクション！まちは
みんなのミュージア
ム2015！アサダワ
タル×鈴木一郎太×
服部浩之 スペシヤ
ルトーク
小金井アートフルア
クション！（小金井
市芸術文化振興計画
推進事業）の201
5年度末展示のイベ
ントとして、まちと
表現をめぐるスペシ
ャルトークを開催し
ます。スピーカー
は、ワークショップ
「小金井と私」のデ
ィレクターであるア
サダワタル氏、「小
金井と私」第4回の
ゲストアーティスト
鈴木一郎太氏、そし
てゲストとしてキュ
レーターの服部浩之
氏を迎え、お話を伺
います。（イベント
概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

2月27日（土）大阪・江坂studio-L（新着）



「35歳REALある
ある！」PART1
モヤモヤの多様化
時代、「暮らし」の
モヤモヤを出し合
おう！！
2013年に開催した
「35歳REALあるあ
る！」新たなシー
ズン始動です！ま
だまだ福祉を身近
に感じ



「高尾小フェス ワ
ンダー全校集会 in
南山城村」
高尾小フェスは、京
都唯一の村、南山城
村の旧・高尾小学校
を舞台にした、音楽
と現代アートの小さ
な芸術祭。第3回目
は2015年11月14日
に開催。毎年いろん
な形で出演させてい
だいてますが、今年
はアサダはソロ弾き
語りで真っ向勝負。
ぜひお越し下さい。
ジャンルを超えた豪
華な出演陣目白押し
です。

▶詳細はこちらへ

10月31日（土）ライブ（ソロ）大阪・本町 結音茶舗（新着）



「And play=enso
on #5: NOW
RECORDING - 今
も「音楽」という
ことを考えている
ことについて」
And play=enso on
第5回目はゲストにア
サダワタルさん（文
筆家・ミュージシャ
ン）をお迎えして
の、トーク、ライブ、
音楽鑑賞会です。ア
サダさんと私中川の
音にまつわる“アレコ
レ”をお披露目しま
す。アサダさんは自
身の弾き語りプロジ
ェクト“大和川レコー
ド”を改めアサダワ
タル名義での新しいア
ルバム『歌景、記
譜、大和川レコー
ド』及び、新しい書
籍『表現のたね』の
リリース、また中川
は自身のバンド“中川
裕貴、バンド”のアル
バム、『音楽と、軌
道を外れた』のリリ
ースを控えていま
す。今回はその音
源、書籍をいち早く
紹介すると共に、両
者の10年来の付き合
い、そして「今でも
音楽ということを考
えていること」につ
いて、それにまつわ
るトークやライブを
シームレスにお届
け、そしてそれをま
た“収録（NOW

3月25日（月）ー4月2日（火）英国ロンドン～仏国ナント

ロンドンのWellcome
Collectionで開催さ
れている展覧会
「Souzou: Outsider
Art from Japan」の
視察、およびナント
の国立アートセンタ
ーLiu Uniqueとの協
働プロジェクトの打
ち合わせのため欧州
滞在します。

▶詳細はこちらへ

3月5日（火）ー3月6日（水）高知 四万十市立西土佐小学校

ワークショップ『コ
ピーバンド・プレゼ
ントバンド』開始。
来年の3月まで。「ト
ヨタ・子どもとアー
ティストの出会い」
の一貫で、高知県に
て音楽ワークショップ
をさせていただきます
。詳細レポート
はブログなどで報告
します。

2月12日（火）ー2月13日（水）高知 四万十市立西土佐小学校

ワークショップ『コ
ピーバンド・プレゼ
ントバンド』開始。
来年の3月まで。「ト
ヨタ・子どもとアー
ティストの出会い」
の一貫で、高知県に
て音楽ワークショップ
をさせていただきます
。詳細レポート
はブログなどで報告
します。

2月1日（金）ー2月3日（日）岩手 大槌町

岩手県大槌町の文化
芸術による復興人材
育成プログラム「ひ
よっこりひょうたん
塾」のふりかえりフ
ォラムのため滞
在。

▶詳細はこちらへ

1月28日（火）神戸女学院キャリアデザインプログラム「アート・マネジメント演習」学生による成果企画「キャラクターと大阪」開催

非常勤講師を務めて
いる神戸女学院大学
の学生による企画が
大阪の應徳院にて開
催され、当日の学生



【掲載】毎日新聞夕刊（近畿版）にてアサダの新著についてのインタビュー掲載（新着）

4月14日、毎日新聞
夕刊（近畿版）に
て、アサダの新著
『表現のたね』
（モ・クシュラ）の
ご紹介をしていただ
きました。ウェブで
も読めますのでぜ
ひ。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! 一記憶が編みなおされる時ー』開始。（新着）

『メモリミックス!!
記憶が編みなおされ
る時』という、「記
憶×表現」という僕の
創作の下地になっ
ているようなテーマを
展開していきます。
どうぞ読んでみてく
ださい。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜

21時30分～21
時55分放送！
2016年4月のゲ
スト 同志社大学
政策学部教授 井
口貢さん（新着）

今日は、同志社大学
政策学部教授の井口
貢さんをゲストにお
招きします。井口さ
んは地域の暮らしの
中に根づく文化芸術
や観光をテーマに研
究をされていて、
NO-MAがある滋賀県
近江八幡市の旧市街
地を舞台に、学生た
ちと様々なまちづく

ることの少ない20代、30代が、福祉を身近なものとして捉える場づくりとして、2013年からスタートしたワークショッププログラムです。新シリーズ”REALあるある！2016”では、日常の暮らしに着目。福祉課題を捉えなおすという行為は、日常の暮らしを変えていくことなのでは。いま、私たちが求める「素敵な暮らしってなんだろう」をテーマに、豪華な2人のゲストをお招きし、全2回のワークショッププログラムを開催します！PART1ゲスト：アサダワタル氏（日常編集家）（イベント概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

2月26日（金） 滋賀・大津ながらの座・座（新着）



ZAZA2016トークシリーズ「好奇心を連れて明日を見に」Vol.2 アサダワタル的思考“日常再編集”ってナニ？文筆、音楽、プロデュース、講師など多彩な活動で最近とみに存在感を高めているアサダワタルさん。その思考と行動の根っこにあるものは何？（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

2月23日（火） 大阪・スタンダードブックストア心斎橋（新着）



「アサダワタルの極つき十三夜 第二夜～一般批評学会編。ワタルちゃん、しっかり噛んで食べなさい。～」日常の事柄を編集し、表現(文章、映像、音楽、写真、ウ

RECORDING)”します。両者の新しい音源がどこよりも早く聴ける機会であり、「トーク」「ライブ」「プレイ」「レコーディング」という複数の要素が入り乱れるイベントです。「音楽」のこれまでやこれからについての「収録」に是非お立会いください。（主催者・共演者：中川裕貴氏による企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

10月8日（木） ワークショップ 東京・表参道 COMMUNE 246キャンパス（新着）



「DIYミュージックライフ x テクノロジーで自分だけの音楽をつくる」講師として参加。

「DIYミュージック」では、生活のバックグラウンドが異なるクラスメイトや、音楽にまつわる現場で活躍中のゲストとのアイデア交換を通じて発想のヒントを学び、実際に手を動かして自分だけの音づくりをしていきます。（……）「表現と日常」をテーマに、音楽やメディアアート、障害者福祉やコミュニティデザインなど、様々な領域で活動しているアサダワタルさんをゲストにお迎えして、お話を伺ったりワークショップを行います。

▶詳細はこちらへ

10月4日（日） ワークショップ 東京・新町コミュニティアリーナ（新着 ※非公開）



「ダルク女性ハウス」のワークショップにゲスト講師として参加。前回の6月27日に引

の見守りをしております。成功します様に…。

▶詳細はこちらへ

1月15日（火）－ 1月16日（水）高知 四万十市立西土佐小学校

ワークショップ『コピーバンド・プレゼントバンド』開始。来年の3月まで。「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」の一貫で、高知県にて音楽ワークショップをさせていただきます。詳細レポートはブログなどで報告します。

12月15日（土）－12月16日（日）岩手 大槌町

岩手県大槌町の文化芸術による復興人材育成プログラム「ひよっこりひょうたん塾」のゼミ第5回のため滞在。ゲスト講師に藤浩志さんをお招きし、町内外の方々と語り合いの場。詳細はしばしお待ちください。

▶詳細はこちらへ

12月8日（土）－ 12月26日（水） 神奈川 横浜 『ホームステイ～ アフリカからのお客様さんプロジェクト～2012 エメカ・オグボウ×アサダワタル』にて滞在制作

以下のプロジェクトに参加。ナイジェリア在住のサウンドアーティスト Emeka Ogboghとの共同滞在制作 in 横浜。アサダの滞在日程は12/11-12/13、12/20-23の予定。12/23(日)に何かしらの成果公開をしますので、どうぞ詳細お楽しみに。以下サイトより引用したテキストです。アフリカと日本のアーティストが一般家庭にホームステイしながら作品の共同制作を行う市民参加型「アーティスト・イン・レジデンス」企画。第2回の2012年はナイジェリア在住のEmeka Ogbogh（エメカ・オグボウ／サウンドアーティスト）とアサダワタル（日常編集家・音楽家）がさまざまな境界を溶かす

りに関わっておられるんですね。そんな井口さんは10数年前のNO-MAの立ち上げにも尽力され、アール・ブリュットがこの街に根づく様子を見守り続けてきたひとりでもあります。今日は、井口さんとともに、「まちとアール・ブリュットの幸せな関係 ー近江八幡をきっかけにー」というテーマで二回にわたってお届けしたいと思います。放送日は4月15日、22日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【楽曲紹介】J-WAVE「TOKYO REAL-EYES」にてアサダの楽曲『寂れた線路を独りで歩く』が紹介（新着）

3月18日、J-WAVE「TOKYO REAL-EYES」のコーナー“IMOARAIZAKA RECORDS”にて、アサダの楽曲『寂れた線路を独りで歩く』が紹介されました。全国のCDショップのカリスマバイヤー達が各々リコメンドした曲を流すというコーナーで、大阪・中津のシカク店長の巴大樹さんがこの曲をリコメンド。感謝。

▶詳細はこちらへ



【掲載】読売新聞タ刊（近畿版）にてアサダの音楽活動インタビュー掲載（新着）

3月4日、読売新聞タ刊（近畿版）にて、アサダのソロ新譜『歌景、記譜、大和川レコード』（路地と暮らし社）の紹介を軸に、音楽活動を紹介いただきました。

エブ イベント企画、プロジェクトetc)する「事編kotoami」主宰の日常編集家・アサダワタル。文章を書くことはもちろん、音楽家としての活動や、ラジオパーソナリティ等、様々な顔を持つこのスーパーボーダレスな人物を、2016年の1年間をかけて毎月解剖し、白日の下に晒してしまおうという趣旨のイベント。第二夜は関西を中心に、映画、音楽、ファッション、予想、反省など、聖域なき「批評」行為を異様なテンションで実行中の「一般批評学会」を御招きし、アサダさんの表現や、その他、様々な文化現象（とりわけ大阪の？）を用いて遊びまわります。（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

2月21日（土）東京・下北沢B&B（新着）



アサダワタル×内沼晋太郎「日常×表現の見つけかた」『表現のたね』（モ×クシュラ）『歌景、記譜、大和川レコード』（路地と暮らし社）刊行記念流れ続ける日常には、まだ「言葉」として、あるいは「音楽」として、掬（すく）いあげられていない数々の「表現のたね」に満ちあふれています。本書『表現のたね』、本CD『歌景、記譜、大和川レコード』は、自称「日常編集家」のアサダワタルさんが、それら些細な出来事を、まるで道ばたをゆっくりと歩くアリの行列を寝転びながら見守るがごとくに編み上げ、生み出された作品です。「表現とはなにか？」「表現とはいったい誰が扱うものなのか？」、そんな問いを根幹に持ち続けながら、様々なフィールドで活動してきた著者の表現論としての風景／歌景について、B&Bの内

続き、薬物依存等にまつわる自助グループや当事者研究を展開する「ダルク女性ハウス」が定期的に行なう表現ワークショップにて音楽ワークショップを行ないます。

10月2日（金）ライブ（SjQ）東京・Superdeluxe（新着）



『空間現代 collaborations』Day1 10月2日（金）Post technology musics ピートを生成するシステムと体 19:00開場 19:30開演／出演：空間現代×SjQ、sim、Green Butter(Budamunk&mabanua) Day2 10月3日（土）Musical／Theatrical 音楽、言葉、演劇 19:00開場 19:30開演／出演：空間現代×地点 Day3 10月4日（日）Improvisation VS Composition 見知らぬ音楽との再会 19:00開場 19:30開演／出演：空間現代×灰野敬二、Phew（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

9月26日（土）・27日（日）ワークショップ 東京・プライスk北千住店（新着）



『千住ショッピングラジオ』北千住のスーパーマーケットを子供たちと音楽ラジオ番組でジャックします。尾行ショッピング、スーパーでかけたい名曲選、苦し紛れの試食ぐるめレポート、店員さんの思い出の曲DJコーナーなど、いろいろ思案中。題して「千住ショッピングラジオ」。子どもの音まち「千住ショッピングラジオ」／講師：アサダワタ

「謎の音楽」をつくります。企画の詳細は随時更新してゆきます、どうぞお楽しみに。 ※昨年は横浜市保土ケ谷区の民家にタイエ・イダハル（アーティスト／ナイジェリア）とイシワタマリ（美術作家／日本）を迎え実施しました。 主催：アフリカからのお客さんプロジェクト／共催：公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／後援：横浜市文化観光局／第5回アフリカ開発会議（TICAD V）パートナー事業

▶詳細はこちらへ

12月4日（火）ー12月5日（日）高知 四万十市立西土佐小学校

ワークショップ『コピーバンド・プレゼントバンド』開始。来年の3月まで。「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」の一貫で、高知県にて音楽ワークショップをさせていただきます。詳細レポートはブログなどで報告します。

九州大学工学部の2012年度後期集中講義の非常勤講師に就任

1月に集中講義を5限やりにいきますが内容は「都市・建築設計演習1」ということですが、むろん建築家でもなんでもない日常編集家という放浪芸人として、都市をどうみるかって話をするんですが建築系の学生さんに話をするのも楽しみです。

11月23日（祝・金）佐賀 佐賀市文化会館

「第12回全国障害者芸術・文化祭さが大会」のリサーチのため滞在します。

11月6日（火）ー11月7日（日）高知 四万十市立西土佐小学校

ワークショップ『コピーバンド・プレゼントバンド』開始。来年の3月まで。「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」の一貫で、高知県に



【新連載】ウェブメディア『フレズクレーズ』にて「kokoima実践レポート ―精神看護と居場所づくりのハザマで一」開始（新着）

アサダが一年前から関わっている大阪は堺市の浅香山病院精神科病棟から始まったプロジェクト「kokoima」の現状を3～4回に分けて執筆していきます。精神看護と居場所づくりのハザマ、表現、アートを介した関係性の編み直しなどに関心がある方はぜひ読んで下さい。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! ―記憶が編みなおされる時―』開始。（新着）

『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。どうぞ読んでみてください。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送！2016年3月のゲスト 映画監督 呉美保さん（新着）

今日はスタジオを飛び出しまして2016年2月に大津プリンスホテルにて開催された

沼晋太郎が聴き出します。なお、サウンドスケイプが渾然一体となったコンセプトアルバム「歌景、記譜、大和川レコード」（路地と暮らし社）は、当日、B&Bでも販売を予定しております。（イベント概要より転載）

▶詳細はこちらへ

2月11日（木・祝） 東京・中野サンプラザ（新着）



オール・ブリュット フォーラム
2月11日(木・祝)にオール・ブリュットフォーラムを今年も開催いたします！専門家や美術関係者の方々がオール・ブリュットのもつ魅力について語る、豪華なイベントです！出演: ヨハン・ファイラッハー(グギング代表,精神科医)、トビアス・インゲルス(スウェーデンダーラナ,アーツカウンシル芸術)、松下功(作曲家,東京藝術大学副学長)、夢枕獏(作家,東京藝術大学客員教授)ほか（イベント告知文より抜粋）

▶詳細はこちらへ

2月10日（水）静岡・浜松のヴァン公民館（新着）



Platform of Diversity 座談会 みんなのはままつ創造プロジェクト採択事業者を中心に、創造都市・浜松のプレイヤーがそれぞれの分野を持ち寄り議論する「Platform of Diversity」。まちと生活、アート・デザイン、こどもと教育、産業・テクノロジー、文化と自然の5分野の方々との座談会がこれまでに行われてきました。今回はこれまでの座談会のようなすを踏まえて、市井の人々の文化活動に造詣が深く音楽の専門家でもあるゲストの方々と音

ル【ミュージシャン・文筆家】／日程：【番組制作】9月26日（土）10-15:00・【番組放送】9月27日（日）13-16:00／会場：ザ・プライス千住店【東京都足立区千住3-2】／対象：小学生以上

▶詳細はこちらへ

9月3日（木）ワークショップ大阪・浅香山病院ココ今サロン（新着 ※非公開）



浅香山病院の精神科病棟で長期入院する方々を対象に、音楽を通じて人とコミュニケーションを行なうワークショップを展開
大阪府堺市にある浅香山病院では、精神科病棟で長期入院する方々が写真展を開催するなどの文化活動を通じて、様々な他者との関わりを行なうプロジェクト「ココ今ニティ」が展開されています。僕も最近その運営に少しばかり関わらせていただく縁ができ、自己紹介も兼ねて音楽を使って、様々な語りを起こすワークショップを行なってきました。

7月16日（木）ワークショップ大阪・浅香山病院ココ今サロン（新着 ※非公開）



浅香山病院の精神科病棟で長期入院する方々を対象に、音楽を通じて人とコミュニケーションを行なうワークショップを展開
大阪府堺市にある浅香山病院では、精神科病棟で長期入院する方々が写真展を開催するなどの文化活動を通じて、様々な他者との関わりを行なうプロジェクト

で音楽ワークショップをさせていただきます。詳細レポートはブログなどで報告します。

10月27日（土）ー10月28日（日）岩手 大槌町

岩手県大槌町の文化芸術による復興人材育成プログラム「ひよっこりひょうたん塾」のゼミ第4回のため滞在。

▶詳細はこちらへ

10月9日（火）ー10月28日（日）大阪 江之子島文化芸術創造センター

『100 OSAKA展』（9/26 新着更新）

大阪を拠点に活躍する様々なジャンルのクリエイター（創造人）が、それぞれのユニークな視点で見いだしたOSAKAを展示。アサダも出展することになりました。従来のステロタイプな大阪イメージとは異なる、100人の創造人による、100通りのクリエイティブな大阪。「100の大阪」の展示は同時に、「創造人100人」を紹介する展示。センターでは、その他にも様々なプログラムが展開されている模様。楽しみです。

▶詳細はこちらへ

10月9日（火）ー10月11日（日）高知 四万十市立西土佐小学校（9/19 新着更新）

ワークショップ『コピーバンド・プレゼントバンド』開始。来年の3月まで。「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」の一貫で、高知県にて音楽ワークショップをさせていただきます。詳細レポートはブログなどで報告します。

9月15日（土）ー9月16日（日）岩手 大槌町

岩手県大槌町の文化芸術による復興人材育成プログラム「ひよっこりひょうたん塾」のゼミ第3回の

地域福祉と文化の祭典 アメニティフォーラムにてご講演をされた映画監督の呉美保さんにインタビューしました。このフォーラムで同時開催されているバリアフリー映画祭という、障害のある方とともに新しい映画の楽しみ方を考える上映会にて、呉監督のふたつの作品が上映されていたんです。ひとつは2014年の作品「そのみにて光輝く」、そしてもうひとつは2015年の作品「きみはいいこ」。介護や児童虐待など、様々な社会問題を扱ったこれら二作品について、呉監督にお話していただきました。また、アメニティフォーラムと同時開催されていたオール・ブリュット展（images展）をご覧になった感想や「きみはいい子」の登場人物の一人、自閉症スペクトラム症の少年がああ映画の中で担っていたことなど幅広くお話を伺います。放送日は3月4日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送！2016年2月のゲスト 文化庁長官青柳正規さん（新着）

今日は、2月5日～7日に大津プリンスホテルにて開催された地域福祉と文化の祭典 アメニティフォーラムにてご講演をされた文化庁長官青柳正規さんに、会場にてインタビューをいたしました。様々な文化政策を司り、オール・ブリュットの普及にも力を注いでいらっしゃる青柳文化庁長官に、会場で開催されていた「Images展——オールブリュット、芸術の地平を開くー」展覧会の率直な感想

楽の街浜松における
これからの創造都市
に必要なプラットホ
ームとは何か、議論
を行います。ゲスト
ト：アサダワタル
（日常編集家）、奥
中康人（静岡文化芸
術大学准教授）、片
岡祐介（音楽家）
（イベント概要文よ
り抜粋）

▶詳細はこちらへ

2月7日（日） 滋
賀・大津プリンス
ホテル（新着）



アメニティフォー
ラム20
毎年2月滋賀県は大
津プリンスホテルで
三日間開催される福
祉と文化の一大祭典
「アメニティフォー
ラム」の第20回目。
今年もアサダは以下
の長大プログラムで
企画・進行役を務め
ます。
アサダワタルが考え
る、これからの居場
所の“創作” ～個と個
が交わる関係性を語
り合う～セッション
進行；アサダワタ
ル
・表現する福祉施設
利用者と支援者の協
働のカタチ 出演：
六車由実（デイベー
リスすまいるほーむ
管理者・民俗研究
者）、久保田翠
（NPO法人クリエイ
ティヴサポートレッ
ツ理事長）
・内にこめる生きづ
らさを少し外に出す
ための表現活動の意
味 出演：上岡陽江
（ダルク女性ハウス
施設長）、西川勝
（臨床哲学者、大阪
大学CSCD特任教
授）
・これからの居場所
の“創作” 制度でこそ
できることと自律的
で創造的な場づくり
のハザマで 出演：
湯浅誠（法政大学現
代福祉学部教授）、
上田假奈代（NPO法
人ココルーム代表理
事）

▶詳細はこちらへ

1月28日（木）
大阪・スタンダー
ドブックストア心
斎橋（新着）

「ココ今ニティ」が
展開されています。
僕も最近その運営に
少しばかり関わらせ
ていただく縁がで
き、自己紹介も兼ね
て音楽を使って、
様々な語りを起こす
ワークショップを行
なってきました。

7月5日（日） ラ
イブ（ソロ（DJ
話芸）） 大阪・
九条Float（新
着）



『Surround
Circuit 2』
気候の良い季節に川
沿いで1日過ごすライ
ブ／トーク／パフォー
マンスなどの複合
イベント、Surround
Circuit。ライブ・パ
フォーマンスのほ
か、福田教雄
（Sweet Dreams）
さんをゲストに迎え
て、好きな事を題材
にした物作りや情報
発信をしながら暮ら
すにはどうしたら良
いかを話す『30歳か
らのインディペンデ
ント音楽道』と題し
たトークイベント
や、展示、図書室、
フードの販売もあり
ます。早めに来ても
らって、ゆっくり川
沿いで1日過ごすの
がおすすめです。
／ 出演（トー
ク）：福田教雄
（Sweet
Dreams）、
AAAsaaREE 出演
（ライブ）：アサダ
ワタル（DJ話芸）、
中林キララ（メタミ
ュラーグヌピコ）、
大城真＋ヤマモトタ
カヒロ＋米子匡司、
PARADISKa、DJふ
くわらい、みやけを
しんいち、武村篤
彦、田川雅康、森山
ふとし、無職・イ
ン・エクスカーショ
ン（Yuko Nexus6
＋タカハシ'タカカー
ン'セイジ）、にしもと
ひろこ [たゆたう
]、ryotaro [acc ,
synth] × 仙石彬人
[TIME PAINTING
]、kaxpab mthtyk
＋sonsen gocha
bacco [light
drawing]、s l o n
n o n + 今村 達紀 [
Video] 展示：か
いはつクラブ 本：
FLOAT図書室 出
店：シカク、巴大樹

ため滞在。

▶詳細はこちらへ

8月25日（土）
ー8月26日
（日） 岩手 大槌
町

岩手県大槌町の文化
芸術による復興人材
育成プログラム「ひ
よっこりひょうたん
塾」のゼミ第二回、
いよいよ予約開始し
ます。是非町内、県
内の方に限らず、広
く参加を募集してま
す。講師に毎日新聞
記者の手塚さや香
氏、現地ゲストに
は、先達で「おおつ
ちありがとうロック
フェスティバル」を
企画した大槌
STANDING
STANDINGメンバー
をお招きします。詳
しくは塾のサイトを
ご覧ください。

▶詳細はこちらへ

7月13日（金）
ー8月11日
（土） 大阪
ArtCourtGallery
「ArtCourtFrontier」
に『KPPL（借り
パクプレイリス
ト）』出展

関西在住あるいは
ゆかりの若手を中
心に、気鋭作家が
競演するアニュア
ル企画「Art Court
Frontier（アート
コートフロンティ
ア）」に出展しま
す。音楽を使った日
常再編集のテーマ
は「借りパクした
CD」。トークイベ
ントや各種借りパ
クCDの試聴会も行
いますので是非遊
びに来て下さい
ね。
日程：2012年7月
13日（金）ー 8月
11日（土）[日・
月・祝休廊]
時間：11時ー19時
（土曜日はー17
時）

場所：アート
コートギャラ
リー（大阪市
北区天満橋1-
8-5 OAPア
ートコート
1F）
参加費：無料
◇ギャラリートー
ク

・アサダのミニラ
イブ 7月14日
（土）15時40分ー
15時55分
・出展者と推薦者
のトーク アサダワ
タル×森司（東京都
歴史文化財団） 7
月21日（土）15時

や、アールブリュッ
トにまつわる、独自
の見解を伺いまし
た。放送日は2月19
日（ポッドキャスト
は翌週月曜から配
信）です。

▶詳細はこちらへ



【訳書新刊】フラ
ンク・ビバ『なが
いながいみち』
（バナナブッ
クス）1月31日発
売！（新着）

フランク・ビバ [さ
く] アサダワタル／
まきおはるき [や
く] 『ながいながい
みち』（バナナブッ
クス）。The New
York Timesの
「2011年 絵本ベス
ト10」にも選ばれた
名作、フランク・ビ
バの「ALONG A
LONG ROAD」の日
本語版が遂に！海の
近くの道に沿って街
を横切り、郊外を抜
けて自転車が走る。
厳選された色数で表
現された風景と、テ
キストのデザインワ
ークが生んだ疾走
感。子どもが読め
ば、小さな冒険への
勇気が湧き、大人が
手に取れば懐かしい
あの日を思い出す。
（書籍情報より抜
粋）

▶詳細はこちらへ



【寄稿】『現代思
想』（青土社）
2016年2月号特
集「老後崩壊」に
拙論寄稿。1月27
日発売（新着）

現代思想に寄稿させ
ていただきました。
テーマは「老後崩
壊」。拙稿は、いま
老後を迎えている人
たちの状況を改善す
るために書かれたも
のではなく、これか
ら数十年後に老後を
迎えるであろう「わ
たしたち」の状況を
より善くしていくた
めに書かれたもので
す。タイトルは



「アサダワタルの極つき十三夜 Vol.01」日常の事柄を編集し、表現(文章、映像、音楽、写真、ウェブ、イベント企画、プロジェクト etc)する「事編 kotoami」主宰の日常編集家・アサダワタル。文章を書くことはもちろん、音楽家としての活動や、ラジオパーソナリティ等、様々な顔を持つこのスーパーボーダレスな人物を、2016年の1年間をかけて毎月解剖し、白日の下に晒してしまおうという趣旨のイベント。第一回はアサダ氏の新刊『表現のたね』(モ・クシユラ)、新譜(CD)『歌景、記譜、大和川レコード』(路地と暮らし社)発売記念スペシャルと題し、当店代表・中川和彦と制作のお話や最近の日常編集について語る予定です。(企画サイトより抜粋)

▶詳細はこちらへ

12月26日(土)
長野・松本
Knower(s)T
(新着)

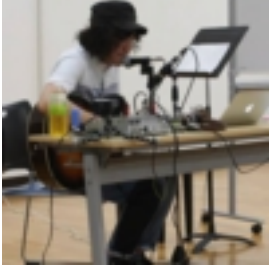


「能美市まちづくりシンポジウム 日々の暮らしから始めるまちづくり」まつもと市民大学第6回目のテーマ 編集×地域 の講義を行っていただくのは、日常編集家・事編 kotoami主宰のアサダワタルさんです！アサダさんは音楽活動、大学での講義、執筆活動、行政のプロジェクトからラジオのパーソナリティまで多岐にわたる分野で活躍されている方です。アサダさんの活動のキーワードは「日常再編集」。(続く……企画サイトより抜粋)

(ラッキーチャンス☆クッキング)、メガネヤ(即興小パーティー)、ふっくら(天然酵母パン)、fumi note(洋菓子)、うたかた珈琲(珈琲)(企画概要より抜粋)

▶詳細はこちらへ

6月27日(土)
ワークショップ
東京・新町コミュニティアリーナ
(新着 ※非公開)



「ダルク女性ハウス」のワークショップにゲスト講師として参加。歌謡曲と前口上を扱うワークショップを展開 薬物依存等にあつわる自助グループや当事者研究を展開する「ダルク女性ハウス」が定期的に行なう表現ワークショップにて音楽ワークショップを行ないます。20名ほどの参加者が各々ペアになり「初めて好きになった、買った音楽(CD、レコード)」を聞きながら、お互いの記憶を取材、それをもとに、歌の「前口上」を制作して最後にラジオ風に発表するという内容。題して「歌は世につれ 世は歌につれ 君の記憶に華が咲く」前半はアサダのソロライブも踏まえて、やらせていただきます。

6月11日(日)
ライブ(セッション)
大阪・梅田
ClubNOON (新着)



『声色師 ウォン・ジクスー Won Jiksoo ファーストアルバム ステージ9 治る 発売記念CD 付きコンサート』主演&司会: ウォン・ジクスー 共演: びびる まあやん デイヴィッド・デュバル＝

30分ー16時00分
◇アサダワタル企画イベント
・記憶を巡る音楽鑑賞トークサロン
「私が想像する棚」with 佐藤亘(もぐらが一周するまで) 7月28日(土)・8月11日(土) 両日も14時ー16時
・トーク アサダワタル×田中恒子(住居学者、美術コレクター) 8月4日(土)14時ー15時半

▶詳細はこちらへ (※展覧会全体情報)

▶詳細はこちらへ (※「KPPL」に関する情報)

6月8日(金)ー6月10日(日)
岩手 大槌町
「ひょっこりひょうたん塾」いよいよ開校です。詳細からホームページを是非ご覧ください。

▶詳細はこちらへ

5月23日(水)ー5月24日(木)
高知 西土佐

今年行われるTOYOTAの「子どもとアーティストの出会い」プログラムにて、伝統芸能と音楽をダンスを組み合わせたりミックスワークショップ(予定だけ)を開催予定。講師としてお招きいただき、下見に行ってお参ります。

5月19日(土)
竹中康宏×イシワタマリ ウェディングパーティー
横浜 イシワタ邸
(※非公開)

日常編集家として、人様の結婚披露宴を新婦の自宅にてプロデュースさせていただきます。新婦のイシワタマリさんは美術家で横浜の自宅を開放して「イシワタビエンナーレ」なるプロジェクトをやってきた方。僕も昨年はこの家でライブとトークをしたらい、今年の秋冬もアフリカ人のサウンドアーティストととも

『「わたしたち」が、「老後」を物語るために、「今」でできることについて、考えてみた。』この論考をもとに何か一緒にやれる方はぜひ共に。目次:【討議】藤田孝典+春日キスヨ 【エッセイ】橋木俊詔/赤石千衣子/平川克美 【論考】河合克義/天田城介/北中淳子/岩田正美/安里和晃/猪瀬浩平/竹信三恵子/渡邊琢/アサダワタル/長岡美代…他

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ
「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜 21時30分～21時55分放送！
2016年2月のゲスト 俳優 梅沢富美男さん、フィトセラピスト 池田明子さんご夫妻 (新着)

今日は、滋賀県大津市の大津プリンスホテルにて2月5日～7日に開催された福祉の祭典 第20回アメニティフォーラムの会場からお届けします。ゲストは、なんと梅沢劇団座長で俳優の梅沢富美男さん、そして一般社団法人日本ハンドケア協会代表理事でフィトセラピスト(植物療法士)の池田明子さんご夫妻です。このお二人が、アメニティフォーラムの会場で同時開催されている展覧会「Images展——アールブリュット、芸術の地平を開くー」をご覧になられ、以前からアール・ブリュットに関心を持っていたというお二人のお話をインタビューしました。放送日は2月12日(ポッドキャストは翌週月曜から配信)です。

▶詳細はこちらへ

▶詳細はこちらへ

12月4 日（日）
大阪・東大阪市市
民ふれあいホール
（新着）



東大阪市高齢者地域ケア会議「地域別会議」
「地域でつどいの場を生み出す ～無理なく自己表現し、少しずつ他者とつながる楽しさについて」「住み開き」など文化的実践を題材に～」というタイトルで講演予定です。

11月 22日
（日）石川・能美 寺井地区公民館2階大ホールT
（新着）



「能美市まちづくりシンポジウム 日々の暮らしから始めるまちづくり」
日々の暮らしから始めるまちづくりについて講演会、パネルディスカッションをおこないます。第1部 基調講演 講師：アサダワタル氏（日常編集家）／第2部 パネルディスカッション コーディネーター：濱博一氏（㈱アスリック代表取締役）、コメンテーター：アサダワタル氏、パネラー： 卯野修三氏（のみ商業協同組合副理事長）、白肌邦生氏（北陸先端科学技術大学院大学准教授）、奈良井伸子氏（ストーリーテラー）（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

11月 5日（木）
岐阜・岐阜市生涯
学習拠点施設 ハートフルスクエア
ーG（新着）

スミス（生意気）
マイケル・フランク（生意気） 松井美耶子 山本信記 MC M ANGO 白井剛史（プリミ恥部）
akamar22! 千野秀一 半野田拓 井崎能和 井上智士 池田よしあき（幟モリ） Junji Kano（幟モリ） 和田晋侍 石井モカコ トンチ カメイナホコ 呉山タ子 石原只寛 梅田哲也 西川文章 日野展子 パードン木村 アサダワタル 横沢道治 PIKA☆ さや（テニスコート）※中継参加 植野隆司（テニスコート）※中継参加 and more… <WON JIKSOO ご挨拶>全てにカムサア。この人に、この子に、この水に、この風に、この空に…気がふれて頭がアホになっても、この気持ちだけは変わらない。目の前で起こった事全てに感謝します。永遠に…我が肺が癌であると知ってから、もがいて、苦しんで、喘いで「もうええやんけっ」「しゃーないやんっ」と世の人に八つ当たりし、諦めの境地から引き戻してくれはったのはその人なのです。何十億と住むこの地球で我が心に風穴を開けてくれたんは、どの人なんです。「今の世の中、右も左も真っ暗闇じゃござんせんか、どうせ、わたいなんか、どうしようもありまへんわ…」だけど、嘆いてばかりじゃ何も始まりません。言いたい事を言い合いたい、騙されても抱きしめたい、イタミを共に分かち合おうや、孤独に苛まれたらアカン。hey baby stand by me.わたいがおりまんがな。楽にいこう。憎しみを解放して、慈悲に縋ってもええやん。あんじょう愛だけあれば、きっと開くはずやから。初めての最初におきるコトはいつも一つだけ。みんな、生きいよー、綺麗さっぱりなくなるその日まで。どっちみち、人類みな最期はHigh（灰）になる。その日の為に。감사합니다.（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

に滞在制作（詳細は後日）を予定するなど、ユニークな試みとイシワタ家のプライベートな記憶が積もりに積もった素敵な場所。仲間たちと一緒に料理から設えから音楽からトークまで作り上げます。

4月23日（月）
「カマン！TV」
大阪 西成カマン！メディアセンター

カマン！メディアセンターにて上映されている街頭テレビプロジェクト。19時からスタート。主に釜ヶ崎で生活をする比較的高齢層のおじさん、おばさんたちの「記憶と会話を想起させるための番組プログラム」を週代わりで編成。昭和の事件や歌謡曲、スポーツ名場面から名画のあの俳優さん…。大体月に一回やっています。

▶詳細はこちらへ

4月6日（金）－
4月8日（日）岩手 大槌町

岩手県上閉伊郡大槌町にて近々開始予定のプロジェクト「ひょっこりひょうたん塾」のプロジェクトコンセプトや運営体制の構築のため、滞在しています。

▶詳細はこちらへ

3月15日（木）－
3月16日（金）静岡 浜松

静岡県浜松市にある福祉とアートを越境しまくる「たけし文化センター アルスノヴァ」に滞在。スタッフの方と共に福祉施設の開き方を模索、アドバイザー的に関わります。

▶詳細はこちらへ

3月5日（月）－
3月6日（火）岩手 大槌町

岩手県上閉伊郡大槌町にて近々開始予定のプロジェクト「ひょっこりひょうたん塾（仮称）」の現場リサーチのため、滞在しています。

▶詳細はこちらへ

2月20日（月）－
2月22日（水）岩手 大槌町

岩手県上閉伊郡大槌



【連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! ー記憶が編みなおされる時ー』開始。（新着）

『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。どうぞ読んでみてください。

▶詳細はこちらへ



【選書フェア】
『Asobon!』×丸善 京都本店、MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店で
の選書フェアに参加（新着）

スルッとKANSAIが発行しているフリーペーパー

『Asobon!』1・2月号では特集「いまどき、書店がおもしろい」の中で、クリエイターをはじめ、作家、僧侶などさまざまな人が、新しい年を迎え新しいことにチャレンジするという意味を込めて、「冒険」をテーマに選書しています。アサダもその撰者の一人として参加。そして、丸善 京都本店やMARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店ではそれと連動したフェアも組まれてます。アサダは、小野博さんの『世界は小さな祝祭であふれている』（モクシュラ）をセレクト。ぜひ覗いてみてください。



【ラジオ】KBS 京都ラジオ
「Glow～生きる



「生涯学習によるまちづくり人材養成講座」
11/5(木)「地域でつどいの場を生み出す」アサダワタルさん
(文筆家・京都精華大学非常勤講師)
「住み開き」などの事例からまちづくりについて学びましょう。(企画k関連サイトより抜粋)
[▶詳細はこちらへ](#)

10月27日(火)
大阪・大阪経済大学(新着 ※非公開)



昨年に引き続き大阪経済大学にて「文化産業論」(音楽産業)と「アートマネジメント実習」の2コマのゲスト講師としてお声かけいただきました。学生さんと色々と交流できればと思います。

10月 25日(日) 滋賀・信楽 藤喜陶苑(新着)



「土と手プロジェクト 信楽の将来像を描くワークショップ」
内容=本ワークショップでは、陶芸のまち・信楽の豊富なコンテクストを生かしたまちの将来像を描くことを目的とします。前日には学生を中心にまちのエレメントの採集調査(商店、陶器建材、空き家の分布図作成、窯、狸…)をした上で、それらを最大限に生かしたまちなみ修景案を作成します。近未来のまちなかプログラムの提案発表をもとに信楽の“これから”を考えま

6月7日(日) ワークショップ 兵庫・神戸大学発達科学部音楽棟(C棟)(新着 ※非公開)



「音遊びの会」のワークショップにゲストミュージシャンとして参加
2005年結成、知的な障害を持つ人たちを含むアーティスト大集団。月二回の継続したワークショップで様々なアンサンブルを生み出している。北海道、水戸、東京、山口、イギリスなど遠征公演も多数。2013年には英国ツアーの様子がNHKで特集される。予定調和を許さないその音楽性は、見る者を釘付けにする。
(「音遊びの会」概要、ウェブサイトより)
[▶詳細はこちらへ](#)

5月31日(日) ライブ(SjQ) 京都・メトロ(新着)



『FNU flair #4 LIVE,TECHNO』
今回は、1997年からNumb氏が主宰しているミュージックレーベル「Revirth」から約15年ぶりに、モジュラーシンセをメインに使用したライブ的手法で制作されたフルアルバム
"OTOLARY"をリリースしたKoichi Shimizu a.k.a Hanumandのリリースパーティも兼ねた、ちょっとした実験を試みるイベント!
出演: Koichi Shimizu a.k.a Hanumand
(Revirth) / Numb (Revirth) / SjQ (HEADZ) / STEVEN PORTER (10 LABEL) / FURUDATE Ken(Sub-bass set)Madegg (NOCREDIT / flau / DayTripper)Visual

町にて近々開始予定のプロジェクト「ひよっこりひょうたん塾(仮称)」の現場リサーチのため、滞在します。
[▶詳細はこちらへ](#)

2月8日(水) - 2月9日(木) 静岡 浜松

静岡県浜松市にある福祉とアートを越境しまくる「たけし文化センター アルスノヴァ」に滞在。
スタッフの方と共に福祉施設の開き方を模索、アドバイザー的に関わります。
[▶詳細はこちらへ](#)

1月28日(土)、2月18日(土) 滋賀 近江八幡

滋賀県を中心に行われている「アール・ブリュットを巡るトークシリーズ」を開催予定。ディレクションを担当します。
[▶詳細はこちらへ](#)

1月21日(土) - 1月26日(木) 岩手 大槌町

岩手県上閉伊郡大槌町にて近々開始予定のプロジェクト「ひよっこりひょうたん塾(仮称)」の現場リサーチのため、滞在します。
[▶詳細はこちらへ](#)

【過去のプロジェクト・滞在制作一覧はこちら】

ことが光になる〜 真毎週金曜 21時30分〜21時55分放送! 2016年1月のゲスト NPO法人 福井芸術・文化フォーラム 荒川裕子さん、濱見彰映さん。(新着)

今日は、NPO法人福井芸術・文化フォーラムの荒川裕子さんと濱見彰映さんをゲストにお迎えします。福井芸術・文化フォーラムは、福井市文化会館を活動拠点に様々なイベントや市民参加型のアートプロジェクトを企画・運営しているNPO法人です。その事務局スタッフとして働くお二人は、障がいのある人の表現活動の可能性を紹介し、語り合う場を企画するなど、アートと福祉の関係性についても様々な活動を展開中です。今日はそんなお二人とともにこの番組をお送りしたいと思います。放送日は1月15日と1月22日(ポッドキャストは翌週月曜から配信)です。
[▶詳細はこちらへ](#)



【連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! 一記憶が編みなおされる時〜』開始。(新着)

『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。どうぞ読んでみてください。
[▶詳細はこちらへ](#)



【新刊】『表現のたね』(モ＊クシユラ) 12月4日発売!(新着)

2012年「住み開き」(筑摩書房)、

す。（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

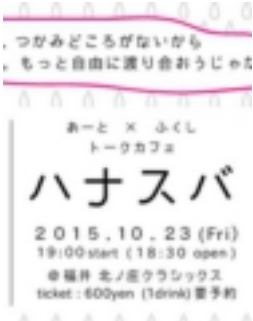
10月 24日
(土) 愛知・豊橋 穂の国とよはし芸術劇場PLAT
(新着)



「ワークショップファシリテーター養成講座2015後期キックオフ 『ひとが集う場のつくり方、味わい方』」
「街」をテーマに実施するワークショップを体験し、人が集まり、つながる仕組みやファシリテーションについて考え、学ぶ「ワークショップファシリテーター養成講座2015 後期『まちに聞く、考える』」。そのキックオフ講座に、「住み開き」というユニークな活動を提唱しているアサダワタルさんをゲストにお招きし、人が集える場をつくる方法や、社会に開くことによって味わえるおもしろさなど、個人がアートを通じて社会とつながる可能性を考えていきたいと思います。（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

10月 23日
(金) 福井・北ノ庄クラシックス
(新着)



「あーと×ふくしトークカフェ ハナスパ」
障がいのある人の表現活動の可能性について考えます。「アート」も「福祉」も、つかみどころがないから、まずは言葉にしてみることから始めます。「アートって?」「福祉って?」ゲストに滋賀県近江八幡にある「ボーダレスアートミュージアムNO-MA」懇談会委員、滋

Effect : Kezzardrix / LLVM（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

5月31日(日)
ライブ (ソロ) & トーク 奈良・奈良県立図書情報館
(新着)



『佐保川ラジオ 未来の図書館のためのメディアプロジェクト2015』
みんなでつくる2日間だけのラジオ局。佐保川ラジオは、奈良県立図書情報館内に2日かぎりのインターネットラジオ局を開設し、様々な音声番組で発信していくメディアプロジェクトです。図書館というアーカイブメディアに、ラジオというコミュニケーションメディアを埋め込むことから生まれる集い、学び、編集、発信をとおして、まだ見ぬ「未来の図書館」の有り方について考え、模索します。（企画概要より抜粋）←アサダは5月30日に、ラジオという体裁を扱ったライブ「Notation ー表現未満の記譜法ー」
(http://sahogawaradio.info/2015/archives/3433)を行ないます。

▶詳細はこちらへ

4月18日(土)
ライブ (SjQ) 名古屋・K.D Japon
(新着)



転た猫 (utataneco#)12
『FourColor "Ballet" release (on cassette!) party』
90年代から現在に至るまで12kや TOMLAB、HEADZ 等の良質な電子音響レーベルから数多くのリリースを重ね、国際的にも高い評価を得ている才人・杉本圭一氏によるメイソプロジェクト"FourColor"の新作「Ballet」リリースパ

2014 年「コミュニティ難民のススメ」（木楽舎）、独自の批評的眼差しで社会に風穴を開け続けるアサダワタルの著作第3作は日常×表現。「表現」を美術館や舞台の上にだけ見つけに行くのではなく、何気ない日常の中にもその萌芽（たね）を見つけ出すことができるならば。そのための気づきをアシストし、すべての人が「表現」に対する当事者性を獲得することを願って書かれた本書は、アサダワタルの日常のなかから紡がれた23編の物語が収録されています。なお、本書は歌とサウンドスケイプが渾然一体となったコンセプトアルバム「歌景、記譜、大和川レコード」（路地と暮らし社）と同時発売。「表現とはなにか?」「表現とはいったい誰が扱うものなのか?」そんな問いを根幹に持ち続けながら、様々なフィールドで活動してきた著者ならではの表現論としての風景／歌景。ぜひお楽しみください。詳しくは版元モ×クシュラのページへ。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ
「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜 21時30分～21時55分放送！
12月のゲスト 日常生活支援ネットワーク コーディネーター 椎名保友さん。（新着）

今日は、日常生活支援ネットワーク・コーディネーターの椎名保友さんをゲストにお迎えします。椎名さんは、大阪の障がい福祉分野で様々な支援の現場に携わりながら、地域づくりや若者の働き方について考える場づくりなど、分野を越境しながら活動されています。今日は、そんな椎名さんに、い

賀県施設合同企画展
(通称：ing展) のア
ドバイザーでもあ
る、日常編集家のア
サダワタルさんを迎
え、県内外の事例を
紹介しながら、今後
福井においてその活
動がより豊かに、日
常化していくための
アイデアを、ゲスト
もホストも参加者も
いっしょに考えてい
きます。（企画サイ
トより抜粋）

▶詳細はこちらへ

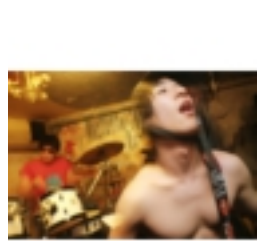
10月 17日
(土) 京都・多
目的カフェ かぜ
のね (新着)



「左京区まちの居
場所塾」第3回 コ
ミュニティスペー
スから始まる文化
発信～住み開きと
シェアハウス～
左京区では、高齢者
をはじめとする幅広
い区民が気軽に集え
る「まちの居場所」
を増やすため、左京
朝カフェから誕生し
たグループ
「SAKYOLABO (さ
きょうラボ)」と共
に「まちの居場所
でほっとプロジェクト
@左京」を展開して
います。この度、多
彩な講師等をお迎え
し、「まちの居場
所」を開設するた
めの実践を学ぶ講座
を以下のとおり開講
しますのでお知らせ
します。講師：アサ
ダワタル（日常編集
家・京都精華大学ポ
ピュラーカルチャー
学部非常勤講師）、
竹内桃子（ちゃんも
も◎）（「洩家」前
代表・タレント）
（企画サイトより抜
粋）

▶詳細はこちらへ

9月 30日 (火)
大阪・HOPKEN
(新着)



韓国音楽ドキュメ
ンタリー『パーテ
ィー51』上映・ト

ーティ。共演には、
2013年のあいちトリ
エンナーレにおいて
もSJQ++名義で大き
な爪跡を残した、ジ
ャズカルテット編成
の生演奏を、リアル
タイムで音響処理を
行う電子即興アンサ
ンプル"SjQ"と、今回
が変名後初ライブ
の、生音raster-
notonを標榜し装い
を新たにした村田十
三氏リーダーバン
ド"Mad Tapes
Erase Group"
(ex.Libra)の二組が登
場！（企画概要より
抜粋）

▶詳細はこちらへ

4月3日 (金)
ライブ (ソロ) 大
阪谷8・伽奈泥庵
(新着)



ウォンジクスー・
回復祈願ライブ
大阪でライブをし
ます。ウォンさんの病
気が治ること、二人
がただ歌うこと。ち
よっと直前の告知に
なっちゃったけど、
お客さんが来なかつ
たとしてもやりま
す。でもいっぱい来
てほしい。ぜひウォ
ンさんの声を聴きに
きてください。
4/3 (金) 谷九カナ
ディアン（大阪市中央
区中寺町2-1-64）
won jiksoo（ウォン
ジクスー） / アサダ
ワタル（大和川レコ
ード）
19:30/2000円+1D
▶詳細はこちらへ

3月23日 (月)
ワークショップ
東京・ポレポレ東
中野 (新着)



坂上香監督作品
「トークバック
沈黙を破る女た
ち」上映会 + 【音
楽を使ったワーク
ショップ】 ゲス
ト：アサダワタル
(日常編集家) × 坂
上香(監督)
連日”トークバック・
セッション”開催！！
映画+トークの濃密
な三時間！連日多彩

ま障害福祉分野に足
りていないものや、
逆に可能性に溢れて
いるところなどを語
っていただくととも
に、この分野から生
まれるアート活動に
ついてもお伺いした
いと思います。。放
送日は12月11日と
12月18日（ポッドキ
ャストは翌週月曜か
ら配信）です。

▶詳細はこちらへ



【新連載】雑誌
『ソトコト』『メ
モリミックス!! 一
記憶が編みなおさ
れる時一』開始。
(新着)

ひとまずソトコトで
の連載「コミュニテ
ィ難民のススメ」が
終わりまして、新連
載を開始しました。
はい。『メモリミッ
クス!! 記憶が編みな
おされる時』とい
う、「記憶×表現」と
いう僕の創作の下地
になっているような
テーマを展開してい
きます。人の記憶を
聞き取り、校歌のオ
リジナルカラオケ映
像を創り上げる北九
州市小倉のスナック
「銀杏」のママ・入
江公子さんに3回に
わたり密着し、今号
ではそのまとめ考察
を書きました。どう
ぞ読んでみてください。
▶詳細はこちらへ



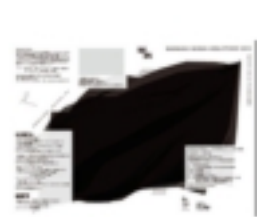
【新連載】ele-
kingウェブサイト
にて『借りパク
音楽反省会』スタ
ート！第四回アッ
プ (新着)

「ele-king Powerd
by DOMMUNE」で
の新連載『借りパク
音楽反省会』が本日
から始まりました。
「借りパク」という
行為から生まれる他
者への想起に新たな
（煩惱・後悔という
名の）“ノイズ”ミュー
ジックの可能性を見

ーク
韓国ソウル、弘大地区で活動する音楽家と都市開発、彼らの生活環境を追ったドキュメンタリー映画『パーティー51』がついに日本上映決定。9月後半から10月初旬にかけて、映画に登場する音楽家が続々と来日し上映会・ライブを繰り広げます。上映後トークゲスト：アサダワタル（文筆・音楽業／SjQ、ex大和川レコード）／杉本喜則（HOPKEN店主）／聞き手：山本佳奈子（Offshore）（企画サイトより抜粋）

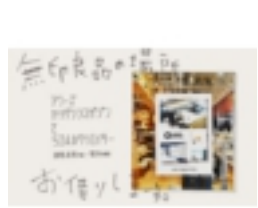
▶詳細はこちらへ

9月 23日（水・祝） 群馬・MaebashiWorks（新着）



MW Talk-09
自分のプライベート空間を少し開放する「住み開き」や、様々な分野を横断しながら働く「コミュニティ難民」を提唱するなど、ユニークな活動を行っているアサダワタルさん。あたりまえとと思っていることを少し違う角度から考えてみることで、豊かな生き方や働き方を考えてみたいと思います。（企画チラシより抜粋）

9月 20日（日）大阪・無印良品グランフロント大阪店（新着）



■無印良品 グランフロント大阪「アワーズ カリグラシマガジンと50人のクリエイター」（2015年9月15日（火）～10月14日（水））「OURS. KARIGURASHI MAGAZINE」は、OURS.編集部とUR都市機構が2015年2月

なゲストをお招きして、上映後に映画さながらの”トークバック・セッション”を行います。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

3月22日（日）ライブ&トーク（SjQ++）東京都庭園美術館 新館ギャラリー2（新着）



TTM:IGNITION BOX（イグニションボックス）2015 PROGRAM_B Sprout：レンズ系とジェネ系の世紀、ふたつの黎明往々にして、偉大な発見は黎明期にほぼ出揃ってしまいます。逆に、現在はその数ある発見で枝分かれした可能性の一つともいえます。このイベントでは、20世紀に試みられた撮影による映像表現の工夫と、21世紀の日本で様々なイノベーションがみられる計算による映像表現の工夫とを、同日2セッションで体験していただきます。

1st SESSION: 「ヴォードヴィルからアニメーションへ」（仮）

出演：細馬宏通／しりあがり寿／澤隆志

2nd SESSION: 「即興と計算によるグルーヴ」（仮）

出演：SjQ++ = 魚住勇太（ピアノ）、米子匡司（トロンボーン）、ナカガイトイサオ（ギター）、アサダワタル（ドラム）、大谷シュウヘイ（ベース）、Kezzardrix（映像）／澤隆志

▶詳細はこちらへ

2月23日（月）公開研究会 東京・東京藝術大学千住キャンパス（新着）



アートプロジェクト

出そうと煩悶してきた僕として、2012年の大阪アートコートギャラリーでの借りパク音楽展覧会から3年。改めて連載企画として生まれ変わります。皆さんの借りパクしたCDにまつわるエピソードを改めてお待ちしております。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送！11月～12月のゲスト ダルク女性ハウス施設長 上岡陽江さん、映画監督 坂上香さん。（新着）

今日は、ダルク女性ハウス施設長の上岡陽江さんと昨年もご出演いただいた映画監督の坂上香さんのお二人をお招きしています。そして、KBS京都スタジオではなく、お二人とアサダがとあるイベントでご一緒した東京の会場からお届けします。そんなお二人が語るテーマは「表現活動と居場所の関係」について。アサダの音楽ワークショップの様子も一部お届け。放送日は11月27日と12月4日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【新連載】ele-kingウェブサイトにて『借りパク音楽反省会』スタート！第三回アップ（新着）

「ele-king Powerd by DOMMUNE」での新連載『借りパク音楽反省会』が本日から始まりました。「借りパク」という

からはじめてウェブマガジンです。写真家、イラストレーター、デザイナー、文筆家…をはじめ、さまざまなクリエイターが参加しています。本展では、ウェブ上で見られるコンテンツの一部をOpen MUJIのスペースに合わせて展示します。さらに、これまで OURS.にご参加いただいているクリエイターの方々から、「日常的に使うわけではないのに、なぜか家にずっと居座っている物」をお借りして、その理由とあわせて展示。それぞれの日常にひそむ、ささやかな暮らしのクセを通して、その横顔をご紹介します。←アサダも参加します（企画サイトより抜粋）

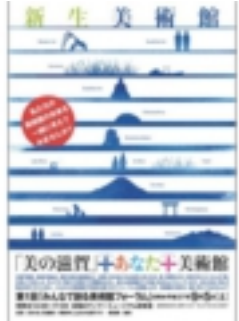
■トークセッション！「これからの借り暮らし、これからの団地」

いまどきの"借り暮らし""貸し借り"を考えるウェブマガジン OURS.。今回のトークでは、「住み開き」「借りパク」など、日常の再編集を迫るような活動が続けているアサダさんを迎えて、OURS.の成り立ちに加えて、これからの団地についての話も。また、無印良品の商品をフル活用した展示空間を作りあげた西山さんには、長年の無印良品愛も語っていただく予定です。

2015年9月20日（日）16：00～17：30／出演：アサダワタル（日常編集家）、西山広志（建築家/NO ARCHITECTS）、小正茂樹（UR都市機構/OURS.編集部）、竹内厚（編集者/OURS.編集部）（企画サイトより抜粋）

▶詳細はこちらへ

9月5日（土） 滋賀・ヤンマーミュージアム（新着）



みんなで創る美術館フォーラム〜「美の滋賀」+あな

トにおける「音」の記録研究 第2回 公開研究会

アートプロジェクトにおける「音」の記録研究では、昨年度より「音」をテーマにしたアートプロジェクト「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」を題材とし、一般的なコンサートなどの「音楽」の記録（録音・録画）ではなく、アートプロジェクトの現場で鳴らされた「音」の記録についての考え方や手法を研究してきました。

「音」の記録を通して、追体験とも異なる新たな価値を与えることができるのか。ゲストを迎え、様々な方法で取り組んだ2年間の研究を振り返りながら、今年度の研究対象である野村誠 千住だじゃれ音楽祭「千住の1010人」の記録を発表します。

出演：研究代表者：熊倉純子（東京藝術大学音楽学部 音楽環境創造科 教授）／コーディネーター：清宮陵一（音楽プロデューサー）／研究協力者：アサダワタル（日常編集家）、須之内元洋（札幌市立大学デザイン学部助教）／研究助手：神谷知里(アートアクセスあだち 音まち千住の縁 事務局長)、橋本瑛史(アートアクセスあだち 音まち千住の縁 事務局)、處 美野(アートアクセスあだち 音まち千住の縁 事務局)／ゲスト：角張渉（カクバリズム）、永井幸輔（弁護士／Arts and Law）

1月11日（日） ライブ（ソロ）奈良・たんぽぽの家 アートセンター HANA（終了）



『24時間こたつラヂオ -ひねってまたいで音楽で-』いきなりですが、2015年1月11日から12日にかけて、たんぽぽの家で24時間ラヂオを開局いたします！文字通り24時間限定のラジオです。テーマは、「音楽と

行為から生まれる他者への想起に新たな（煩惱・後悔という名の）“ノイズ”ミュージックの可能性を見出そうと煩悶してきた僕として、2012年の大阪アートコートギャラリーでの借りパク音楽展覧会から3年。改めて連載企画として生まれ変わります。皆さんの借りパクしたCDにまつわるエピソードを改めてお待ちしております。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ 「Glow～生きることが光になる～」 真毎週金曜 21時30分～21時55分放送！ 11月のゲスト アール・ブリュット作家 鱸万里絵さん。（新着）

今日は、長野県で作品制作をおこなうアール・ブリュット作家の鮎万里絵さんをゲストにお迎えします。鮎さんは、乳房や鋏、性器などのモチーフと、それらの間を埋め尽くす反復的なパターンが特徴的な絵画作品を制作されています。ときにエロティック、ときに暴力的でもある彼女の作品は、一方でどこかユーモアも感じさせるもので、これまで国内外で数々のアール・ブリュットの展覧会に出品されています。今日は、そんな鮎さんと親交のある田端一恵現地レポーターがスタジオで聞き役となり、貴重なトークを繰り広げます。放送日は11月13日と11月20日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【新連載】雑誌

た+美術館〜
「滋賀県新生美術館」について県民と
交わって語りあう
「みんなで創る美術館フォーラム」が開催されます。建築担当のSANAAの妹島和世氏と西沢立衛氏と、このプロジェクトの顧問をされているキュレーター 長谷川祐子さん、そして滋賀県で「近・現代美術」「神仏や暮らしと美術」や「アール・ブリュット」に携わる方々が登壇。僕はファシリテーターを務めます。県民として、また滋賀県内の文化プロジェクトに多少也とも関わっている立場として、皆さんの意見を混ぜながらいい場を生み出すことを心掛けてこの日に望みます。少しでも興味のある方は、ぜひご予約のうえ、参加してみてくださいね。

▶詳細はこちらへ

8月 23日（日）
大阪・スタンダードブックストア心斎橋（新着）



『おうちでかんたん こうじづくり』刊行記念×『新生タルマーリー』お披露目会
なんやかんやと激動している最近の日本、キーワードは『発酵』なのではないか？味噌屋、パン職人、発酵デザイナー、コミュニティ難民の4人が集まって『発酵』の話題を掘り下げつつ、これからの社会のカチチを考えてみつつ、でも基本は昼から一杯飲んで愉快地盛り上がるトークイベントです。【出演】※順不同/敬称略 渡邊格（パン職人/タルマーリー）五味仁（味噌職人/五味醤油6代目）小倉ヒラク（発酵デザイナー/アートディレクター）アサダワタル（日常編集家/コミュニティ難民）（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

8月 18日

コミュニケーション・オン」。会場には巨大こたつが設置され、ゲストたちによるパフォーマンス&ワークショップ&トークを敢行。フェス形式で進行し、会場を横断しながらご参加いただける内容です。軽食ブース、仮眠室までご用意しております。聴くもよし、喋るもよし、食べるもよし、寝るもよし。年の初めに、みんなで楽しみましょう！（企画概要より抜粋）→アサダは11日お昼12時から90分くらいでの既存の歌謡曲を使った二種類のパフォーマンスを披露予定です。

▶詳細はこちらへ

12月29日（月）
年末恒例！カラオケボックスでクラブイベント?! 京都・シダックス三条河原町店（終了）



『KARAOKEDISCO!! 京都編2014年末 in Shidax三条河原町店』
J-POPをベースに、クラブイベント”KARAOKEDISCO!! “を主催するcodacodaDJ（國府田典明）と、日常生活を音楽などの表現でリミックスすること重ねてきた日常編集家 アサダワタルがコンビを組み、そこに、“もぐらが一周するまで”の佐藤亘も加わり、そして協力なゲスト陣も加わりましての、“踊って歌える”DJをベースに、カラオケ要素のあるLIVEパフォーマンスや、DJの選曲でお客さんがカラオケできる時間等、身近なカラオケ環境によって、日本人っぽいクラブイベントが組み立てられるか、という試みです。ぜひとも、こじんまりとしつつもワクワクと笑いと興奮がこみ上げてくる新感覚の年末クラブイベントにお立ち会いください。

2014年12月29日（月）open/start 22:00 close 5:00 at シダックス京都河

『ソトコト』『メモリミックス!! ー記憶が編みなおされる時ー』開始。（新着）

ひとまずソトコトでの連載「コミュニティ難民のススめ」が終わりまして、新連載を開始しました。はい。『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。今号から3回にわたり、人の記憶を聞き取り、校歌のオリジナルカラオケ映像を創り上げる北九州市小倉のスナック「銀杏」のママ・入江公子さんに密着しています。どうぞ読んでみてください。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送！11月のゲスト 国際日本文化研究センター所長・民俗学者 小松和彦さん講演公開収録。（新着）

今回は10月24日（土）に近江八幡市内で開催された民俗学者 小松和彦さんの講演会の模様をお届け。ボーダレス・アートミュージアムNO-MAでは、現在、「想像上の生きもの」をテーマにした企画展「これ、すなわち生きものなり」を開催中。この講演会はその関連企画として、妖怪研究の第一人者として知られる小松和彦さんに、鬼や妖怪などの架空の生きものを通じて、日本人が古くから暮らしのなかで感じてきた見えない世界との関わりや心のありようについてお話をいただきました。放送日は10月30日と11月6日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ

(火)・19日
(木) 北海道・
札幌かでの2・7
(新着)



北海道文化財団・地域文化コーディネーター養成講座
地域とアーティストを繋ぐ役割を担うコーディネーターの育成及び地域の芸術環境づくりに資する人材の育成を目的に、地域住民とアーティストが交流するプログラムの企画立案などを実践的に学ぶ講座を開催します。講師：濱田竜也（プロジェクトデザイナー・濱田企画事務所代表）／漆 崇博（コーディネーター・一般社団法人AISプランニング代表理事）／アサダワタル（アーティスト）（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

8月 8日 (土)
東京・下北沢
B&B (新着)



ミネシンゴ×アサダワタル×江澤康太
「美容室がまちにできること」『美容文藝誌 髪とアタシ第三刊』刊行記念
美容文藝誌 髪とアタシ創刊号に登場してもらった気鋭のサロンboy Uでトップスタイリストを務める江澤康太さんと、第三刊で登場した日常編集家のアサダワタルさんをお呼びして「美容室がまちにできること」をテーマにお話します。boyは今までも美容室の枠にとらわれない活動が続けてきて、boy予備校、落語会、ギャラリー展示、お祭りまで、さまざまな地域との関わりをつくってきました。アサダワタルさんも地域に根ざした社会活動、アート表現など多岐にわたり、「住

原町三条店 パーティールーム（※直接パーティールームへお越し下さい。）
DOOR: ¥3700（※アルコール&ソフトドリンクフリー）
定員：30名（※予約ご一報を→
info@kotoami.org）
DJ：codacoda（國府田典明／KARAOKEDISCO!!）/
DJ ぎゃ / DJ hOlysHIT
MC：アサダワタル（“日常編集家”という名の放浪芸人） / デリヘル美
LIVE：アサダワタルのDJ話芸 / もぐらが一周するまで
GUEST ACT：水内義人 / Tatsuya Shimada(night cruising) / RAIJIN
主催：カラオケボックスの新しい使い方実行委員会

▶詳細はこちらへ

11月29日 (土)
ライブ (SjQ) 静岡芸術文化大学
(終了)



「楽×学（ラクガク）2014～私の「やる！」を興すために～」ライブプログラム
SjQ（サウンド・アートプロジェクト）によるライブパフォーマンス
知と文化の交流事業実行委員会では、創造都市として発展するきっかけづくりとするため、「楽×学 2014～私の『やる！』を興すために～」。この日の最終プログラムとしてライブパフォーマンス（新作）をします。

▶詳細はこちらへ

10月24日 (金)
ライブ (ソロ) 大阪FLOAT (終了)



合奏の会/第54回公演「行楽の演習」
夜8時くらいから 西九条 FLOATにて
おかね：1000円 出演：アサダワタル、



【選書フェア】青山ブックセンター六本木店で、マイマイ計画（野島智司）×アサダワタル選書フェア「間（すきま）をひらく生き方30冊」開催中（新着）

マイマイ計画の野島智司さんの新著（帯文書かせてもらいました）出版記念して、マイマイ計画（野島智司）×アサダワタル選書フェア「間（すきま）をひらく生き方30冊」が10月初旬から開催中です。特別リーフレットもあるそうです。近くによったらぜひ覗いてみてください。



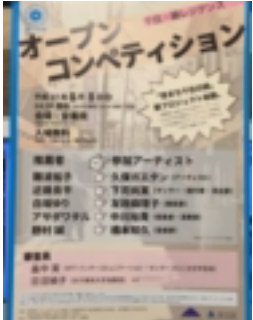
【ラジオ】KBS京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送！10月のゲスト 京都大学こころの未来研究センター教授 鎌田東二さん。（新着）

鎌田さんは、宗教哲学者として数々の研究と執筆活動で知られている方です。また神職の資格を持ち、神道ソングライターとして作曲活動も行うとても多彩な活動をされています。そんな鎌田さんが、アール・プリュットが織りなす世界観に魅力を感じてらっしゃるということ耳にし、今日は改めてアール・プリュットについて二回にわたって色々とお話を伺いたいと思います。放送日は10月16日と10月23日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ

み開き」「コミュニティ難民のススメ」などの著者でもあります。美容室がまちに対してできること、まちに開いたときの可能性をめぐるトークイベント。
(企画概要より抜粋)
[▶詳細はこちらへ](#)

8月 8日 (土)
東京・安養院
(新着)



千住・縁レジデンス」オープンコンペティション（推薦者として公開審査イベントに参加）

今年5年目を迎えた「音まち」では、千住を舞台に作品制作をおこなう若手アーティストを迎える新企画「千住・縁レジデンス」をはじめます。現代のアートシーンの第一線で活躍するアーティストやキュレーター、ライターらが自信を持って推薦する5人の若手アーティストがこの夏、千住に集結。オープンコンペティションでは、事前にまち歩きやリサーチを進めてきた若手アーティストたちが一堂に会し、秋からの実現を懸けて各自が練った千住ならではの企画案をプレゼンテーションします！まちなかで得たさまざまな出会い〈縁〉に刺激された面々から、いったいどんな熱いプランが飛び出すのか。審査員に迎える専門家や「音まち」を見守ってくださる地域審査員、そして会場のみなさまとともに、公開審査によって、秋から本格的に招聘するアーティストをひとり、この日に選出します。（企画概要より抜粋）

[▶詳細はこちらへ](#)

6月 6日 (土)
滋賀県・長浜曳山博物館伝承スタジオ
(新着)

もぐらが一周するまで、行楽猿 (KOURAKUEN):みやけをしんいち,武村篤彦,貝つづ詳しい出演者情報などは以下を。

[▶詳細はこちらへ](#)

10月18日 (土)
ライブ (SjQ) 新宿リキッドルーム
(終了)



Red Bull Music Academy Presents EMAF TOKYO 2014
ドラムを担当するサウンドユニットSjQ、久々の東京ライブが決定。飲料メーカー・レッドブルが主宰する音楽学校Red Bull Music Academyによる国内最大規模の電子音楽祭「Electronic Music of Art Festival Tokyo」に出演します。2年目の開催を迎えるこのイベントは、既にエレクトロニック・ミュージックの世界でも最先端で革新的なイベントとしての地位を確立しているもの。SjQは初日の10/18、flauレベルがキュレーションを務める2階フロアLIQUID LOFTにてパフォーマンスを予定しています。詳しい出演者情報などは以下をご覧ください。

[▶詳細はこちらへ](#)

10月1日 (水)
研究会 東京・東京藝術大学千住キャンパス
(終了 ※非公開 後日何かしら成果発表)
(終了)

アートプロジェクトにおける「音」の記録研究
2013年度から東京藝大×東京都による研究プロジェクトで研究協力者として参加しています。昨年のレポートは「詳細はこちら」をご覧くださいね。
東京芸術大学熊倉研究室では、一昨年度からの「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」の開催をうけ、アートプロジェクトにおける「音」の記録研究に取り組



【新連載】ele-kingウェブサイトにて『借りパク音楽反省会』スタート！第二回アップ (新着)

「ele-king Powerd by DOMMUNE」での新連載『借りパク音楽反省会』が本日から始まりました。「借りパク」という行為から生まれる他者への想起に新たな（煩惱・後悔という名の）“ノイズ”ミュージックの可能性を見出そうと煩悶してきた僕として、2012年の大阪アートコートギャラリーでの借りパク音楽展覧会から3年。改めて連載企画として生まれ変わります。皆さんの借りパクしたCDにまつわるエピソードを改めてお待ちしております。毎月半ばと月末の二回更新です。

[▶詳細はこちらへ](#)



【連載】Webマガジン「マガジン航」にて「本屋はブギーバック」第7回掲載。「出版と巡業」 (新着)

本と出版の未来を考えるWebマガジン「マガジン航」にて連載中の「本屋はブギーバック」。第7回は拙著『コミュニティ難民のススメ』にまつわる“出版巡業”から見てきた所感を、まとめてみました。各地ではいろいろな先達に、本当に本当にお世話になりました。ぜひ、現在の本や出版を巡るさまざまな状況のなかで、「作家が本を携えて人に会いにゆくことの意味」を、何かしら受け取ってもらえれば幸いです。

[▶詳細はこちらへ](#)



第2回近世城下町
ふるさとまつりま
ちづくり交流会

近世城下町を有する地域の方々が、「城下町」をテーマに現在取り組んでいる特色あるまちづくりの事例発表後、パネルディスカッションを開催。／パネラー：上田市政策企画局シティプロモーション青木卓郎氏、六龍堂早川知佐氏、近世城下町ふるさとまつり運営委員長 漣泰寿 コーディネーター：アサダワタル氏（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

5月23日(日)
東京・下北沢
B&B (新着)



アサダワタル×内沼
晋太郎×仲俣暁生
「アサダさんと内
沼さんのハザマに
ある、“コミュ難”っ
て？」『コミュニ
ティ難民のスス
メ』（木楽舎）刊
行記念

『コミュニティ難民のススメ』が刊行されてから約半年が経ち、「コミュニティ難民」という言葉も浸透してきました。著者のアサダワタルさんが考える、「コミュニティ難民」の方々対談を繰り広げてきたこのトークシリーズ。いよいよ佳境を迎える今回は、「いったい、何屋さんですか？」という問いを、『B&B』店主であり、本を媒介として数々のプロデュース活動を行ってきた内沼晋太郎さんにぶつけてみます。いくつかのコミュニティで、さまざまな表現手段をもちながら生きていく面白さとは？そして、全国各地でのこれまでの対話を経て、アサダさんから発信された「コミュニティ難

ひとつとなりまし
 た。本研究は「東京
 アートポイント計
 画」のリサーチプロ
 グラム「Tokyo Art
 Research Lab」の一
 環として実施されま
 す。多様化するアー
 トプロジェクトにお
 いて、一般的なコン
 サートなどの「音
 楽」の記録(録音・録
 画)ではなく、アート
 プロジェクトの現場
 で鳴らされた「音」
 の記録についての考
 え方や手法を研究し
 ていきます。本日は、研究協力者であるアサダワタル氏、須之内元洋氏、さらに音まち千住の縁ディレクターである清宮陵一が、普段「音」にまつわるどのような活動をしているのかを紹介し
 ます。そして、「音の記録」をなぜ研究すべきか、というベースとなる問題意識について話しながら、そこにどんな可能性があるかについて考えていきます。(企画概要より転載)

▶詳細はこちらへ

- **7月31日(木) - 8月1日(金)**
研究会 東京・東京藝術大学千住キャンパス (終了)
※非公開 後日何かしら成果発表 (終了)
- アートプロジェクトにおける「音」の記録研究
- 2013年度から東京藝大×東京都による研究プロジェクトで研究協力者として参加しています。昨年のレポートは「詳細はこちら」をご覧くださいね。
- 東京芸術大学熊倉研究室では、一昨年度からの「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」の開催をうけ、アートプロジェクトにおける「音」の記録研究に取り組むこととなりました。本研究は「東京アートポイント計画」のリサーチプログラム「Tokyo Art Research Lab」の一環として実施されます。多様化するアートプロジェクトにおいて、一般的なコンサートなどの「音楽」の記録(録音・録画)ではなく、アートプロジェクトの現場で鳴らされた「音」の記録についての考え方や手法を研究し



【大学講義成果サイト】「私の身近なソーシャルデザイナー図鑑」公開
(新着)

2015年度から京都精華大学ポピュラーカルチャー学部で、音楽とファッションを学ぶ学生さんたちを対象に、「表現を社会のあらゆる領域で使いこなす」をテーマにした「ソーシャルデザイン演習」を担当しています。そこでの成果として、以下のようなサイトが完成しました。学生たち自らが「自分にとってこの人こそが“ソーシャルデザイナー”なんじゃないか…！？」と思う人に直撃インタビューし、記事を書き、公開までこぎつけ、現在13名の先達の方々が紹介されています。「学生が作ったから」とか「あくまで授業の課題のサイトでしょ」って言われないように、それなりにちゃんと「読める」サイトを目指したつもりです。よって、ぜひ皆さんもぜひ、なにかの活動に参照にいただければ幸いです。後期も同じく記事を増やします。お楽しみに。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生きる
ことが光にな
る～」真毎週金曜
21時30分～21
時55分放送！
10月のゲスト
場とコトLAB代
表 中脇健児さ
ん。（新着）

中脇さんは、兵庫県
伊丹市を中心に、関
西一円で、ミュージ
アム、商店主、行
政、市民を結びつけ
るプロジェクトを多
数展開されてきまし
た。アートとまちづ
くりを掛け合わせ、

民」という概念は、本人の手を離れてどのように変わってきたのでしょうか？進行役には、アサダさんそして内沼さんとかねてから親交があり、このお二人の対談のきっかけをつくったフリー編集者で文筆家の仲俣暁生さんを迎えてお届けします。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

5月22日（金）
神奈川・横浜三井ビルディング
15F（新着）

「IT」大学

五番街vol.6 「自由な働き方のススメ」

最近では、今までにないような自由な働き方を模索するケースが増えてきました。今回は、そんな自由な働き方を実践されている方、また出会う機会の多い方をお招きし、なかなか自分ごとに出来にくい、新しい働き方について聞く企画を作りました。どんな働き方に時代はシフトしてきているのか？また、どんな働き方がマッチするのか？ どうしてそんな働き方を選んだのか？ざっくばらんに話を聞く中で、ここでしか聞けない思わぬ話が出てくる可能性も。これからの働き方を考える良い機会になればと思います。出演：アサダワタル・山口豪志・山内真理・ミネシゴ（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

5月17日（日）
大阪・大阪芸術大学9号館前（新着）



スペシャルプログラム「アサダワタル（日常編集家）×中脇健二（場とコトLAB代表）トークショー『課題先

ていきます。本日は、研究協力者であるアサダワタル氏、須之内元洋氏、さらに音まち千住の縁ディレクターである清宮陵一が、普段「音」にまつわるどのような活動をしているのかを紹介します。そして、「音の記録」をなぜ研究すべきか、というベースとなる問題意識について話しながら、そこにどんな可能性があるかについて考えていきます。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

7月27日（日）
ソロ）大阪
port（終了）



- アサダワタル - ディナーショー
- PORT 1 F 飲食店スペースにて、音楽家・文筆家のアサダワタルを迎えてのディナーショーを開催します。彼のバックグラウンドには、ギター弾き語りによるポップソングに映像や録音などの形で『日常』を取り込んで再構築する画期的なソロユニット『大和川レコード』でのライブ活動や、複数のバンドでのドラム奏者としての音楽家としての活動があり、一方では『住み開き（住み開き 家から始めるコミュニティ／2012年 筑摩書房刊行）』や『コミュニティ難民（単著を近日出版予定）』という、言葉で日常や生活の捉え方を作り替える思索家・文筆家としての側面があります。今回は、彼の取り扱う『音』と『言葉』という2つの要素を取り合わせ、一夜限りのパフォーマンスとして皆さんにお届けします。近年は執筆や、日本各地でのトーク・ワークショップなどでご活躍のため、ソロでのパフォーマンスに触れる機会は一時に比べて貴重となっている彼の公演ですので、この機会にどうぞお越しください。また、今回の料理は巴大樹による『インディーズ

街に愉快的コミュニケーションをもたらしてきた視点から、滋賀県の文化やアール・ブリュットがどのように見えるのか、お話を伺いたいと思います。放送日は10月2日と10月9日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【新連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! ー記憶が編みなおされる時ー』開始。（新着）

ひとまずソトコトでの連載「コミュニティ難民のススメ」が終わりまして、新連載を開始しました。はい。『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。今号から3回にわたり、人の記憶を聞き取り、校歌のオリジナルカラオケ映像を創り上げる北九州市小倉のスナック「銀杏」のママ・入江公子さんに密着しています。どうぞ読んでみてください。

▶詳細はこちらへ



【新連載】ele-kingウェブサイトにて『借りパク音楽反省会』スタート！（新着）

「ele-king Powerd by DOMMUNE」での新連載『借りパク音楽反省会』が本日から始まりました。「借りパク」という行為から生まれる他者への想起に新たな（煩惱・後悔という名の）“ノイズ”ミュージックの可能性を見出そうと煩悶してきた僕として、2012年の大阪アートコート

進国日本に挑む越境者たち！』」大阪芸大のオープンキャンパスにてトークイベントに出演します。お相手は、同大学卒業生で今年から芸術計画学科の非常勤講師になられた中脇健児さん。ぜひ遊びにきてくださいね。

▶詳細はこちらへ

5月10日(日)岡山・NAWATE(新着)



「『シゴトとセイカツとワタシ』Vol.4 ～アサダさん、肩書きなんてどうでもいいって言える時は来るんですかね?～」2014年12月に上梓した『コミュニティ難民のススめ』では、「表現(≒プライベート)」と「仕事(≒パブリック)」の間を彷徨って生きる6人の人生の歩き方を紹介。自問自答しながらも、枠組みを飛び越え、楽しく暮らす彼ら(とアサダさん自身)を、「コミュニティ難民」と名付けました。多領域を漂泊するコミュニティ難民とはなにか、そして自己の中にある多様なアイデンティティを見つめながら生きるとはどういうことを「表現的感性を仕事に埋むこと」「領域を横断する」「脱・専門」「公私」などのキーワードを織り交ぜながら伺います。(企画概要より抜粋)

▶詳細はこちらへ

4月12日(日)愛媛・今治ほんからどんどん(新着)



「ワタルあるく。～アサダワタルと渡り歩く・しこく88のコミュニティ～」須崎・土佐町編」往く人にとっては、

寿司』。ほかの分野の料理では定評のある彼が、あえて未挑戦に挑む、この機会しか食べられないお寿司もどうぞお楽しみに。(企画概要より転載)

●

▶詳細はこちらへ

7月20日(日)ライブ(セッション参加)神戸元町I'ma(新着)



【CINEMA STREET FES.2014】Salon I'ma★「プリミ恥部な宇宙 ∞∞∞ UFOPIA」友人のミュージシャン & 映画監督のプリミ恥部&平岡香純にお招きいただき、彼らの映画ライブショーで何かしらの演奏をします。出演 プリミ恥部☆平岡香純★白井多有☆白井多純★サエキマユミ☆YTAMO★アサダワタル☆ひめむすひ★

▶詳細はこちらへ

7月6日(日)ライブ(SjQ)京都Metro(終了)



Andrew Pekler & Jan Jelinek Play Ursula Bogner ジャパンツアー京都公演 at.METRO ドラムを担当するサウンドユニットSjQの久しぶりのライブです。なんとUrsula Bogner = Andrew Pekler & Jan Jelinekによるジャパン・ツアーに参戦。METROで開催される京都公演には Ametsub、Polar M、SjQがゲストで出演。多様な解釈で表現される電子音楽の数々を、ぜひ生で体感して下さい！Special Live：Andrew Pekler & Jan Jelinek Play Ursula Bogner Guest：Ametsub (DJ set)／Polar M／SjQ DJ：tsukasa

ギャラリーでの借りパク音楽展覧会から3年。改めて連載企画として生まれ変わります。皆さんの借りパクしたCDにまつわるエピソードを改めてお待ちしております。毎月半ばと月末の二回更新です。

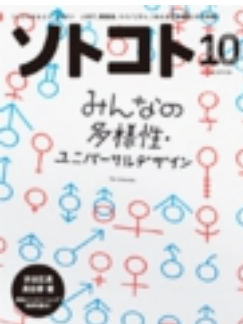
▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送！9月のゲスト graf代表 服部滋樹さん。(新着)

今日は、graf 代表、クリエイティブディレクターで滋賀県ブランディングディレクターを務められている服部滋樹さんをゲストにお迎えします。服部さんは、家具、空間、グラフィック、プロダクトデザイン、アートから食に至るまで「暮らしのための構造」を考えてものづくりをするクリエイティブ集団“graf”の代表としてご活躍されています。そんな服部さんは2014年より、滋賀県ブランディングディレクターに就任。服部さんの視点から、滋賀県の文化やアール・ブリュットがどのように見えるのか、お話を伺いたと思います。放送日は9月11日と9月18日(ポッドキャストは翌週月曜から配信)です。

▶詳細はこちらへ



【新連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! 一記憶が編みなおされる時一』開始。(新着)

ひとまずソトコトでの連載「コミュニティ

先々で出会う人もモノも風景も事柄だって、きっと八十八通りのバリエーションに見えたに違いない四国霊場。巡るお遍路さんを受け入れ、もてなし、時にはばみ！？…風と共に代わる代わる訪れる客人と交わしてきた、四国の土地土地。その“地”と“風”が出会い、土地のオリジナリティは少し形を変え、訪れた人の“知”や“智”も少しずつ変わっていったのかもしれない。2015年4月、お遍路さんみたく白装束はまとってないけど、「コミュニティ難民のススメ 表現と仕事のハザマにあること」という、ちょっと挑戦的なタイトルの本を小脇に抱えて、四国のコミュニティを、アサダワタルという人が、渡り歩き始めます。◎日時：2015年4月12日（日）13:00～16:00／◎場所：まちなか広場・ほんからどんどん（愛媛県今治市常盤町2-7-7）／◎話し手：アサダワタル／日常編集家、田中謙／村上水軍博物館学芸員、地元今治の方々（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

4月11日（土）高知・すさきSAT まちかどギャラリー（新着）

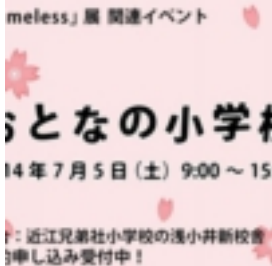


「ワタルあるく。～アサダワタルと渡り歩く・しこく88のコミュニティ～ 須崎・土佐町編」往く人にとっては、先々で出会う人もモノも風景も事柄だって、きっと八十八通りのバリエーションに見えたに違いない四国霊場。巡るお遍路さんを受け入れ、もてなし、時にはばみ！？…風と共に代わる代わる訪れる客人と交わしてきた、四国の土地土地。その“地”と“風”が出会い、土地のオリジナリティは少し形を変え、訪れた人の“知”や“智”も少しずつ変わっていったの

／Tatsuya Shimada (night cruising)

▶詳細はこちらへ

7月5日（土）ワークショップ 滋賀近江兄弟社小学校（新着）



ワークショップ『おとなの小学校』にて、「クセ」をテーマにしたワークショップ担当。

滋賀県近江八幡市ボーダレス・アートミュージアムNO-MAで開催中の展覧会

「Timeless 感覚は時を越えて」の関連イベント『おとなの小学校』が開校→NO-MAならではの一日限りの小学校を開校します。20歳以上（大人）を対象にしたイベントで、小学校時代に遡るというコンセプトの体験型イベントです。朝の会に始まり、国語の時間にはみんなで絵本の楽しい読み方を探したり、図工の時間には作品を見て話をしあい、タイムカプセルを作るなど一日を通してさまざまな体験をご用意しています。それぞれの授業、個性溢れる先生たちと一緒に楽しんでいただきますのでお楽しみに。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

6月7日（土）—8日（日）研究会 東京・東京藝術大学千住キャンパス（終了 ※非公開 後日何かしら成果発表）（終了）

アートプロジェクトにおける「音」の記録研究 2013年度から東京藝大×東京都による研究プロジェクトで研究協力者として参加しています。昨年のレポートは「詳細はこちら」をご覧くださいね。

東京芸術大学熊倉研究室では、一昨年度からの「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」の開催をうけ、アートプロジェクトにおける「音」の記録研究に取り組

ィ難民のススメ」が終わりまして、新連載を開始しました。はい。『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。今号から3回にわたり、人の記憶を聞き取り、校歌のオリジナルカラオケ映像を創り上げる北九州市小倉のスナック「銀杏」のママ・入江公子さんに密着しています。どうぞ読んでみてください。

▶詳細はこちらへ



【特設サイト】『コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにー』特設サイトがローンチ！（新着）

『コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにー』特設サイトがローンチ！もともとどさ回り体質の僕は「出版」から「出来事」を生みたくて、この本を携えて全国各地を旅したのでした。これはその中の東京で交わされた対話の記録がぎっしり詰まっています。まずは連続起業家・家入一真さんとの対談記事などが全文読めますので、どうぞ覗いてみてくださいね！コンテンツ続々更新予定です。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ 「Glow～生きることが光になる～」 真毎週金曜 21時30分～21時55分放送！放送100回記念！ 8月のゲスト 毎日新聞論説委員 野沢和弘さん、社

かもしれない。2015年4月、お遍路さんみたく白装束はまってるけど、「コミュニティ難民のススメ 表現と仕事のハザマにあること」という、ちょっと挑戦的なタイトルの本を小脇に抱えて、四国のコミュニティを、アサダワタルという人が、渡り歩き始めます。◎日時：2015年4月11日（土）13：00～16：00／◎場所：すさきsat まちかどギャラリー・和室（高知県須崎市青木町1-16）／◎話し手：アサダワタル、川浪千鶴、ヒビノケイコ（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

4月4日（土） 京都・KYOTO ART HOSTEL kumagusuku（新着）



「表現と仕事の新しい関係性」
「表現と仕事の新しい関係性」は2015年にオープンしたアート hostel「クマグスク」にてさまざまなジャンルにおいて活躍するゲスト達が独自の視点から意見を交わしながら、各々が活動するコミュニティとカテゴリーやボーダーを超えた先で生まれる新たな表現や仕事の可能性を探求するレクチャーイベントを行います。ゲストはアートフェア東京・プログラムディレクターであり、本年開催の超京都 artkyoto2015においてアドバイザーコミッティーの金島隆弘氏、「コミュニティ難民のススメ」の著者であり日常編集家のアサダワタル氏。泊まれるアート空間として「クマグスク」をスタートさせたアーティストでもある矢津吉隆氏、ArtGridKyotoの副実行委員長兼NPO法人 AntennaMediaの理事兼アーティストの田中英行氏らを予定。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

むこととなりました。本研究は「東京アートポイント計画」のリサーチプログラム「Tokyo Art Research Lab」の一環として実施されます。多様化するアートプロジェクトにおいて、一般的なコンサートなどの「音楽」の記録(録音・録画)ではなく、アートプロジェクトの現場で鳴らされた「音」の記録についての考え方や手法を研究していきます。本日は、研究協力者であるアサダワタル氏、須之内元洋氏、さらに音まち千住の縁ディレクターである清宮陵一が、普段「音」にまつわるどのような活動をしているのかを紹介します。そして、「音の記録」をなぜ研究すべきか、というベースとなる問題意識について話しながら、そこにどんな可能性があるかについて考えていきます。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

6月1日（日）ソロ（DJ話芸）京都 UrBANGUILD（終了）



「o/t/c scene.30 "音楽とたたかうこと/たたかわないこと/その廻りの賭け事”」
京都を拠点に活躍する中川裕貴くんがオーガナイズするイベント「o/t/c」に出演させていただきます。
演奏：空間現代／中川裕貴、バンド
DJ話芸：アサダワタル

▶詳細はこちらへ

改めて2014年度もよろしくお願いたします。

2013年度も方々で大変お世話になりました。4月現在はしばらく執筆モードで籠る日々が続いておりますが、6月1日に、ソロ（DJ話芸）

会福祉法人グロー理事長 北岡賢剛さん。（新着）

今日は、毎日新聞論説委員の野沢和弘さんと社会福祉法人グロー理事長の北岡賢剛さんをお招きします。そして、今日はなんとこの番組100回目の放送なんですね。約二年にわたって放送を続けてきましたが、リスナーの皆さんの支えあってのことです。ありがとうございます。今日のテーマは大きくなります。題して「アール・ブリュットと日本の未来について語り合う」です。。放送日は8月28日と9月4日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【新連載】雑誌『ソトコト』『メモリックス!! ー記憶が編みなおされる時ー』開始。（新着）

ひとまずソトコトでの連載「コミュニティ難民のススメ」が終わりまして、新連載を開始しました。はい。『メモリックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。どうぞ読んでみてください。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送変更！8月のゲスト現代アートユニット・パラモデル中野裕介さん。（新着）

現代美術ユニット「パラモデル」のメ

3月27日（金）
長野小布施町・まちとしょテラソ
（新着）



小布施まちづくり大学 平成26年度
第4回講義 日常を
素材にして「場」
をおこすこと～
「住み開き」など
をきっかけに～
日々暮らす自宅の一
部を、自分の好きな
ことをきっかけに無
理なく他者へと開放
してゆく「住み開き
（すみびらき）」を
始め、いま目の前に
ある日常風景に対し
て文化的な感性を投
げかけてみること。
課題解決前提から始
まる大文字のまちづ
りとは一風違った、
「私」を軸とする
「自己表現」の延長
線上の小文字のまち
づくりについて、
様々な事例をもとに
お話します。（企画
概要より抜粋／詳細
は後日更新）

▶詳細はこちらへ

3月24日（火）
東京・リトルトー
キョー（新着）



アサダワタル×髪と
アタシ「SALON開
きのススメ」公開
取材トークイベン
ト
まちのサロンには、
毎日不特定多数の人
間が出入りする、ち
よっと変わった空間
です。ただ単に「髪
を切る場所」から
「人が集まりコミュ
ニティが生まれる場
所」にだんだんとシ
フトしてきました。
そもそも「salon」と
いう言葉は「客間」
の意味のフランス
語。特にフランスで
17～18世紀に流行し
た、教養ある上流婦
人の客間で催された
社交的集会。フラン
スでは中世以来、サ
ロンが政治や文学で
重要な役割を果たし
ているといいます。営
業時間外はだいたい
新人の練習風景が見

でライブ@京
都・三条
UrBANGUILD
にて、中川裕
貴、バンド。
さんと空間現
代さんと共演
させていただきます。
またぜひHPの更
新を心待ちく
ださいね。

3月14日（金）
DJ話芸家元はじ
め実演と佐々木敦
さんとトーク 京
都・HAPS（終
了）

「佐々木敦さんと
語る「音楽を使い
こなすコミュニケ
ーションプラット
フォーム」 ー例
えば「DJ話芸」
「借りパク音楽」
についてー」
難しいタイトルをつ
けてすいません。問
題提起者のアサダワ
タルは、いわゆるバ
ンドマンとして長年
いくつかのバンド
（越後屋、SjQ、ニー
ハオ！、HOSOMEな
ど）でドラムを叩い
たり、ソロで弾き語
り（大和川レコー
ド）したり、映画や
CMの演奏の仕事させ
てもらったりとなん
とか音楽活動をやっ
てきました。

それで、自分が音楽
以外のこと、スペー
ス運営や執筆などに
関わる中で、だいぶ
音楽に対するアプロ
ーチがここ数年で変
わってきて、
最近は音楽を使った
色んな「遊び」を発
明しては様々な現
場、小学校とか福祉
施設とか図書館とか
現代美術の画廊とか
で沢山のひとと
一緒に実験するみた
いなことをやってい
るんです。
例えば、借りたまま
返せなくなったCDと
そのエピソードをみ
んなに持ち寄っても
らって某レコードシ
ョップのようにポッ
プをつけて試聴機に
かけて期間限定のお
店みたいなことしたり、みんなで「借り
パクコンピレーショ
ンCD」を作ったり。
小学校の子どもたち
に、親や先生に対し
て子ども時代に好き
だった曲のインタビ
ューをしてもらって
それを元に選曲して
地域でコピーバンド
やカラオケ大会を開
いたり。カラオケボ
ックスSHIDAXで

ンバーであり、京都
市立芸術大学の非常
勤講師を務める中野
裕介さんをお招きし
ます。中野さんは相
方の林泰彦さんとと
もにパラモデルとい
うユニットで、様々
な手法を用いた美術
作品を、国内外の展
覧会で発表してきま
した。そんな中野さ
んが制作を続けるう
えでずっと心の中に
生き続けているある
存在について、アール・ブリュットの可
能性と絡めながら自
由にお話いただきます。
放送日は8月7日
と14日（ポッドキャ
ストは翌週月曜から
配信）です。

▶詳細はこちらへ



【掲載】朝日新聞
連載「折々のこと
ば」（驚田清一
氏）に、『コミュ
ニティ難民のスス
メ』が紹介（新
着）

7月21日、朝日新聞
全国版の一面で展開
されている驚田清一
氏の連載「折々のこ
とば」にて、『コミ
ュニティ難民のスス
メ』からの一節が紹
介されました。驚田
先生、ありがとうございます。
詳しくは
リンク先を。

▶詳細はこちらへ



【テレビ】7月19
日 BS朝日
『Flesh Faces
～アタラシイヒ
ト～』にて、アサ
ダの活動取材放
送。（新着）

毎週日曜の22時54
分～23時にBS朝日
にて放送されている
『Fresh Faces ～ア
タラシイヒト～』と
いう番組に7月19日
に出演します。雨の
日に口ケ車内や武蔵
野公園で撮影した映
像のキャプチャーが
なんか変な顔。あら
ゆる方面から取材し

受けられ、まちに対して、人に対して開いている感覚は皆無だと言えます。サロンは「髪を切ること」以外にもたくさんの可能性を秘めている、まちの情報発信装置になると髪とアタシは確信しています。今回、日常編集家のアサダワタルさんをお招きして、サロンが開いときの可能性、これからのサロンの未来をまちのこと、コミュニティ、日常、アートなど多角的にお話してきたらと思っております。当日は髪とアタシ第三刊の公開取材も兼ねて、来場者の方の声も誌面に出るような仕立てにしたいと思います。

（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

3月17日（火） 滋賀・大津祭曳山 展示館（新着）

「美の滋賀」づくりを振り返る会（仮題）
「美の滋賀」地域づくりモデル事業コーディネーターとして出演します。→滋賀県では県内の13団体に委託して、それぞれの持ち味を生かして、美の資源を育てたり、発信したりすることにより、「美の滋賀」の土壌となる、多様で持続的な人のつながりの形成や魅力ある地域づくりを進めるモデル事業を実施しています。このたび、これら13団体が今年度の事業成果を発表するとともに、この内容を踏まえて、美術や暮らし・生活文化の中にある美を通した地域づくりについて語り合う会を開催します。（企画概要より転載）

3月14日（土） 愛知長久手市・文化の家アトリウム （新着）



市民協働トークセッション [みんなのフォーラム ながくての手2015 「住み開き」 ～ 「私」を少し開くこと

DAMサウンドとターンテーブルがガチで絡み合うクラブイベントを主催したり。はたまたJ-POPの歌詞と歌詞を繋ぎ合わせて、実はプリンセスプリンセスの「M」という曲に出てくる相手の男性は、槇原敬之なんじゃないかという想定で二次創作ストーリーを作ってパフォーマンスしたり。まあそんなことをやってたら、段々、音楽仲間の誰からも相手にされなくなってきて（演奏してる分には相手にしてもらえるんだけどね）でも、僕的にはこれからの音楽家の果たす役割としてこういった実践を愚直にやっていくことも絶対必要だと思ってるわけなんですよ！でもあんまりにも漠然としているし、ただ吠えているだけだとただ馬鹿な犬みたいになってしまうから、とりあえずこういったことをちゃんと言葉にしてまとめようか！ってことで博士論文を書き始めたり。まあ混沌としているわけです。前置きが長くなりましたが、そこで、僕が参加しているユニット「SjQ」（映像が加わったら「SjQ++」）の所属するレーベル「HEADZ」のオーナーでもある批評家の佐々木敦さんをお招きして、いろいろと話し相手になっていただこうと思うに至ったわけです。それでこんなタイトルになっているというわけ、ご理解ください。当日はアサダの実演やプレゼンが入りながら、佐々木さんと対談させていただき、かつ編集者で一般批評学会の岩淵拓郎さんに司会として間に入っていました。さあ、とにかく、「音楽の未来を語り合おう！」と最後はシンプルに締めさせていただき、告知文と変えさせていただきました。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

1月31日（金） DJ話芸家元としてHubTokyoに見参 東京・川崎競馬場～

ていただきましたが、最終的に「住み開き」を軸に、日常の行為・状況に名付け・再定義をおこなうことで新しい縁を生み出し、社会の風通しをよくしている活動家みたいなテイストで、おそらく編集されていると思います（僕も放送当日まで観れない）。キューピーさんの提供番組でアサダの目とか笑顔とかが新鮮な野菜とともにインサートされるオープニングの映像はだいぶ恥づかしいことになっていると…。放送終了後は**ユーチューブでも公開**（https://www.youtube.com/watch?v=sLL519qf2Rs）されます。これまでのバンクナンバーは大宮エリーさんや幅允孝さんなど結構多彩です。良ければぜひ。

▶詳細はこちらへ



【インタビュー】 美容文芸雑誌『髪とアタシ』第三号 にアサダのインタビュー掲載。（新着）

日本初（世界初？）の「美容文芸誌」として話題の『髪とアタシ』の第三号が7月10日に刊行されます。今回の特集は「考える髪」。美容師さんを中心に据えつつも毎回多ジャンルの方が登場するこの雑誌で、写真家の石川直樹さん、漫画家水木しげるさんとともに、日常編集家アサダの語りも収録。美容室ならではの場の開き方・再編集について編集長の三根にくんうまく引き出してもらいました。ぜひ、手に入れて読んでみてください。本当にいい雑誌ですから。

▶詳細はこちらへ

で、“まち”をおもしろく！
11:00～12:30／ゲストスピーカー：アサダワタルさん（日常編集家） & 市民スピーカー・・・話題提供／「私」を少し開くことで、おもしろくて楽しくて、地域が必要とされる、「公」の場を生み出し、新たなコミュニティ（人と人のつながり）を創り出すにはどうしたらいいのか？ そのことに関心、興味のある参加メンバーと一緒に探っていきます。事前の参加の申込みは不要です。[定員40人]（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

3月1日（日）東京小金井市・市民交流センタースペースN（s新着）



平成26年度 小金井アートフル・アクション! 実践成果展示「まちはみんなのミュージアム ～つくって、みせて、つながった今年のアート展～」地域プロジェクトのしくみ研究会 最終回「Talking Café 2014 街のたからもの×アート！」本研究会では、近年盛んに行われている「その地域ならではのアートプロジェクト」を成り立たせる仕組みを知り、学ぶことを目的として、12月～3月の期間に4つのトークセッションを行います。施設や団体の連携や協働に留まらず、人をつなぐこと、アイデアをつなぐことも協働や連携ととらえ、公共施設の相互関係、公共的なアートプログラムの新しいあり方を見据えつつ、参加者と一緒に、より創造的な活動に発展させるための連携や協働の可能性を探ります。最終回の今回は、平成26年度小金井市芸術文化振興計画推進事業成果展のトークイベント「Talking Café 2014 街のたからも

HubTokyo（終了）
「東京R不動産10周年記念レース&公開新年会」東京R不動産の10周年を記念した公開イベントにて「DJ話芸」を披露します。まさかのブッキング。やっぱり「DJ話芸」は「住み開き」の延長にある日常編集芸であることを勝手に確信しております。詳細はどうぞ以下ご覧を。

▶詳細はこちらへ

札幌芸術祭2014 プレ 音楽ワークショップ「Soud Snow Mix」のレポートサイトが公開（終了）

昨年11月に札幌国際芸術祭2014のプレ企画に招いていただき、開催した音楽ワークショップの音と写真によるレポートサイトが公開。子どもたちに札幌の街の「音」とともに、その音の場にあった街の「雪」も拾ってきてもらって、参加者全員の音を順番に重ねながら同時に氷も同じ器に入れていって、段々溶けて音も氷もひとつになったプログラム。現地の札幌市立大学助教の須之内元洋さんとサウンドメディアアーティストの大黒淳一と共に展開。ぜひ楽しんでください

▶詳細はこちらへ

DJ話芸家元 アサダワタルの過去三作の映像が公開（終了）

「DJ話芸」とは、既存の流行歌の歌詞から二次創作、N次创作的に、サイドストーリーを制作し、その歌詞の部分は原曲通りの節をつけて歌い、歌詞と歌詞を繋いだ創作文脈の部分は地語り、間にリズムなども入れながら調子を整えて、披露する創作&芸の一形態です。これまでの過去三作、古い順に「この猫の名はエリー」、「遠い昔からある喫茶店」、「Mの行方」をyoutubeで公開しましたのでどうぞご覧ください。

▶詳細はこちらへ

▶詳細はこちらへ

▶詳細はこちらへ



【新連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! 一記憶が編みなおされる時ー』開始。（新着）

ひとまずソトコトでの連載「コミュニティ難民のススメ」が終わりまして、新連載を開始しました。はい。『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。第二回目から三回連続で、「mogu book」、「日常記憶地図」などの活動で知られるサトウアヤコさんの「メモリミックス」取材しています。どうぞ読んでみてください。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送変更！7月のゲスト「湖北アール・ブリュット展推進会議」代表 廣部猛司さん。（新着）

滋賀県長浜市と言えば、長浜曳山まつりや黒壁スクエアの存在、豊臣秀吉や浅井三姉妹などにまつわる大河ドラマの舞台としても知られていますね。歴史観光と地域づくりが一体となったこの地域で、いまアール・ブリュットが話題になっています。今日は、長浜ご出身でもある廣部さんに、アール・ブリュットの魅力と、長浜の地域づくりの関係について伺ってみたいと思います。放送日は7月17日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

のxアート」として開催します。「芸術分野を中心に、福祉、地域政策、教育、出版、住宅など様々な領域を渡り歩きながら、既存のコミュニティのふつう・常識を“再編集”し、新しいコミュニケーションの回路を創造することを生業としている」アサダワタル氏（日常編集家）をゲストにお招きして、今年度アートフル・アクションが関わってきたプロジェクトを参考事例にしながら、見過ごしがちな街のたからもの、一つ一つをしっかりと楽しく見つめて、新しい何かに変身させて新しい暮らしにつなげていくために、街の見つめ方、街の暮らしの出会い方を、参加者みんなで語り合います。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

2月28日（土）新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 大阪 第三弾・スタンダードブックストア心斎橋（新着）



【スタンダードブックストア連続企画第三弾】アサダワタル著『コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー』（木楽舎）出版ツアー in 大阪 あなた一体何屋さん？ 〈生きる〉のなかで、すべてがボーダレスに混じり合う〈働く〉へ！ アサダワタル × 家成俊勝 × 乾聰一郎 × 山納洋 × 松村貴樹 × 中川和彦

仕事をする上でひとつの「これ！」といったコミュニティ（専門分野や業界）に属さず（あるいは属することができず）、かつその時々に応じて表現手法・アウトプットも特定していないことによって、周りから「結局、あの人は一体、何屋さんなのだ……？」とか思わ

SjQ++ あいちトリエンナーレ2013での作品《arc》の映像が公開（終了）

即興演奏の音をリアルタイムで解析し、シンクロした映像を投影するライブ・パフォーマンスが2013年10月19日、長者町で開催されました。パフォーマンスを行ったのはあいちトリエンナーレ2013の映像プログラム参加アーティスト「SjQ++」。会場となった駐車場を囲むビルを利用し、5面のスクリーンが暗がりには浮かび上がりました。音楽に合わせて映像をつけるのではなく、また映像に合わせて音楽をつけるという方法でもなく、映像と音楽が動的に影響を受けあって、音と映像が生み出されるという作品です。（紹介サイトより転載）

▶詳細はこちらへ

1月12日（日）図書館で「借りパク音楽」ワークショップ 奈良・奈良県立図書情報館（終了）

「本の原点を探る2日間」六車由美×アサダワタル「日常再編集を知るワークショップ」参加者同士がグループになって、あらかじめ、それぞれが青春時代から現在までの思い出に残る（※）借りパクCD（レコード、カセット持参の方は応相談）を持ち寄り、お互いそれらにまつわるエピソードを語り合い、音楽を聴き合い、その記憶が編まれた小さな「コンピレーションアルバム」をつくります。みなさんの借りパクCD（あるいは思い出の曲の入ったCD）を持参してください。借りパク音源をお持ちでない真面目な方は、「自分の思い出に残っている音源」をお持ちください。（※）家族や友人や先輩、かつての恋人や同僚などから借りたモノが、何かしらの事情で返せなくなり、結果的にそのまま自分のモノになっ

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送変更！7月のゲスト「音遊びの会」代表 沼田里衣さん。（新着）

音遊びの会とは、知的障がいのある人とその家族、音楽家などのアーティスト、そして音楽療法家たちによるアーティスト集団のこと。即興演奏を通して新しい表現を生み出すことを目的に、神戸を中心に月二回の継続したワークショップに取り組んでおられます。これまで関西のみならず、北海道、水戸、東京、山口など多数の遠征公演も行い、また2013年にはイギリスツアーまで大成功におさめたこの音遊びの会。予定調和を許さない独特な音楽性は、見る者を釘付けにします。今日は代表の沼田里衣さんとともに、プロジェクト立ち上げの経緯や、障害に対する関心など、幅広くお聞きます。放送日は7月3日、10日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【取材】6月24日 日経新聞関西版夕刊にて「住み開き」特集。（新着）（新着）

今回は比較的高齢の方の事例と制度との絡みなどに焦点をあてた記事になっていて、僕も提唱者としてコメントを寄せさせてもらってます。

れるような人、あなたの周り（あるいはあなた自身）に心当たりはないでしょうか？ 時に周囲から「あいつは根無し草だ」とか「結局、一体何がやりたい人なんだらう？」って言われたりしながら、自分の分野や目に見えやすいアウトプットに縛られず、自分の「表現」したい「根っこ」を掘り下げるようにして「仕事」を作ってきた日常編集家のアサダワタルさんは、このような状態を「コミュニティ難民」というキーワードで現し、一冊の本に纏めました。それが本書『コミュニティ難民 ―表現と仕事のハザマにあること―』です。プライベートな空間である家に、パブリックな機能を持たせる住まい方を「住み開き」という言葉で切り取ったアサダさんが、今回は「表現(≡プライベート)」と「仕事(≡パブリック)」の間を彷徨って生きる、6人の人生の歩き方をコンパイル。自問自答しながらも、あらゆる枠組みを飛び越え、楽しく暮らす生き方・働き方について、多彩なゲストを交えて語り合います。

スタンダードブックストア心齋橋にて展開される出版シリーズ第三弾は、建築設計から芸術事業、カフェ、図書館、書店などの運営から出版編集まで、様々な「文化」的領域にて活動を行う「越境者」をお招きし、トークを展開します。
出演は、建築家でdot architectsを主宰する家成俊勝さん、奈良県立図書情報館の名物企画担当 乾聰一郎さん、大阪ガス(株) 近畿圏部に勤務しながら common cafeなど様々な場づくりを展開する山納洋さん、そしてイベント会場である当店代表、中川和彦。司会は大阪はフロム谷町6丁目のローカル・カルチャーマガジン『IN/SECTS』の編集長 松村貴樹さんが担当します。
アラフォー～アラファイブの全員男性ゲスト陣という濃い面子の、湯気の上がりそうな忌憚なきトークに乞うご期待！

てしまっているに
ってる状態。（企画
概要より転載）
▶詳細はこちらへ

12月29日（日）
カラオケボックス
でクラブイベン
ト?! 京都・シダ
ックス三条河原町
店 （終了）

『KARAOKEDISCO!!
京都編 in Shidax三
条河原町店 ～カラ
オケボックスを使っ
た新感覚のクラブイ
ベント！！とりあえ
ず今年の嫌なことを
渋谷系とメロン記念
日と久松史奈あたり
で相殺しよう！～』
J-POPをベースに、
クラブイベント”
KARAOKEDISCO!!
“を主催する
codacodaDJ（國府
田典明）と、日常生
活を音楽などの表現
でリミックスするこ
と重ねてきた日常編
集家 アサダワタルが
コンビを組み、そこ
に、“もぐらが一周す
るまで”の佐藤亘も加
わり、そして協力な
ゲスト陣も加わりま
しての、“踊って歌え
る”DJをベースに、
カラオケ要素のある
LIVEパフォーマンス
や、DJの選曲でお客
さんがカラオケでき
る時間等、身近なカ
ラオケ環境によっ
て、日本人っぽいク
ラブイベントが組み
立てられるか、とい
う試みです。ぜひと
も、こじんまりとし
つつもワクワクと笑
いと興奮がこみ上げ
てくる新感覚の大年
末クラブイベントに
お立ち会いくださ
い。

▶詳細はこちらへ

12月27日
（金）・28日
（土）ユニット
SjQ++ 東京 渋谷
TSUTAYA O-
NEST（新着
※SjQ++出演は
28のみ）

エクス・エクス・エ
クス・ポナイ
ト！！！！！！
【12/27】
●PERFORMANCE：
東葛スポーツ
●LIVE：木下美紗都
と象さんズ/ 灰野敬
二（DJ SET）/ A-
Musik featuring 大
谷能生 ●TALK：阿
部和重×千葉雅也 / い
とうせいこう × 菊地
成孔 【1228】
●ENTRANCE DJ：
daiteng



【新連載】雑誌
『ソトコト』「メ
モリミックス!! ―
記憶が編みなおさ
れる時―」開始。
（新着）

ひとまずソトコトで
の連載「コミュニテ
ィ難民のススメ」が
終わりをまして、新連
載を開始しました。
はい。『メモリミッ
クス!! 記憶が編みな
おされる時』とい
う、「記憶×表現」と
いう僕の創作の下地
になっているような
テーマを展開してい
きます。第二回目か
ら三回連続で、
「mogu book」、
「日常記憶地図」な
どの活動で知られる
サトウアヤコさんの
「メモリミックス」
を取材しています。
どうぞ読んでみてく
ださい。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生きる
ことが光にな
る～」 真毎週金曜
21時30分～21
時55分放送変
更！6月のゲスト
東京国立近代美術
館主任研究員の保
坂健二朗さん。
（新着）

保坂さんはこれま
で、近現代芸術を専
門とする一方でアール・ブリュットも研究テーマの一つに掲げ、アール・ブリュットにまつわる展覧会の企画や監修、執筆、各種委員会のアドバイザーなどを務められてきました。ボーダレス・アートミュージアムNO-MAとも親交が深い保坂さんですが、これからのアール・ブリュットの広がり值得期待することを率直に伺ってみようと思います。放送日は6月5日、12日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

(企画概要より抜粋)

[▶詳細はこちらへ](#)

2月21日(土)
新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 青森・八戸酒造 (新着)



『揺らぎを可能性と捉えること 表現と仕事のハザマを浮遊する生き方 コミュニティ難民とは?』
青森県八戸で開催される酒造が舞台の現代アート展
「INCIDENTS」の関連イベントとして、『コミュニティ難民のススメ』をテーマにしたトークイベントが開催されることになりました。八戸は実に3年半ぶりです。ぜひお越しくださいませ。

[▶詳細はこちらへ](#)

2月20日(金)
新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 宮城・SENDAI KOFFEE CO. (新着)



『lounge logue 10: コミュニティ難民』
「lounge logue」は、あらゆるジャンルで私たちが聞いてみたい人や出来事について話を聞くための、そして、同じくそれに興味のある人たちのための場のシリーズです。今回は、昨年12月に「コミュニティ難民のススメ」表現と仕事のハザマにあること」を上梓した日常編集家のアサダワタルさんをお招きし、異なるコミュニティを漂泊する生き方・働き方についてお話を伺います。「表現と仕事のハザマ」で日々悶々と（あるいは

●PERFORMANCE：
鮎屋法水+吉増剛造
●LIVE：SjQ++ /
空間現代 / 蓮沼執太 (SOLO SET)
●TALK：速水健朗 ×
大澤真幸、中森明夫 × さやわか (企画概要より転載)

[▶詳細はこちらへ](#)

12月14日(土)
ユニット SjQ++ 大阪 ELTTOB TEP ISSEY MIYAKE SEMBA (新着)

LOOK UP AT THE PLANETS AND MAKE A WISH
イッセイミヤケショップでのクリスマスイベントにSjQ++で出演します。佐藤卓氏によってデザインされた空間の特性いかしたこの場ならではのプロジェクトサウンドライブを展開します。お楽しみに。

[▶詳細はこちらへ](#)

11月30日(土)
ワークショップ 北海道・札幌市立大学サテライトキャンパス (新着)

札幌国際芸術祭2014 プレフェスティバル イベント サウンドプロジェクトワークショップ第1回「まちのおと探検隊」
札幌にて資生館小学校でのレジデンスをしてきたことや、東京藝大にて共に研究に携わることなどの縁があり、この度、札幌市立大学助教の須之内元洋氏にお誘いをうけ、ワークショップをします。来年開催される札幌国際芸術祭2014のプレ企画として。詳細は後日。

11月11日(月)
研究会 東京・東京藝術大学千住キャンパス (新着※非公開 後日何かしら成果発表)

アートプロジェクトにおける「音」の記録研究
東京芸術大学熊倉研究室では、一昨年度からの「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」の開催をうけ、アートプロジェクトにおける「音」の記録研究に取り組むこととなりました。本研究は「東京アートポイント計画」のリサーチプロ

[▶詳細はこちらへ](#)



【新連載】雑誌『ソトコト』『メモリックス!! ー記憶が編みなおされる時ー』開始。 (新着)

ひとまずソトコトでの連載「コミュニティ難民のススメ」が終わりまして、新連載を開始しました。はい。『メモリックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地になっているようなテーマを展開していきます。第二回目から三回連続で、「mogu book」、「日常記憶地図」などの活動で知られるサトウアヤコさんの「メモリックス」を取材しています。どうぞ読んでみてください。

[▶詳細はこちらへ](#)



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜 21時30分～21時55分放送変更！5月のゲストその2 社会福祉法人愛成会常務理事兼アートディレクターの小林瑞恵さん。 (新着)

小林さんは、これまで、障害のあるなしに関わらず、美術教育を受けずにあるがままの表現を追求する「アール・ブリュット」の作品紹介に、数多く関わってこられました。社会福祉法人に所属する「アートディレクター」という肩書きは、一見、「福祉の世界でどんなことをやっているの?」って不思議に思われる方も多いと思います。今日は、多数のアール・ブリュット

嬉々と)しながら活動している、コミュニティ難民かもしれない来場者の皆さんも交えて、そのことについて対話してみたいと考えています。(企画概要より抜粋)

▶詳細はこちらへ

2月16日(月)
新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 東京・中延「インストールの途中だビル」(新着)



『「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」出版トーク
「“0”か、“1”か、ではない新しい生き方と働き方」(アサダワタル x 今村ひろゆき)』
書籍の出版記念として、「まちづくり会社ドラマチック」の代表で、“0”か、“1”ではないスペースのあり方や生き方を提唱する今村ひろゆきさんとの対談イベントを行います!その会場は、今村さん率いる「まちづくり会社ドラマチック」が運営・プロデュースを行う、ビル型シェアアトリエ「インストールの途中だビル」。ここは、ファッションデザイナー、美術作家、演劇団体から、会社勤めをしながら表現活動を行うアーティストまで、30組以上が拠点とするスペースです。さながら、「コミュ難ビル」(!?)と呼んでしまいたくなる空間で、今回のトークイベントは展開します!! どうぞご期待ください!(企画概要より抜粋)

▶詳細はこちらへ

2月15日(日) 新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 大阪 第二弾・スタンダードブックストア心斎橋(新着)

グラム「Tokyo Art Research Lab」のー環として実施されます。多様化するアートプロジェクトにおいて、一般的なコンサートなどの「音楽」の記録(録音・録画)ではなく、アートプロジェクトの現場で鳴らされた「音」の記録についての考え方や手法を研究していきます。本日は、研究協力者であるアサダワタル氏、須之内元洋氏、さらに音まち千住の縁ディレクターである清宮陵一が、普段「音」にまつわるどのような活動をしているのかを紹介します。そして、「音の記録」をなぜ研究すべきか、というベースとなる問題意識について話しながら、そこにどんな可能性があるかについて考えていきます。(企画概要より転載)

▶詳細はこちらへ

11月10日(日)
ユニット SjQ++ 京都Club METRO(新着)
night cruising 7th anniversary feat. “mü-nest night in Kyoto”
京都を拠点とするイベント&レーベル"night cruising"の7周年を記念したアニバーサリーパーティが開催!
with: flica / me:mo / okamotonoriaki + Masashi Yokota / Marihiko Hara & Polar M
Selector: AAAsaaREE / Seitaro / RAIJIN / Tatsuya Shimada
FOOD: 食堂souffle

▶詳細はこちらへ

10月26日(土)
研究会 東京・東京藝術大学千住キャンパス(終了 ※非公開 後日何かしら成果発表)
アートプロジェクトにおける「音」の記録研究

東京芸術大学熊倉研究室では、一昨年度からの「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」の開催をうけ、アートプロジェクトにおける「音」の記録研究に取り組むこととなりました。本研究は「東京アートポイント計画」のリサーチプロ

の展覧会の企画に関わってこれ、海外との連携も深めてきた小林さんならではの、アール・ブリュットに関する思いをたっぷり伺おうと思います。放送日は5月15日、22日(ポッドキャストは翌週月曜から配信)です。

▶詳細はこちらへ



【インタビュー掲載】京都新聞地域欄(新着)

4/27、京都新聞にて「住み開き」の特集記事が掲載されました。僕も訪れたことがない京都市右京区内の色々な事例が取材されています。提唱者として少しコメントを寄せさせていただきました。



【インタビュー掲載】日本経済新聞タ刊全国版(新着)

4/11、日経新聞タ刊全国版で、住み開き、コミュニティ難民という2つの言葉を通じて、アサダの人物インタビューが掲載されました。SjQ++を軸にしたミュージシャンとしての活動や、運営に携わるボーダレスアートミュージアムNO-MAのことも含めてのロングインタビュー。ぜひご関心をば。

▶詳細はこちらへ



【書評】哲学者・驚田清一さんの連載「素手のふるまい」いて『コミュニティ難民のス



【スタンダードブックストア連続企画第二弾】アサダワタル著『コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー』（木楽舎）出版ツアー in 大阪
あなた一体何屋さん？ 〈生きる〉のなかで、すべてがボーダレスに混じり合う〈働く〉へ！ アサダワタル × 津村記久子 × 藤原明 × 梅山晃佑 × 樫畑敦子 × 松本典子

仕事をする上でひとつの「これ！」といったコミュニティ（専門分野や業界）に属さず（あるいは属することができず）、かつその時々に応じて表現手法・アウトプットも特定していないことによって、周りから「結局、あの人は一体、何屋さんなのだ……？」とか思われるような人、あなたの周り（あるいはあなた自身）に心当たりはないでしょうか？ 時に周囲から「あいつは根無し草だ」とか「結局、一体何がやりたい人なんだらう？」って言われたりしながら、自分の分野や目に見えるやすいアウトプットに縛られず、自分の「表現」したい「根っこ」を掘り下げようにして「仕事」を作ってきた日常編集家のアサダワタルさんは、このような状態を「コミュニティ難民」というキーワードで現し、一冊の本に纏めました。それが本書『コミュニティ難民ー表現と仕事のハザマにあることー』です。プライベートな空間である家に、パブリックな機能を持たせる住まい方を「住み開き」という言葉で切り取ったアサダさんが、今回は「表現(≒プライベート)」と「仕事(≒パブリック)」の間を彷徨って生きる、6人の人生の歩き方をコンパイル。自問自答しながらも、あらゆる枠

グラム「Tokyo Art Research Lab」のー環として実施されます。多様化するアートプロジェクトにおいて、一般的なコンサートなどの「音楽」の記録(録音・録画)ではなく、アートプロジェクトの現場で鳴らされた「音」の記録についての考え方や手法を研究していきます。本日は、研究協力者であるアサダワタル氏、須之内元洋氏、さらに音まち千住の縁ディレクターである清宮陵一が、普段「音」にまつわるどのような活動をしているのかを紹介します。そして、「音の記録」をなぜ研究すべきか、というベースとなる問題意識について話しながら、そこにどんな可能性があるかについて考えていきます。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

10月19日 ユニット SjQ++ あいちトリエンナーレ2013に出演決定（終了）

アルスエレクトロニカで受賞をしたユニットSjQ++が、今年の8月～10月に開催されるあいちトリエンナーレ2013の映像プログラムでパフォーマンス作品「arc」を発表します。日程は10月19日の19時半より、長者町会場にて。乞うご期待です。

▶詳細はこちらへ

10月7日（月）KYOTOEXPERIMENT2013「中川裕貴、バンド『拔糸』」にゲスト出演 京都・UrBANGUILD（終了）

友人の音楽家 中川裕貴くん率いる「中川裕貴、バンド」が演劇祭に出演し新作を発表。そこにDJ話芸家元としてゲスト出演させていただきます。

▶詳細はこちらへ

9月15日（日）ソロ 京都・SocialKitchen（終了）

京都のSocialKitchenさんの三周年記念パーティーにて、「DJ話芸 家元」として出演します。新作のDJ

『メ』が紹介（新着）

雑誌『小説トリッパー』（朝日出版社）で哲学者・鷺田清一さんが連載されている「素手のふるまい」の今回のタイトルは「くはぐれ」というスタンス」。そこで拙著『コミュニティ難民のススメ』をご紹介します。鷺田先生さん、ありがとうございます。

▶詳細はこちらへ



【書評】小説家・津村記久子さんの連載「枕元の本棚」にて『コミュニティ難民のススメ』が紹介（新着）

雑誌『ジェイ・ノベル』（実業之出版社）で小説家・津村記久子さんが連載されている「枕元の本棚」の第58回にて、拙著『コミュニティ難民のススメ』をご紹介します。津村さん、ありがとうございます。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送変更！5月のゲスト その1 映画作家、プロデューサーの代島治彦さん。（新着）

代島さんは、数々のテレビ番組やドキュメンタリー映画の監督・プロデュースで知られ、また、2006年から国内のアー・ブリュット作家16人の記録映像を撮り続け、2008年に5枚組DVD『日本のアウトサイダーアート1～5』を発表、そして2014年には、記録映

組みを飛び越え、楽しく暮らす生き方・働き方について、多彩なゲストを交えて語り合います。

スタンダードブックストア心斎橋にて展開される出版シリーズ第二弾は、「働く」というテーマにいつも独創的な視点を投げかけてくれる大阪在住の芥川賞作家 津村記久子さん、本書でも取り上げた孤高の越境銀行マンりそな総合研究所の藤原明さん、「働く」や「学ぶ」というテーマを公私を越えて実践するA'ワーク創造館の梅山晃佑さん、このリード文に説明することが難しすぎるほど雑多にソーシャルワークを拡張していくホープ 檮畑敦子さん、簿記の先生やヨガのインストラクターからタロット占いまで「教える」ことだけはぶれずともこの先まったくどこへ向かうのか読めない松本典子さんを交えて、司会
は大阪はフロム谷町6丁目のローカル・カルチャーマガジン『IN/SECTS』の編集長 松村貴樹さんが担当します。乞うご期待！
(企画概要より抜粋)

▶詳細はこちらへ

2月13日（金）
新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベント ツアー 滋賀・彦根ほっこりカフェ 朴（新着）



『「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」出版トーク（自称）難民のつどい』

とんち研究所（正式名称：とんがるちから研究所）は「とんちで世界をかえる」を掲げ、2014年にこっそりと活動をはじめました。活動の第一弾として、同じ時期に「コミュニティ難民のススメ」を出版されたアサダワタルさん、近藤隆二郎さんと細馬宏道さん

話を披露。ライブパフォーマンスは鈴木昭男さんやマイアミさんなども出られます。

▶詳細はこちらへ

9月2日～11日
ユニット
SjQ++ アルスエレクトロニカ受賞公演 オーストリアとスロベニアでライブ（終了）

SjQ++が、今年の9月2日～11日にオーストリアはリンツに滞在。9/9はアルスエレクトロニカ受賞に際してプレゼンテーションとライブパフォーマンスを行います。また滞在中にスロベニアはリュブリャナ市でもライブ予定。

▶詳細はこちらへ

8月31日（土）
ー9月1日（日）
合宿レク&ワークショップ 岐阜・岐阜県瑞浪市土岐471番地の8(現在空家)（終了）

CREATIVE MUSIC FESTIVAL 2013 クリエイティブ・ミュージック・フェスティバル2013 テーマ：ソーシャルデザインとしての音楽

「暑い夏に音楽をしてあそぼう！」と始まった小さいこのフェスティバルは今年で15年目を迎えます。どうぞ楽器を持ってご参加ください！

ゲスト：アサダワタル（日常編集家） 永幡幸司（サウンドスケープ研究家） 沼田里衣（音遊びの会・音楽療法）

(企画概要より転載)

▶詳細はこちらへ

8月30日（金）
ワークショップ
京都・HAPS（終了）

HONESTY AND MODESTY&Our School参加企画 アサダワタル「リサイクル・「音楽」ー音楽を使い回す生活知・例えば、流行歌のサイドストーリー創作WS（石川さゆりが『上野発の夜行列車』に乗り遅れたので『君の青い車で海に行こう！』って草野正宗に頼んだら…）」

HAPSは、8月から1ヶ月間、町家を改修

像『アール・ブリュットが生まれるところ』も発表され、話題を呼んでいます。

今日は、監督自ら、アール・ブリュット作家を記録し続けるその動機やアール・ブリュットの魅力について存分に語っていただきます。放送日は5月1日、8日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【寄稿】演劇祭「ふじのくに⇄せかい演劇祭2015」（SPAC主催）の公式ガイドブック（新着）

SPAC（静岡県舞台芸術センター）の恒例の演劇祭「ふじのくに⇄せかい演劇祭2015」の公式ガイドブックに寄稿させていただきました。大東翼〔株大と小とレフ〕、鈴木一郎太〔株大と小とレフ〕、西尾佳織〔鳥公園〕演出の参加型演劇『例えば朝9時には誰がルーム51の角を曲がってくるかを知っていたとする』の上演に寄せて。本番がすごく楽しみです。みんな静岡に行きましょう。そしてブックも手に入れてみてください。

▶詳細はこちらへ



【新連載】雑誌『ソトコト』『メモリミックス!! ー記憶が編みなおされる時ー』開始。（新着）

ひとまずソトコトでの連載「コミュニティ難民のススメ」が終わりまして、新連載を開始しました。はい。『メモリミックス!! 記憶が編みなおされる時』という、「記憶×表現」という僕の創作の下地

をお迎えして、とんちトークVol.1「出版記念トーク（自称）難民のつどい」を開催します。多方面にフィールドをもち、ご活躍のお三方によるクロストークとともに、彦根が誇る朴さんのごはんつきで、身も心も満足まちがいなしの夜に！もちろん、著者のサイン会もあります。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

2月10日（火） 静岡・浜松のヴぁ 公民館（新着）

「今まで知らなかったグッズと人に出会える本」出版記念トーク & 「芸術祭・福祉・インクルージョン」
17：00～「今まで知らなかったグッズと人に出会える本」出版記念トークイベント「どいいら障害」
出演：永野香里（編集者）、植田朋美（デザイナー）、ヨシダダイスケ（カメラマン）、」アサダワタル（日常編集家）、レッツスタッフ
19：00～「芸術祭・福祉・インクルージョン」
出演：来栖良依（横浜巴拉トリエンナーレアートディレクター）、上田假奈代（NPO法人こえとこばとこころの部屋代表）、アサダワタル（日常編集家）、久保田翠（NPO法人クリエイティブサポートレッツ代表）

▶詳細はこちらへ

2月6日ー8日 （金）滋賀・大 津プリンスホテル （新着）



アメニティフォーラム19
毎年2月滋賀県は大津プリンスホテルで三日間開催される福祉と文化の一大祭典「アメニティフォーラム」の第19回目。今年もアサダは三つのプログラムで進行役を務めます。2月6日 オープニングトーク「最初に見た夢が大切です！～第

した拠点のオープン記念イベントを行います。京都市の公的事業として「芸術家のサポート」を行なうHAPSが命題として抱えているのは「アーティストとは誰か」、「社会はアーティストを必要とするのか」という問いです。アーティストという存在は、いかに定義づけられるのか。どのように「なる」のか。どう「ある」のか。この状況で、この社会で、なんであるのか。本企画は、第一線で活躍するアーティスト、キュレーター、研究者など、また市民、学生など、多様な人々が集い、語り合うトークイベントを通して、この問いに様々な光をあてるものです。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

8月29日（木） 研究会 東京・東 京藝術大学千住キ ャンパス（終了） ※非公開 後日何 かしら成果発表）

アートプロジェクトにおける「音」の記録研究
東京芸術大学熊倉研究室では、一昨年度からの「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」の開催をうけ、アートプロジェクトにおける「音」の記録研究に取り組むこととなりました。本研究は「東京アートポイント計画」のリサーチプログラム「Tokyo Art Research Lab」の一環として実施されます。多様化するアートプロジェクトにおいて、一般的なコンサートなどの「音楽」の記録(録音・録画)ではなく、アートプロジェクトの現場で鳴らされた「音」の記録についての考え方や手法を研究していきます。本日は、研究協力者であるアサダワタル氏、須之内元洋氏、さらに音まち千住の縁ディレクターである清宮陵一が、普段「音」にまつわるどのような活動をしているのかを紹介しします。そして、「音の記録」をなぜ研究すべきか、というペースとなる問題意識について話しながら、

になっているようなテーマを展開していきます。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ 「Glow～生きる ことが光にな る～」 真毎週金曜 21時30分～21 時55分放送変 更！4月のゲスト その2 京都橋大学 現代ビジネス学部 教授の小暮宣雄さ ん。（新着）

小暮さんは、芸術と社会の出会いをアレンジすることを意味するアーツマネジメントの研究に務められ、芸術が地域社会に果し得る役割などについて様々な提案をされてきました。またボーダレス・アートミュージアムNO-MAの活動を開館初期から支え続け、様々な地域交流プログラムの企画にも携わってこられた視点から、地域社会のなかでこれからアー・ブリュットがどのような可能性を発揮しうるか、二週にわたってお伺いします。放送日は4月17日、24日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ 「Glow～生きる ことが光にな る～」 真毎週金曜 21時30分～21 時55分放送変 更！4月のゲスト その1 ボーダレ ス・アートミュ ージアムNO-MA学 芸員 薫戸さゆみ さん、横井悠さ ん。（新着）

お二人は、社会福祉法人グロー法人本部企画事業部文化芸術推進課に勤務しながら、NO-MAで開催さ

19回アメニティブォーラムの聞き所や見所をダイジェストで紹介！～」

出演：田中正博（全国手をつなぐ育成会連合会統括）、北岡賢剛（社会福祉法人グロー(GLOW)理事長）、アサダワタル（文筆家・ボーダレス・アートミュージアムNO-MAエディトリアルディレクター）

2月6日 展覧会座談会「作品発掘のプロセスについて語り合う～アール・ブリュットへ その道程と幸福について～」

出演：全国公募選定作家および支援者、小林瑞恵（キュレーター）、アサダワタル、他

2月8日 シンポジウム「記憶の宝庫としての福祉現場～利用者の人生物語～」
出演：六車由実（デイサービスすまいるほーむ管理者・民俗研究者）、上田洋平（滋賀県立大学地域共生センター助教）、伊原和人（厚生労働省健康局総務課長）、アサダワタル

▶詳細はこちらへ

1月31日（土） 長野茅野市・茅野市美術館（終了）



アート×コミュニケーション茅野 # 1『つなぐ場づくり』で、『つなぐ人づくり』の連続講座(ワークショップ)

『まちづくり』は誰か一人ががんばっても難しい。人と人の偶然の組み合わせが『まち』ならば、つながりのない人同士が出会い、話をし、何かを始めることが『まち』には大切だ。そんな人たちが出会う『場』をつくり、人と人をつなげる『コト』を始めてみませんか？この連続講座では、茅野駅付近にスペースを自分たちの手で作ることからはじめ、そこでどんなことをしたら『まち』をおもしろくできるか、人と人をつなぐには何をしたら良いかを感覚

そこにどんな可能性があるかについて考えていきます。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

8月11日（日） ソロ 京都・旧高尾小学校（終了）

時計のいらない夏休み 高尾小フェス 2013
府内唯一の村の旧小学校に、関西を中心として音楽/美術シーンで活躍するアーティストが集結します。今年は、学校外にもライブ/展示エリアを拡大し、内容をボリュームアップ。さらに今回は音楽ライブのタイムテーブルをなくし、会場となる同村・高尾地区のゆるやかな時の移ろいと、茶畑の広がる自然豊かな空間をゆっくりと楽しんで頂くことにしました。（企画概要より転載）<音楽ライブ出演> ；アサダワタル（SjQ）/小田寛一郎/加藤りま/Gofish トリオ+ASUNA/斎藤ゴツ

コ/swimm/Sonir（魚住勇太 a.k.a. SjQ）/ダダリズム/テニスコーツ/夏の大△（大城真・川口貴大・矢代諭史）/ばきりノす/musika-nt+貝つぶ/もぐらが1周するまで×三尾あすか・あづち（ライブペインティング)/山崎昭典/やまなみ太鼓・絆（南山城村）/ヤマモトタカヒロ/米子匡司（SjQ）/ラヴラヴスパーク and more!!

▶詳細はこちらへ

8月10日（土） ワークショップ 大阪・小橋某カラオケ店～周辺エリア（終了）

8/10（土）23時より某カラオケ店にて【大阪七墓巡り復活プロジェクト2013 七夜連続一墓巡り ②小橋編】日常編集家アサダワタルと死生観光家むつさとしによる「真夏の夜の挽歌トークショー」と小橋まち歩き「自分の葬式にはこの曲を流してほしい」という曲を、参加者全員からお聞きして、それをもとに日常編集家アサダワタルと死生観光家むつさとしが「真夏の夜の挽歌トークショ

れる展覧会の企画運営に携わっています。健常と障害、日常と非日常というボーダーを問い直し、様々な企画展を創りあげてきたお二人ならではの関心や苦勞、またアール・ブリュットならではの具体的な展示の工夫など、様々なお話を二回に渡っておうかがいします。放送日は4月3日、10日（ポッドキャストは翌週月曜から配信）です。

▶詳細はこちらへ



【学会論文掲載】 「音楽を“使いこなす”」ポピュラー音楽を用いたコミュニティプロジェクトについての研究」。（新着）

3/27に学会論文が投稿されました。アートミーツケア学会のオンラインジャーナル第6号での査読付き論文です（全文最下部のリンク先で読めます）。テーマは「音楽を“使いこなす” ポピュラー音楽を用いたコミュニティプロジェクトについての研究」。自分の音楽実践を素材に分析した本論文と、現在フィールドワークに繰り出している北九州市は小倉の究極の「歌使い」のスナックのママに関する新たな論文をベースに、なんとか博論を仕上げていきたいと思っています。本論文でご指導くださった指導教官および学会査読にあたってくださった先生方等に御礼申し上げます。皆さんもどうぞご関心を向けてくだされば幸いです。

▶詳細はこちらへ



【書評掲載】毎日新聞大阪版夕刊

3/26の毎日新聞大阪

的に考え、実験的に実施していきます。

▶詳細はこちらへ

1月27日（火）新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 東京・リブ口池袋本店コミュニティカレッジ（終了）



『アサダワタル × 家入一真 トークイベント「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」刊行記念～「表現」と「仕事」のハザマで生きる、ぼくらの世代～』わたしたちは他者に対して職業や肩書き、属するコミュニティからその人を知ろうとします。そして、こう質問します「あなた、何屋さん？」。けれど、既存の職業名では適切なものがひとつも見当たらないとしたら？ そうした謎めいた有りようを解き明かすヒントとして、アサダワタルさんは“コミュニティ難民”という概念を提唱します。今回出版された『コミュニティ難民のススメ』は、そんな「表現（≒プライベート）」と「仕事（≒パブリック）」のあいだを彷徨いながらも、枠組みを飛び越え生活を営む人々（と自分自身）の生き方を、現代の新たな道標として描き出した意欲作です。その出版記念して、起業家・活動家として様々な顔を持つ家入一真さんをお招きして、仕事と表現のはざまで、どのように生きていくのかを語る90分です。（企画概要より転載）

出演：with 家入一真（活動家・連続起業家）

日時：2015年1月27日（火）19時～

会場：西武池袋本店別館9階 池袋コミュニティ・カレッジ20番教室

参加チケット：1000円（税込）

ー」をします。もちろん挽歌をこぶしきかせて涙ながらに大熱唱していただいても大いに結構！その後、朝方に小橋界限をまち歩きして、小橋墓地にみんなの挽歌の歌詞カードをお供えます。【大阪七墓巡り復活プロジェクト2013】の「七夜連続一墓巡り」の第2弾企画です。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

8月10日（土）セッションライブ 大阪・nuthings（終了）

"SOUNDRoom.jp VS nu things" 東京のSuperDeluxe,Roppongiさんと大阪のnu thingsさんとのコラボイベントに、aenさんと山本タカヒロ（ex.BusRatch）とのトリオで出演します。＜出演＞ いぬ／ノンセクトラジカルズ／ユタカワサキ／pagtas／aen＋山本タカヒロ＋アサダワタル／皇族ゲルゲ／ememe

▶詳細はこちらへ

7月27日（月）ワークショップ 京都・京丹波町賢美小学校（終了）

「423アートプロジェクト」presents もう一つの音楽する場所を創ろうーイ・タ・ズ・ラ ミュージック！！ ナビゲーター：中川 裕貴・アサダワタル みんなでコンサートの中で「何か」をやってみよう！「何か」はあくびでも拍手でも、紙ヒコーキでもくしゃみでも、ジャンプ、イビキでも、そして音楽でもOK！！プロの音楽家の前で、みんなが出来ることをひっそり／こっそりやって、みんなが居る場所を面白おかしい場所に変わてしまおう！楽器が出来なくても、音楽は出来なくても大丈夫！みんなの一つ一つの動きが「音楽のようなもの」になる、そんなマジックをします。イタズラ好き大歓迎！！コソコソ・ドキドキのイタズラミュージック？！！（企画概要より転載）

版タ刊文化欄にて、拙著『コミュニティ難民のススメ』の書評が掲載されました。「とらわれない生き方」と書いていただきましたが、たいがい色んなことにとらわれまくって、脚が縛れてしょっちゅう尻もちついてますが……、なんとかかんとか、一歩ずつ。また見かけた方は読んでみてくださいね。清水記者、いい記事感謝多謝。



とコミュニティ難民をつなぐものRONZA - 朝日新聞社

ある、ぼくは今の道のために出た。『コミュニティ難民』があること（2015年12月、東京書籍刊）

【書評掲載】朝日新聞web ronza『真田風雲録とコミュニティ難民をつなぐもの』（新着）

3/25、朝日新聞社の「WEBRONZA」に拙著を通じたアサダの活動が取り上げられました。福島聡氏に感謝申し上げつつ、有料サイトですが途中までは皆さん読むことが可能なのでぜひ。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送変更！3月のゲスト 精神科医・作家 きたやまおさむさん。（新着）

2月ゲストの田村さんは、2012年にフランスのラ・ボルト精神病院を舞台にした写真集『ソローニユの森』を出版し、芸術、医療、福祉など様々なジャンルから注目を集めます。思想家フェリックス・ガタリが終生かかわったことでも知られるラ・ボルド病院に向けた田村さんの眼差しは、福祉や医療という制度の中で時として見えにくくな

チケット販売場所：
西武池袋本店書籍館
地下1階リブロリフ
ァレンスカウンター
お問合せ：リブロ池
袋本店 03-5949-
2910

▶詳細はこちらへ

1月25日（日）新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 東京・東京都文京区湯島 Nさん家（終了）



『いしまるあきこ presents「空き家開き」トーク』
住みながら家の一部を開く「住み開き」を提唱してきたアサダワタルさん。著書『住み開き 家から始めるコミュニティ』（筑摩書房）では様々な事例が紹介され、マスメディアでも多く取り上げられ関心を持つ方も増えています。今回はその事例紹介から一歩進んで、「住み開き」をするようなキーパーソンをどうやったら生み出せるのかを一緒に考えたいと思います。アサダさんの新著『コミュニティ難民のススメ 表現と仕事のハザマにあること』（木楽舎）では、いしまるについても書いて頂いておりますが、アサダさん本人だけではなく様々な領域を行き来し、多拠点的に活動する人々の生き様が書かれています。ここにもこのキーパーソンとなりうる人を生み出すヒントがつまっているのです。アサダさんといしまるのミニレクチャーと対談の二部構成（2時間程度の予定）でお届けします。親戚の家に遊びに来たかのような気分でいらしてください。（企画概要より転載）
出 演：with いしまるあきこ（きっかけ屋・一級建築士）
日 程：2015年1月25日（日）
時 間：開場14時半～／開演15時～
場 所：東京都文京区湯島 Nさん家
※お申込みの方に詳

▶詳細はこちらへ

7月22日（月）研究会 東京・東京藝術大学千住キャンパス（終了）※非公開 後日何かしら成果発表）

アートプロジェクトにおける「音」の記録研究
東京芸術大学熊倉研究室では、一昨年度からの「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」の開催をうけ、アートプロジェクトにおける「音」の記録研究に取り組むこととなりました。本研究は「東京アートポイント計画」のリサーチプログラム「Tokyo Art Research Lab」の一環として実施されます。多様化するアートプロジェクトにおいて、一般的なコンサートなどの「音楽」の記録(録音・録画)ではなく、アートプロジェクトの現場で鳴らされた「音」の記録についての考え方や手法を研究していきます。本日は、研究協力者であるアサダワタル氏、須之内元洋氏、さらに音まち千住の縁ディレクターである清宮陵一が、普段「音」にまつわるどのような活動をしているのかを紹介します。そして、「音の記録」をなぜ研究すべきか、というベースとなる問題意識について話しながら、そこにどんな可能性があるかについて考えていきます。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

7月20日（土）ソロ 高知いの町 ギャラリー・コパ（終了）

イノビ・オーダー2.5
ライブイベント
出演：海野貴彦、ooyakeninozomu feat.Gちくわ、Guy&neko、Yooda、MIHQ、アサダワタル / ケータリング：SO-AN、パコ、東風

▶詳細はこちらへ

7月15日（祝・月）ユニット SjQ 京都Club METRO（終了）

"GTSVL "P"
REALES
PARTY"POST"

りがちな、ひとり人の人間に対する純粋で深い興味を現してくれます。この対談は2月6日と13日の二週でお届けします。

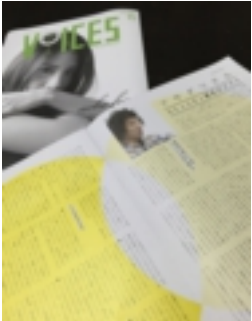
▶詳細はこちらへ



【ニュース掲載】ダ・ヴィンチNEWS『理想の働き方？ 複数の肩書きと分野を流浪する「コミュニティ難民」とは』。（新着）

ダ・ヴィンチNEWSにて、拙著『コミュニティ難民のススメ』（木楽舎）に関する記事が掲載されました。Yahooニュース、ニコニコニュースなど様々な媒体で同時配信されていますのでご関心ある方はぜひ詳細のリンク先でお読みください。

▶詳細はこちらへ



【インタビュー掲載】フリーペーパー「VOICES」にてインタビュー記事掲載。（新着）

10代20代の生きづらさを抱える女の子のための支援を続けるBONDプロジェクトが、ライター、写真家などの表現者を交えて発刊するアートフリーペーパー『VOICES』。第15号のインタビューコーナーにて取材をいただきました。素敵なペーパーなのでぜひ見かけたら御手にとってみてください。問い合わせは詳細まで。

▶詳細はこちらへ

細情報をお伝えします。
参加費：１０００円
定 員：２０名
申込方法：メールにて下記の情報をお知らせください。〔お名前、参加人数、電話番号〕申込先

→info@ishimaruakiko.com

▶詳細はこちらへ

1月18日（日）新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 東京・紀伊国屋書店新宿本店（終了）



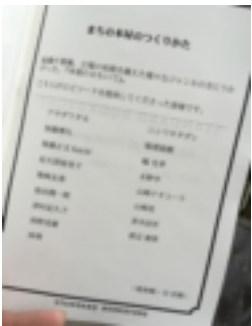
『アサダワタル × 佐々木敦 あなた、なにモノですか？ 一名付けようのない生き方"コミュニティ難民"を実践することー』ミュージシャン、作家、NPO の理事、まちづくりや障害者福祉に携わり、美術館の懇談会委員であり、ラジオの司会者であり、大学の非常勤講師であり、現役大学院生でもあるアサダワタルさん。
「.....でも結局、アサダさんって何屋さんなの？」そんなふうに、わたしたちは他者に対して職業や肩書き、属するコミュニティからその人を知ろうとします。けれど、既存の職業名では適切なものがひとつも見当たらないとしたら？そうした謎めいた有りようを解き明かすヒントとして、アサダさんは"コミュニティ難民"という概念を提唱します。今回出版された『コミュニティ難民のススメ』は、そんな「表現（≒プライベート）」と「仕事（≒パブリック）」の間に彷徨いながらも、枠組みを飛び越え生活を営む人々（と自分自身）の生き方を、現代の新たな道標として描き出した意欲作です。この書籍の出版記念イベントとして批評家・佐々木敦さんをお迎えし、多領域を漂泊するコミュニティ難民とはなにか、そして自己の中にある多様なアイデンテ

京都のインストゥルメンタルバンド GTSVL（ゲイツビル）のアルバム・リリースパーティに出演します！ 待望のファーストフルアルバムをドロップする同グループを祝して、素晴らしい共演者が集結！
with：OORUTAICHI / VIDEOTAPEMUSIC
contact Gonzo / GTSVL DJ iToy aka
PsysEx/RAIJIN/seitaro
DECO：犯罪ボーイズ
FOOD：Social Kitchen...and more

▶詳細はこちらへ

7月5日（金）カラオケボックスでクラブイベント?! 京都・シダックス三条河原町店（終了）

『KARAOKEDISCO!! 京都編 in Shidax三条河原町店 〜カラオケボックスを使った新感覚のクラブイベント！ダンシングオールナイトな真夏の夜の夢はブギーバックな感じで NIPPONの未来もイエイエイエイエ！〜』
“カラオケボックスの新しい使い方”をテーマに、2012年8月に渋谷のShidaxさんを借りて始めたこのイベント。J-POPをベースに、クラブイベント”KARAOKEDISCO!! “を主催するcodacodaDJ（國府田典明）と、日常生活を音楽などの表現でリミックスすること重ねてきた日常編集家 アサダワタルがコンビを組み、そこに、“もぐらが一周するまで”の佐藤亘も加わり、“踊って歌える”DJをベースに、カラオケ要素のあるLIVEパフォーマンスや、DJの選曲でお客さんがカラオケできる時間等、身近なカラオケ環境によって、日本人っぽいクラブイベントが組み立てられるか、という試みです。今回は、前回に引き続きカラオケボックスSHIDAXの京都 河原町三条店のプラチナパーティールームをお借りして開催。いよいよ、オールナイトで2013年の夏を完全攻略。 ぜひとも、



【寄稿】スタンダードブックストア 阿倍野店一周年企画冊子『まちの本屋のつくりかた』。（新着）

組織や業種、立場の垣根を越えた様々なジャンルの方にうかがった、『本屋のおもいで』。こちらがエピソードを提供してくださった皆様です。（敬称略・50音順）アサダワタル／加藤寛久／後藤正文 (Gotch)／佐久間裕美子／柴崎友香／島田潤一郎／津村記久子／西野亮廣／西靖／ニシワキタダシ／服部滋樹／幅 允孝／水野学／山崎ナオコーラ／山崎亮／若木信吾／渡辺 康啓（本誌冒頭より抜粋）

▶詳細はこちらへ



【ラジオゲスト出演】エフエム尼崎「8時だヨ！神さま仏さま」2月18日と25日に出演。（新着）

2月18日と25日放送の収録がありました。ゲストは番組最高顧問・釈徹宗さんと、日常編集家・アサダワタルさんでした。『住み開き』『コミュニティ難民のススmer表現と仕事のハザマにあること』の著書がありで、アーティスト、ミュージシャン、文筆家、講師、プロデューサーなど様々な肩書をお持ちで、その総称が「日常編集家」のようです。放送中は、釈先生と、アサダさん、そして宏林さんしか話しておりません。それくらい、アサダさんのトークは抜群でした。不思議な世界のお話ですが、放送をお楽しみに！（番組パーソナリティのブログより抜粋）

▶詳細はこちらへ

ィティを見つめながら生きるとはどういうことか、を語る90分です。（企画概要より転載）
出 演：with 佐々木敦（批評家）
日 時：2015年1月18日(日) 19:00～20:30（18:30開場）
場 所：紀伊國屋書店新宿本店 8階イベントスペース
定 員：45名 ※定員に達し次第、受付を終了させていただきます。
参加費：入場料500円（当日、会場にてお支払いいただきます）
ご予約：2014年12月30日（火）より3階カウンターにてご予約を承ります。
お電話でのご予約も同日より承ります。
3階直通 03-3354-5703

▶詳細はこちらへ

1月17日（土）新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 富山・紀伊国屋書店富山店（終了）



『あなたは何屋さん？？コミュニティ難民とは？』（仮）

2013 年の「まちづくりセミナー」で講師として登壇されたアサダワタル氏が富山に凱旋！今回のイベントはまちなかでの賑わいの創出に寄与することを目的とした団体「NPO 法人 GP ネットワーク」が開催している『まちづくりセミナー』の講師を昨年アサダワタル氏にお願いしたご縁での開催となり私たちも「コミュニティ難民かも？」と思っているメンバーが進行のお手伝いいたします。富山の街で仕事や生活の新しいスタイルの模索やコミュニティの変容について、富山から見える現在と未来を語り合いましょう。（企画概要より転載）

出 演：with トムスマ・オルタナティブ（アーティスト）
NPO法人

こじんまりとつつもワクワクと笑いと興奮がこみ上げてくる新感覚のクラブイベントにお立ち会いください。

▶詳細はこちらへ

6月14日（金）ー15日（土）東京・東京藝術大学千住キャンパス（終了 ※東京藝大学生にのみ公開）

アートプロジェクトにおける「音」の記録研究第1回公開研究会
東京芸術大学熊倉研究室では、一昨年度からの「アートアクセスあだち 音まち千住の縁」の開催をうけ、アートプロジェクトにおける「音」の記録研究に取り組むこととなりました。本研究は「東京アートポイント計画」のリサーチプログラム「Tokyo Art Research Lab」の一環として実施されます。多様化するアートプロジェクトにおいて、一般的なコンサートなどの「音楽」の記録(録音・録画)ではなく、アートプロジェクトの現場で鳴らされた「音」の記録についての考え方や手法を研究していきます。本日は、研究協力者であるアサダワタル氏、須之内元洋氏、さらに音まち千住の縁ディレクターである清宮陵一が、普段「音」にまつわるどのような活動をしているのかを紹介します。そして、「音の記録」をなぜ研究すべきか、というペースとなる問題意識について話しながら、そこにどんな可能性があるかについて考えていきます。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

ユニット SjQ++ アルス・エレクトロニカにて優秀賞 [Award of Distinction]受賞

本年度のアルス・エレクトロニカ賞（オーストリアのリンツで開催される芸術・先端技術・文化の祭典で、メディアアートに関する世界的なイベント）のデジタルミュージック/サウンドアート部門に



【ラジオ】KBS 京都ラジオ 「Glow～生きることが光になる～」 真毎週金曜 21時30分～21時55分放送変更！2月のゲスト 文化庁長官 青柳正規さん。（新着）

2015年2月7日に大津プリンスホテルにて開催された地域福祉と文化の祭典 アミニティフォーラムにてご講演をされた文化庁長官青柳正規さんに、会場にてインタビューをいたしました。様々な文化政策を司り、アール・ブリュットの普及にも力を注いでいらっしゃる青柳文化庁長官に、展覧会の率直な感想や、2017年に開催予定のフランスナント市との文化芸術による国際交流事業について、また「アール・ブリュット」という言葉のもつ力について、独自の見解を伺いました。放送は2月20日(金)、ポッドキャストは翌週月曜の2月23日から配信中です。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメ 一表現と仕事のハザマにあることー」第21回（最終回）掲載。（新着）

雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメ 一表現と仕事のハザマにあることー」が2013年7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしてまいりますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。そして今回

GPネットワーク（まちづくりNPO）
参加費： 無料
日 時： 2015 年 1 月 17 日（土） 14 時～
場 所： 紀伊国屋書店（総曲輪フェリオ 7 階）

1月9日（金）新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 京都・HAPS（東山アーティストプレイスメンツサービス）（終了）



『マルチプルなアイデンティティ。異なるコミュニティを漂泊する生き方・働き方の「根っこ」を問う年始早々の座談会！！』

今回のイベントでは、とりわけ自身の問題意識を社会に現していく（表現していく）際に、既存の<島>（分野領域）へのコミットのみではなかなか収まりきらない状況を自ら生み出しながら実践を繰り返してきた京都在住の参考人をお招きしつつ、東山アーティストツ・プレイスメント・サービス（HAPS）を舞台に混沌かつ予想がつかないトークを参加者も交えて展開します！（企画概要より転載）
出 演：with 遠藤水城（インディペンデント・キュレーター・HAPSエグゼクティブ・ディレクター）

佐藤知久（文化人類学者・京都文教大学総合社会学部准教授）
タミヤリョウコ/田中課長（「ガールズヘルスラボフォーワーカーズ」主宰など）
日 時： 2015 年 1 月 9 日（金） 19 時～
場 所： HAPS＝東山アーティストプレイスメンツサービス（東山京都府 京都市東山区山崎町339）
参加費： 1000円（定員15名 ※要予約→

で、アサダがドラムを担当してます
SjQ++が優秀賞
[Award > of Distinction]受賞いたしました！サポート頂いたすべての皆様に本当に心からお礼を申し上げます。このユニットではかれこれ10年ほど参加し、途中間3年抜けたりしつつも長く関わっているユニットだけに、メンバーともこれまであれやこれや様々な葛藤と挑戦の狭間に立ちながらクリエイションしてきました。受賞は素直に嬉しいことです。改めて、本当にありがとうございます。今年は秋には、国内の国際美術展にもこのユニットにて出演する予定ですので、また詳細決まり次第お伝えできればと思います。

[▶詳細はこちらへ](#)

5月19日（日）ソロ 大阪 FLOAT（終了）

『swimm 2nd mini album "頭の中では次の駅をきめている"』バンド「swimm」が 2nd mini album『頭の中では次の駅をきめている』を今年の2月に発売。それを記念したライブパーティーにお招きいただきました。新ジャンル「DJ話芸」を披露します。
出演：swimm、たゆたう、アサダワタル
PA：粕谷茂一（slim chance audio）

[▶詳細はこちらへ](#)

5月12日（日）ユニット SjQ 京都 UrBANGUILD（終了）

『yuki nakagawa presents..."o/t/c" scene.28 「今日-/noミューz[sic].&」』音楽から外れようとする がしかし、それは音楽を止めることではない ちょっとした距離感を、手を伸ばせば届くくらいの距離感を 音と音楽の間に作り出すための試行。いつもお世話になっている音楽家中川裕貴くんの企画です。
with:Tralten Eller Utpult (from Norway)/ Takahiro Yamamoto(ex.Busratch)

は、書籍化の実現も経ていよいよ最終回！また次回以降は新たな連載が始まりますのでどうぞお楽しみに。

[▶詳細はこちらへ](#)



【インタビュー掲載】UR都市機構の新ウェブマガジン「OURS」にてインタビュー記事掲載。（新着）

UR都市機構さんがすごいウェブマガジンをローンチしたのは皆さんご存知でしょうか？ その名も『OURS.

KARIGURASHI MAGAZINE』。「貸すこと 借りること 暮らしにつらなる、さまざまな物語」というキャッチコピーもステキなこのマガジンのインタビューコーナー 第一弾ゲストとして、アサダが取材を受けました。一週間ごと計4回に渡って掲載されます。

[▶詳細はこちらへ](#)



【推薦記事】雑誌「月刊みすず」2015年1・2月号」の特集「2014nenn 読書アンケート」にて『コミュニティ難民のススメ』推薦記事掲載。（新着）

様々な分野の第一線で活躍される方々が毎年始、優れた書籍の推薦を行なう「月刊みすず」の特集「読書アンケート」にて、映画監督 坂上香さんと、ジュンク堂書店難波店店長の福嶋聡さん、社会学者の栗原彬先生の3名の撰者により、拙著『コミュニティ難民のススメ』を推薦いただきました。

[▶詳細はこちらへ](#)

2014年もお世話になりました！
2015年も引続き新刊「コミュニティ難民のススメ」出版ツアーが目白押し！（終了）



全詳細はしばしお待ちを。
■1月9日（金）京都の文化人類学者 佐藤知久さんさんとともに企画。遠藤水城さん（インディペンデントキュレーター）、タミヤリョウコ/田中課長（「ガールズヘルスラボフォーワーカーズ」主宰）とのトーク@京都 東山アーティストプレイスメンツ（HAPS）
■1月17日（土）富山のまちづくり団体 GPネットワークさんとともに企画。トムスマ・オルタナティブさん（アーティスト）とトーク@富山 紀伊國屋書店
■1月18日（日）批評家 佐々木敦さんと対談@東京 紀伊國屋新宿本店
■1月25日（日）本書でも登場するきっかけ屋・一級建築士のいしまるあきこさんと対談@東京 湯島のとある民家
■1月27日（火）活動家 家入一真さんと対談@東京・池袋リブコミュニティカレッジ
■2月13日（金）滋賀の細馬宏通さん（人間行動学者・滋賀県立大学教員）、近藤隆二郎さん（NPO法人五環生活・滋賀県立大学教員）とのトーク@滋賀・彦根半月舎
■2月15日（日）大阪のIN/SECTSの松村貴樹さんとともにシリーズ企画第二弾！本書でも登場した藤原明さん（りそな銀行）、梅山晃佑さん（二豊大学・A'ワーク創造館）の二人や、芥川賞作家の津村記久子さんも登場！@大阪 心齋橋スタンダードブックストア
■2月16日（月）ま

4月27日（土）
ユニット SjQ
奈良県立図書情報館にてワークショップ（終了）

『SJQラボ。～音による創造のワークショップ～』
ドラムを務めるSjQが初のワークショップを奈良県立図書情報館にて開催！これまで培ってきた様々な創作のエッセンスを濃縮した新たな創造のための場。要申込/参加費2000円/対象：創造することに興味がある方（経験不問）
▶詳細はこちらへ

3月9日（土）草津ダンス街道にて「街道たんけん隊」&「ホトリカラダンス」音楽担当（終了）

『草津ダンス街道』最近、滋賀県内で一緒にワークショップをしたりパフォーマンスしたりさせてもらっている、なにわのコリオグラファーしげやん こと北村成美さんたちが仕掛けるコミュニティダンスプロジェクト「草津ダンス街道」のグランドフィナーレにて、いくつかのプログラムで音楽・演奏を担当します。草津ダンス街道内容は詳細を参考に。
▶詳細はこちらへ

3月6日（水）高知県四万十市立西土佐小学校にてワークショップの最終発表「西土佐小スクールロックバンド ライブショー」開催！（終了）

ワークショップ『コピーバンド・プレゼントバンド』開始。来年の3月まで。「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」の一貫で、高知県にて音楽ワークショップをさせていただきます。詳細レポートはブログなどで報告するとして、ひとまず楽しみです。

3月3日（日）
TAIYO33OSAKA
でドラム演奏 大阪・千里万博公園



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」 真毎週金曜21時30分～21時55分放送変更！2月のゲスト写真家 田村尚子さん。（新着）

2月ゲストの田村さんは、2012年にフランスのラ・ボルト精神病院を舞台にした写真集『ソローニユの森』を出版し、芸術、医療、福祉など様々なジャンルから注目を集めます。思想家フェリックス・ガタリが終生かかわったことでも知られるラ・ボルド病院に向けた田村さんの眼差しは、福祉や医療という制度の中で時として見えにくくなりがちな、ひとり一人の人間に対する純粹で深い興味を現してくれます。この対談は2月6日と13日の二週でお届けします。
▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメ 一表現と仕事のハザマにあることー」第20回掲載。（新着）
以前からよく取材いただいてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメ 一表現と仕事のハザマにあることー」が2013年7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。
▶詳細はこちらへ

ちづくりプランナーの今村ひろゆきさんと対談@東京・中延インストールの途中だビル

■2月21日（土）青森八戸のアートコーディネーター 今川和佳子さんとともに企画。飯田竜太さん（アーティスト）らとのトーク@青森 八戸酒造株式会社

■2月28日（土）大阪のIN/SECTSの松村貴樹さんとともにシリーズ企画第三弾！家成俊勝さん（建築家・dot architects代表）、乾聰一郎さん（奈良県立図書情報館）、山納洋さん（大阪ガス（株）近畿圏部）、中川和彦さん（スタンダードブックストア）らとトーク@大阪 心斎橋 スタンダードブックストア

12月23日（祝・金）新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 大阪・スタンダードブックストア心斎橋（終了）



【スタンダードブックストア連続企画第一弾】アサダワタル著『コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー』（木楽舎）出版ツアー in 大阪 あなた一体何屋さん？ 〈生きる〉のなかで、すべてがボーダレスに混じり合う〈働く〉へ！ アサダワタル × 釈徹宗 × Kume Mari × 三原美奈子 × 松村貴樹 仕事をする上でひとつの「これ！」といったコミュニティ（専門分野や業界）に属さず（あるいは属することができず）、かつその時々に応じて表現手法・アウトプットも特定していないことによって、周りから「結局、あの人は一体、何屋さんなのだ……？」とか思われるような人、あなたの周り（あるいは

（終了）

『1000人 太陽ドラム☆万博ドンドンドン 』

33人のドラマーの一人として叩きます。なんせ1000人で太鼓叩くの目指すのですからそりゃすごいこととなるでしょう。

（以下企画文より抜粋）太陽の塔を見渡せる芝生の広場の上で、日時計をモチーフに配置された33台のドラムセットを中心に、音楽の経験の有無はもちろん、世代や性別・国籍なんて関係なく、当日その場に居合わせたすべての人々があらゆる打楽器を手にとって、自ら光る太陽のように、身体の内側から生まれてくるリズムを自由に奏でます。

▶詳細はこちらへ

2月24日（日）ユニット SJQ 京都Club METRO（終了）

『night cruising-"tone" release party in KYOTO-』京都発の電子音楽パーティー[night cruising]がレーベル活動をスタート！SjQも楽曲を提供したりリリース第一弾コンピレーションのレコ発企画に出演します。with:Ametsub / polar M / intext DJ：tsukasa / AAAsaaREE / RAIJIN / Tatsuya FOOD：naturemian

▶詳細はこちらへ

2月13日（水）高知県四万十市立西土佐小学校にてワークショップ（終了）

ワークショップ『コピーバンド・プレゼントバンド』開始。来年の3月まで。「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」の一貫で、高知県にて音楽ワークショップをさせていただきます。詳細レポートはブログなどで報告するとして、ひとまず楽しみです。

2月8日（金）ワークショップ&舞台公演「サイとキワ」 滋賀・大津プリンスホテルコンベンションホール9（終了）

あらゆる"差異（サ



【書評掲載】共同通信社から新刊『コミュニティ難民のススメ』の書評配信（新着）

共同通信社さんから書評が配信されまずは昨日、1月25日、岩手日報さんに掲載されました。書いて下さったのはナリワイの伊藤洋志さん。見出しが何より嬉しかった。そう、表現なんです。書かれていることも、本そのものも、本という種が蒔かれたあとの他者との対話やそのための場づくりも。伊藤さんありがとうございます。



【新刊フェア】ジュンク堂難波店にてフェア「アウェーの〈島〉へ」展開中（新着）

ジュンク堂難波店で出版・書店文化の論客でもある福嶋聡さんが、ジュンク堂のPR誌『書標（ほんのしるべ）』と、連載されているコラム『本屋とコンピュータ』（人文書院）にて、新刊『コミュニティ難民のススメ』についてご紹介いただきました。新刊『コミュニティ難民のススメ 表現と仕事のハザマにあること』（木楽舎）を中心としたフェア「アウェーの〈島〉へ」がジュンク堂難波店で展開されています。置かれている本は僕のこれまでの本も含め、すべて参考文献一覧にあげていたもので構成されています。ありがとうございます！

あなた自身)に心当たりはないでしょうか？ 時に周囲から「あいつは根無し草だ」とか「結局、一体何がやりたい人なんだらう？」って言われたりしながら、自分の分野や目に見えやすいアウトプットに縛られず、自分の「表現」したい「根っこ」を掘り下げようにして「仕事」を作ってきた日常編集家のアサダワタルさんは、このような状態を「コミュニティ難民」というキーワードで現し、一冊の本に纏めました。それが本書『コミュニティ難民 ー表現と仕事のハザマにあることー』です。プライベートな空間である家に、パブリックな機能を持たせる住まい方を「住み開き」という言葉で切り取ったアサダさんが、今回は「表現(≒プライベート)」と「仕事(≒パブリック)」の間を彷徨って生きる、6人の人生の歩き方をコンパイル。自問自答しながらも、あらゆる枠組みを飛び越え、楽しく暮らす生き方・働き方について、多彩なゲストを交えて語り合います。スタンダードブックストア心斎橋にて展開される出版シリーズ第一弾は、本書でも登場する僧侶で宗教学者の釈徹宗さん、DIY LIFEを素敵に広める人気ブロガーのKume Mariさん、まちづくりや現代アートなど多様な分野で活躍するパッケージデザイナーの三原美奈子さんを交えて、司会は大阪はフロム谷町6丁目のローカル・カルチャーマガジン『IN/SECTS』の編集長 松村貴樹さんが担当します。乞うご期待！（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

12月20日（土）
香川観音寺・観音寺商工会議所（終了）



SHOP IN SHOP 創業講座「住み開き」

イ)"を確認しながら、世界を再構築すること。びわ湖の"際（キワ）"を舞台にワークショップを重ねてきた表現者たちと、ダンサー、ミュージシャンたちが織りなす摩訶不思議なパフォーマンスとトーク！びわ湖のホトリにて活動してきた、福祉施設のダンサーたち、振付家 北村成美と、ドラム アサダワタル、チェロ 中川裕貴、そして特別ゲストにピアニスト 谷川賢作、アドバイザーに小室等を交えたカンパニー「ホトリカラダンス」のパフォーマンス。アフタートークもあり。

▶詳細はこちらへ

1月16日（水）高知県四万十市立西土佐小学校にてワークショップ（※ノロウィルス発生のため学級閉鎖。よって中止！）

ワークショップ『コピーバンド・プレゼントバンド』開始。来年の3月まで。「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」の一貫で、高知県にて音楽ワークショップをさせていただきます。詳細レポートはブログなどで報告するとして、ひとまず楽しみです。

12月27日（木）カラオケボックスでクラブイベント?! 京都・シダックス三条河原町店（終了）

『Club SHIDAX 京都編 by KARAOKEDISCO!! ～12/27 一足お先に昼間っから年忘れ。カラオケボックスを使った新感覚のクラブイベント～』“カラオケボックスの新しい使い方”をテーマに、今夏に渋谷のShidaxさんを借りて始めたこのイベント。J-POPをベースに、クラブイベント"KARAOKEDISCO!!"を主催するcodacodaDJ（國府田典明）と、日常生活を音楽などの表現でリミックスすること重ねてきた日常編集家 アサダワタルがコンビを組み、"踊って歌える"DJをベースに、カラオケ要素のあるLIVEパフォー



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送変更！2015年1月のゲスト 田口ランディさん×嘉田由紀子さん。（新着）

2015年第三弾ゲストは、作家 田口ランディさんと前滋賀県知事・びわ湖スポーツ成蹊大学学長の嘉田由紀子さんで行なった公開収録イベント。テーマは「オール・ブリュットへその道程と幸福について」。1月23日、30日の二週にわたって放送、&翌週月曜にはポッドキャストも配信です。

▶詳細はこちらへ



【書評掲載】ジュンク堂PR誌『書標（ほんのしるべ）』にて新刊『コミュニティ難民のススメ』の書評掲載（新着）

ジュンク堂難波店店長で出版・書店文化の論客でもある福嶋聡さんが、ジュンク堂のPR誌『書標（ほんのしるべ）』と、連載されているコラム『本屋とコンピュータ』（人文書院）にて、新刊『コミュニティ難民のススメ』についてご紹介いただきました。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあ

香川県観音寺での商店街での新たな取り組み「SHOP IN SHOP」の講座企画にお招きいただきました。詳しい内容は「詳細はこちら」のリンク先にお問い合わせください。

▶詳細はこちらへ

12月14日（日）
滋賀大津・スプ
ンライフオンワー
クス（大津パルコ
サテライト3階）
（終了）



アール・ブリュット ゾーン パルコ 関連企画
KBS京都ラジオ
「Glow ～生きることが光になる～」
公開収録トークライブ
パルコ大津店で12月25日まで開催中の展覧会「アール・ブリュット ゾーン パルコ」の一環で、ラジオの公開収録トークイベントを開催します！パーソナリティを務めている手前、聞き手を担当します。ランディさんと嘉田さんともお会いするのは久しぶり。気合い入れて参ります。ゲスト：田口ランディ（作家）
嘉田由紀子（びわこ成蹊スポーツ大学学長・前滋賀県知事）
聞き手：アサダワタル（文筆家・音楽家）

▶詳細はこちらへ

12月13日（土）
千葉流山・流山市
文化会館会議室
（終了）



交流して、提案して、実践する。
「流山まちづくり大学」
東京理科大学と流山市の協働によるまちづくり大学にて、住み開き、日常再編集の実践事例をお話させていただきます。

▶詳細はこちらへ

12月12日（金）

マンスや、DJの選曲でお客さんがカラオケできる時間等、身近なカラオケ環境によって、日本人っぽいクラブイベントが組み立てられるか、という試みです。

▶詳細はこちらへ

12月23日（日）
コラボ ライブ&
トーク 『わたし
たちは新聞です
か？ Yes! we are
newspapers.
（エメカ・オグボ
ウ×アサダワタル
滞在制作成果発
表）』（終了）

エメカ・オグボウ
（ナイジェリア・ラ
ゴス）×アサダワタル
（日本・関西）のホ
ームステイ生活の成
果を発表します。静
かな住宅街の一角で
ふたりが繰り広げる
謎のライブ編集パフ
ォーマンスを是非体
験しに来てくださ
い！（ホームステ
イ～アフリカからの
お客さんプロジェク
ト～2012）

【日時】12月23日
（日）
1、昼の部 14:00 ～
15:30 500円
2、夜の部
18:00 ～
19:30 500円
3、夜の部＋夕食会
～21:30 1500円

※いずれもアルコー
ルは別料金、定員15
名
【場所】イシワタ邸
（横浜駅からバスで
15-20分、または相
鉄線星川駅から徒歩
15分）
【ご予約方法】 ご予
約は [こちら](#)から、「お
名前」「e-mailアド
レス」「上記1～3
のいずれか」などを
記入のうえ送信して
ください。会場への
道案内を書いたメー
ルを返信いたします。

▶詳細はこちらへ

12月5日（水）
高知県四万十市立
西土佐小学校にて
ワークショップ
（終了）

ワークショップ『コ
ピーバンド・プレゼ
ントバンド』開始。
来年の3月まで。
「トヨタ・子どもと
アーティストの出会
い」の一貫で、高知
県にて音楽ワークシ
ョップをさせていた
だきます。詳細レポ
ートはブログなどで

ることー」第19
回掲載。（新着）
以前からよく取材い
ただいてます雑誌
『ソトコト』（木楽
舎）にて、新連載
「コミュニティ難民
のススメ ー表現と
仕事のハザマにある
ことー」が2013年7
月5日発行の8月号よ
り開始。「コミュニ
ティ難民」という名
の僕の実体験にもと
づく人生コンセプト
について、毎月書き
下ろしていきますの
で、ぜひともご関心
を向けてくださいま
せ。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生き
ることが光にな
る～」真毎週金曜
21時30分～21
時55分放送変
更！2015年1月
のゲスト 医師 笠
原吉孝さん。（新
着）

2015年第二弾ゲスト
は、滋賀県医師会長
でNPO法人はれたり
くもったり理事長の
笠原吉孝さん。テー
マは、『ひとりの医
者として アール・
ブリュットを支える
こと』。1月16日。
翌週月曜にはポッド
キャストも配信で
す。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生き
ることが光にな
る～」真毎週金曜
21時30分～21
時55分放送変
更！2015年1月
のゲスト やさし
い美術プロジェク
ト 高橋伸行さ
ん。（新着）

2015年もKBS京都ラ
ジオ「Glow 生きるこ
とが光になる」をよ
ろしく願いま
す！1/2（金）21時

新刊「コミュニティ難民のススメ」出版記念イベントツアー 東京・かもめボックス（終了）



書籍『コミュニティ難民のススメ』（アサダワタル 著）刊行記念トークイベント「“創造”する漂泊の民、コミュニティ難民とは？」ミュージシャン、作家、NPO の理事、まちづくりや障害者福祉に携わり、美術館の懇談会委員であり、ラジオの司会者であり、大学の非常勤講師であり、現役大学院生でもあるアサダワタルさん。

「……でも結局、アサダさんって何屋さんなの？」そんなふうに、わたしたちは他者に対して職業や肩書き、属するコミュニティからその人を知ろうとします。けれど、既存の職業名では適切なものがひとつも見当たらないとしたら？そうした謎めいた有りようを解き明かすヒントとして、アサダさんは“コミュニティ難民”という概念を提唱します。今回出版された『コミュニティ難民のススメ』は、そんな「表現（≒プライベート）」と「仕事（≒パブリック）」の間を彷徨いながらも、枠組みを飛び越え生活を営む人々（と自分自身）の生き方を、現代の新たな道標として描き出した意欲作です。この書籍の出版記念イベントとして、著者のアサダワタルさん、ゲストとして発酵デザイナーの小倉ヒラクさん、デザイナーの太刀川英輔さんをお迎えし、大いに語らいます。開店したばかりのかもめボックスで、なぜこのイベントを……？理由は簡単、かもめボックスもコミュニティ難民だという自覚があるからなんです。かもめボックスの初のトークイベント、どうぞお楽しみに！（企画概要より

報告するとして、ひとまず楽しみです。

11月24日（日）
ユニット SjQ+ + 六本木・SuperDeluxe（終了）

『Post Experimental』アサダがドラマーを務める電子即興アンサンブルSJQとメディアアーティストKazzadrixのジョイントプロジェクト「SJQ++」。今年4月京都での反響を呼んだ共演から継続プロジェクトへ発展。この日の共演者は梅田哲也、core of bells、ユタカワサキバンド改めucnvバンド、GULGONZO (contactGonzoxGUL)、山川冬樹、志水児王など。ぜひ見に来て下さいね。

▶詳細はこちらへ

11月17日（土）
ユニット with 米子匡司 ライブ
見つけ！このはな 関連プログラム
大阪・FLOAT（終了）

『一日目の夜』にてアサダワタル×米子匡司でライブ西九条近郊で開催されるイベント『見つけ！このはな』への出展・出演者を迎えるのライブイベント。堀尾寛太（展示会場：ニュー千鳥橋ビル）、no collective（展示会場：クラブッケン）と、商店街でのラジオ企画に参加するアサダワタル・米子匡司、DJハガケン（展示会場：此花メヂア）、吉原啓太（同）、水玉（同）と、糸井宏美（展示会場：クラノヨコ）を迎えてのライブイベントです。17日・18日開催の見つけ！このはなと合わせてお越しください。

▶詳細はこちらへ

11月7日（水）
高知県四万十市立西土佐小学校にてワークショップ（終了）

ワークショップ『コピーバンド・プレゼントバンド』開始。来年の3月まで。「トヨタ・子どもとアーティストの出会い」の一貫で、高知県にて音楽ワークシ

半からまた毎週金曜21時半から放送してますのでどうぞ聴いてくださいね！2015年第一弾ゲストは、やさしい美術プロジェクトのディレクターでアーティストの高橋伸行さん。高橋さんとはここ3年ほど度々交流させていただき、「コト」的な表現力にとっても感銘を受けています。テーマは、『目に見えない表現と向き合う 近づく。やさしい美術プロジェクトの実践から』。二週にわたって放送、&翌週月曜にはポッドキャストも配信です。

▶詳細はこちらへ



【インタビュー掲載】『編集学一つなげる思考・発見の技法』12月22日発売。（新着）『編集学一つなげる思考・発見の技法』（紫牟田伸子著 早川克美編）が12/22に出版されました。応用編(「編集力」を活用する)という章の「日常を編集する」にてインタビューを受けております。どうぞお見知りおきを。

▶詳細はこちらへ



【連載】共同通信社「日常音楽☆発掘宣言」 12月13日から山陽新聞にて習慣掲載（新着）

共同通信社での連載『日常音楽☆発掘宣言!!』の掲載第二号は「山陽新聞」。新潟日報では、11/18（火）から始まり隔週火曜で全6本掲載予定です。

抜粋)

▶詳細はこちらへ

12月10日（水）
新刊「コミュニティ
難民のススメ」
出版記念イベント
ツアー 福岡・ブ
ックスキューブリ
ック箱崎店（終
了）

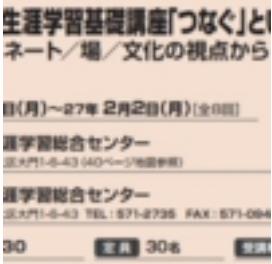


【アサダワタルx山内泰x大澤寅雄トーク】「あなた何屋さん？」にあえて実体を与えながら、結局なにが「根っこ」にあるかを問う。

「現代に生きるクリエイティブな漂泊の民＝コミュニティ難民」について、思索と実践を展開した新作『コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー』（木楽舎）の12/1の全国一斉発売。各地で出版記念イベントが]開催されます！今回のイベントでは福岡のブックスクューブリック箱崎店さんにて、「自分たちの求めるものを自分たちでつくる」文化的な社会を目指して、コミュニティデザインや文化事業に取り組む山内泰氏（NPO法人ドネルモの代表理事）と著者が対話し、進行を文化・芸術と社会の関わりをリサーチする大澤寅雄氏（株式会社ニッセイ基礎研究所）が務めます。仕事や生活の新しいスタイルの模索やコミュニティの変容について、福岡から見える現在と未来を語り合います。

▶詳細はこちらへ

12月8日（月）
福岡北九州・北九
州市立生涯学習総
合センター（終
了）



北九州市民カレッジ 社会教育・生涯学習基礎講座「つなぐ」という

ジョップをさせていただきます。詳細レポートはブログなどで報告するとして、ひとまず楽しみです。

11月4日（日）ユ
ニット SjQ++
石川県金沢市
金沢21世紀美術
館・シアター
21（終了）

『LA FROID JOURNEE Kanazawa 2012 - 金沢電子音楽祭 -』アサダがドラマーを務める電子即興アンサンブルSJQとメディアアーティスト Kazzadrixのジョイントプロジェクト「SjQ++」。いよいよ金沢21世紀美術館に登場しますよ。この日の共演者は、CHIHEI HATAKEYAMA + ASUNA/KYOSUKE FUJITA (3000NDL) /LOMANCHI (PPTV + ASPARA)。ぜひ見に来て下さいね。

▶詳細はこちらへ

11月3日（祝・土）ソロ ライブ
&トーク 東京・
両国の町工場 中
村仲製作所（終
了）

『まちこうBAR 2012 with 韃靼I』工場を町に開いてライブパーティーをする画期的な企画「まちこうBAR」を繰り広げる中村仲製作所さんにお招きいただきました。ドラマーとして初の工業機械とのインダストリアル系セッション&コミュニティについてのトークも。DJ codacodaのプレイも食もあり。これはほんと来てほしい。

▶詳細はこちらへ

10月19日（金）
ユニット with 米
子匡司 ライブ
大阪・江之子島芸
術文化センター
（終了）

『クリエイティブフォーラム&ハプニングパーティー』にてアサダワタルx米子匡司でライブ満員御礼のパーティーだったため、募集が閉め切られてましたが、こんな感じでライブをさせていただきました。詳細は以下のブログで・

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生きることが光になる～」 真毎週金曜
21時30分～21
時55分放送変
更！12月のゲス
ト ピアニスト
谷川賢作さん。
（新着）

2013年の10月からパーソナリティを担当させてもらっている「Glow」。12月ゲストの谷川さんは、これまで演奏家として様々な楽団やコンサートに出演され、NHKの歴史番組「そのとき歴史は動いた」の楽曲など、様々な作・編曲のお仕事もされてきました。そんな谷川さんがこの3年間、滋賀県で関わってらっしゃるのが糸賀一雄記念賞音楽祭です。毎年秋に、栗東芸術文化会館さくら大ホールにて開催されるこの音楽祭は、びわ湖を囲むように県内7つの施設で表現活動を行う障害のある人と、プロのアーティストが一体となって表現することの喜びを分かち合うフェスティバル。そのゲストミュージシャンとして活動される谷川さんに、音楽祭に対する熱い思い、障害の有無を超える音楽表現の可能性について、語っていただきます。この対談は12月12日と19日の二週でお届けします。

▶詳細はこちらへ



【寄稿】雑誌『
IN/SECTS』
Vol.06 12月15
日発売。コラム執
筆。（新着）

大阪発ローカル・カルチャーマガジン『IN/SECTS』の第6号がなんと二年ぶりに刊行。宮崎重明ことASKAについてのあるエピソードを書

しごとを考える 3
ーコーディネート
／場／文化の視点
からー 「住み開
き」の新段階
昨年もお招きいた
いた北九州市民カ
レッジにて今年も講師
を担当します。コー
ディネートは九州大
学大学院准教授の岡
幸江先生。詳しくは
詳細はこちらのPDF
をご覧ください。

▶詳細はこちらへ

11月30日（日）
大阪・伽奈泥庵
（終了）



オープン台地
vol.5「上町台地の
まちづくり25年
近藤隆二郎×アサダ
ワタルクロストー
ク」
25年前、上町台地を
舞台に企画された
「九輪の台地」。当
時、大阪大学大学院
の演習課題でこのイ
ベントに取り組んで
いた近藤隆二郎氏
と、5年前に始まっ
た「オープン台地」
の初代総合プロデュ
ーサーであるアサダ
ワタル氏のクロスト
ークイベント。これ
らの先鋭的なイベン
トを企画してきた2人
の上町台地を巡るデ
ィープなトークは必
見！会場は、知る人
ぞ知る上町台地の名
店「伽奈泥庵」。
（企画概要より抜
粋）

▶詳細はこちらへ

11月29日（土）
浜松・静岡芸術文
化大学（終了）



「楽×学（ラクガ
ク）2014～私の
「やる！」を興す
ために～」講座プ
ログラム
「歌謡曲を遊ぶ、
学問する」輪島裕
介（音楽学者）×
アサダワタル（文
筆家・ミュージシ
ャン）
歌謡曲はCDやデジ
タル素材で提供され
たものを受け取るの
が一般的ですが、そこ

10月10日（水）
高知県四万十市立
西土佐小学校にて
ワークショップ
（※非公開 終了）

ワークショップ『コ
ピーバンド・プレゼ
ントバンド』開始。
来年の3月まで。
「トヨタ・子どもと
アーティストの出会
い」の一貫で、高知
県にて音楽ワークシ
ョップをさせていた
だきます。詳細レポ
ートはブログなどで
報告するとして、ひ
とまず第一回目、楽
しみです。

8月19日（日）
カラオケボックス
でクラブイベン
ト?! 渋谷・シダ
ックス（終了）

『Club SHIDAX
5095!! by
KARAOKE DISCO!!』
"都市型"夏フェス開
催!! カラオケボッ
クスでクラブイベン
ト?!
KARAOKE DISCO!!
のcodacodaDJと日
常編集家のアサダワ
タルが仕掛けます。
踊って歌えるDJmix
に加えて、"Live"には
Nukeme、エロエ、
MESSYの3組がパフ
ォーマンス!! 度を超
えたKARAOKEを乞
うご期待!! さらに!!
皆さんが歌いたい曲
を予めリクエストし
てください!! 皆さん
が歌いたい曲をDJが
編成します。自分の
リクエスト曲がかか
ったら、マイクを持
って歌ってください!!
いつかかるかは、わ
かりません!!

▶詳細はこちらへ

8月18日（土）
新ユニット SJQ
++ 六本木・
SuperDeluxe（終
了）

『versions vol.3
«SPECIAL»』
アサダがドラマーを
務める電子即興アン
サンブルSJQとメデ
ィアアーティスト
Kazzadrixのジョイン
トプロジェクト
「SJQ++」。今年
4月京都での反響を呼
んだ共演から継続プ
ロジェクトへ発展。
この日の出演陣は
MONJU (ISSUGI+仙
人掌+Mr.PUG)、空間
現代×石塚俊、
SJQ++などです。い
よいよSJQ++、東京
に参上！ぜひ見に来

かせていただきました。
どうぞご覧を。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソ
トコト」にて「コ
ミュニティ難民の
ススめー表現と
仕事のハザマにあ
ることー」第18
回掲載。（新着）
以前からよく取材い
ただいてます雑誌
『ソトコト』（木楽
舎）にて、新連載
「コミュニティ難民
のススめー表現と
仕事のハザマにあ
ることー」が2013年7
月5日発行の8月号よ
り開始。「コミュニ
ティ難民」という名
の僕の実体験にもと
づく人生コンセプト
について、毎月書き
下ろしてまいります
ので、ぜひともご関
心を向けてください
ませ。

▶詳細はこちらへ



【連載】共同通信
社「日常音楽☆
発掘宣言」11月
18日から新潟日
報にて隔週掲載
（新着）

共同通信社での連載
『日常音楽☆発掘宣
言!!』の掲載第一号は
「新潟日報」から。
新潟日報では、
11/18（火）から始
まり隔週火曜で全6
本掲載予定です。



【新刊】『コミュ
ニティ難民のス
スめー表現と仕事
のハザマにあるこ
と』（木楽舎）
12月1日発売！
（11月21日から
各地イベントで先
行販売）（新着）

に研究という目線を向ける輪島さんや、それを組み合わせて話芸をつくるアサダさんのお話をお聞きます。「受け取るもの」は「受け取るもの」と決めつけてしまってはいないでしょうか？「受け取るもの」を受け取ってから、さらに自分自身の興味を反映させることで「始まる」こともあるかもしれません。歌謡曲を軸にして、それぞれの観点から展開させているお二人の対話をお届けします。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

11月21日（金）～11月25日（火）新刊「コミュニティ難民のススメ」先行販売イベントツアー 名古屋・浜松・甲府・猪苗代・横浜（終了）



「現代に生きるクリエイティブな漂泊の民＝コミュニティ難民」について、思索と実践を展開した新作『コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー』（木楽舎）の12/1の全国一斉発売に先駆けて、各地で先行販売イベントを開催！これまでアサダがお世話になってきた多ジャンルの仲間たちと繰り広げられる名古屋・浜松・甲府・猪苗代・横浜の5日間の内容は以下の様になっています。ぜひお越しくださいね。

アサダワタル著「コミュニティ難民のススメ」出版記念パーティー in 名古屋 仕事に自分をあわせるのではなく、自分に仕事をあわせるのだ！ー多面的なじぶんの汽水域をみつめてみるじかんー

11月21日（金）@愛知名古屋 パルル parlwr

▶詳細はこちらへ

「コミュニティ難民のススメ」発刊記念トークイベン

て下さい。

▶詳細はこちらへ

8月15日（水）大阪・七墓各地（終了）

『江戸時代の都市祭礼「大阪七墓巡り」を約130年ぶりに復活～大阪の先人たちとゲニウス・ロキ（地霊）に捧げる～』大阪七墓巡り復活プロジェクトにて、梅田墓地のパフォーマーとして参加します。何をするかまだ未定。お時間ある方は七つすべて回ってみてください。僕は15時頃の出演予定です。

▶詳細はこちらへ

8月11日（日）お中元mixCD提供 京都・元高尾小学校（終了）

『高尾小フェス』京都府相楽郡南山城村の旧高尾小学校を使った、音楽・パフォーマンス・映像・美術のフェスティバル。校舎内の教室での展示、放送設備でのDJ、体育館や運動場でライブのほか、地元の方のフード出店、服飾雑貨などのフリーマーケットを開催します。僕は会場に参加できず、mixCDの提供、すなわちちょっと遅めのお中元の形をとってのパフォーマンスを予定。共演は植野隆司（テニス Courts）+梅田哲也、大城真、オオルタイチなど多数。

▶詳細はこちらへ

7月29日（日）新ユニット SJQ++ 京都・Club METRO（終了）

『patchware on demand meets night cruising』アサダがドラマーを務める電子即興アンサンブルSJQとメディアクリエイターKazzadrixのジョイントプロジェクト「SJQ++」。今年4月京都での反響を呼んだ共演から継続プロジェクトへ発展。その京都公演では、演奏と映像が不可分なアンサンブルとして形成された、真にインタラクティブなパフォーマンスを展開。オーディエンス

彷徨って生きる、これからの人生の歩き方！「住み開き」から、「コミュニティ難民」へ。『コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー』（木楽舎）2014年11月21日から各イベント会場にて先行販売！12月1日からAmazon、全国の書店にて販売開始！プライベートな空間である家に、パブリックな機能を持たせる住まい方(自分の蔵書と書斎を、週末だけ図書館として地域の人に解放したり)を「住み開き」という言葉で切り取った、アサダワタルが、今回は「表現(≒プライベート)」と「仕事(≒パブリック)」の間を彷徨って生きる、6人の人生の歩き方をコンパイル。自問自答しながらも、枠組みを飛び越え、楽しく暮らす彼ら(と自分自身)の生き方を、アサダ氏は「コミュニティ難民」と名付け、現代の新たな道標として描き出した意欲作です。内田樹氏や梅原猛氏らとの共著でも知られる、宗教学者・僧侶の釈徹宗氏との対談も収録！詳しくは特設ページ！

▶詳細はこちらへ

ブマガジン「学芸カフェ」



【連載】Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。第24回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載。毎月10日に更新。第24回は最終回「日常再編集。再見！！」おのおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ

ト「何屋さんなんですか？」とよく聞かれる人たちについて語り合おう～“表現”的なお仕事とコミュニティ～
11月22日（土）@静岡浜松 黒板とキッチン

▶詳細はこちらへ

「コミュニティ難民のススメ」 発刊イベント～コミュニティ難民ってなんだ？～
11月23日（日）@山梨甲府 Naturalia

▶詳細はこちらへ

アサダワタル著
『コミュニティ難民のススメ 表現と仕事のハザマにあること』 出版記念イベントinはじまりの美術館
11月24日（祝・月）@福島猪苗代 はじまりの美術館

▶詳細はこちらへ

『コミュニティ難民のススメ』刊行記念トーク＜横浜編＞ アサダワタル×岡本真 〈生きる〉のなかで、全てがボーダレスに混じり合う〈働く〉へ

11月25日（火）@神奈川県横浜 さくらWORKS関内

▶詳細はこちらへ

11月26日（水）東京・日本大学理工学部駿河台キャンパス（終了）



日本大学校門建築会「オウケンカフェ#16」
昨年度から開始された月1回のレクチャーシリーズ「オウケンカフェ」、今年度も毎月末水曜日に開催します。「オウケンカフェ」と名付けた場を開いてゲストを招き、ショートレクチャーによる話題提供の後にみなさんで語り合う。従来の一方通行の硬いレクチャーのイメージではなく、多くの人が自由に発言できるような、柔らかい会を目指します。（企画概要より抜粋）11月16日の第16回のゲストとして出演させていただきます。

▶詳細はこちらへ

から多大な賛辞を獲得しました。今夏は更なるヴァージョンアップを図りながらシリーズ・ライブを予定。この日の出演陣はw/surtek collective(atom(tm),Senor Coconut)/COH(raster-noton,meo) /AOKI takamasa /Marihiko Hara/Rexikom / PsysEx and more..です。

▶詳細はこちらへ

7月15日（日）大阪・堺 pangea（終了）
『エキチカヘブン'12』

芝居もあれば、音楽もある。海の匂いがして、初夏の音がする。そんなごちゃごちゃしたライブイベント「エキチカヘブン」に出演し、ドラムとプレゼンと歌とDJを混ぜた芸をします（たぶん）。イベントは7/14-15と二日間ですがアサダは15日にのみ出演予定。

▶詳細はこちらへ

6月24日（日）大阪・大阪七墓の梅田墓地（終了）

【大阪七墓巡り復活プロジェクト】第2回トークセッション&公開ワークショップ～梅田墓地編～
大阪七墓巡りのうちのひとつ「梅田墓地」にまつわる物語を語り、その後、現地に赴いて、8月15日の供養のパフォーマンスにむけての公開ワークショップを担当させていただきます。午後7時～午後8時30分 西成カマン！メディアセンターにてトークセッション「梅田墓地のゲニウス・ロキ（地霊）を語る」 午後8時30分～午後9時 梅田墓地跡へ移動（大阪市営地下鉄・動物園前駅→西梅田駅） 午後9時～午後10時 梅田墓地跡にて公開ワークショップ（結局のところライブをします）といった流れです。

▶詳細はこちらへ

6月16日（土）新ユニット SJQ+ + 京都・京都造形芸術大学内 京都芸術劇場 春秋座（終了）



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」 真毎週金曜21時30分～21時55分放送変更！1月2人目のゲスト 音楽家大友良英さん。（新着）

2013年の10月からパーソナリティを担当させてもらっている「Glow」。4月以降も続き、時間帯が変更。5分拡大され、引き続き、文化×福祉というテーマやアール・ブリュットについてゲストを交えて語っていきます。11月ゲストの大友さんと言えば、日本の先鋭的な音楽活動を牽引されてきた方であり、またNHKの連続テレビ小説「あまちゃん」のテーマ曲などを担当されたりなど、本当に多彩な活動をされているギタリスト、ターンテーブル奏者、作曲家、プロデューサーの方です。実は大友さんはこの関西でも様々な音楽的な場づくりをプロデュースされていて、中には「福祉」という領域とも繋がるとてもユニークな実践に関わってらっしゃいます。今日は大友さんの最近のお仕事から関西でのプロジェクトまで時間の許す限りお送り致します。この対談は11月28日でお届けします。

▶詳細はこちらへ



【連載】共同通信社「日常音楽☆発掘宣言」 掲載紙第一号は新潟日報。11月18日から隔週火曜日掲載（新着）

11月10日より共同通信社での連載「日常音楽☆発掘宣言」が6週（6本）に渡って配信されます。ア

11月16日（日）
神戸・KIITO（終了）



アートミーツケア
学会2014年度大会・分科会E
「音楽をつかいこ
なすコミュニケー
ションプラットフ
ォームについて語
り合う」
学会の分科会にてセ
ッションをさせてい
ただきます。僕の研
究テーマをもとに、
音楽 ” に " 何ができ
るかではなく、音楽 "
で " 何ができるか。
その問いをベース
に、音楽を用いて日
常生活における他者
とのコミュニケーシ
ョンを創造的に捉え
直す可能性につい
て、本間直樹さん
（大阪大学文学部・
大学院文学研究科准
教授）、岩淵拓郎さ
ん（編集者・
mediapicnic 代表、
一般批評学会主宰）
と語り合います。

▶詳細はこちらへ

11月8日（土）
京都・Media
shop
garalliy（終了）



地方進化論 2nd 〜
地方都市からの挑
戦状〜
【ゲスト】アサダワ
タル（日常編集家
「住み開き」提唱
者）／家入一真（連
続起業家 活動家）
／今井紀明（NPO法
人D×P 共同代表）
／片桐直哉（京都市
会議員 民主党）／
タナカユウヤ
（Tunagum.プロデュ
ーサー）／永田夏来
（兵庫教育大学助
教）／司会 植田元
氣（京都アカデミッ
クスペース学森舎主
宰）【内 容】前回
好評だった地方進化
論シリーズ第二弾！
今回は「地方からの
挑戦状」と題して、
様々な分野で活躍さ
れているゲストをお
呼びして、働き方、
家族、教育、コミュ
ニティ、政治など地
方都市のライフスタ

『New Adventures
in Narratives,
Ecstasies』
アサダがドラマーを
務める電子即興アン
サンプルSJQとメデ
ィアクリエイター
Kazzadrixのジョイン
トプロジェクト
「SJQ++」。今年
4月京都での反響を呼
んだ共演から継続プ
ロジェクトへ発展。
その京都公演では、
演奏と映像が不可分
なアンサンプルとし
て形成された、真に
インタラクティブな
パフォーマンスを展
開。オーディエンス
から多大な賛辞を獲
得しました。今夏は
更なるヴァージョン
アップを図りながら
シリーズ・ライブを
予定。この日の出演
陣は
Typingmonkeys/SJQ++/
古舘 健/ON 02/で
す。

4月29日（土）
SJQ 京都・
UrBANGUID（終了）

『GTSVL
Presents『POST』』
バンド GTSVL（ゲイ
ツビル）さんが、音
楽を中心に様々なジ
ャンルでオルタナテ
ィブな活動をするア
ーティストを招いて
不定期に開催するイ
ベント「POST」に
SJQが出演します。
各々のミュージシャ
ンが映像作家、また
は自作する映像との
コラボレーションに
よってライブ。出演
陣は空間現代、SJQ
× kezzardrix、
YPY+田窪直樹(Pulp
Pictures)、GTSVL ×
Hyslom、DJ 雷神で
す。

▶詳細はこちらへ

4月14日（土）
大阪・淀川文化創
造館Theater
Seven（終了）

名前はまだなる
presents ワンマン
フェスティバル『ど
ぎゃんなっとんね
ん!?'12』
数年来の付き合いの
ある劇作家兼役者 杉
田真吾くん率いる
「名前はまだなる」
のイベントにソロで
のライブとトークで
出演することになり
ました。とても久し
ぶりに会う人たちが
多いことでしょう。

▶詳細はこちらへ

サダのミュージシャ
ンらしからぬヘンテ
コな音楽活動（借り
パクとかカラオケデ
ィスコとか高知の小
学校のコピーバンド
のWSとか）を「日常
音楽」という切り口
で紹介。ネット記事
ではなく、全国各地
の地方紙の連載欄に
掲載される予定なん
ですが、いつの段階
でどの新聞さんが掲
載してくれるかって
いうのが共同通信社
さんでもわからんこ
うこともあって、
ぜひ！各地の皆さん
「載ってたで！」と
いう情報がありまし
たらFBなりTwitterな
りで拡散して教えて
もらえればうれしい
です。どうぞお楽し
みください。



【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow〜生きる
ことが光にな
る〜」 真毎週金曜
21時30分〜21
時55分放送変
更！11月1人目の
ゲスト 映画監督
坂上香さん。
（新着）

2013年の10月から
パーソナリティを担
当させてもらってい
る「Glow」。4月以
降も続き、時間帯が
変更。5分拡大され、
引き続き、文化×福祉
というテーマやアール・ブリュットにつ
いてゲストを交えて
語っていきます。11
月ゲストの坂上さん
は、アメリカの終身
刑・無期刑受刑者を
追った映画「Lifers
ライフアーズ 終身
刑を超えて」で知ら
れているドキュメン
タリー映画監督で
す。そんな彼女が、8
年という長期間取り
組んできた最新作
「トークバック 女
たちのシアター」を
2014年に発表。この
映画のテーマは「表
現」と「人の変容」
です。米国カリフォルニアのサンフラン
シスコを舞台に、HIV
陽性者、元受刑者、
薬物依存の女性たち
が演劇を通して、自
らの人生を取り戻し
ていくドキュメンタ

イルはこれからどう変わって行くのか？人口減少が進む地方都市に山積する様々な課題に、どう立ち向かっていけばいいのか？について徹底討論します！（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

11月4日（火）
大阪・総合生涯学習センター（終了）



大阪市生涯学習まちづくり市民大学（いちょうカレッジ）
まちの魅力を知りたい。まちの課題を解決したい。自分のできることから始めたい。「いちょうカレッジ」は、そんな人とこれからの「まちづくり」を一緒に考えます。（企画概要より抜粋）11月4日に「住み開きから見えてくること～無理なく自己表現し、少しずつ他者とつながる楽しさについて～」というテーマで講演させていただきます。

▶詳細はこちらへ

10月31日（金）
東京・3331ArtsChiyoda（終了）



HEAD建築大学第二回シンポジウム～みんなと考える、これからの建築と教育～
「建築」にまつわるシンポジウムにお招きいただきました。「建築と社会の間の領域の方々」ということで、これから「建築」に専門的に関わりのない、興味のない方々にも、実は日常生活に欠かせない、誰にとっても実は関わりのある建築について大切なことをどのように伝えていくか。主に「住み開き」の事例から入りつつ、空間に与える「時間」を考え創ってきた立場で語

3月30日（金）
大阪・コーポ北加賀屋（終了）

『think,sort,thought』雑誌「inter/Phase」さんの祝出版も兼ねてのイベントで大友良英さん、見汐麻衣(埋火)さんと共演。僕はもぐらが一周するまで（佐藤亘くん）とのユニット「私が想像する棚」にて大友さんたちと思い出レコード談義をしつつ、ソロでもライブします。当日大友さんは「プロジェクトFUKUSHIMA!」のお話もされる模様。ユースト中継、料理出展もありと盛りだくさんのライブになりそうですね。

▶詳細はこちらへ

3月20日（火・祝）SJQ 大阪・本町NuooH（終了）

『water fai presents「Heart Core Party vol.8」』
SJQ今年初の大阪でのライブが決定です。関西発のバンドwater faiが主催するシリーズイベント「Heart Core Party」。with:パトリールマン（トオヤマタケオ×ワタンベ）/akamar22!+松永ケイゴ / water fai DJ DODDODO / DJ SAN FRANCISCO a.k.a 和田晋侍/DJ YPY

▶詳細はこちらへ

3月10日（土）～3月25日（日）SJQ 京都・AIR南山城村青い家（終了）

『SJQ - 南山城村青い家インステレーション』
先日レコーディングに使わせて頂いたAIR南山城村青い家にて、青い家のためにレコーディング／ミックスした曲を家中に鳴らしています。SJQ初のサウンドインステレーション作品と南山城村の茶畑を存分にお楽しみを。車じゃないといけないよ！
日時：2012年3月10日（土）～25日（日）12:00-17:00
場所：AIR南山城村青い家 料金：無料
同時開催：小橋陽介個展「こばしの図」

▶詳細はこちらへ

リー映画は、いま国内でとても大きな反響を呼んでいます。今日は、坂上さんとともに、社会の中で常識や多数派という境界を超えてしまった人たちが「表現」を味方に生き抜く在り様について語りあいます。この対談は11月14日と11月21日の二週でお届けします。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「大友良英のJAMJAMラジオ」11月14日 に出演！（新着）

11月14日（金）深夜24時半！、KBS京都さんの「大友良英のJAMJAMラジオ」に出演させてもらいます～。大友さんとは実に2年半ぶりの再会で、以前からこの番組に出てよとお声かけいただいていたのだけど、大友さんがある時期から激務に突入り日程がまったくあわず！それで同局の僕の番組（「Glow」）に出てもらいたいなあとお声かけしたら「じゃあJAMJAMにも！」と交換出演が実現！大友さんに新刊の宣伝をさせてもらいながら、SjQのセカンドアルバムより1曲まるまんまかけさせてもらい、大阪のあれこれの話など。ぜひ聴いてください。

▶詳細はこちらへ



【連載】共同通信社「日常音楽☆発掘宣言」11月10日から全国地方紙にて随時掲載（新着）

11月10日より共同通信社での連載「日常音楽☆発掘宣言」が6週（6本）に渡って配信されます。ア

ります。

▶詳細はこちらへ

10月28日（火）
大阪・大阪経済大学（終了 ※非公開）



大阪経済大学にて「文化産業論」（音楽産業）と「アートマネジメント実習」の2コマのゲスト講師としてお声かけいただきました。かつて立命館大学では文化経済論、神戸女学院ではキャリアデザインの一環でアートマネジメント演習を担当していたので久しぶりの登壇。学生さんと色々と交流できればと思います。

9月13日（土）
山梨・甲府市民会館 大会議室（終了）



こうふのまちの芸術祭2014オープニングイベント『甲州緊急ミーティング』
こうふのまちの芸術祭2014の開催まであと少しとなりました。今回はオープニングイベントとなる甲州緊急ミーティングについて告知させていただきます。一昨年まで行っていた甲州緊急ミーティングの復活です。今回はテーマを『お金と地域』とし、金融の領域から地域に何が出来るのか、地域にとってのお金というものを考え、山梨、そして甲府のこれからを考えて行きたいと思います。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

9月6日（土）
福島・はじまりの美術館（終了）



3月18日（日）
WOWWOW放送 石井裕也監督
映画「エンドロール〜伝説の父〜」
ドラム演奏参加



第4回WOWOWシナリオ大賞受賞作 石井裕也監督映画「エンドロール〜伝説の父〜」。音楽家 渡邊崇さんプロデュースのもと、ドラム演奏で参加させていただきました。WOWWOWプライムにて22時放送予定です。

▶詳細はこちらへ

3月14日 SJQ
も参加する「V.A / CASIOTONE
OMPILATION 4」リリース



『V.A / CASIOTONE OMPILATION 4』多彩な活動で知られる音楽家 asunaさんが監修したユニークなコンピレーションシングルCDがまもなくaotoaoレーベルよりリリース。参加アーティストは全22組。カシオトーン音源ならではのSJQのアンサンブルをお聴きください。

▶詳細はこちらへ

2月23日（金）
SJQ オランダ・
アムステルダム
Paradiso（終了）

アートフェスティバル「sonic Acts」にて、SJQ×島田量平（映像作家）の作品『GARDEN』が上映
SJQと映像作家・島田量平氏とのコラボレーション作品[garden]が、オランダ・アムステルダムで開催されるアート・フェスティバル[Sonic Acts]にて上映決定しました！同イベントのプログラム[Beyond Time]内で公開されます。

▶詳細はこちらへ

2月17日（金）東

サダのミュージシャンらしからぬヘンテコな音楽活動（借りパクとかカラオケディスコとか高知の小学校のコピーバンドのWSとか）を「日常音楽」という切り口で紹介。ネット記事ではなく、全国各地の地方紙の連載欄に掲載される予定なんです。いつの段階でどの新聞さんが掲載してくれるかっていうのが共同通信社さんでもわからないということもあって、ぜひ！各地の皆さん「載ってたで！」という情報がありましたらFBなりTwitterなりで拡散して教えてもらえればうれしいです。どうぞお楽しみください。



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメ 一表現と仕事のハザマにあることー」第17回掲載。（新着）
以前からよく取材いただいてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメ 一表現と仕事のハザマにあることー」が2013年7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow〜生きることが光になる〜」真毎週金曜21時30分〜21時55分放送変更！10月2人目のゲスト 打楽器奏者・相愛大学教

「美術館にできること、美術館だからできること」近所にできた美術館をみんなではじめるフォーラム 第2弾！「美術館でできること、美術館だからできること」を開催致します。猪苗代にはじまりの美術館ができて3カ月。美術館の挑戦ははじまったばかりです。美術館でできること、美術館だからできることをもっと考えましょう。／【第一部】16：00～17：20 美術館でこびるしよう！ はじまりの美術館にカフェをひらこう ゲスト：Eat&Art TARO（アーティスト）、アサダワタル（日常編集家）、諏訪慎弥（猪苗代町民）、司会：岡部兼芳（はじまりの美術館 館長）／【第二部】17：30～19：00 美術館はいろいろな考え方に会える場所 ゲスト：日比野克彦（アーティスト/東京藝術大学美術学部先端芸術表現科 教授）、佐久間啓（愛育園理事長）、司会：森司（東京アートポイント計画ディレクター）企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

9月5日（金）
京都・中京区役所
4階 大会議室
（終了）



「中京マチビトCafé“学びと共鳴編”「マチビト×まちの居場所」」この度、中京区では、人々の交流の拠点となる「まちの居場所」について学び合う場として、中京マチビト Café“学びと共鳴編”「マチビト×まちの居場所」を開催しますので、お知らせします。／1 日時 平成26年9月5日（金）午後7時～午後9時半（午後6時開場）／2 場所 中京区役所4階 大会議室／3 内容 （1）講演「都市の中の場づくり」ゲストスピーカー アサダワタル氏（2）「まちの居場所」をテーマにワー

京・渋谷（終了）
「あなたの音楽を拝聴します」津田塾大学ソーシャル・メディア・センター主催企画で音楽にまつわるワークショップ講師を担当します。

▶詳細はこちらへ

2月12日（日）
SJQ 神戸・元町
space
eauuu（終了）

サウンドアーティストASUNA氏主宰レーベルao to aoのリリースパーティにSJQで出演します！共演はASUNA / TEST PATTERN TRILL

▶詳細はこちらへ

2月5日（日）東京・渋谷 渋谷家（シブハウス）（終了）

『日常再編集のための報奏 住み開きの現場にて』～「住み開き 家から始めるコミュニティ」出版記念企画 in 東京～日常からちょっとしたひらめきから生み出された雑多なソーシャルコンセプトのメモ書きを“スコア”にして弾き歌い、演り語ります。共演は、映画ショー『プリミ恥部な世界』や宇宙マッサージでも話題のプリミ恥部（白井剛史）さん。現場は住み開き本でも取材した表現型シェアハウス 渋谷家。住人の齋藤桂太さん、としくにさんとのトークなど、そしてトークBGM演奏として中川裕貴（from N.O.N）によるチェロ演奏など。

▶詳細はこちらへ

1月29日（日）大阪・神崎川 navelcafe（終了）

『日常再編集のための報奏 住み開きの現場にて』～「住み開き 家から始めるコミュニティ」出版記念企画 in 大阪～日常からちょっとしたひらめきから生み出された雑多なソーシャルコンセプトのメモ書きを“スコア”にして弾き歌い、演り語ります。住み開き本でも取材したnavel cafe。ご主人の伊藤広志さんに対する公

授 中谷満さん。（新着）

2013年の10月からパーソナリティを担当させてもらっている「Glow」。4月以降も続き、時間帯が変更。5分拡大され、引き続き、文化×福祉というテーマやオール・ブリュットについてゲストを交えて語っていきます。10月ゲストの中谷さんは、打楽器奏者としてこれまで様々な楽団でご活躍され、現在は相愛大学教授として後進の育成にも力を注いでいます。そんな中谷さんが、この10数年ずっと関わってこられた取り組み、それが糸賀一雄記念賞音楽祭。今日は改めて中谷さんとともに「障害と音楽」というテーマを語ってゆきたいと思います。この対談は10月31日と11月7日の二週でお届けします。

▶詳細はこちらへ

ブマガジン「学芸カフェ」



【連載】Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。第23回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載。毎月10日に更新。第23回は「「長蛇の列の穴開け行為」を「文化」として捉える」おのおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



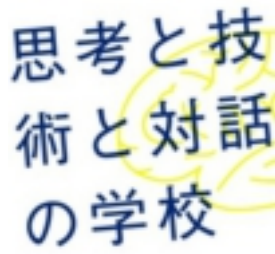
【誌上対談】みずほ総研機関誌『Fole』にて僧侶・宗教学者 釈徹宗氏と対談。（新着）

みずほ総合研究所の

ルドカフェ形式で対話 ☆個人、地域、NPO、企業など、まちの居場所づくりをされている方々も集います！（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

7月20日（日）
東京・東京文化発信プロジェクト
ROOM302（終了）



「思考と技術と対話の学校」
社会のさまざまな場面で立ち上がっているアートプロジェクトの現場。そこでは今ある行政や経済の枠組みとは別の発想で、地域で起こっていることに向き合い、何ができるかを考え、企画をかたちにする力が求められています。社会的な課題を「思考」すること、現場をつくるための「技術」を知ること、問題意識を共有する人たちと出会い「対話」をすること――。Tokyo Art Research Lab「思考と技術と対話の学校」は、アートプロジェクトを動かす人がこれらの力を身につけるための学校として開校します。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

6月10日（日）
東京・KnupAA gallery（終了）

「ホトリニ展 関連トーク第1夜 『聞く人に、聞く』」
山梨県山中湖のとても素晴らしい民宿「ホトリニテ」が東京で展覧会をするそう。その関連イベントにお呼ばれしました。↓↓
人という秘境に、身一つ。かるやかに、また自然体に冒険するお三方。今回は、インタビューの技術や方法論などは置いて。普段は聞く側に回る方々にあえて「あの秘境」を聞いてみようと思います。

・アサダワタル（日常編集家／DJ話芸家元／コミュニティ難

民）
開インタビュー、あと、あなた伊藤さんの自宅CD棚探訪リスニングコーナーなどを予定。

▶詳細はこちらへ

1月14日（日）山梨・山中湖ホトリニテ（終了）

『出演者&おもてなしスタッフ総勢約100人 ホトリニテ大PartY 「ハップニング」』
山梨の友人 高村直喜氏が運営する旅館でのごちゃ混ぜ表現パーティーにておそらく司会なりライブなり。本も売ります。

▶詳細はこちらへ

【過去の音楽・ライブ一覧はこちら】

定例刊行物『Fole』のコーナー「対談 釈徹宗の「だから世間は面白い」」にて、釈先生と「成熟ニッポンを、「住み開き」で変えよう」というテーマで対談させていただきました。

▶詳細はこちらへ



【テレビ】10月5日 NHK総合『サキどり』に「住み開き」提唱者として出演。（新着）

NHK総合『サキドリ』に「住み開き」提唱者として出演しました。書籍でも紹介させていただいた梅山くんの二畳大学や僕の故郷 泉北ニュータウンのスコール、少女漫画館さんなどもご出演されています。番組サイトでレポートがアップされてますのでどうぞご覧くださいね。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメ 一表現と仕事のハザマにあることー」第16回掲載。（新着）

以前からよく取材いただけてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメ 一表現と仕事のハザマにあることー」が2013年7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶詳細はこちらへ

民)・小倉ヒラク
(合同会社++(た
すたす)共同代表社
員/地営業者)・加
藤将太(編集者/
CONTRAST編集部)
(企画概要より抜
粋)

▶詳細はこちらへ

6月8日(日) 東京・合同会社++オフィス(終了)

「コミュニティ難
民〜〜分野ノマデ
イズム、あるいは
マルチプルアイデ
ンティティな、し
かも表現埋め込み
系の生き方・働き
方について語る〜

」
ソトコトで連載中、
かつ単著執筆中のテ
ーマ「コミュニティ
難民」について、デ
ザイナーのふりをし
た学者の小倉ヒラク
くんと、きっかけ
屋・一級建築士のい
しまるあきこさんと
語り合います!以下
は企画概要から。

↓↓
こんにちは、合同会
社++の小倉ヒラク
です。今度、友人の
アサダワタルくんが
新著を出すそうで
す。その名も「コミ
ュニティ難民のス
メ」。「コミュニ
ティ難民」って何ぞ
や?って話ですよ
ね。一応僕の理解で
いうと「ある分野の
本質をヘンな角度か
ら見つめるあまり、
その分野からはみ出
てしまい、特定の肩
書を持たない宙吊り
の状態のまま社会で
活躍している人」と
いうことになりま
す。(詳しくは雑誌

ソトコトの連載か、
http://yrecord.exblog.jp/16007368/

を参照)。なんで唐
突にそんな話をする
のかというと。実
は、僕も「コミュニ
ティ難民」として本
のインタビューを受
けたんですね。で、
インタビューに答え
ながら、「コミュニ
ティ難民って、そも
そも何?」「ていう
か、なんでアサダく
んはそんなことに興
味を持つの?」「そ
もそも、コミュニ
ティ難民ってアサダ
くんのことでしょ!」
と、突っ込んで聞い
てみたいことがたく
さんありました。と
いうことで、今度は
僕のほうからアサダ
くんにインタビュー
します。しかも公開
インタビューという



【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow〜生きる
ことが光にな
る〜」真毎週金曜
21時30分〜21
時55分放送変
更! 10月ゲスト
僧侶・宗教学者
釈徹宗さん。
(新着)

2013年の10月から
パーソナリティを担
当させてもらってい
る「Glow」。4月以
降も続き、時間帯が
変更。5分拡大され、
引き続き、文化×福祉
というテーマやアー
ル・ブリュットにつ
いてゲストを交えて
語っていきます。9月
ゲストの釈さんは、
大阪の浄土真宗本願
寺派如来寺住職、相
愛大学人文学部でも
教鞭をとられなが
ら、認知症高齢者の
ためのグループホー
ム「むつみ庵」も運
営されておられま
す。また落語や映画
など、様々な芸能文
化に関する執筆もさ
れていることから、
今日は改めて釈さん
とともに「老いと表
現」というテーマを
語ってゆきたいと思
います。この対談は
10月17日と24日の
二週でお届けしま
す。

▶詳細はこちらへ



【連載】Webマ
ガジン「マガジン
航」にて「本屋は
ブギーバック」第
6回掲載。「未来
の図書館」を試し
につくってみる
(新着)

本と出版の未来を考
えるWebマガジン
「マガジン航」にて
連載中の「本屋はブ
ギーバック」。
2014年5月上旬に公
開した第6回は
「「未来の図書館」
を試しにつくってみ
る」。2014年5月に
奈良県立図書情報館
で開催された「佐保

かたちで。そしてもうひとり。同じく「コミュニティ難民」であり「建てない建築家」であり、アサダさんと僕の共通の知人であるいしまるあきこさんを登壇者に迎え、液状化はなはだしい現代社会をステルス飛行する「特定の肩書を持たない謎の芸能者」的な生きかた・働き方についてしゃべり倒してみたいと思っています。……とよくわからないイベント紹介文になりましたが、何かピンと来る特殊なアンテナをお持ちの方は、ぜひご参加くださいませ。（企画概要より抜粋）

▶詳細はこちらへ

5月25日（日）
奈良・奈良県立図書館情報館（終了）



「佐保川の春 音楽の日 佐保川ラジオー未来の図書館のためのメディア・プログラム」
いろんな人が集って、新しいコンテンツとコンテキストが生まれて、発信されて、同時にアーカイブされていく。そんな新しい図書館のあり方を探るために、奈良県立図書館情報館で1日だけのラジオ局を開局します。特設の公開スタジオから、音楽ライブからトークまでさまざまなプログラムを発信します。（企画概要より転載）←かなり豪華面子な企画ですよ。アサダは17時半からの「日没討論 未来の図書館についてみんなで考える」にて司会をさせていただきます。

▶詳細はこちらへ

5月24日（土）
大阪・FLOAT（終了）

「無職・イン・レジデンス VS コミュニティ難民〜別に対決じゃなくても僕はアサダさんと話したかった〜」
タカハシ 'タカカーン' セイジ君という友人が、考えている構想

川ラジオー未来の図書館のためのメディア・プログラム
2014ー」をもとにした論考。

▶詳細はこちらへ

Webマガジン『学芸カフェ』



【連載】Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。第22回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載。毎月10日に更新。第22回は「「掻くこと」から立ち上がる新風景」おのおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」第15回掲載。（新着）

以前からよく取材いただいてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」が2013年7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶詳細はこちらへ

「無職・イン・レジデンス」。これを整理する意味も込めて彼の対談者を務めることになりました。司会は南森町の古本屋メガネヤ店主 市川ヨウヘイ君。どうぞ気軽にお越し下さい。

▶詳細はこちらへ

5月15日（水）
大阪・メビック扇町（終了）

「クリエイティブサロン Vol.39 アサダワタル氏 日常を編集しながら生きること 働くこと」

日常再編集（にちじょうさいへんしゅう）とは、まずわたしたちの目の前にある日常風景・状況を整理することです。次に自らの関心を引き出し、その関心を表現（他者に伝えるための創造的な媒体——文章、映像、音楽、写真、ウェブ、イベント企画、プロジェクトetc...）へと編集しなおす行為です。このトークでは、日常に横たわるわたしたちのさまざまな役割——仕事、学業、家事、趣味——、またその役割を演じるべく所属するコミュニティや分野、それらの在り方や各々の関係性を再編集し、この世の中を、より面白くかつ生きやすい状況に変えるための活動を、アサダの実践を通じてお話します。（企画概要より転載）←アサダの単独レクチャーです。

▶詳細はこちらへ

改めて2014年度もよろしくお願ひいたします。（終了）

2013年度も方々で大変お世話になりました。4月現在はしばらく執筆モードで籠る日々が続いておりますが、5月以降に、5月15日に講演@大阪・扇町mebic、24日にトークイベント出演@大阪・FLOAT、25日にトークイベント出演@奈良県立図書情報館、6月8日にトークイベント出演@東京・三鷹の＋＋（たすたす）オフィスと、ぼちぼち出沒します。また



【ラジオ】KBS
京都ラジオ

「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送変更！9月ゲスト 民俗研究者・社会福祉士 六車由実さん。（新着）

2013年の10月からパーソナリティを担当させてもらっている「Glow」。4月以降も続き、時間帯が変更。5分拡大され、引き続き、文化×福祉というテーマやアール・ブリュットについてゲストを交えて語っていきます。9月ゲストは「介護民俗学」を提唱されている、社会福祉士で民俗学者の六車由実さん。今年1月に奈良で対談させていただいて以来の再開でトークをさせていただきました。9月の前半2週（9/5、9/12）はアサダとの対談、後半2週（9/19、9/26）は六車さんの職場である静岡県沼津市のデイサービスセンター「すまいるほーむ」での現場レポートをお届けします。

▶詳細はこちらへ

ブマガジン「学芸カフェ」



【連載】Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。第21回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載。毎月10日に更新。第21回は「「他人様の非日常性を拝借する働き方」について考える」おのおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ

ぜひHPの更新を心
待ちくださいね。

3月28日（金） 京都・HAPS（終 了）

「本を使ってなに
しよ！？ 中川和
彦（スタンダード
ブックストア社
長）× 陸奥賢（コ
モンズデザイナー
ー）」

京都HAPSというア
ートスペースで開催
される

「OurSchool」のア
ドバイザーを務めさ
せていただいている
一環で以下の企画を
開催します！→皆さ
ん最近、本って読ん
でますか？ 書店や図
書館に行けば大量の
本が並べられてい
て、立ち読みもでき
るし、買うことも、
借りることもできま
すよね。でも、今日
は本を一人で読んだ
り、所有したり、使
ったり（枕とか？何
かの台にしたり？）
するのではなく、本
を共有しながら色ん
な人とごちゃごちゃ
交じり合うそんな“遊
び”について、実際や
ってみたり、話して
みたいしたいと思います。
ゲストには、
大阪でいま面白いコ
ミュニケーションが
発生しまくっている
書店「スタンダード
ブックストア（心斎
橋、梅田に続き、阿
倍野店もオープ
ン！）」の社長 中川
和彦さん、そして、
「直観読みブックマ
ーカー」「まわしよ
み新聞」など、本や
活字メディアを使っ
た謎のワークショッ
プをやりまくってい
るコモンズデザイナ
ーの陸奥賢さんをお
招きして開催。大阪
の二人が、ここ京都
で本話をしちやい
ます。ぜひとも、遊
びにきてください。
（企画概要より転
載）

▶詳細はこちらへ

3月21日（祝・ 金） 滋賀・じゅ らくの里研修室 （終了）

アール・ブリュッ
ト講演会およびア
トリエ見学会
美術や音楽の視点か
ら考える福祉やコミ
ュニティの話をさせ
ていただきます。→
いま、国内外で「ア
ール・ブリュット」
が注目されていま



書籍『THE RISE of SHARING —FOURTH- STAFE CONSUMER SOCIETY IN JAPAN by MIURA ATSUSHI』発 刊。「住み開き」 テキストの翻訳出 版。

2012年に発刊された
三浦展さんの書籍
『第四の消費』（朝
日新書）が公益財団
法人国際文化会館よ
り出版されました。
三浦さんとアサダの
対談原稿をアサダの
原稿としてリライト
し、英訳されて掲載
されてます。「住み
開き」が海外でどう
いう風に受け取られ
るのか非常に楽しみ
です。刊行された本
は、長銀国際ライブ
ラリー叢書 No. 35
として、内外の大学
図書館、研究所、公
共図書館、文化施
設、在外公館など
へ、無償配布が完了
していますが、ご関
心ある方は以下にお
問い合わせください。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソ トコト」にて「コ ミュニティ難民の ススめー表現と 仕事のハザマにあ ることー」第14 回掲載。（新着）

以前からよく取材い
ただいてます雑誌
『ソトコト』（木楽
舎）にて、新連載
「コミュニティ難民
のススめー表現と
仕事のハザマにあ
ることー」が2013年7
月5日発行の8月号よ
り開始。「コミュニ
ティ難民」という名
の僕の実体験にもと
づく人生コンセプト
について、毎月書き

す。本年3月29日に
生誕100年を迎える
障がい者福祉の父、
糸賀一雄氏をはじめ
とする先人の精神を
受け継ぐ湖南省に
は、福祉施設を中心
に、この「アール・
ブリュット」作品の
制作現場が多数あり
ます。身近な芸術
「アール・ブリュッ
ト」について、話を
聴いたり、作品をじ
っくりと観たり、そ
して、そんな作品が
生まれる現場に、あ
なたも立ち会ってみ
ませんか？（企画概
要より転載）

▶詳細はこちらへ

3月17日（月） 滋賀・草津市立ま ちづくりセンター （終了）

「美の滋賀」づく
りを振り返りつ
つ、滋賀のアート
と生活文化の未来
を語りあう会
「美の滋賀」地域づ
くりモデル事業コー
ディネーターとして
出演します。→滋賀
県では、県内の活動
団体9団体に委託し
て、それぞれの持ち
味を生かして、主体
的に、美術や暮ら
し・生活文化の中
にある美の資源を育て
たり、発信したりす
ることにより、「美
の滋賀」の土壌とな
る、多様で持続的な
人のつながりの形成
や魅力ある地域づく
りを進めるモデル事
業を実施していま
す。このたび、これ
ら9団体が今年度の事
業成果を発表すると
ともに、この内容を
踏まえて、美術や暮
らし・生活文化の中
にある美を通した人
と人、人と地域のつ
ながりの形成や地域
づくりについて語り
あう会を下記のと
おり開催しますので
お知らせします。（企
画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

3月14日（金） 京都・HAPS（終 了）

「佐々木敦さんと
語る「音楽を使い
こなすコミュニケ
ーションプラット
フォーム」 ー例
えば「DJ話芸」
「借りパク音楽」
についてー」
京都HAPSというア
ートスペースで開催
される
「OurSchool」のA

下ろしていきますの
で、ぜひともご関
心を向けてくださ
いませ。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ 「Glow～生きる ことが光にな る～」 真毎週金曜 21時30分～21 時55分放送変 更！8月ゲスト 美 術作家 成安造形 大学名誉教授 今 井祝雄さん。（新 着）

2013年の10月から
パーソナリティを担
当させてもらってい
る「Glow」。4月以
降も続き、時間帯が
変更。5分拡大され、
引き続き、文化×福祉
というテーマやアー
ル・ブリュットにつ
いてゲストを交えて
語っていきます。8
月ゲストは長年先鋭
的な現代美術作品を
発表し続け、アー
ル・ブリュットにも
造詣が深い、美術作
家で成安造形大学名
誉教授の今井祝雄さ
ん。8月の前半2週
（8/8、8/15）はス
タジオトーク、後半
2週（8/22、
8/29）はボーダレ
ス・アートミュージ
アムNO-MAで開催さ
れる「快走老人録
2」の現場レポート
をお届けします。

▶詳細はこちらへ

ブマガジン「学芸カフェ」



【連載】Webマ ガジン「学芸カフ ェ」にて「日常再 編集のための発 明ノート」連載中。 第20回更新（新 着）

学芸出版社とstudio
OJMMによるWebマ
ガジン「学芸カフ
ェ」にて連載。毎月
10日に更新。第20回
は「美容院美術館が
各地で生まれる未
来」のおおのが各
月のバックナンバー

ドバイザーを務めさせていただいている一環で以下の企画を開催します！→難しいタイトルをつけてすいません。問題提起者のアサダワタルは、いわゆるバンドマンとして長年いくつかのバンド（越後屋、SjQ、ニーハオ！、HOSOMEなど）でドラムを叩いたり、ソロで弾き語り（大和川レコード）したり、映画やCMの演奏の仕事させてもらったりとなんとか音楽活動をやってきました。

それで、自分が音楽以外のこと、スペース運営や執筆などに関わる中で、だいぶ音楽に対するアプローチがここ数年で変わってきて、最近は音楽を使った色んな「遊び」を発明しては様々な現場、小学校とか福祉施設とか図書館とか現代美術の画廊とかで沢山のひとと一緒に実験するみたいなことをやっているんです。

例えば、借りたまま返せなくなったCDとそのエピソードをみんなに持ち寄ってもらって某レコードショップのようにポップをつけて試聴機にかけて期間限定のお店みたいなことしたり、みんなで「借りパクコンピレーションCD」を作ったり。小学校の子どもたちに、親や先生に対して子ども時代に好きだった曲のインタビューをしてもらってそれを元に選曲して地域でコピーバンドやカラオケ大会を開いたり。カラオケボックスSHIDAXでDAMサウンドとターンテーブルがガチで絡み合うクラブイベントを主催したり。はたまたJ-POPの歌詞と歌詞を繋ぎ合わせて、実はプリンセスプリンセスの

「M」という曲に出てくる相手の男性は、槇原敬之なんじゃないかという想定で二次創作ストーリーを作ってパフォーマンスしたり。まあそんなことをやってたら、段々、音楽仲間の誰からも相手にされなくなってきた（演奏してる分には相手にしてもらえるんだけどね）でも、僕的にはこれからの音楽家の果たす

ージから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー」第13回掲載。（新着）

以前からよく取材いただいてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー」が2013年7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS京都ラジオ「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜21時30分～21時55分放送変更！7月ゲスト 滋賀県立大学地域共生センター助教 上田洋平さん。（新着）

2013年の10月からパーソナリティを担当させてもらっている「Glow」。4月以降も続き、時間帯が変更。5分拡大され、引き続き、文化×福祉というテーマやアール・ブリュットについてゲストを交えて語っていきます。7月ゲストは滋賀の生活美を地域住民に対する丁寧なフィールドワークと絵屏風づくりによって共有する活動に取り組む、滋賀県立大学地域共生センター助教 上田洋

役割としてこういった実践を愚直にやっていくことも絶対必要だと思ってるわけなんですよ！でもあんまりにも漠然としているし、ただ吠えているだけだとただ馬鹿な犬みたいになってしまうから、とりあえずこういったことをちゃんと言葉にしてまとめよか！ってことで博士論文を書き始めたり。まあ混沌としているわけです。前置きが長くなりましたが、そこで、僕が参加しているユニット「SjQ」（映像が加わったら「SjQ++」）の所属するレーベル「HEADZ」のオーナーでもある批評家の佐々木敦さんをお招きして、いろいろと話し相手になっていただこうと思うに至ったわけです。それでこんなタイトルになっているというわけ、ご理解くださいね。当日はアサダの実演やプレゼンが入りながら、佐々木さんと対談させていただき、かつ編集者で一般批評学会の岩淵拓郎さんに司会として間に入っていただきます。さあ、とにかく、「音楽の未来を語り合おう！」と最後はシンプルに締めさせていただき、告知文と変えさせていただきます。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

3月12日（水） 大阪・城南女子短期大学（終了）

「地域と一緒に創り上げるオープンスクールの開発」大学・短期大学が、地域住民の学びの場として開かれ、また学生が地域の実地で学ぶことが求められています。地域の「知（地）の拠点」としての大学・短期大学像を地域の方々と一緒に探っていくべく、東住吉区に本拠地を持つ唯一の大学・短期大学である城南学園・大阪総合保育大学と大阪城南女子短期大学はシンポジウムを開催します。本学の教員のみならず、地域活性化の専門家をお呼びして、地域の方々と一緒に東住吉区の「知（地）の拠点」につ

平さん。7月の前半2週（7/4、7/11）はスタジオトーク、後半2週（7/18、7/25）は長浜市に特別養護老人ホームくらでの現地レポートをお伝え。

▶詳細はこちらへ

ブマガジン『学芸カフェ』



【連載】Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。第19回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載。毎月10日に更新。第19回は「点鼻薬の自動販売機がほしいのだが……」おのおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」第12回掲載。（新着）

以前からよく取材いただいてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」が2013年7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶詳細はこちらへ

いて考えていくイベントです。どなた様でも無料で来ていただけるイベントです。・本学担当者による地域交流経緯説明・神田佑亮氏（京都大学大学院工学研究科准教授）アサダワタル氏（日常編集家）による大学と地域交流に関する話題提供・本学教員、神田氏、アサダ氏、一般参加者を交えたディスカッション（企画概要より転載）

3月1日（土） 大阪・パンジョホール（終了）

「泉北ニュータウン戸建て住宅活用シンポジウム」
第1部 プロジェクト紹介『多世代型シェアハウス誕生ー戸建て空き家改修プロジェクト「緑道下の家」ー』第2部 パネルディスカッション『泉北ニュータウンの戸建て住宅に住むーこだわりを实践する家ー』パネリスト：白須寛規氏（designSU代表）西上孔雄氏（NPO法人すまいるセンター代表）松本尚子氏（木村松本建築設計事務所）アサダワタル氏（オフィス 事編kotoami代表）宮前茂子氏（うつわと暮らしの道具sizuku店主、御池台在住）利安和子氏（グループスコア代表、槇塚台在住）（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

2月28日（金） 京都・きんせ旅館（終了）

「地方進化論～地方で何して生きていく？～」
2020年オリンピック開催に湧く東京。一方人口流失が止まらず衰退する地方。地方、そして東京はこれからどうなっていくのか？僕たちはどうやって生きて行けばいいのか？今回は京都島原にある築250年の町家「きんせ旅館」にて全国でアート、場作りに奔走する論客が終結し、これからの地方、東京のあり方について徹底討論します！どなたでもお気軽にぜひお越し下さい！ゲスト：アサダワタル（日常編集家「住み開き」提唱



【ラジオ】KBS 京都ラジオ 「Glow～生きることが光になる～」 真毎週金曜 21時30分～21時55分放送変更！6月ゲスト 日本精神科看護協会会長 末安民生さん。（新着）

2013年の10月からパーソナリティを担当させてもらっている「Glow」。4月以降も続き、時間帯が変更。5分拡大され、引き続き、文化×福祉というテーマやアール・ブリュットについてゲストを交えて語っていきます。6月ゲストは全国の精神病院における創作活動の現場をくまなくリサーチされ、アール・ブリュットの普及に努める、日本精神科看護協会会長の末安民生さん。6月の前半2週（6/6、6/13）はスタジオトーク、後半2週（5/16、5/23）はボーダレス・アートミュージアムNO-MAの展覧会リポートをお伝え。

▶詳細はこちらへ

Webマガジン「学芸カフェ」



【連載】Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。第18回更新（新着）

学芸出版社とstudio QJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載。毎月10日に更新。第18回は「「人気ゆるキャラの"コスプレ"をするゆるキャラ」として人気が出るゆるキャラ」おのおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ

者) 家入一真 (連続
起業家) 松山孝法
(オルタナティブス
ペース
FactoryKyoto元代
表) 斎藤桂太 (渋谷
代表) 吉田美奈子
(くもはらいふ) 司
会 植田元気 (京都
アカデミックスペ
ース学森舎主宰) (企
画概要より転載)

▶詳細はこちらへ

2月17日 (月)
大阪・大阪市立住
まい情報センター
3階ホール (終
了)

講座「アート論
No.2『アートで何
が起きるの
か?』」
大阪市は、第27回大
阪市ハウジングデザ
イン賞の受賞住宅を
決定いたしました。
平成26年2月17日
(月曜日) 18時30分
より大阪市立住まい
情報センター3階ホー
ルにて表彰式開催記
念「第1回大阪市ハウ
ジングデザインシン
ポジウム～コミュニ
ティを育む住まいづ
くりについて考える
～」を開催します。
(中略) 当日は、表
彰式のほかアサダワ
タルさんに「住み開
き 家から始めるコ
ミュニティ」の講演
をいただき、「コミ
ュニティを育む住ま
いづくりについて考
える」をテーマにパ
ネルディスカッショ
ンを行います。(企
画概要より転載)

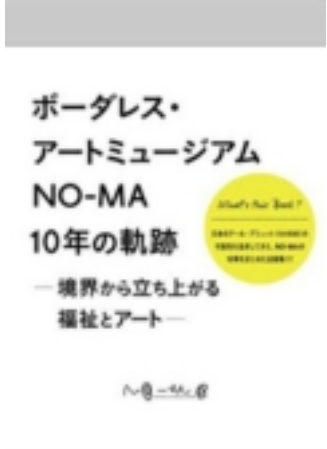
▶詳細はこちらへ

2月15日 (土)
静岡・グランドホ
テル浜松会場 (終
了)

講座「アート論
No.2『アートで何
が起きるの
か?』」
浜松や全国の地方都
市では、東京からの
文化の買い上げから
脱却し、自分たちの
文化を見直し、自分
たちの求める文化を
作る「文化の地産地
消」がテーマになっ
ています。その場そ
の時間の面白さやア
ートプロジェクトが
もたらした効果につ
いて、事例紹介を交
えつつ考えてみたい
と思います。(企画
概要より転載)

▶詳細はこちらへ

2月11日 (祝・
火) 東京・中野



【新刊 (監修
本)】『ボードレ
ス・アートミュー
ジウムNO-
MA10年の軌跡
一境界から立ち上
がる福祉とアート
一』Amazonに
て予約開始 (新
着)

書籍『ボードレス・
アートミュージウム
NO-MA 10年の軌跡
一境界から立ち上
がる福祉とアート
一』が6月4日から
Amazonと一部の書
店で出版されます。
アサダは監修者とし
て、全体構成やタイ
トルの立案などをデ
ィレクションさせて
いただきました。
2004年6月に近江八
幡の伝統的な町屋を
改装して立ち上がっ
た美術館 (当時はギ
ャラリー) のNO-MA
ですが、今年で10周
年。僕はその半分く
らいの2008年から、
書籍の編集執筆や、
関連するパフォーマ
ンス企画での音楽WS
や演奏、ラジオ番組
の企画と進行など、
様々な関わり方をさ
せていただけてます
が、大きくやってき
たことは“福祉”を文
化の視点で編みなお
すことで多様な解釈
へと開き、日常を少
し異日常に読み替え
る術を、いまここに
ある“福祉”から伝え
ること”をやってきた
のだと思っています。
NO-MAを運営す
る社会福祉法人グロ
ー (旧・滋賀県社会
福祉事業団) のスタ
ッフや方々やたんだ
んと創り続けてきた
作家の方々などのこ
の10年 (前史を含
めればもっともっ
と) 日々の積み重ね
を折り合わせなが
ら、関係してきた多
領域の方々の寄稿も
いただき、辻並麻由
さんの編集と中崎航
くんによるデザイン
の力も加わり、完成
したこの書籍。どう
ぞ、お手元に置いて
眺めていただければ
幸いです。なお、副
題につけた「境界か
ら立ち上がる福祉と

セントラルパーク サウス（終了）

中野アール・ブリュットフォーラム
昨年3月～6月にかけてイギリス ロンドンにて、約94,000人を動員した展覧会
「Souzou: Outsider Art from Japan (Art Brut from Japan)」の主催、ウェルカム・コレクションより館長のケネス アーノルド氏をお迎えし、そこから見たイギリスでの日本のアール・ブリュットの魅力について語っていただきます。また、専門家や先駆者等、多方面からのゲストをお迎えし、『アール・ブリュット』が発する人間が創造する事の豊かさ・凄み・可能性、人が持つ崇高な魂を感じていただける機会にしたいと思います。今年も中野から新たな芸術文化をお届けします。
（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

2月8日（土） 滋賀・大津プリンスホテル（終了）

アール・ブリュットネットワークフォーラム2014
アール・ブリュットは、近年、全国各地で展覧会が開かれるようになり、日本の作品がヴェネチア・ビエンナーレに招かれたりと急速に注目が高まっていますが、一方でいろんな課題も現れています。年1回のフォーラムでは、関係者が一堂に集い、ともに聞き、考え、語り合う場にしたいと考えています。もちろん、どなたでも参加できます。会員の方もそうでない方も、ぜひ大津にお越しください。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

2月7日（金） 滋賀・大津プリンスホテル（終了）

アメニティネットワークフォーラム18「みえにくい生きづらさに気づくこと ～ポスト福祉現場を語り合う～」
アサダが最近感じてきた「福祉」に対するモヤモヤをわかりやすい「表現活動」

アート」は一見わかりにくい文章かもしれませんが、その意図は、「はじめに」にてしっかり書かせていただいていますので、ご参照に。以下Amazonのリンクを貼付けておきますね。「置きますよ！」と言ってくる書店さんも大歓迎です！転載も大歓迎！

▶詳細はこちらへ



【インタビュー掲載】大阪大学臨床哲学研究室刊行『メチエ Vol.21 2014年春号』にて「アサダワタルさんインタビュー 居場所という思考を即興でつくる」（新着）

昨年、講義させていただいた大阪大学文学部／文学研究科の臨床哲学研究室の皆さんが発行されている冊子『メチエ』にて取材いただきました。面白い内容になっているかと思えます。ぜひ「詳細はこちら」にてPDF版でお読みください。

▶詳細はこちらへ



【連載】Webマガジン「マガジン航」にて「本屋はブギーバック」第5回掲載。介護民俗学者 六車由美さんと「本の原点」を語る（新着）

本と出版の未来を考えるWebマガジン「マガジン航」にて連載中の「本屋はブギーバック」。
2014年5月上旬に公開した第5回は「六車由美さんと探った「本の原点」について」。2014年1月に奈良県立図書情報館での対談のレポートです。ロゴ&イラストはイシワタマリ。

▶詳細はこちらへ

といった視点ではないところから、一度考えてみたいと思い、コーディネートをさせていただきました。支援者自身の経験がもとに立ち上げるプロジェクトは、既存の制度では追いつけない支援のあり方を感覚的にキャッチします。非行、依存症、リストカット、引きこもり、不登校、ホームレス、孤独死など。そんな支援のあり方を模索します。登壇者は橘ジュンさん（NPO法人BONDプロジェクト代表）、山下耕平さん（コムニタス・フォロ 主宰）、川浪剛さん（NPO法人支縁のまちネットワーク代表）のお三方です。

▶詳細はこちらへ

1月25日（土） 富山・フォルツァ 総曲輪（終了）

まちづくりセミナー2013 アサダワタル「表現すること 社会を触ること ～一人ではなく、同質的でもなく～」
～小さなひらめきが日常を変えるかもしれない～第一線で活躍の専門家や実践者を講師としてお招きし、講師や参加者との交流を通し、そのアイデアや取り組みに触発され、まちづくりの見識を深める全6回のセミナーです。まちづくりセミナーは、平成18年度からはじめて8年目になります。毎年多くの参加があり、講師と参加者、参加者同士の交流の場にもなっています。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

1月11日（土） 12日（日） 奈良・奈良県立図書 情報館（終了）

「本の原点を探る2日間」六車由美×アサダワタル
奈良県立図書情報館では、「本の原点を探る2日間」を開催します。「聞き書き」を通じて介護民俗学を提唱されている六車由実さんと日常編集家アサダワタルさんを迎え、記憶を聞いて掘り起こし、書きとめて、編集することを学ぶ、トークとワークショップの2



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー」第11回掲載。（新着）

以前からよく取材いただいてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー」が2013年7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ 「Glow～生きることが光になる～」真毎週金曜 21時30分～21時55分放送変 更！5月ゲスト 滋 賀県立大学教授 細馬宏通さん。 （新着）

2013年の10月からパーソナリティを担当させてもらっている「Glow」。4月以降も続き、時間帯が変更。5分拡大され、引き続き、文化×福祉というテーマやアール・ブリュットについてゲストを交えて語っていきます。5月ゲストは最近、アニメーションや音楽や「あまりちゃん」などに纏わる書籍を立て続けに上梓し話題の細馬宏通さん。5月の前半2週（5/2、5/9）はスタジオトーク、後半2週（5/16、5/23）は滋賀県内の創作現場のレポートをお届けします。放送の翌火曜日にはポッドキャストも聴けますので

日間です。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

12月6日（金）
神奈川・横浜さくらWORKS・関内
（終了）

「ソローニュの森」
上映会&トーク 田村尚子xアサダワタル
写真家の田村尚子さんは、フランス、ロワール地方にあるラ・ポルド病院を6年間にわたり訪問し、そこで生活する人々との関わりのなかで見つめた「社会」や「世界」の姿を、2012年に写真集『ソローニュの森』（医学書院）として刊行し、話題をよびました。上映会では、田村さんがラ・ポルド病院に訪問した際に撮影したビデオ作品を、フォトモンタージュ映像と併せて上映します。上映後は『アール・ブリュット アート 日本』（平凡社）を編著者として刊行されたばかりのアサダワタルさんをお迎え、社会における様々な「ボーダー」について語る予定です。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

12月2日（月）
京都・同志社大学
大学院（終了）

「コミュニティ・デザイン論研究」
表題のオムニバス講義の一ゲストとして、これまでの表現x社会といった話をさせていただきます。

11月29日（金）
北海道・札幌市立
大学芸術の森キャンパス（終了）

「メディア芸術論講義」
札幌にて資生館小学校でのレジデンスをしてきたことや、東京藝大にて共に研究に携わることなどの縁があり、この度、札幌市立大学助教の須之内元洋氏にお誘いをうけ、僕なりのメディア論を講義させていただきます。

11月22日（金）
大阪・国際会議場
（グランキューブ）（終了）

まちなみシンポジウム第25回「多世代交流によるコミュニテ

ぜひ！

▶詳細はこちらへ

ブマガジン『学芸カフェ』



【連載】Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。
第17回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載。毎月10日に更新。第17回は「地域に"ディズニー回収ボックス"を設置しよう！」のおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



【寄稿】雑誌「こころ」2014年4月号（平凡社）にてリレーコラム執筆。（新着）

リレーエッセイ「こころに残る言葉」に「夢」をテーマにした原稿を執筆させていただきました。どうぞご関心をば。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」第10回掲載。（新着）

以前からよく取材いただいてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」が2013年7月5日発行の8月号より開始。「コミュニ

ィー再生」

近年の少子高齢化や人口減少で、高齢者だけの夫婦世帯や単身世帯が増加し、地域コミュニティの衰退や市街地の空洞化など、さまざま社会問題が表面化しています。一方、若い世代の人々も、非正規雇用の増加や厳しい子育て環境など、現代社会における生きにくさと困難を日々感じています。これまで日本を支えてきた従来型の地縁や血縁、社縁が薄れつつある今、これからのまちづくりには、結縁や志縁など新たな「縁」の構築が求められているのではないのでしょうか。そのヒントとなる多世代交流や若い世代が関わる住まいづくり・まちづくりを見聞し、幅広い世代に明るい展望をもたらすコミュニティ再生・創生の糸口をつかみたいと考えています。

●〈第1部〉基調講演
「今、関西から発信する、住まいとまちの新しい形」 講師：瀬田 史彦 氏（東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻 准教授）

●〈第2部〉パネルディスカッション 「多世代交流によるコミュニティ再生」 モデレーター：柴田 建 氏（九州大学大学院 人間環境学研究院 助教） パネリスト：瀬田 史彦 氏（東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻 准教授） 西上 孔雄 氏（NPO法人すまいるセンター代表理事） 田中 美貴 氏（ゴジカラ村役場株式会社 元事務職員） アサダ ワタル 氏（日常編集家・事編kotoami代表）（企画概要より転載）

▶ 詳細はこちらへ

11月8日（金）
東京・新宿ロフト
プラスワン（終了）

「異端芸術家サミット -これってどこが芸術なんですか？-」いま、最先端のクリエイティビティとは何か？ たとえば2013年にヴェネツィア・ビエンナーレで金獅子賞を受賞したティノ・セーガルの作品である「This is New」。美術館の案

ティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶ 詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生きることが光になる～」 真毎週金曜
21時30分～21時55分放送変更！ゲスト アートディレクターはたよしこさん。
（新着）

2013年の10月からパーソナリティを担当させてもらっている「Glow」。4月以降も続き、時間帯が変更。5分拡大され、引き続き、文化×福祉というテーマやアール・ブリュットについてゲストを交えて語っていきます。ゲストは今年開館10年を迎えるボーダレス・アートミュージアムNO-MAのアートディレクターはたよしこさん。4月の前半2週（4/4、4/11）はスタジオトーク、後半2週（4/18、4/25）はNO-MAでの展覧会現場レポートをお届けします。放送の翌火曜日にはポッドキャストも聴けますのでぜひ！

▶ 詳細はこちらへ

Webマガジン「学芸カフェ」



【連載】Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。
第16回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載。毎月10日に更新。第16回は「部門変遷プロセスまですべて表記する 自治体職員の"ジ

内係がその日の新聞の見出しを来館者に言う、という「はたしてこれはアートか？」と理解し難い作品が、なぜ、いま現代アートを代表する作品といわれるのか？ トークイベントという形式のなかで、いま、最も刺激的なアーティストたちが自身の作品のプレゼンテーションを行い、アートの本質や新たな可能性について議論します。あなたの感度は、テン年代の表現についてこれるか？ 【出演】山川冬樹（骨伝導マイクで演奏）/ 岩井優（清掃及び洗浄作業）/ アサダワタル（DJ話芸家元）/ 丹羽良徳（水たまりAを水たまりBに移しかえる） 【司会】西田篤史（EDITORIAL PRODUCTION 451℃ 代表） 【アシスタント】ホンマエリ（キュンチョメ）（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

**11月6日（水）
兵庫・川西市民活動センター・男女
共同参画センター
（終了）**

「“つながる”場の作り方」～ホームパーティーから地域の拠点まで～
まちづくり連続講座
ひと・まちおこし
セミナー2013「人×人“つながる”ことから始るまちづくり」
様々な視点からまちづくりに取り組んでいる人を講師にお招きし、まちづくりについて学び・考え・交流する場として、全3回の講座を開催します。「人×人“つながる”ことから始まるまちづくり」をテーマに参加者全員でまちづくりについて学び、考えましょう。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

**10月27日（日）
大阪・スタンダードブックストア心
斎橋（終了）**

『アール・ブリュット アート 日本』出版記念トーク
福祉のみならず、またアート・シーンのみならず、医療や人類学、またコミュニケーションや地域コミュニティの領域で

エネラリスト名刺"」
おのおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



**【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生きることが光になる～」のパーソナリティとして真毎週金曜21時～21時20分放送。ゲスト 写真家 大西暢夫さん。（新着）**

この番組は、現代における”福祉”を、様々な文化的視点からクリエイティブに捉えなおし発信するゲストトーク番組。縁あって番組パーソナリティとして関西のお茶の間に登場することになりました。2014年1月後半のゲストは写真家の大西暢夫さん（3/21, 28の二週）です。

▶詳細はこちらへ



**【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生きることが光になる～」のパーソナリティとして真毎週金曜21時～21時20分放送。ゲスト 文化庁長官 青柳正規さん。（新着）**

この番組は、現代における”福祉”を、様々な文化的視点からクリエイティブに捉えなおし発信するゲストトーク番組。縁あって番組パーソナリティとして関西のお茶の間に登場することになりました。2014年3月前半は、文化庁長官の青柳正規さんへの特別インタビュー（3/7）です。

▶詳細はこちらへ

も関心が高まっているこのアール・ブリュット。そしてそこから見えるこれからの日本社会への希望を紹介した書籍『アール・ブリュット アート 日本』（監修：保坂健二郎 企画：ボーダレス・アートミュージアム NO-MA 編者：アサダワタル）が今夏、平凡社より出版されました。スタンダードブックストアでは本書の出版を記念して、著者の一人である動物行動学者で滋賀県立大学教授の細馬宏通さんと、同じく著者の一人で長年福祉現場に携わり、ボーダレス・アートミュージアムNO-MAの運営を務める田端一恵さん、編者である日常編集家のアサダワタルさんの三者のトークイベントを行います。アール・ブリュットという言葉になじみのない方も、様々な日常現場から立ち現れる形容しがたいすごい表現に関心を持っている方など、様々な方々のご参加をお待ちしております。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

**10月25日（金）
東京・独立行政法人住宅金融支援機構すまい・るホール（終了）**

まちなみシンポジウム第25回「若者たちがおこす、新たな潮流」
雇用情勢の変化、女性の社会進出、また消費やモノに対する意識の変化などによって、若年層の持ち家、賃貸住宅への意識が変化しています。豊かな先進国では若者を中心に「所有」から「利用」へと価値観の多様化が見受けられます。このような新たな発想は住宅分野でも商品やサービスの変化を生んでいます。本シンポジウムでは若者たちのニーズや思考を探り、新しい消費スタイルにふさわしい住まいやまちづくりについて考えていきます。

●〈第1部〉基調講演
「若者の価値観の変化と住まいへの意識」 講師：三浦 展（カルチャースタディーズ研究所主宰・消費社会研究者・社



**【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生きることが光になる～」のパーソナリティとして真毎週金曜21時～21時20分放送。ゲスト 厚生労働省事務次官 村木厚子さん。（新着）**

この番組は、現代における”福祉”を、様々な文化的視点からクリエイティブに捉えなおし発信するゲストトーク番組。縁あって番組パーソナリティとして関西のお茶の間に登場することになりました。2014年2月後半は、厚生労働省事務次官の村木厚子さんへの特別インタビュー（2/28）です。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー」第9回掲載。（新着）

以前からよく取材いただいてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー」が2013年7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶詳細はこちらへ

ブマガジン『学芸カフェ』



【連載】Webマ

会デザイン研究者)
●〈第2部〉パネルディスカッション モデレーター：柴田 建（九州大学大学院人間環境学研究院助教） パネリスト：三浦 展（カルチャースタディーズ研究所 主宰・消費社会研究者・社会デザイン研究者） 馬場 正尊（OpenA代表・東北芸術工科大学准教授・建築家） アサダワタル（日常編集家・事編kotoami 代表） 迫 一成（hickory03travelers（合同会社アレコレ）代表）（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

10月23日（水）
大阪・中津
waon511（終了）

『dialogue for survive』vol28 中津『住み開き』スペース『511』の対話企画の第28弾。当日は”これからを考えていく”シリーズ企画『dialogue for survive』vol28として”日常編集家”という名の放浪芸人、アサダワタル氏からお話を伺いつつ『日常的な繋がりの中』非日常のセーフティネットの中』となる事を目的にしているスペース『511』についても。来場者の皆様にご説明させていただきます。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

10月9日（水）
兵庫・西宮市役所
（終了）

まちづくり講演会 地域の輪が広がるコミュニティ作り 一般社団法人西宮青年会議所は、下記の日程にて「住み開き」提唱者のアサダワタル氏をお招きし、地域コミュニティにおける問題点や課題解決策を考えていただく講演会を開催します。「住み開きに通うようになって、近所で挨拶する機会が増えた」という体験談があるように、地域コミュニティの活性化には「地域の人にもっと目を向ける」ことが重要であると考えています。今回の講演では、参加者が各々の地域において活動を展開する際のヒント

ガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。
第15回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載。毎月10日に更新。第15回は「現実と虚構の狭間に「広告」を。家具量販店をスタジオにしたドラマ制作」のおおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



【取材】2月14日
毎日新聞にて編著
「アール・ブリュット アート 日本」の紹介取材掲載。（新着）

毎日新聞のくらしナビ・カルチャー「こんなん書きました」コーナーにて、編集執筆を担当した書籍「アール・ブリュット アート 日本」（平凡社）の取材を受けました。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS
京都ラジオ
「Glow～生きることが光になる～」のパーソナリティとして真毎週金曜21時～21時20分放送。ゲスト 作家 田口ランディさん。（新着）

この番組は、現代における”福祉”を、様々な文化的視点からクリエイティブに捉えなおし発信するゲストトーク番組。縁あって番組パーソナリティとして関西のお茶の間に登場することになりました。2014年2月前半～中半のゲストは作家の田口ランディさん（2/7,, 2/14. 2/21

になればと考えております。（企画概要より転載）

10月1日（火）
愛知・名古屋造形
大学（終了）

大学院「アートマネジメント講義」にゲスト講師として以前からお世話になっている、名古屋造形大学准教授で「やさしい美術プロジェクト」を主宰されている高橋伸行さんにお招きいただき、日常の中から紡ぐ自分なりの文化実践についてお話させていただきます。

8月31日(土)
ー9月1日(日)
合宿レク&ワーク
ショップ 岐阜・
岐阜県瑞浪市土岐
471番地の8(現
在空家) (終了)

CREATIVE MUSIC
FESTIVAL 2013 ク
リエイティブ・ミュ
ージック・フェス
ティバル2013 テー
マ：ソーシャルデザ
インとしての音楽
「暑い夏に音楽をし
てあそぼう！」と始
まった小さいこのフ
ェスティバルは今年
で15年目を迎えます
。どうぞ楽器を持
ってご参加くださ
い！ ゲスト：アサダ
ワタル（日常編集
家） 永幡幸司（サウ
ンドスケープ研究
家） 沼田里衣（音遊
びの会・音楽療法）
（企画概要より転
載）

8月24日（土）香
川・観音寺 旧中
国銀行ビル（終
了）

トヨタ子どもとアーティストの出会い
公開シンポジウムin
観音寺
2004年から全国各地
で実施されている
「トヨタ・子どもと
アーティストの出会い」
では、子ども達の
いる現場に、様々な
視点・方法を持つ
アーティストが出向
き、感性を刺激する
アートプログラムを
開催しています。四
国では高知県が初開
催となり、2011年か
ら4校で開催されまし
た。このシンポジウ
ムでは、アーティスト
が子どもたちのい
る現場に関わること

の三週) です。

▶詳細はこちらへ



【連載】雑誌「ソトコト」にて「コミュニティ難民のススメ ー表現と仕事のハザマにあることー」第8回掲載。(新着)

以前からよく取材いた
ただいてます雑誌
『ソトコト』（木楽
舎）にて、新連載
「コミュニティ難民
のススメ ー表現と
仕事のハザマにあ
ることー」が2013年7
月5日発行の8月号よ
り開始。「コミュニ
ティ難民」という名
の僕の実体験にもと
づく人生コンセプト
について、毎月書き
下ろしていきますの
で、ぜひともご関
心を向けてくださ
いませ。

▶詳細はこちらへ



【連載】Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。
第14回更新（新着）

学芸出版社とstudio
OJMMによるWebマ
ガジン「学芸カフェ」
難民のススメ ―表現と仕事のハザマにあること―
第7回掲載。（新
着）

以前からよく取材い
ただいてます雑誌
『ソトコト』（木楽
舎）にて、新連載
「コミュニティ難民
のススメ ―表現と
仕事のハザマにある
こと―」が2013年7
月5日発行の8月号よ
り開始。「コミュニ
ティ難民」という名
の僕の実体験にもと
づく人生コンセプト
について、毎月書き
下ろしていきますの
で、ぜひともご関心
を向けてくださいま
せ。

▶詳細はこちらへ

で、子ども達や地域に何が生まれたのか？参加アーティスト達や地域コーディネーターとともに語ります。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

7月20日（土）
高知・いの町 ギャラリー・コパ
（終了）

【TOYOTA子どもとアーティストの出会い】公開シンポジウム
昨年より半年間かけて西土佐小学校の子どもたちと作り上げたステージワークショップ「コピーバンド・プレゼントバンド」の報告をします。Antenaさんや、海野貴彦さんなども出演。以下企画概要。
→TOYOTA子どもとアーティストの出会いは、2004年からこれまで、全国13地域の58校5800人の子ども達と、たのしいアートプログラムを展開しています。四国では高知県が唯一の開催地。2011年から2年間、計4校でワークショップを繰り広げました。このシンポジウムでは、このワークショップに参加した作家たちと一緒に、子ども達と出会うことで何が生まれ、どんな事柄が見えて来たのか、極めてゆる〜く語ります（笑）（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

7月19日（金）
高知・いの町 とっちゃん亭（終了）

「イノビ・オーダー2.5」presents アサダワタル x とっちゃんトークイベント
「住み開きinいの」住み開きとは、住居や個人事務所といったプライベートな空間を、本来の用途や機能を保ちながら、一部を限定的に開放することによって、セミパブリック化させる活動や運動、そのような使われ方をする拠点のこと。2009年頃、「日常編集家」のアサダワタルによって提唱され、2012年1月には関連書籍も出版された。いの町の住み開きスペースとっちゃん亭にて、アサダ

ブマガジン『学芸カフェ』



【連載】Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。第13回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載。毎月10日に更新するのでその都度、ブログやツイッターやFBでお伝えしますね。第13回は「今年の初夢「TSUTAYA神社」のあらまし」おのおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



【ラジオ】KBS 京都ラジオ「Glow〜生きることが光になる〜」のパーソナリティとして真毎週金曜21時〜21時20分放送。ゲスト Bondプロジェクト 橋ジュンさん。（新着）

この番組は、現代における”福祉”を、様々な文化的視点からクリエイティブに捉えなおし発信するゲストトーク番組。縁あって番組パーソナリティとして関西のお茶の間に登場することになりました。2014年1月最初のゲストはライターでNPO法人BONDプロジェクト代表の橋ジュンさん（1/3,, 10.17の三週）です。

▶詳細はこちらへ



【取材】12月25

ワタルととしちゃん
による夢の対談！
（企画概要より転
載）

▶ 詳細はこちらへ

**7月13日（土）
大阪・アートコ
ートギャラリー（終
了）**

Art Court Frontier
2013 #11 ギャラリ
ートークに推薦者と
して出演
関西在住あるいはゆ
かりの若手を中心
に、気鋭作家が競演
するアニュアル企画
「Art Court
Frontier（アートコ
ートフロンティア
）」。本展は、美
術界の第一線で活躍
中のアーティスト、
キュレーター、コレ
クター、ジャーナリ
ストらが推薦者とな
り、出展作家を1名ず
つ推挙して、ともに
展覧会をつくり上げ
ていく、ユニークな
企画グループ展で
す。2003年に始ま
り、2013年で11回
目を迎えます。（企
画概要より転載）
昨年、アサダも出展
作家として（推薦者
は東京都文化発信プ
ロジェクト室の森司
氏）『KPPL 借りパ
クプレイリスト』を
発表させていただ
いたこの展覧会にて、
今年は推薦者の立場
で、内田洋平くんを
おしています。当日
は彼とも話しをする
ことに。展覧会詳細
は以下のプレスリリ
ースをご覧ください。
▶ 詳細はこちらへ

**7月11日（木）
京都・アカデミッ
クススペース学森舎
（終了）**

【緊急企画】日本酒
を嗜みながら非日常
な空間の使い方を考
える会
「あらゆる空間を遊
び場にする」という
考え方が全国的に拡
がっています。私的
空間である「家」を
用いてパーティやワ
ークショップなどを
行う、公共空間であ
る電車の中で詩の朗
読会や音楽イベント
をする、あるいは河
川敷や浜辺を用いて
アート作品を展示す
るなど 日常空間の中
に非日常を作る
「場」の可能性が 急
速に広がってきてい
ます。「場」の利用
の変化は近年社会に
も影響を与えており

日 日経新聞夕刊
にて、大阪で登壇
したシンポジウム
の取材記事掲載。
まちなみシンポジウ
ムin大阪にて、登壇
した様子が全面記事
として紹介されまし
た。



**【寄稿】雑誌「ラ
イブラリー・リソ
ース・ガイド」
2013年第5号に
て特別寄稿。**

先駆的な図書館業界
紙にて「特別寄稿 本
と人、人と人をつな
ぐ仕掛けづくり[内沼
晋太郎・アサダワタ
ル・谷口忠大]」と題
したページにて、取
材をしていただきました。
▶ 詳細はこちらへ

**【取材】12月16
日 日経新聞夕刊
にて、東京で登壇
したシンポジウム
の取材記事掲載。**

まちなみシンポジウ
ムin東京にて、登壇
した様子が全面記事
として紹介されまし
た。



**【ラジオ】2013
年10月よりKBS
京都ラジオ
「Glow～生きる
ことが光にな
る～」のパーソナ
リティ就任。真毎
週金曜21時～21
時20分放送。ゲ
スト 社会学者 鈴
木謙介さん。（新
着）**

この番組は、現代に
おける”福祉”を、様々
な文化的視点からク
リエイティブに捉え
なおし発信するゲス
トトーク番組。縁あ
って番組パーソナリ
ティとして関西のお
茶の間に登場するこ
とになりました。12
月のゲストは社会学
者の「チャーリー」
こと鈴木謙介さん
（12/13,,20,27の三

近年「シェアオフィス、コワーキング」といった 新たな仕事の場も見られるようになっていきます。今回は「日常編集家」アサダワタルさん 月刊『ソトコト』編集部 井口桂介 さんにゲストとしてお来しいただき 『非日常的な場』の作り方について アイデアを出し合い意見交換をしたいと思っています。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

7月10日（水）
名古屋・尼ヶ坂サロン（終了）

「住み開き」アサダワタル講演会
「住み開き」って知ってます？自分の家やマンションの一部を一般にちょっと公開して自身の趣味や活動の場を広げようとしている人たちがいます。そういう行動を「住み開き」って命名したのが今回お話してくださるアサダワタルさん。日本のあちこちの住み開きを取材して本にしたりご自身の家も住み開いて活動の輪を広げています。面白そうだな、ちょっとお話聞いてみたいなと思って今回の講演会を企画しました。みなさま是非ご参加ください♪（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

6月30日（日）
大阪・まちライブラリー@大阪府立大学（終了）

2畳大学・5周年祭友人の梅山晃祐氏が大阪の空堀で主宰してきた住み開きのスペース「2畳大学」が記念すべき5周年を迎え、そこにお招きいただきました。何をしようかと思いましたが、DJ話芸なパフォーマンスと相談とワークショップの間のようなことをします。とにかく祝。

▶詳細はこちらへ

6月29日（土）
大阪・心斎橋スタンダードブックストア（終了）

米田智彦『僕らの時代のライフデザイン』出版記念トーク
CIY -Curate It Yourself- 自分を編集

週)です。

▶詳細はこちらへ



2013年の連載企画その3 雑誌「ソトコト」にて新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」連載中。（新着）

以前からよく取材いただいてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」が7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶詳細はこちらへ



12月11日 中日新聞の特集にて「住み開き」の取材記事掲載。（新着）

“遊んで 学べる「住み開き」 自宅を開放 交流の場に”と題した記事で、提唱者として取材を受けています。

▶詳細はこちらへ



『美術手帖』2013年11月号の書評欄にて、編著『アール・ブリュット アート 日本』が掲載。（新着）

編集と執筆を務めさせていただいた『アール・ブリュット アート 日本』（平

凡社) の書評です。

▶詳細はこちらへ



11月25日 雑誌
「Leaf」の関西
ラジオパーソナリ
ティコラムで執
筆。(新着)

KBS京都ラジオ
「Glow～生きること
が光になる～」のパ
ーソナリティとし
て、滋賀や京都との
出会い、番組の紹介
などをさせていただ
いてます。

▶詳細はこちらへ

2013年の連載企
画その1 Web
マガジン「学芸カ
フェ」にて「日常
再編集のための発
明ノート」連載
中。第12回更新
(新着)

学芸出版社とstudio
OJMMによるWebマ
ガジン「学芸カフ
ェ」にて連載を開始
しました。毎月頭に
更新するのでその都
度、ブログやツイッ
ターやFBでお伝えし
ますね。第12回は
「渋谷系～小室ファ
ミリー～椎名林檎ま
で 平成世代の「う
たごえバス」」おの
おのが各月のバック
ナンバーページから
探してもらえれば読
めますのでどうぞよ
ろしくです。

▶詳細はこちらへ



11月22日～11
月24日 日本海
新聞にて「住み開
き」の特集記事掲
載。(新着)

「住み開き ～つな
がりの新しいかた
ち～」と題した三本
の連続記事。提唱者
として取材を受けて
います。

して生きること、働
くことのこれから 米
田智彦×アサダワタル
×後藤哲也
米田さんと後藤さん
と久しぶりにガチで
「自分を編集して生
きる」ことについて
喋りますよ！そして
祝！！米田さん出
版！絶対来てくださ
いね。以下告知。→
パラレルキャリア、
コワーキング、独自
の経済圏、DIY リノ
ベーション、デュア
ルライフ、海外移
住…。1年間、家や
オフィスを持たず
に、東京中のシェア
ハウスやシェアオフ
イスを渡り歩いてわ
かった、今、同時多
発的に生まれる新し
いライフスタイルと
は？『僕らの時代の
ライフデザイン』
(ダイヤモンド社)
を上梓した米田智彦
さんとともに、関西
の領域越境型クリエ
イター2人が語る、
「自分の活動を多領
域へと拡散しつつ、
それらを再編集し、
他者へと発信してい
く生き方・働き
方」、勝手な造語を
作っていいのであれ
ばDIY (Do It
Yourself) にちなん
だ「CIY (Curate It
Yourself)」な人生
について、存分に語
り合う。当日は、ト
ーク終了後は米田氏
のサイン会も開催！
(企画概要より転
載)

▶詳細はこちらへ

6月11日(火)
京都・西京区役所
2階大会議室 (終
了)

「ふらっと・西京」
第6回 あったらしい
なあ、こんな交流の
場 ～西京井戸端
100ヶ所構想～
今、求められる交流
の場とはどんなもの
か、どうしたらそう
いう場がつかれる
か、などについて語
り合ってくださいま
す。ゲストは、交流
の場づくりのパイオ
ニアの一人、「※住
み開き(すみびら
き)」という言葉
を提唱されている、ア
サダワタルさん。ま
た、お年寄りがふれ
あえる場所、子供が
自由に出入りできる
場所など、実際に交
流の場をつくってお
られる皆さんにも参
加いただく予定です。
(企画概要より
転載)

▶詳細はこちらへ

5月24日（金） 京都・ GURA（終了）

野良人類学会 コミュニティ難民篇
「住み開き」の提唱者アサダワタル氏が、最近考えて続けている「コミュニティ難民」というコンセプト。タンザニアの路上商人マチンガの民族誌を書いた文化人類学者小川さやか氏の、「都市を生き抜く狡知」をめぐる語りを受けながら、日本のコミュニティ難民と、タンザニアの路上商人に共通する構造を見出す。そのうえで、各地で「コミュニティ難民」的に活動する人々が応答する。そんな車座トークの饗宴。（企画概要より転載）

▶詳細はこちらへ

5月20日（月） 滋賀・コラボしが 21 中会議室 2（終了）

「美の滋賀」地域づくりモデル事業の企画提案公募説明会
滋賀県内に所在地または活動の拠点を有する団体等が、それぞれの持ち味を生かして、主体的に、美術や暮らし・生活文化の中にある美の資源を育てたり、発信したりすることにより、「美の滋賀」の土壌となる、多様で持続的な人のつながりの形成や魅力ある地域づくりを進めるモデル事業の企画提案を公募。（企画書より転載）事業のトータルコーディネーターという役職に就いている立場として、説明会にてお話をします。

▶詳細はこちらへ

5月8日（水）京 都・京都造形芸術 大学（終了）

京都造形芸術大学
ASP学科の「芸術表現特講I」にてゲスト講師として「コミュニティ難民（試論）」というテーマでお話をさせていただきました。

▶詳細はこちらへ

5月4日（祝）東 京・ポレポレ東中 野（終了）



11月6日 読売 新聞京都蘭にて、 ラジオ番組 「Glow」の記事 掲載。（新着）

KBS京都ラジオでパーソナリティを務めている福祉と文化の番組「Glow～生きることが光になる」の取材をしていただきました。

▶詳細はこちらへ

2013年の連載企 画その1 Web マガジン「学芸カ フェ」にて「日常 再編集のための発 明ノート」連載 中。第11回更新 （新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載を開始しました。毎月頭に更新するのでその都度、ブログやツイッターやFBでお伝えしますね。第11回は「通院と旅」おのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



2013年10月よりKBS京都ラジ オ「Glow～生き ることが光にな る～」のパーソナ リティ就任。真毎 週金曜21時～21 時20分放送。 （新着）

この番組は、現代における”福祉”を、様々な文化的視点からクリエイティブに捉えなおし発信するゲストトーク番組。縁あって番組パーソナリティとして関西のお茶の間に登場することになりました。11月のゲストは美術家で京都市立大学准教授の小山田徹さん（11/1,8,15の三週）、詩人でNPO法人cocoroom代表の

憲法の話しよう。
『映画 日本国憲法』、『ベアテの贈り物』緊急上映決定！
連続トークイベント<憲法の話をしよう。>に出演。
すべての出演は上映後です。アサダは5/4に出演。4/27（土）田口ランディさん（作家） 4/28（日）鈴木邦男さん（「一水会」顧問） 4/29（月・祝）ジャン・ユンカーマンさん（『映画日本国憲法』監督） 4/30（火）伊藤千尋さん（朝日新聞記者） 5/1（水）小森陽一さん（九条の会事務局長、東京大学教授） 5/2（木）アーサー・ピナードさん（詩人） 5/3（金・祝）班忠義さん（作家、映画監督） 5/4（土）アサダワタルさん（日常編集家） 5/5（日）ジャン・ユンカーマンさん（『映画 日本国憲法』監督）×山上徹二郎（『映画 日本国憲法』製作、シグロ代表）

▶詳細はこちらへ

3月 その他のトーク出演予定（終了）

- ・3/16(土) 楽しくゆるやかな“街あそび”、新しいコミュニティの作り方についてのトーク @島根 キッチンスタジオ等 (nado)
- ・3/17(日) 曾田文庫の未来を考えるワークショップ @島根 曾田文庫
- ・3/19(火) 社団法人日本パッケージデザイン協会による、大阪のアートを考えるトーク @大阪 江之子島文化芸術創造センター (enoco)
- ・3/24(日) 京都 HAPS アワースクールキックオフイベント @京都 HAPS

3月23日（土）大阪・スタンダードブックストア心斎橋（終了）

スタンダードブックストア×マガジン航 presents 「本屋でこんな妄想は実現可能か!？」
トーク&ワークショップ 仲俣暁生×アサダワタル×中川和彦 に出演。

上田假奈代さん
(11/22,29,12/6)
です。

▶詳細はこちらへ

2013年の連載企画その1 Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。第10回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載を開始しました。毎月頭に更新するのでその都度、ブログやツイッターやFBでお伝えしますね。第10回は「パン屋のパン屋によるパン屋のためのパン食い競走」のおのが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



2013年の連載企画その3 雑誌「ソトコト」にて新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」連載中。（新着）

以前からよく取材いただいてます雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」が7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶詳細はこちらへ



2013年10月よりKBS京都ラジオ「Glow〜生き

「本と出版の未来」
を考えるためのWeb
マガジンとして注目
を集めている「マガ
ジン航」にアサダが
新連載「本屋はブギ
ーバック」を開始し
たことと絡めて、編
集長の仲俣暁生さん
とアサダによる「本
のある場の再編集」
をテーマとした対談
とともに、「本屋で
こんな企画をしたら
面白いんじゃない
か?」「こんなコー
ナーがあれば素敵か
も!?」といった、企
画プレゼンワークシ
ョップを開催！当店
スタンダードブック
ストア店長の中川和
彦も立ち会い、企画
次第では実現もあり
えるかも！？是非と
もお気軽にご参加く
ださい。

▶詳細はこちらへ

3月22日（金） 愛知・名古屋都市 センター（終了）

名古屋都市センター
夜間連続講座「アー
トが"まち"を救う!?ー
地域の活性と新たな
コミュニティづくり
のためにー」に出
演。
名古屋でアートとま
ちの関係についての
連続講座にお招きい
ただきました。熊倉
純子さんコーディネ
ートのもと、非常に
経験抱負で濃ゆい
方々が講師を担当し
ています。

▶詳細はこちらへ

3月8日（土）滋 賀・子民家エトコ ロ（終了）

美の滋賀トーク「幸
せなミーツの巻き起
こしかた」に出演。
（企画概要より抜
粋）自らの活動を通
して様々な出会いを
結んでおられる、ミ
ーツの達人とも言え
る方々をゲストに、
その秘訣を紹介して
いただく中から、滋
賀の「美」を通じ
た、地域や分野、世
代を越えた、幸せな
ミーツの巻き起こし
方について、参加者
の皆さんと一緒に考
える、トークを開催
します。

▶詳細はこちらへ

3月2日（土）大 阪・スタンダード ブックストア心斎 橋（終了）

アンテルーム アパー
トメント 大阪 先行

ることが光にな
る～」のパーソナ
リティ就任。真毎
週金曜21時～21
時20分放送。
（新着）

この番組は、現代に
おける"福祉"を、様々
な文化的視点からク
リエイティブに捉え
なおし発信するゲス
トトーク番組。縁あ
って番組パーソナリ
ティとして関西のお
茶の間に登場するこ
とになりました。
2013年10月より毎
週金曜21時から！関
西以外の人は
Podcastでも聴けま
すのでどうぞお楽し
みに。

▶詳細はこちらへ

10月11日 SUUMOジャー ナルにて「家から 始めるコミュニテ ィづくり、「住み 開き」のススメ」 という取材記事が 掲載（新着）

「家から始めるコミ
ュニティづくり、
「住み開き」のスス
メ」という取材記事
が掲載されました。

▶詳細はこちらへ

10月6日 産経新 聞書評欄にて編著 「アール・ブリュ ット アート 日 本」の書評掲載 （新着）

編集と執筆を務めさ
せていただいた『ア
ール・ブリュット
アート 日本』（平
凡社）の書評です。

▶詳細はこちらへ

9月25日 MBS ニュース番組 「VOICE」で取 材放送（新着）

「住み開き」の特集
が18時半頃からあ
り、提唱者として電
話取材で出演しま
す。



2013年の連載企
画その3 雑誌
「ソトコト」にて
新連載「コミュニ
ティ難民のスス
メー表現と仕事の
ハザマにあること
ー」連載中。（新
着）

案内＋トークセッション アサダワタル×松倉早星×松村貴樹『ローカルのアート&カルチャーと、パブリックに開かれた住宅の可能性について』2出演。
（企画概要より抜粋）「私」の空間である家を、少しでも「公」に開いたらどうなるか？住宅の中でシェアできることが増える魅力とは？そこに地域ならではのアート&カルチャーが組み合わさると何が起こるか？そんなあたらしいライフスタイルの可能性について、3人の気鋭が語ります。

▶詳細はこちらへ

2月27日（水）
高知・田野町ふれあいセンター（終了）

中芸での「働く」しくみを考える～先進地の取り組みから～に出演。
（企画概要より抜粋）講師：滋賀県社会福祉事業団 理事長 北岡 堅剛氏。障害のある人の地域生活の推進を図るため、先駆的なサービスを実践し、安心して地域で暮らすためのシステムの普及、制度化に向けた事業を展開しています。今回、アサダワタル氏（日常編集家）がいっしょに来ていただけることになりました。芸術分野から都市計画分野、社会福祉や教育分野など、各々のコミュニティの価値観をリミックスする活動を各地で実施しており、高知県では、四万十市西土佐小学校で音楽ワークショップを行っています。
※当日はアサダによる民家ライブもあり。

2月24日（日）
大阪・市民交流センターよどがわ（終了）

人・愛ふれあいプラザ 「地域×ヒト×アート～地図から始めるヨドガワの日常編集～」に出演。
京都で自宅を開放したサロンスペース「学森舎」を展開しつつ、昼間は大阪市の職員としては働く植田元気さんによる企画にお招きいただきました。がっつり

以前からよく取材いただいています雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」が7月5日発行の8月号より開始。
「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

▶詳細はこちらへ

2013年の連載企画その1 Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。第9回更新（新着）

学芸出版社とstudio OJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載を開始しました。毎月頭に更新するのでその都度、ブログやツイッターやFBでお伝えしますね。第9回は「教習所×地域住民が繰り広げる「安全運転推進のための町民演劇」とは」おののが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



2013年の連載企画その3 雑誌「ソトコト」にて新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」連載中。（新着）

以前からよく取材いただいています雑誌『ソトコト』（木楽舎）にて、新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」が7月5日発行の8月号より開始。
「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

行政系の企画の中で、以下に自由で突飛な発想を出せるか。どうぞご関心をば。

▶詳細はこちらへ

2月17日（日） 大阪・高津宮（終了）

「オープン台地vol.3をふりかえる-クロージングトーク」に出演。

2011年の1月に開始した、大阪は上町台地の名物ツアープログラム「オープン台地」も今年でいよいよ第三回。23日間開催したオープン台地vol.3をふりかえるクロージングトークに出演します。総合プロデューサーを務めさせてもらった第一回からもう2年も経つとはほんとあっという間ですね。

▶詳細はこちらへ

2月9日（土）滋賀・大津プリンスホテル コンベンションホール（終了）

田口ランディ（作家）× 嘉田由紀子（滋賀県知事）対談
「へだたりが溶けてゆく社会への展望 一生のような、湧き水のような」にてコーディネーター・進行役担当。

縁があって、田口ランディさんと嘉田由紀子 滋賀県知事の対談の進行役を務めます。アール・ブリュットの話から、3.11後の地域社会、これからの生き方、すごく大きなテーマを横断しつつ、75分のトークを繰り広げます。本企画は、滋賀県で毎年開催されている福祉の祭典「アメニティ・ネットワーク・フォーラム」の一環での開催ですので、単独で見に来られる方には少し費用がお高くなります。詳細はアメニティ全体パンフをご覧くださいね。

▶詳細はこちらへ

2月4日（月）東京・Jessica（住所・アクセスは申込者にのみお知らせします）（終了）

としまアートステーション構想 diVISION『場を開く』に出演。

▶詳細はこちらへ



特集「人とつながる家」巻頭ページの執筆を担当（新着）

『職×住×公の、入れ子構造！？ アサダワタルさんの住み開き2013。』という特集を受け持ちましたのでどうぞお読みください。

▶詳細はこちらへ

2013年の連載企画その1 Webマガジン「学芸カフェ」にて「日常再編集のための発明ノート」連載中。第8回更新（新着）

学芸出版社とstudio QJMMによるWebマガジン「学芸カフェ」にて連載を開始しました。毎月頭に更新するのでその都度、ブログやツイッターやFBでお伝えしますね。第8回は「マラソンを“デモ”として再編集するマッシュアップツール「デモソン」がローンチ！！」おののが各月のバックナンバーページから探してもらえれば読めますのでどうぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ



8月10日 朝日新聞×ソトコト「ドゥグッドガゼット」コーナーにて、「住み開き」の記事掲載。（新着）

注目集める“住み開き”と題した記事で、提唱者として取材を受けています。

(企画概要より抜粋) diVISIONリサーチメンバーが豊島区に引越し、イベントのできるシェアスペースを開きます。「住み開き」という概念を発明したアサダさんと、コミュニティスペシフィックな作品を展開している北澤さんをお招きし、オープンな場をはじめめることをテーマにトークを行います。

[▶詳細はこちらへ](#)

2月2日(土) 岩手・大槌町公民館 大会議室 (終了)

「大槌町で”まじくる”こと ～お互いのいまを知り、これから大槌のまちの未来を考える～」にてファシリテーター担当。

(企画概要より抜粋) “まじくる”(※)とは“交わる”ということ。大槌町にいま求められているまちの未来とは？コミュニティの活性化とは？町民と町外の支援者との理想の連携とは？地元産業を通じたブランドの構築、拠点やイベントを通じたにぎわいづくり、まちの記録の活用、福祉とまちづくりの連携など、ふるさと教育、情報発信など…、様々な活動に取り組む団体がまず、震災から2年を経る目前に各々の成果や課題、これからのことを語り合う、交わる場を作り、その現状をありのままに、社会に発信するためのフォーラムを開催します。フォーラム会場では、美術家 きむらとしろうじんじんさんによるお茶会、地元ミュージシャンによるライブ、大槌のまちの映像上映ブースや活動団体ブースなど、様々なコーナーも展開！また大槌の現状を広く伝えるためのUstream配信も行います。ぜひ、この機会を町内外、様々な方々に生かしていただければ幸いです。

[▶詳細はこちらへ](#)

1月28日(月) 福岡・北九州市国際会議場 (終了)

「北九州市民カレッジ 社会教育・生涯学習基礎講座」の一環で、「住み開き」の



2013年の連載企画その3 雑誌

「ソトコト」にて新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」連載中。(新着)

以前からよく取材いただけてます雑誌『ソトコト』(木楽舎)にて、新連載「コミュニティ難民のススメー表現と仕事のハザマにあることー」が7月5日発行の8月号より開始。「コミュニティ難民」という名の僕の実体験にもとづく人生コンセプトについて、毎月書き下ろしていきますので、ぜひともご関心を向けてくださいませ。

[▶詳細はこちらへ](#)

8月27日 共同通信が47ニュースにて「住み開き」のニュース動画を公開、各種新聞でも取材記事掲載。(新着)

注目集める“住み開き”と題した動画と記事で、提唱者として取材を受けています。

[▶詳細はこちらへ](#)



8月7日 編著『オール・ブリュット アート 日本』(平凡社) 出版 (新着)

昨年より、編集と執筆を担当させていただいた書籍がようやく出版されます。どうぞお手にとってみてください。以下書籍帯より引用。→『美術・福祉・人類学などの多様な視点から、私たちの社会を鋭く照射する「オール・ブリュット」の全容に迫る。初の体系的論集！！』【監修】保坂健二郎(東京国立近代美術館主任研究

話をメインに講義を
させていただきます。
す。

▶詳細はこちらへ

1月24日（木）
福岡・九州大学
（終了）

九州大学工学部建築
学科の今年度半期非
常勤講師としてテー
マレクチャー「建築
と地域」というお題
で、講義をさせてい
たいただきます。

1月11日（金）
大阪・大阪大学
（終了）

大阪大学大学院文学
研究科 臨床哲学ゼミ
にゲスト講師として
出演
『試練と成熟——自
己変容の哲学』など
を書かれている中岡
成文先生の研究生た
ちによってお招きい
ただき、「自己変
容」と「表現」みた
いなテーマでお話を
させていただきます。
す。

12月13日（木）
千葉・NHK学園
市川オープンスク
ール（終了）

『人とつながる、自
宅でつながる…「住
み開き」をご存じで
すか？』に出演
千葉県市川市のNHK
学園さんからご依頼
いただき講演をさせ
ていただきます。最
近各地のカルチャー
スクール系で講演す
ることも多くなりま
したが、おそらく比
較的シニア世代の方
が多いと思われま
す。しかしながらで
きるだけ広い視点か
ら、住み開きのこ
と、文化のこと、コ
ミュニティのことを
お話させていただけ
ればと思います。

▶詳細はこちらへ

12月8日（土）京
都・京都市すまい
体験館（終了）

すまいスクール『私
にもできる「住み開
き」』に出演
京都市が運営する京
都市すまい体験館の
主催講座にて、「住
み開き」の話をしま
す。「住み開き」の
話はその関心の種類
や関心をもつ人と世
代やライフスタイル
によってかなり変わ
ってくるので、この
日は比較的シニア世
代に向けた住まい方

員）【企画】ボーダ
レス・アートミュー
ジウムNO-MA【編
者】アサダワタル
（日常編集家）
【論考】保坂健二
朗、斎藤環、嘉納礼
奈、中村政人、亀井
若菜、はたよしこ、
野沢和弘、田端一
恵、アサダワタル
【対談】中沢新一×保
坂健二郎、細馬宏通×
保坂健二郎

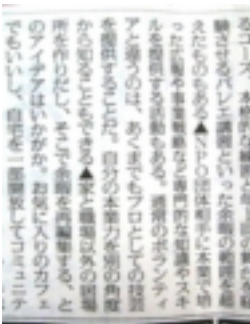
▶詳細はこちらへ



日本ボランティア学
会 2012年度
学会誌へ寄稿掲載
（新着）

日本ボランティア学
会の2012年度学会誌
の特集テーマは「境
界を生き抜く身振
り」。 「コミュニ
ティ難民 試論 ―表現
を携えて領域を漂泊
する実践例から―」
という論考を寄稿さ
せていただきました。
た。

▶詳細はこちらへ



7月15日 毎日新
聞全国版 「余
録」に住み開きの
紹介記事掲載（新
着）

「余暇から本暇へ」
というテーマのコラ
ムの中で、「住み開
き」が紹介されてい
ます。



情報誌「CEL」の
特集「余暇から本
暇へ」へ寄稿掲載
（新着）

大阪ガスエネルギー
文化研究所が発行す
る濃密な情報誌
「CEL」の特集に
て、「新しい「居場
所」から余暇を再編
集する」と題した工

に、どう文化という
観点を持ち込めるか
をお話をさせてもら
います。とは言え色
んな方々にお越しい
ただきたいのでどう
ぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ

11月30日（金）
東京・恵比寿 ス
ペース「amu」
（終了）

生きるための編集デ
ザイン第5回『にち
じょうさいへんしゅ
う⇔日常再編集』に
出演

「未来を編む」をテ
ーマにした恵比寿の
スペースamu。運営
団体であるフィルム
アート社さんからの
お声かけをいただ
き、シリーズ「生き
るための編集デザイ
ン」の第5回 にち
じょうさいへんしゅ
う⇔日常再編集に出
演します。

▶詳細はこちらへ

11月29日（木）
大阪・此花モトタ
バコヤ（終了）

1permil Osaka
Creative Share 「つ
きあう ～お金と
か、どんなふうにつ
きあってるの？」の
トークに出演。

大阪の人口の1,000
分の1の人々から始め
る創造性の共有プロ
ジェクト「1permil
Osaka Creative
Share」が始まりま
す。アサダも発起人
のひとりとして関わ
らせていただいてま
す。11/23-11/30ま
で大阪の各地の文化
拠点のツアー&トーク
のうちトークに2本
参加します。そのう
ち一本がこのテーマ
とこの出演陣です。
実践トーク：上田假
奈代（ココルー
ム）、池田社長（新
世界）、大川あきら
（現場派）、アサダ
ワタル（住み開
き）、岸井大輔
（PLAYWORKS）、
花村周寛（b）

▶詳細はこちらへ

11月28日（水）
大阪・中津
waon511（終
了）

住み開き
『waon511』スター
ト企画vol1に出演
以前から交流のある
NPO輪音プロジェク
トが新たな「住み開
き」スペースを展
開。その記念すべ

ッセイを寄稿させて
いただきました。
「住み開き」から音
楽ワークショップか
ら「カラオケボック
スの使い方」まで。
自らの実践を中心に
論考+事例を紹介さ
せていただいてます。
以下の「詳細」にて
全文PDF公開されて
いますので、どうぞ
お読みください。

▶詳細はこちらへ



2013年の連載企
画その3 雑誌
「ソトコト」にて
新連載「コミュニ
ティ難民のスス
メー表現と仕事の
ハザマにあるこ
とー」連載開始。
（新着）

以前からよく取材い
ただいてます雑誌
『ソトコト』（木楽
舎）にて、新連載
「コミュニティ難
民のススメー表
現と仕事のハザ
マにあることー」
が7月5日発行の
8月号より開始。
「コミュニティ
難民」という名の
僕の実体験にもと
づく人生コンセ
プトについて、
毎月書き下ろし
ていきますので、
ぜひともご関心
を向けてくださ
いませ。

▶詳細はこちらへ

2013年の連載企
画その1 Web
マガジン「学芸カ
フェ」にて「日常
再編集のための
発明ノート」連
載中。第7回更新
（新着）

学芸出版社とstudio
OJMMによるWeb
マガジン「学芸カ
フェ」にて連載を
開始しました。毎
月頭に更新する
のでその都度、
ブログやツイッ
ターやFBでお伝
えますね。第7回
は「政治的な街
宣音のみを消し
てくれる ノイズ
キャンセラーヘ
ッドフォン「ノン
ポリフォン」」
おののが各月の
バックナンバー
ページから探し
てもらえれば読
めますのでどう
ぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ

き第一回目の企画に
ゲストとして出演さ
せていただきます。

▶詳細はこちらへ

11月27日（火） 大阪・コーポ北加 賀屋（終了）

1permil Osaka
Creative Share「つ
くる ～どうやって
つくるの？」のトー
クに出演。
大阪の人口の1,000
分の1の人々から始め
る創造性の共有プロ
ジェクト「1permil
Osaka Creative
Share」が始まります。
アサダも発起人の
ひとりとして関わ
らせていただいてま
す。11/23-11/30ま
で大阪の各地の文化
拠点のツアー&トーク
のうちトークに2本
参加します。そのう
ち一本がこのテーマ
とこの出演陣です。
実践トーク：大谷燦
（ダンスブック
ス）、家成俊勝（コ
ーポ北加賀屋）、ア
サダワタル（日常編
集家）、花村周寛
（b）

▶詳細はこちらへ

11月26日（月） 兵庫・宝塚シネ・ ピピア（終了）

宝塚映画祭2012のト
ークに出演。
宝塚映画祭の今年の
テーマは「シネマ&ロ
ーカリティ」。すご
いええテーマやと思
います、個人的に。
僕は「楽日」という
2003年の台湾映画の
上映のあとのトーク
にて、社会地理学者
の原口剛さんと話し
ます。ぜひぜひ他の
日も行ってみて下さ
いね。ミシェル・ゴ
ンドリーの「ぼくら
の未来へ逆回転」と
か超おススメ。

▶詳細はこちらへ

11月25日（日） 兵庫・甲南大学西 宮キャンパス5階 アトリウム（終 了）

西宮まちづくり塾
『ご近所の“新しいつ
ながり”を考える』に
出演。
昨年も出演させてい
ただいた西宮まちづ
くり塾に出演しま
す。西宮では行政か
らの住み開きの仕組
みづくりとして「つ
どいの場オーナー制
度」を構築中。そん
な中で、今回、住み
開き本でも対談させ

2013年の連載企 画その2 Web マガジン「マガジ ン航」にて「本屋 はブギーバック」 第4回掲載（新 着）

本と出版の未来を考
えるWebマガジン
「マガジン航」にて
新連載「本屋はブギ
ーバック」が開始。
第4回は「本でも音
楽でも、“文化”を使
い回そう！」ロゴ&イ
ラストはイシワタマ
リ。大阪のスタンダ
ードブックストアさ
んでの実験もかねて
書いていきます。

▶詳細はこちらへ

2013年の連載企 画その1 Web マガジン「学芸カ フェ」にて「日常 再編集のための発 明ノート」連載 中。第6回更新 （新着）

学芸出版社とstudio
OJMMによるWebマ
ガジン「学芸カフ
ェ」にて連載を開始
しました。毎月頭に
更新するのでその都
度、ブログやツイッ
ターやFBでお伝えし
ますね。第6回
「“歌”で犯した罪
は“歌”でケジメを
『卒業』の二次創作
による実演的悔悛」
おのおのが各月のバ
ックナンバーページ
から探してもらえれ
ば読めますのでどう
ぞよろしくです。

▶詳細はこちらへ

フジテレビのニュ ース番組にて、連 日「住み開き」の 特集が放送（新 着）

提唱者の立場とし
て、「住み開き」の
取材をフジテレビさ
んより受けました。
5/29と6/12は朝の
情報番組『めざに
ゆ〜』にて、5/31は
昼の情報番組『アゲ
ルTV』にて特集され
ます。



6月5日 雑誌 ソ トコト2013年7 月号

の「ソーシャルなお
買い物」のコーナー
の推薦者として、デ

ていただいた三浦展さんや、西宮で長年コミュニティサロン「つどの場さくらちゃん」の運営をされてきた丸尾多重子さん、そして最近全国的にも話題のゴジカラ村の田中美貴さんと共に登壇。これはすごく濃い話ができそうです。

▶詳細はこちらへ

11月16日（金） 大阪・北加賀屋名 村造船所跡地（終了）

『DESIGNERS ACCESS 2012』のクリエイターズトークに出演。
JCD（社団法人日本商環境設計家協会）さん主催のデザイン博に縁があってお招きいただきました。「デザインの結界」という大層大きなテーマのトークで何が喋れるのかわかりませんが、他のゲストのビルマニアカフェさん、スタンダードブックストア店長の中川和彦さんたちと登壇します。情報がWebにはあがっていないですが、一般1000円、学生500円。時間は昼の部12時～18時と夜の部18時～23時とのこと。ひとまず以下にチラシの画像をあげておきます。

▶詳細はこちらへ

11月10日（土） 東京・北千住 居酒屋「北千両」（終了）

音まち千住の縁『音まちトーク「ねほりはほり」スペシャル アサダワタル×大原大次郎』に出演。足立区北千住エリアで典顔されているプロジェクト「音まち千住の縁」の一環で、地元の居酒屋でトークに出演します。ご一緒するデザイナーの大原大二郎さんとのコラボトークはどんな展開になるのかフタを開けてみないと不明。かなり即興性の高い内容になると思われます。どうぞ楽しみにきてくださいね。

▶詳細はこちらへ

10月31日（水） 滋賀・大津 事編 kotoami 湖と猫（仮）（終了）

「小倉ヒラクさんと

デザイナー 能登夫妻の「モノローグ」を紹介させていただきました。

▶詳細はこちらへ



編著担当本『アール・ブリュットを巡るトークシリーズ』全頁PDF公開。（新着）

一昨年にディレクションを担当したトークイベントの「アール・ブリュットを巡るトークシリーズ」のドキュメントブックが先月完成をしました。編集とコラム執筆を担当しています。一般書店で売られるものではなく、無料で希望者に配布する書籍として、企画団体であるボーダレス・アートミュージアムNO-MAのHPで公開したところ、瞬く間に在庫がなくなってしまったため、改めて本日より全頁PDF公開を始めました。自分で言うのも手前味噌ですが、かなり読み応えのある内容になっていると思われます。

▶詳細はこちらへ



5月5日 朝日新聞東京欄 掲載（新着）

提唱者の立場として、「住み開き」の取材を受けました。詳細は朝日新聞デジタルでも読めますよ。

▶詳細はこちらへ



「都市継承期のコミュニティモデル」という特集において「「住み開き」提唱後の現状から見えるコミュニティの未来」というタイトルの論文を寄稿させていただきました。

2013年の連載企
画その2 Web
マガジン「マガジ
ン航」にて「本屋
はブギーバック」
第3回掲載（新
着）

本と出版の未来を考
えるWebマガジン
「マガジン航」にて
新連載「本屋はブギ
ーバック」が開始。
第3回は「わらしべ
文庫から垣間みえる
街の生活の柄」ロゴ&
イラストはイシワタ
マリ。大阪のスタン
ダードブックストア
さんでの実験もかね
て書いていきます。

▶詳細はこちらへ

2013年の連載企
画その1 Web
マガジン「学芸カ
フェ」にて「日常
再編集のための発
明ノート」連載
中。第1～4回ま
で（新着）

学芸出版社とstudio
OJMMによるWebマ
ガジン「学芸カフ
ェ」にて連載を開始
しました。毎月頭に
更新するのでその都
度、ブログやツイッ
ターやFBでお伝えし
ますね。初回は「オ
フィス街パラソル弁
当におけるビジネス
紙芝居」第2回「老
人ホーム入居者によ
る"バンド"&"レーベ
ル"結成」、第3回
「ラジコンのデモン
ストレーションで"デ
モ"活動 ～脱原発で
も春闘でもTPP反対
でも、デモデモデ
モ…～」、第4回
「ドラッグチェーン×
ストリートミュージ
シャン ～昨今の薬
事法の流れも絡めつ
つ商い芸談義～」お
のおのが各月のバッ
クナンバーページか
ら探してもらえれば
読めますのでどうぞ
よろしくです。

▶詳細はこちらへ

話す、分野ノマディ
ズムな、あるいはコ
ミュニティ・ディア
スボラな働き方」
少々くどいタイトル
であることは承知の
上なのでお許しくだ
さい。なんせアサダ
がここ数年、ずっと
気になっているテー
マで、専門性をあら
ゆる分野にしなやか
に転用していくその
創造性、そしてその
ことから生まれる
「一体あんた何者や
ねん！」感。そして
そういった感覚を醸
し出している人たち
のネットワークがや
っぱり世の中を面白
くしていっている
という根拠は無いが強
い実感。 で、僕
の中でそんなテーマ
の代表格は、今年の1
月に一気に意気投合
し友人になった、「デ
ザイナーのフリをし
た学者」であり「地
営業者」の小倉ヒラ
クくん。まず彼の思
考の回転の速さとキ
レの良さに感銘をう
けつつ、そしてちょ
っとずつだけど、一
緒に山梨などで何か
を始め出している感
じです。普段東京に
いつつ各地を行脚し
ている彼が関西に寄
るタイミングで、大
津のうちに寄っても
らうことができたの
で、ぜひ、色んな人
たちに彼の活動を知
ってもらいつつ、一
緒にあれこれ語り合
えればと思います。
時間がゆるせば、徒
歩30秒の琵琶湖畔の
夜散歩でもできれば
いいですね。

▶詳細はこちらへ

10月25日（木）
大阪・淀屋橋Jホ
ームスタイル大阪
（柏木エショール
ーム）（終了）

『住まいのヒント
～くうねるところは
どんなばしょ？』に
出演。
日本インテリアデザ
イナー協会が主催さ
れるイベントにお招
きいただきました。
「住まい」がテーマ
とはいえ、住宅やイ
ンテリア、建築関係
の方ばかりでなく、
「ホームムービーの
日」の京都世話人の
方や、僕のような謎
の肩書きの人間まで
出演するので、広が
りがあるトークにな
ることと思います。
どうぞ遊びに来て下
さい。

▶詳細はこちらへ

**10月20日（日）
横浜・ひらがな商店街 アートスペース「と」（終了）**

『ひらがな商店街と旅しよう スペシャルトークショー』に出演。

横浜・石川町にある小さな商店街 ひらがな商店街をご存知ですか？実は僕もこのオファーをいただくまでは知らなかったのですが、ここに最近オープンしたアートスペース「と」。とっても素敵な名前のスペースですが、ここワークショップやトークが開催され、出演させていただくことになりました。色んなプログラムが開催されますので、どうぞ遊びに来て下さい。

▶詳細はこちらへ

**10月6日（金）～
10月8日（日）京都・綾部市里山交流研修センター（終了）**

『綾部里山交流大学 交流デザイン学科』（2泊3日）に4名の講師として山崎亮さん、西口和雄さん、塩見直紀さんと出演。

「半農半X」の提唱者として有名な塩見直紀さんにお声かけいただき、彼のフィールドである綾部にてお話しします。2時間×2限の担当を10/7にさせていただきます。

▶詳細はこちらへ

**9月27日（木）山梨・こうふのまちの芸術祭（終了）
（9/18 新着更新）**

『甲州緊急ミーティング vol.2 DIYでコミュニティづくり』に出演

「こうふのまちの芸術祭」お招きいただきました。昨今交流を深めている、小倉ヒラクくんたちとともに甲府のまちの使い方を問うトークです。

▶詳細はこちらへ

9月22日（土）京都・ART ZONE（終了）

京都藝術イベント
『オルタナティブな発信空間の可能性』

4月7日（日）ラジオ「ドロップアウト！ by Liberty」にゲスト出演

家入一真さんと高木新平さんがパーソナリティーをつとめる、原宿soraxniwaにスタジオを持つネットラジオにゲスト出演します。

▶詳細はこちらへ



神戸市発行のペーパー「DOCK」に太刀川英輔氏（NOSIGNER）との対談掲載

神戸市デザイン都市推進室発行のフリーペーパー「DOCK」に2012年3月に行ったイベント「デザインの内と外」の対談内容が掲載されました。

2013年の連載企画その2 Webマガジン「マガジン航」にて「本屋はブギーバック」第2回掲載

本と出版の未来を考えるWebマガジン「マガジン航」にて新連載「本屋はブギーバック」が開始。第2回は「一巻書房は新しい批評だ！」ロゴ&イラストはイシワタマリ。毎月執筆しますのでぜひどうぞ読んでいただければ幸いです。大阪のスタンダードブックストアさんでの実験もかねて書いていきます。

▶詳細はこちらへ



3月14日 毎日新聞くらしナビ欄掲載

「住み開き」についての取材をいただきました。

に出演。
京都で活動をしてきた
アートスペースの
運営者の方々のなか
で、土地は違えど各
地でスペースやプロ
ジェクトの立ち上げ
や運営に関わってき
た立場としてオフ
ァーをいただきました。
登壇者は、福西
次郎氏
(UrBANGUILD店
長)、松山孝法氏
(Factory Kyoto代
表)、村田ちひろ氏
(Gallery Ort)、佐
藤暖氏 (ART ZONE
前事務局長)、徳山
文太氏 (Chika 代
表)。何が話せるか
当日までわかりませ
んが、ご興味ある方
はぜひ。

▶詳細はこちらへ

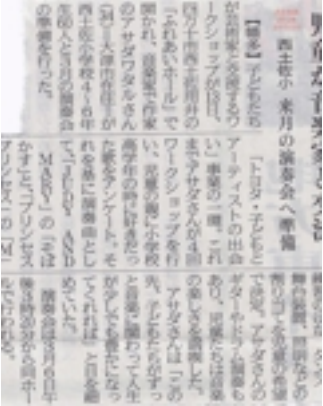
9月21日（金）大 阪・ISライブラリ ー（終了）

プラッとCafe『オー
ブン台地 再編
集！！』に出演。
大阪は上町台地にて
2011年1月に総合プ
ロデューサーを務め
させていただき、運
営スキームの構築や
企画演出を担当した
ツアープロジェクト
「オープン台地 in
OSAKA 上町台地の
生活鑑賞ツアーコレ
クション Vol.1」。こ
れらの実践を振り返
る回に改めてゲスト
としてお招きいた
きました。今後の上
町台地の展開を皆さ
んと話し合えればと
思います。

▶詳細はこちらへ

9月9日（日）東 京・3331Arts 千代田（終了）

「甲州発酵物産展」
にて司会・コーディネ
ーター担当
2011年秋に開催した
「甲州発酵物産
展」。今年の秋、さ
らにパワーアップし
て第2回を開催。食
べて、飲んで、語っ
て、感じて、甲州の
物産展と甲州人の魅
力に出会う一日。そ
んな会に色々昨年か
ら縁があってアサダ
が司会を担当しま
す。第一部では「甲
州の未来を語るトー
クセッション」。甲
府の市議会議員 神山
玄太さん、山中湖村
のシャレた宿 ホトリ
ニテ当主 高村直喜さ
ん、山梨県北杜市
「食と農の杜づくり
課」の担当 浅川裕介
さん出演。第2部の



2月15日 高知新 聞25面 掲載

四万十市西土佐小で
のワークショップの
様子取材いただい
きました。

2013年の連載企 画その2 Web マガジン「マガジ ン航」にて「本屋 はブギーバック」 第一回掲載

本と出版の未来を考
えるWebマガジン
「マガジン航」にて
新連載「本屋はブギ
ーバック」が開始。
第一回は「本屋でこ
んな妄想は可能か」
ロゴ&イラストはイシ
ワタマリ。毎月執筆
しますのでぜひどう
ぞ読んでいただけれ
ば幸いです。大阪の
スタンダードブック
ストアさんでの実験
もかねて書いていき
ます。

▶詳細はこちらへ

2013年の連載企 画その1 Web マガジン「学芸カ フェ」にて「日常 再編集のための発 明ノート連載」第 二回掲載

学芸出版社とstudio
OJMMによるWebマ
ガジン「学芸カフ
ェ」にて連載を開始
しました。毎月頭に
更新するのでその都
度、ブログやツイッ
ターやFBでお伝えし
ますね。2回目は
「老人ホーム入居者
による“バンド”&“レ
ーベル”結成」。ぜひ
読んでください。

▶詳細はこちらへ

2013年の連載企 画その1 Web マガジン「学芸カ フェ」にて「日常 再編集のための発 明ノート連載」開 始！

学芸出版社とstudio
OJMMによるWebマ
ガジン「学芸カフ
ェ」にて連載を開始
しました。毎月頭に
更新するのでその都
度、ブログやツイッ
ターやFBでお伝えし
ますね。初回は「オ
フィス街パラソル弁

「甲州の魅力を再編集」では、D&DEPARTMENT代表のナガオカケンメイさんと フォーハーツカフェでおなじみのセツゲツカLtd代表大木貫之さん の対談も。そして料理はモコメシさんが担当。ぜひ3331まで立ち寄ってください。

▶詳細はこちらへ

9月8日（土）東京・ギャラリーYUKIMATSU（終了）

レクチャー＋対談
「住み開きとコミュニティ」にて山崎友蔵さん（ギャラリーYUKIMATSU主宰）と対談
古い建物の魅力を伝え、その活用方法を探る展示イベント
「Re1920記憶」の主宰 いしまるあきこさんからお招きいただき、ました。対談相手のギャラリーYUKIMATSU主宰 山崎友蔵さんは、僕が最近出会った数々の人の中でも相当面白い、何者やねんっぷりを発揮している同世代の人物です。
「リノベーション」という視点も入れ混ぜて語る本会、是非遊びに来て下さいね。

▶詳細はこちらへ

9月1日（土）大阪・デジタルハリウッド（※非公開 終了）

いつもお世話になっている、りそな総合研究所の藤原明さんとともに、プロデュース論の特別講義を3時間します。

▶詳細はこちらへ

8月23日（木）大阪・ジュンク堂大阪本店（終了）

連続トークイベント
「カフェという場のつくり方」にて山納洋さんと対談
『カフェという場のつくり方』（学芸出版社）を上梓された山納洋さんと、ジュンク堂大阪本店にて出版記念対談させていただきます。山納さんとは僕が『住み開き』を書くきっかけにもなった208南森町のメンバーとしても一緒にさせていただいていたこともあり、こうやって改めて今回対談相手に

当におけるビジネス紙芝居」。ぜひ読んでください。

▶詳細はこちらへ



1月5日 雑誌 ソトコト2013年2月号

の「ソーシャルなお買い物」のコーナーの推薦者として、東京・世田谷のハーモニー（就労継続支援B型事業所）が、自分たちの幻聴妄想の実態をかるたにした「幻聴妄想カルタ」を紹介させていただきました。

▶詳細はこちらへ

フリーペーパー「地営業通信」にてインタビュー掲載

地と人をつなぐ地営業カンパニー 合同会社++（たすたす）が発行されているフリーペーパーにて『自己表現の先にあるもの コミュニティに自分を開く 自分ありき、公私混同のススメ』というタイトルでインタビュー記事が掲載されてます。PDFでもみれますのでよければ以下の「詳細はこちら」にてご覧ください。

▶詳細はこちらへ



ArtCourtFrontier#10 図録いただきました

「KPPL（借りパクブレイリスト）」にて参加させていただいた大阪のアートコートギャラリーさんの企画展「ArtCourtFrontier#10」の図録にて、推薦者の森司さん（東京都歴史文化財団）から作品コメントもいただきましたので、ブログにて転載させてもらってます。

▶詳細はこちらへ

お招きいただいたことは本当に嬉しいです。ぜひ遊びにきてくださいね！

▶詳細はこちらへ

8月4日（土） 大阪・アートコートギャラリー（終了）

「ArtCourtFrontier」にて アサダワタル×田中恒子 対談
アートコートギャラリーにて開催中の展覧会
「ArtCourtFrontier」。
アサダは借りパクCDのエピソード&試聴展示「KPPL（借りパクプレイリスト）」を展開中ですが、そこで8/4の14時からトークをします。お相手は大阪教育大学名誉教授で住居学者 美術コレクターの田中恒子さん。昨年、住み開き本においても対談をさせていただいたりで、陰ながら僕の活動を叱咤激励してくれている素敵な方です。ぜひ遊びにきてくださいね！

▶詳細はこちらへ

7月19日 （木）・26日 （木） 大阪・Aダ ッシュワーク創造館（終了）

「イベント・企画デザイナー養成講座」にて講師担当
この講座では、「イベント・企画」を一過性やルーチンなものではなく、特定のコミュニティ（家族・身内から、自分の住んでいる地域、都道府県、全国レベル、または社会的マイノリティな立場の集団まで）の中にある関心や問題意識などを探求・解決していくための「コミュニティデザインのための手段」としてを捉えます。そして、「企画書ができた後」の運営ノウハウを学ぶのではなく、「企画書に起こすまで」のアイデアを思いつくための基盤づくりと、思いついたイメージやアイデアを形にするためのコツを学びます。

▶詳細はこちらへ

7月7日（土） 奈良・奈良県立図書情報館（終了）

地域と自分とのつながりを考えるフォーラム 「ローカルブッ



11月5日 雑誌 ソ トコト2012年 12月号

の人物取材欄
「人乃声」にてアサダの諸々の活動：「住み開き」「KPPL（借りパクプレイリスト）」「ひょっこりひょうたん塾」、音楽系のワークショップなどを見開きで紹介していただきました。

▶詳細はこちらへ



9月18日 雑誌 『IN/SECTS Vol.5』

の特集「“ OSAKA VISION ”」にて「日常編集家アサダワタル、大阪との新しい付き合い方」が掲載されています。滋賀県に主な住居兼事務所を移転して以後、いま感じている大阪について取材していただきました。とっても面白い雑誌なのでぜひお読みくださいね。

▶詳細はこちらへ



9月日 冊子『ひ と・まち・自然』

のコラムコーナーにて「“私”と“地域”の間にグラデーションをもたらす“住み開き”」を寄稿させていただきました。

▶詳細はこちらへ

クレビュー&クロストーク1」に出演
お世話になっているけど出演したことのなかった奈良県立図書情報館に出演。ファシリテーターは狩野哲也さん、対談相手はsonihouseの鶴林万平くん。どんな展開になるのでしょうか。楽しみにです。きっと、地域と音楽、コミュニティと音楽といったテーマのことも話すことになるだろうと思います。

▶詳細はこちらへ

6月30日（土） - 7月1日（日） 埼玉・埼玉県立近代美術館 埼玉県立浦和高校麗和会館 北浦和ふれあい商店街他（終了）

日本ボランティア学会2012年度大会「東京の果て、東北の始まり 境界を生き抜く」に出演
ボランティア学会なるものにまさか自分が出演するとは。まさにこの「境界を生き抜く」ってのは僕の一大テーマなので出演させていただきました。1日目のグループトーク「この場所で市民知を編むー今、これまで、これから」にて石井秀樹さん（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任助教）とトーク、そして2日目の「若者（ならずもの）が境界を壊すー商店街の未完成の家で住み開く」にてコーディネーターを務めさせていただきます。

▶詳細はこちらへ

6月21日（木） 兵庫・伊丹商エブラザ（終了）

平成24年度「伊丹まちづくり大学」に出演
「日常を再編集するあるいは街の遊び方ー住み開きをきっかけにー」というテーマでお話させていただきます。僕以外にも連続して様々なゲストの方が出演されますよ。

▶詳細はこちらへ

6月14日（木） 大阪・心斎橋 COMPASS（終了）

TAIYO33×COMPASS



ソトコト2012年9月号

特集「シェアして暮らす家」欄の「カウチサーフィンに烟。ブッシュさんの家へ、ようこそ！ 20代から始める楽しい住み開き！」にて、住み開きの考え方と書籍紹介、姫路での実践例が掲載されました。

▶詳細はこちらへ

8/21 FM OSAKA 851「Realize!」にてに出演

番組内の「Real Talk」というコーナーに収録出演しました。「住み開き」の話から、岩手県大槌町の「ひょっこりひょうたん塾」の話、そして借りバクCD展示「KPPL」の話など、いろいろと日常編集業について紹介させていただきました。

▶詳細はこちらへ



機関誌「住宅」にて、「“中古”から“Re-livable”へ 文脈重視の創造的転用」というタイトルで寄稿。（8/1 新着更新）

日本住宅協会さんの機関誌「住宅」の今号の特集テーマは「中古住宅の創造的転用」。アサダも住み開きと、DJ文化における「レア・グルーヴ」という観点をヒントに、10,000字ほどの文章を寄稿をさせていただきました。ご興味ある方は以下に問い合わせください。

▶詳細はこちらへ

7/23 WEBマガジン「広告三国志」にてアサダの

presents 「ど
PAOS!」～平日都市
型まつり主義～ のト
ークイベントに出演
結構なんだかんだと
10年来の友人のPIKA
からある日電話をう
け、「コミュニティ
という現象を超えた
広がり、繋がり」と
いうテーマのトーク
セッションに出演し
ます。その他にも
6/11-15まで濃ゆい
企画が目白押しです
よ。

▶詳細はこちらへ

6月9日
(土) -10日
(日) 岩手・大
槌町 安渡小学校
体育館 (終了)

ひょっこりひょうた
ん塾開校！ 第一回文
化芸術まちづくりゼ
ミ

「みんなが交わる図
書館でまちが変わ
る！ 一小布施から
学ぶ大槌の未来図
ー」

昨年12月から毎月滞
在しながらコンセプ
ト、運営スキームを
町の人々と作り上げ
て来た岩手県大槌町
の復興プログラム

「ひょっこりひょう
たん塾」がついに開
校。アサダは監修責
任と当日の司会を担
当。本回のゲストは
未来の図書館像とし
て全国から注目を集
める長野県小布施町
立図書館「まちとし
ょテラソ」の館長花
井裕一郎さんと、震
災以後、大槌町の取
材を続けてきた朝日
新聞記者 東野真和さ
ん。是非全国からの
参加お待ちしております。
塾開校の背景
はをどうぞ詳細のホ
ームページをご覧ください。

▶詳細はこちらへ

5月26日 (土)
広島・鞆の津ミュ
ージアム (終了)

トークイベント「僕
らの街にアール・ブ
リュットがやってき
た！」

広島は鞆の浦に5月に
オープンした美術館
「鞆の津ミュージア
ム」にてトークに出
演します。共演は中
村政人（アーツ千代
田3331統括ディレク
ター）さんと竹村利
道（アートゾーン薬
工倉庫 主宰）さん。
アール・ブリュット
について自分が前に
出て話すことは初め
てに近いのですが、

活動が掲載。
(8/1 新着更新)

広告関係の3人のク
リエイターが運営す
るWebサイトにてご
取材いただきました。
滋賀に移転した
背景など少し書かれ
ておりますのでご覧
下さいませ。

▶詳細はこちらへ



6/11 文芸誌
「こころ」（平凡
社）に黒川創+南
陀楼綾繁+アサダ
ワタルの特集鼎談
が掲載。(6/13
新着更新)

文学、歴史、思想、
芸術など、様々な角
度から日本人の uusi
生きかたを考える
総合文芸誌「ここ
ろ」の第7号が発
刊。特集は「コミュ
ニティ」が文化をつ
くる」 本特集で
は、広井良典さんや
西村佳哲さん、中俣
暁生さんなども執筆
され、また連載は池
澤夏樹さんや柳田邦
男さんなど、かなり
骨太な内容となって
ますのでぜひとも読
んで下さいね！民博
で展覧会中の今和次
郎さんの「バラック
装飾社」のことなど
も、畑中章宏さん
によって書かれてお
ります。

▶詳細はこちらへ



学芸出版社Web
マガジン「学芸カ
フェ」にてインタ
ビュー掲載。
(6/13 新着更
新)

住み開き出版にまつ
わる過程、日常編集
家という動き方に
ついて、子ども時代
のころ、これから
のこと、いろいろ取
材していただきました。
取材してくださった
建築翻訳家の牧尾晴

個人としてなぜそこに興味があり、僕の田の活動との関連も含めて話をさせていただきます。

▶詳細はこちらへ

5月13日（日） 京都・アカデミックスペース「学森舎」（終了）

ソーシャル以降の世界 ～新しいコミュニティ”住み開き”ワークショップ～

京都の学森舎さんにお招きいただきました。18時半からです。主催者の方曰く「SNS時代以降の新たなコミュニティの形に関心がある方はぜひお越し下さい！」とのこと参加&詳細希望の方はツイッター@gakusinsyaまでお問い合わせを。

4月17日（火） 大阪・西成カマン!メディアセンター（終了）

えんがわおしゃべり相談会 しんどいと共に生きる - しんどい状況にある人と一緒にいる時どうする？ 倉田めばさん（薬物依存回復支援団体「Freedom」代表）と共に講師を務めます。なかなか重めなテーマですが、「しんどい」という感覚はかなり広い意味での解釈です。決して同じ考えだけにまとまらない場を目指せればと思います。

▶詳細はこちらへ

4月11日（水） 大阪・江之子島文化芸術創造センター（終了）

OpeningFesta「創造しい人々」 エノコジマ・クリエイティブ・カフェ 江之子島文化芸術創造センターのオープニング企画にトークで出演します。テーマは「日常編集家という仕事 -例えば住み開き、街頭テレビ、音楽の使い方-」。連日沢山のゲストの方が出られるので是非チェックしてみてくださいね。

▶詳細はこちらへ

4月5日（木） 東京・赤坂 d-labo（終了）

d-log 日常を再編集する -住み開きをき

喜さんに感謝。どうぞ「詳細」よりリンクへ飛んでお読みくださいませ。

▶詳細はこちらへ



フリーペーパー「mauleaf」にてインタビュー掲載。（6/13 新着更新）

武蔵野美術大学の学生がつくるムサビ応援誌「mauleaf」の今回の特集は「シェア／美術系シェアハウスのかたち」。アサダのインタビュー記事も掲載いただきました。主に関東圏で手に入るものだと思いますが、ぜひ読んでくださいね。取材してくださった藤原ちから氏に感謝。あと卒業生でもないのに混せてくれて感謝！

▶詳細はこちらへ



5/26 共著「クリエイティブ・コミュニティ・デザイン 関わり、つくり、巻き込もう」（フィルムアート社）がいよいよ出版。（5/21 新着更新）

成瀬猪熊建築事務所 (著), 田北雅裕 (著), 服部滋樹 (著), 西村勇也 (著), 兼松佳宏 (著), アサダワタル (著), 大和田順子 (著), 林美香子 (著), 下山浩一 (著), いえつく (著), 松場登美 (著), 諏訪光洋 (著), マエキタミヤコ (著), 中村陽一 (著), 初山真人 (著), 友廣裕一 (著), 秋田光彦 (著), 鷺尾公子 (著), 宮本武典 (著), 紫牟田伸子 (編集)。アサダは「イメージ」としてのコミュニティへの想像力を養う」という文章を書かせていただき

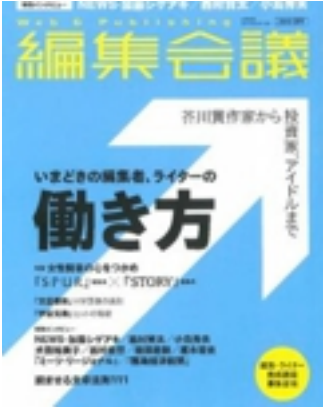
ました。

[▶詳細はこちらへ](#)



フリーペーパー「paper C」の巻頭ページにて遠藤水城（インディペンデント・キュレーター）との対談掲載。
(5/21 新着更新)

名村造船所大阪工場跡地など、造船所跡地を中心とする大阪・北加賀屋エリアの所有物件を、芸術・文化活動の拠点に変える試みを行っている、千島土地株式会社が発行するニュースレター。遠藤くんと話したテーマはざっくり「地域における個々のクリエイティブ手いとコミュニティ形成の関係」みたいな内容。



「編集会議」(宣伝会議) 2012年夏号アサダの活動掲載 (5/21 新着更新)

特集ページの「編集者、ライターは必要か 西村佳哲(働き方研究家)」の記事にてアサダの活動が紹介されてます。

[▶詳細はこちらへ](#)



三浦展さん新刊「第四の消費 つながりを生み出す社会へ」(朝日新書) にアサダとの対談が掲載
(4/16 新着更

かけに-スルガ銀行さんがミッドタウンタワーにてプロデュースするコミュニケーションスペース「d-labo」にて、お話しします。このトークシリーズ「d-log」ですが、毎回びっくりするほど多彩なゲストをものすごい数で呼ばれていてなかなかのもの。銀行がこの企画をしているってすごい。ちなみに参加費無料です。
[▶詳細はこちらへ](#)

3月29日 (木)
静岡・浜松ゆりの木通り商店街 (終了)

「チューリップツリートラベル社 ～春のまち歩きツアー～」ゲスト：山出淳也、アサダワタル
浜松市のゆりの木通り商店街を中心にまちを歩いてまわる春のツアー企画。各回ともそれぞれに独自の目線を持ったゲストとともに、あれこれとおしゃべりしながらまちを歩くツアー。僕もお招きいただきました。さあ焦点をどんどんボカして歩こうか。

[▶詳細はこちらへ](#)

3月28日 (水)
神戸・KIITO (終了)

「自己編集と仕事のこれから」ゲスト：アサダワタル、太刀川英輔 (NOSIGNER)
神戸市が2012年7月に創刊する、デザイン都市・神戸を発信するメディア『.DOCK』の公開取材イベント『.DOCKTALK「デザイン」の内と外』にて太刀川英輔 (NOSIGNER) さんと対談します。テーマは「自己編集と仕事のこれから」。僕が大阪でやっていた「CIY」というプロジェクトとも通ずる企画です。

[▶詳細はこちらへ](#)

3月17日 (土)
京都・左京西部いきいき市民活動センター 会議室1 (終了)

高齢者との場作りプロジェクト「みんなの居場所」劇団France_Panなどにて活躍する伊藤拓

さんが関わっているまちづくりに関するトークに出演します。京都市左京区養正地区における「みんなの居場所」をゆるやかに考える、そんなきっかけ作りにしたいと考える会です。14時～17時。

▶詳細はこちらへ

3月12日（月） 大阪・應展院（終了）

コモンズフェスタ
2012 アサダワタル
×原尻 淳ークロストーク「まちHACKS!：＜住み開き＞は何を問う？」
住み開き本の出版記念も兼ねて招待いただきました。『IDEA HACKS!』など「HACKS!」シリーズなど知的生産に関する著述で知られる原尻淳一さんとの初顔合せのトークです。

▶詳細はこちらへ

3月9日（金） 大阪・谷町空庭（終了）

green drinks
Tanimachi「いろいろなものを“かせぐ”」
ゲストとして、日常編集家としての働き方を語ります。会場は住み開き本でも取材をさせてもらっている谷町空庭さんです。少人数での開催なので予約はお早めに。

▶詳細はこちらへ

3月8日（木） 大阪・扇町メビック（終了）

クリエイティブクラスターセミナー プロデューサーに学ぶプロジェクトのデザインに講師としてお招きいただきました。自分ではプロデューサーという認識はまるでないのですが、各種プロジェクトの設計はしてる立場で色々お話できると。最近とてもお世話になっているりそな総研の藤原明さんとともに登壇します。

▶詳細はこちらへ

3月4日（日） 岡山・やっち（終了）

【路地の大学シリーズ vol.4】アサダワタル トーク＋ミニライ

新）
「住み開き」本からの転載再編集された対談が収録されています。三浦さん祝出版！

▶詳細はこちらへ



紀伊国屋書店梅田本店3号カウンター前にて「住み開き」発売記念フェア『いま、つながりを考える』4/8～4末まで開催中！！（4/9 新着更新）

大阪人なら誰もが知っている紀伊国屋書店梅田本店さんのビックマンから入った入り口のところで開催中です！是非！



「大阪人」5月号の福島区で活動紹介コーナーに人物＋書籍 掲載（4/2 新着更新）

超ご近所さんのチョコさんこと藤井千代栄さんの「千代の家」もあわせて紹介されています。

▶詳細はこちらへ



「NICE REFORM サステイナブルスタイル」No.44号のトレンドコーナーに書籍 掲載（4/2 新着更新）

淀川区西中島南方の小島和江さんの「小島酒店」もあわせて紹介されています。

▶詳細はこちらへ

ブ『ぼくらの家には
土間も縁側もなかつた
-そしていま、住み
開きへ』
～「住み開き 家から
始めるコミュニテ
ィ」出版記念企画 in
岡山～
岡山のやっちという
場所にお招きいた
きました。住み開き
本でも取材させて
いただいたmenpei (井
筒耕平・井筒木綿子)
さんとの対話も。あ
りがとう千秋君。

▶詳細はこちらへ

3月3日（土） 大阪・ボランティア 情報センター （※非公開）（終 了）

大阪市内で活動する
様々な分野のNPO
が、どのように他団
体と繋がったり、広
報力をアップできる
か。こういった課題
を共有するためのワ
ークショップのファ
シリテーターを務
めます。

2月25日（土） 名古屋・栄町パル ル（終了）

『住み開き x ぼくら
のシゴト』
～「住み開き 家から
始めるコミュニテ
ィ」出版記念企画 in
名古屋～
大阪のトークプログ
ラムで出会った名古
屋の仲間が企画をし
てくれました。パ
ルルは前身の店時代
に、ソロやバンドの
ライブでもお世話に
なっていた場所。プ
チライブもするかも
です。

▶詳細はこちらへ

2月19日（日）大 阪・スタンダード ブックストア心斎 橋（終了）

アサダワタルx松村貴
樹 特別対談トーク
ショー 『住み開きか
ら垣間みる“編集”の
これから』
～「住み開き 家から
始めるコミュニテ
ィ」出版記念企画 in
大阪～
大阪はフロム谷町6
丁目のローカル・カ
ルチャーマガジン
『IN/SECTS』の編
集長 松村貴樹さん
と、住み開きの楽し
み方、そして編集の
未来について、ざっ
くばらんに語り合
います。スタンダード
ブックストア店長の
中川さんも友情出

3月12日 東京新 聞書評欄

「住み開き」本が紹
介されてます。紀伊
国屋新宿店のツイッ
ターでも取り上げて
いただき感謝！



「Meets Regional」4月 号の「CHECK IN PEOPLE」 のコーナーに人物 +書籍 掲載

「日常編集家」とし
て住み開きの動きを
まとめてきたこと
を、短い文章なが
ら丁寧に綴っていただ
きました。写真も素
敵に撮影していただき
恐縮・感謝。

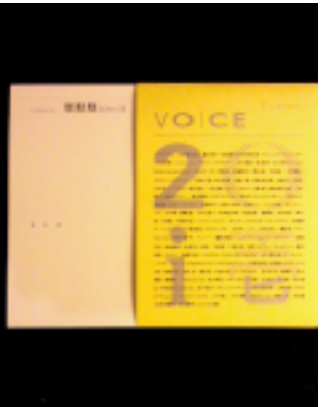
▶詳細はこちらへ



「ダ・ヴィンチ」 4月号の「注目の 新刊情報」のコー ナーに書籍 掲載

ノンフィクションノ
エッセイの欄に掲載
いただきましたので
どうぞご覧下さい。

▶詳細はこちらへ



『2011』 produced by 朕朕朕[chin3]に 執筆参加

編集とデザインチー
ム「朕朕朕」による
ブックレット

『2011』。いつもお
世話になっている編
集者 竹内厚さんより
お誘いをうけ、執筆
参加させていただきました。
テーマは-“2011年、この町

演！

▶詳細はこちらへ

2月16日（木）兵庫・神戸大学発達科学部特別講義（※非公開）（終了）

2年前にも担当をさせていただいた特別講義にて、芸術専攻の3回～4回生を対象に、音楽からアートプロジェクトから住み開きのことなどを自分の経歴とともに話します。

2月10日（金）東京 新宿 カフェ・ラバンテリア（終了）

アサダワタル×素人の乱×米田智彦、他（予定）

特別対談トークショー 『住み開きから垣間みる コミュニティとノマドの未来』～「住み開き 家から始めるコミュニティ」出版記念企画 in 東京～

住み開き本でも対談させていただいた素人の乱の松本哉氏と山下陽光氏、そして最近意気投合したノマド型現代編集者 米田智彦氏たちとのトークです。※出演を予定していた内田洋平くんが金沢に行かなくちゃいけなくなり不参加となりました！申し訳ありません。詳細は1月末に以下をクリックしていただければアップされてるかと。

▶詳細はこちらへ

1月31日（火）東京・渋谷 アップリンク（終了）

Offshore presents シリーズ・映像でめぐるアジア

“台湾のサウンドアートイベント『失聲祭』を見る” meets 住み開き！

上映会と台湾のアーティスト

YAO, Chung-Han氏とのスカイプ対談、面白い表現コミュニティの作り方住み開きの話を語ります。本の販売も行いますよ。

▶詳細はこちらへ

1月27日（金）大阪・西九条 梅香堂（終了）

美術家・中崎透氏の個展「エピソード：鼻歌まじりの引越の

で印象的だったことを5つ教えてください。” 50人の多彩な執筆陣が参加。今のところ京都のガケ書房さん等で入手できるそう。

▶詳細はこちらへ



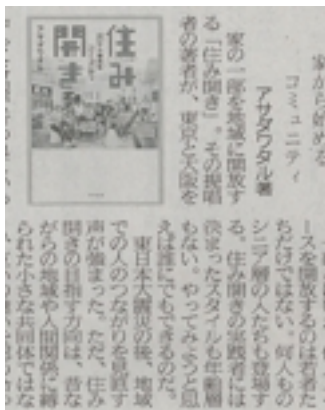
『大人のためのシェアハウス案内』にて住み開き 掲載

西川敦子さんの単著

「大人のためのシェアハウス案内 みんなでひとり暮らし。」

が2/17にダイヤモンド社より出版されました。住み開きのこと、僕も取材していただきましたのでどうぞ読んでみてくださいね。“みんなでひとり暮らし”という副題、個人的にぐっときます。

▶詳細はこちらへ



2月17日 京都新聞 書評欄 掲載

「ほん」のコーナーにて紹介されております。

2月9日&16日 OBCラジオ大阪 「関西のるつぼ」出演

2週に渡り「住み開き」の話や日常編集家としての活動を話します。

2月9日 FM-NACK5 「夕焼けシャトル」電話生出演

18:10-18:20のコーナーにて「住み開き」の話や日常編集家としての活動を話します。

2月1日 artscape 「学芸員レポート」に住み開き掲載

時間はいつかは終わる。だから僕はなるべく回り道をする」にて、中崎氏とギャラリートーク。住み開き本の出版を記念してお声かけいただきました。プチライブもするかもです。

[▶詳細はこちらへ](#)

【過去のトーク・レクチャー一覧はこちら】

川浪千鶴さん（高知県立美術館企画監兼学芸課長）によるアートゾーン薬工倉庫と薬工ミュージアムの紹介記事に、住み開きの書籍から、住むことと表現の関係、コミュニティの進化において新たな局面について書いてくださってます。

[▶詳細はこちらへ](#)

2月1日 netTAM（トヨタアートマネジメント）のリレーコラム執筆公開

「日常編集家として世に立つ」というタイトルのコラムを執筆させていただきました。どうぞご覧ください。

[▶詳細はこちらへ](#)



2月7日 毎日新聞 夕刊関東版 人物＋書評欄 掲載

読書日和のコーナーにて紹介されております。



2月6日 神戸新聞 書評欄 掲載

一読納得のコーナーにて紹介されております。



2月3日 西日本新聞 書評欄 掲載

本棚コーナーにて掲載。



1月31日 サンデー毎日 書評欄 掲載

本棚の整理術／人はなぜ、そこに住むのかコーナーにて掲載。

[▶詳細はこちらへ](#)

1月31日 朝日放送キャスト 出演

16：50からの2時間番組 朝日放送キャストで「住み開き」が特集されます。コメンテーターは政治学者の中島岳志さん。住み開き本でも取り上げさせていただいたRojiroomさんなどが登場します。どうぞご覧を。

1月27日 エキサイトニュースに米光一成さんによる書評掲載

「最初は5人の共同生活からはじまった。住み開きって何？ 自宅が博物館に!？」が掲載されました。

[▶詳細はこちらへ](#)

1月30日 NHK第一 大阪放送局「関西ラジオワイド」生出演

17:20-17:50の「旬の人・時の人」コーナーにて「住み開き」の話や日常編集家としての活動を話します。

1月31日 日経新聞夕刊全国版

人物紹介欄にてアサダの活動、「住み開き」提唱の経緯が掲載されます。



1月18日読売新聞朝刊の地域大阪欄に

「住み開き」本が掲載されました。



週刊ダイヤモンド
2012年1月12日
号「Books

Reviews」欄に「住
み開き」本が掲載さ
れました。

[▶詳細はこちらへ](#)



ソトコト2012年
2月号「アートの
力」欄に「住み開
き」が掲載されまし
た。

[▶詳細はこちらへ](#)



12月25日 書籍
「2010年パリ
アール・ブリュッ
ト・ジャポネ展全
貌」が現代企画室よ
り出版されました。
アサダも「アール・
ブリュット・コレク
ション、アル・サ
ン・ピエール美術
館、リール・メトロ
ポール美術館 3つ
を巡って一日常／ア
ール・ブリュット／
美術館／日常…」と
いうコラムを執筆さ
せていただいてま
す。

[▶詳細はこちらへ](#)

1月9日 FM
OSAKA「Happiness!!」
に出演。「住み開
き」の書籍を始めと
した活動紹介をさせ
てもらいました。

11月30日 高知
新聞にて、「自宅の空
き部屋開放「住み開
き」に注目」という記
事が掲載されまし

た。静岡新聞にも掲載されてます。



11月27日 中日新聞の滋賀欄にて、アサダがナビゲーターを務めた糸賀一雄記念賞第十回音楽際「創発ワークショップ」の取り組みが掲載されました。



11月3日 雑誌『未来回路』の4.0号にて、集英社新書「他人と暮らす若者たち」で注目されている社会学者の久保田裕之さんと対談をさせていただきました。
[▶詳細はこちらへ](#)



10月31日 雑誌『IN/SECTS』の特集「もうかりまっか? ~私たちの働き方2011~」にてアサダの「日常再編集」活動が掲載されています。なかなかものすごく個性的で豪華な取材陣ですよ。
[▶詳細はこちらへ](#)

【過去のメディア掲載出演一覧はこちら】